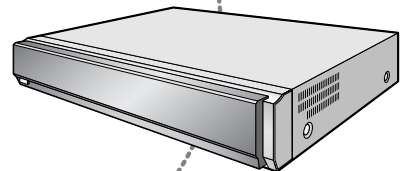
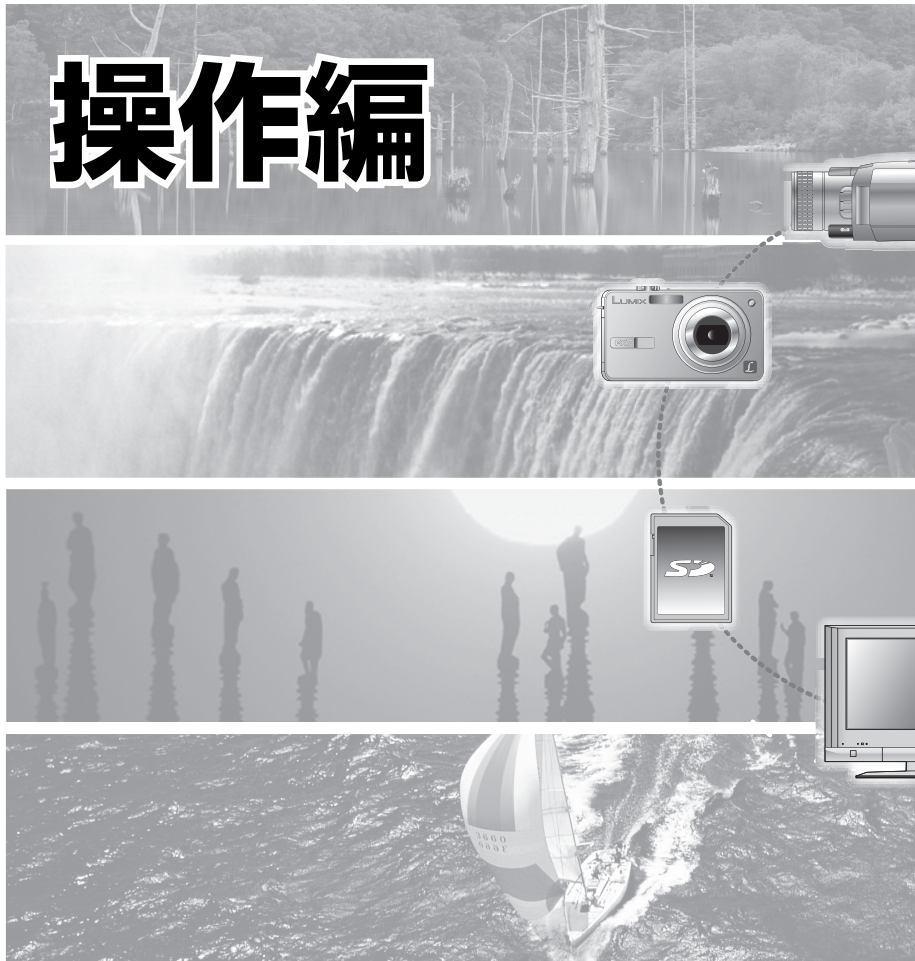
Panasonic

取扱説明書

BD/DVD レコーダー

品番DMR-BW200

操作編

BD/DVD 関連情報（動作確認情報など）は、パナソニックホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/bd/

本機の機能向上などのサポートを受ける場合に必要ですので、必ずユーザー登録をお願いいたします。ホームページでユーザー登録ができます。
http://www.mps.panasonic.co.jp/

このたびは、パナソニックBD/DVDレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
  特に「安全上のご注意」（→130 ～ 131 ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
  お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
  保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

BD-Video

HDMI
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

gracenote

保証書別添付

上手に使って上手に節電

RQT8803-3S

ディーガ かんたん！使いこなし術

番組をHDD（ハードディスク）に録（と）りためて、お気に入りだけBDやDVDに残してみよう!

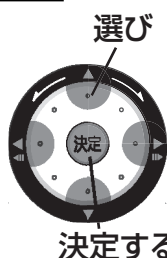
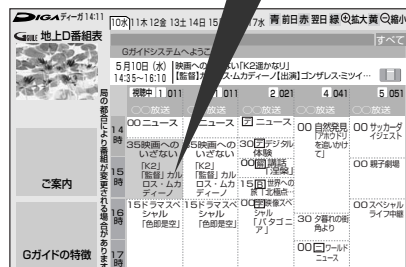
録画 予約する

かんたんに番組の予約がしたい！

1

番組表を表示する

2 予約したい番組を選ぶ

選び

決定する

放送を変更するときは ➡ 放送/入力切換

詳しい操作方法は➔40ページ

見る 再生する

録った番組を見てみたい！

1

番組一覧を表示する

2 再生したい番組を選ぶ

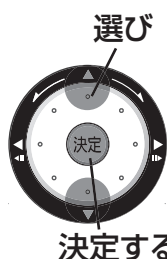
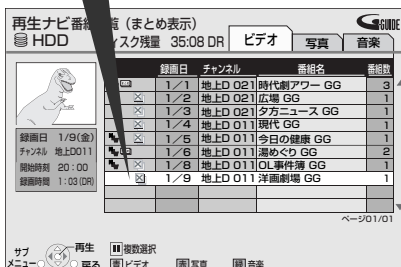
選び

決定する

再生ナビ番組一覧（まとめ表示）
HDD ディスク残量 35:08 DR
ビデオ 写真 音楽

録画日	チャンネル	番組名	番組数
1／1	地上D 021	時代劇アワー GG	3
1／2	地上D 021	広場 GG	1
1／3	地上D 021	夕方ニュース GG	1
1／4	地上D 011	現代 GG	1
1／5	地上D 011	今日の健康 GG	1
1／6	地上D 011	湯めぐり GG	2
1／8	地上D 011	OL事件簿 GG	1
1／9	地上D 011	洋画劇場 GG	1

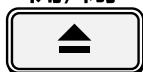
録画日 1/9(金)
チャンネル 地上D011
開始時刻 20：00
録画時間 1：03 (DR)

ページ01/01

選んだ番組が再生されます

詳しい操作方法は➔47ページ

残す ダビングする

お気に入りの番組をBDやDVDに残したい！

1 開/閉 ⏏

（本体の開閉ボタン）
ディスクを入れる

2

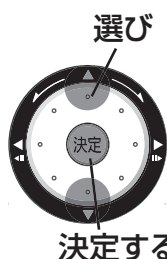
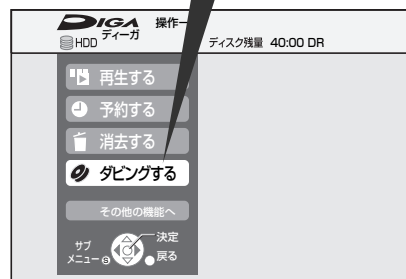
操作一覧画面を表示する

3 「ダビングする」を選ぶ

選び

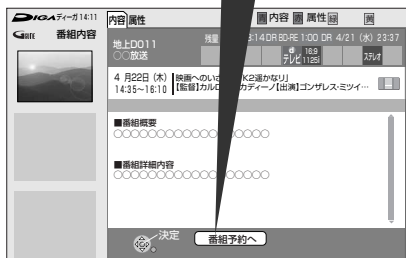
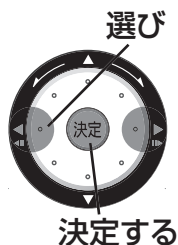
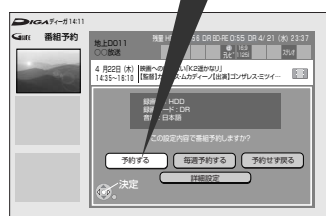
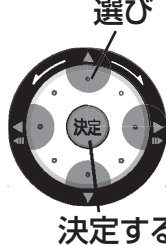
決定する

DIGA ディーガ 操作一覧
HDD ディスク残量 40:00 DR
- 再生する
- 予約する
- 消去する
- ダビングする
- その他の機能へ

サブメニュー 決定 戻る

詳しい操作方法は➔62ページ

詳しい操作方法は、それぞれのページをご覧ください。

操作ガイドも見てね！(➜20)

3 「番組予約へ」を選ぶ

4 「予約する」を選ぶ

録画モード「DR」だと、デジタル放送をハイビジョン画質で録画できます。

☞予約内容を確認し、変更が必要なときは「詳細設定」を選ぶ（➜41「詳細設定画面」）

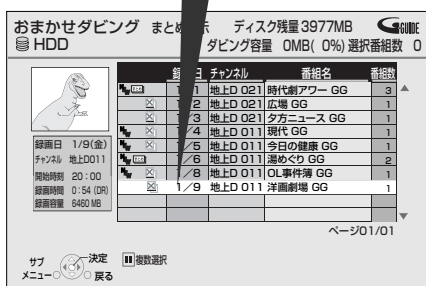
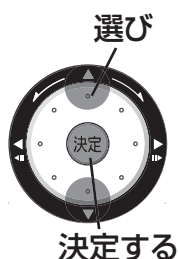
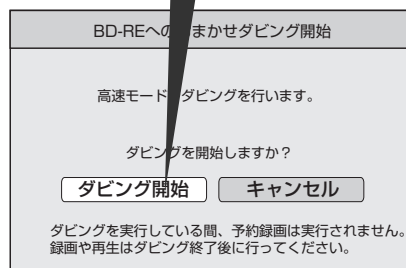
☞同じ番組を毎週録画したいときは「毎週予約する」を選ぶ

消す 消去する

消去ナビを使うとかんたんに番組を消すことができます。

不要な番組を消去したい！

詳しい操作方法は➜90ページ

4 ダビングしたい番組を選ぶ

5 「ダビング開始」を選ぶ

ダビングを開始します

本機の特長

ブルーレイディーガだからできる

ハイビジョン画質のままBDに残せる

➜33、62ページ

デジタル放送の高画質・高音質をHDDに録画、さらにブルーレイディスク（BD）にそのままダビングして残せます。

大容量50GB（片面2層）ディスクで長時間記録できるよ!

BDビデオが再生できる

➜46ページ

高画質・高音質でインタラクティブな操作ができるBDビデオを再生できます。

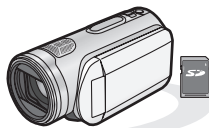
ポップアップメニューも操作できる！

ハイビジョン画質のまま他機と連携

デジタルハイビジョンビデオカメラと連携する

➜68ページ

SDカードに記録されたハイビジョン動画（AVCHD）をBD-REにダビングしたり、DVDに記録されたハイビジョン動画（AVCHD）を見たりできます。

- SDカードから直接再生することはできません。

i.LINK (TS) 対応機器と連携する

➜69、70ページ

i.LINK（TS）対応の機器と接続すると、ハイビジョン画質のままダビングができます。当社製HDD内蔵デジタルセットトップボックスと接続すると、CATVからハイビジョン画質のまま本機に録画・ダビングできます。

充実した録画機能

どっちも録り

➜32ページ

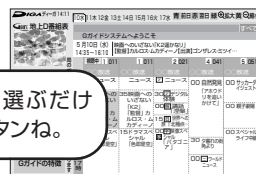
デジタル放送の番組を2番組同時に録画できます。

デジタル放送とアナログ放送の番組を2番組同時に録画することもできます。

見たい番組が重なっても両方録れる!

番組表から録画予約する

➜40ページ

番組表から、録画したい番組を選んで予約ができます。

その他の多彩な機能

デジカメで撮った写真を見る

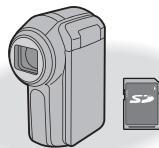
➜74ページ

デジタルカメラなどで撮影した写真をテレビで見たり、HDD、BD-REやDVD-RAMに残すことができます。

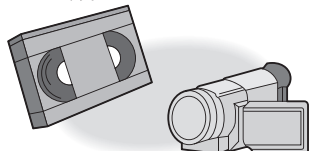
SDカードのMPEG2動画を見る

➜66ページ

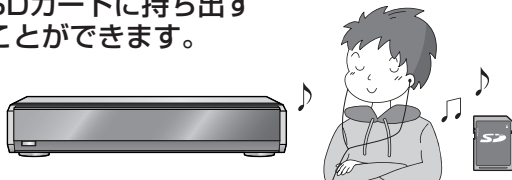
SDビデオカメラなどで撮影したMPEG2動画を見るには、まずHDDなどにダビングしてください。

- SDカードから直接再生することはできません。

ビデオやビデオカメラの映像をダビングする

➜72ページ

ビデオやビデオカメラで撮った思い出の映像をBDやDVDに残すことができます。

好きな音楽を録りためる

➜80ページ

音楽CDをHDDに録りためたり、SDカードに持ち出すことができます。

携帯電話やパソコンから録画予約する

➜準備編45ページ
➜96ページ

携帯電話やパソコンから、録画予約などの操作を行うことができます。

予約し忘れても安心ね!

かんたん・安心機能

見たい番組もすぐ見つかる

➜47ページ

再生ナビ画面なら、見たい番組を探すのに便利です。

ビデオテープのように早送りや巻戻しをして番組を探す必要はないのね。

好きな番組だけをBDやDVDへダビングする

➜62ページ

おまかせダビングならダビングしたい番組を選ぶだけ!

番組を選ぶだけでHDDの番組をBDやDVDにダビングできます。

HDMIケーブルでVIERAとつなぐと…

➜22ページ

ビエラのリモコンで、本機の操作を行うこともできます。

- VIERA Link(ビエラ リンク)に対応した機器と接続してください。

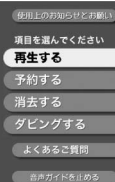
使いかたに迷ったときは…

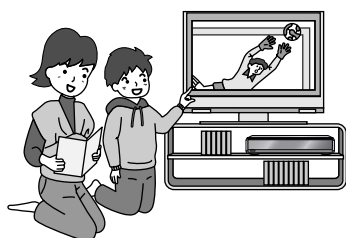
➜20ページ

テレビ画面で本機の操作ガイドを見ることができます。

操作ガイド
使用上のお知らせとお願い
項目を選んでください
再生する
予約する
消去する
ダビングする
よくあるご質問
音声ガイドを止める

もくじ

音声ガイドについて
音声ガイドは音声で操作を案内する機能です。
音声ガイドは本書中の左記マークのある箇所で働きます。

もくじに が付いている項目は音声ガイドが働きます。

まず お知らせとご確認

大事なお知らせ

さあ 使ってみよう

番組

視聴

録る

写真

音楽

その他

便利機能

もし 困ったとき

必要なとき

「安全上のご注意」を必ずお読みください。
(➜130、131ページ)

確認

ご自分で設置される方は…
別冊「準備編」をご覧になり、必要な設定を行ってください。

見る

編集

残す

連携する

本書内の表現について

●本書内で参照していただくページを(➜○○)、別冊の取扱説明書 準備編で参照していただくページを(➜準備編○○)で示しています。

使えるディスク・カードについて

使用するディスクによって、さまざまな特徴があります。目的に合わせてディスクをご使用ください。

デジタル放送を記録できるディスクは？

に記録できます。

BD-REには、ダビングのほかに予約録画することができます。(➜40)
その他のディスクは、ＨＤＤからのダビング時のみ使用できます。

内蔵ＨＤＤ、BD以外はハイビジョン画質のまま記録することはできません。

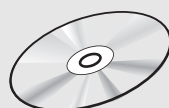
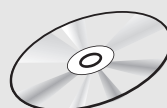
記録するには…

ディスクに記録する前に、フォーマットが必要です。（➜93）
- DVD-R、DVD-R DL、DVD-RWの場合は、VR方式でフォーマットしてください。（➜右ページ）

何度でも**繰り返し記録**できるディスクは？

BD-RE (Ver. 2.1)　DVD-RAM　DVD-RW　が繰り返し記録できます。

ディスクの残量が少なくなった場合は…　不要な番組を消去してください。(➜90)

記録した番組の入ったディスクを**他の機器で再生**したい場合は？

DVD-R（ビデオ方式）　DVD-RW（ビデオ方式）　に記録することをおすすめします。

これらのディスクに記録したあと

ファイナライズを行うと… 市販のDVDビデオと同じようなディスクができあがります。

DVDプレーヤーなどの対応機器で再生することができるようになります。

- ファイナライズを行っていない場合や、その他のディスクの場合は、その機器がそれぞれのディスク（記録方式）の再生に対応している必要があります。

ファイナライズとは

記録したディスクを他のDVD機器でも再生できるように、再生専用ディスクに処理することです。
記録や編集はできなくなります。（**操作方法は➜94**）

フォーマットとは

記録前や他機器で使用したディスクを本機で記録できるように処理することです。初期化ともいいます。（**操作方法は➜93**）

デジタル放送をハイビジョンで記録したい場合はBDへ

BD-RE (Ver. 2.1) **BD-R** に記録できます。

●デジタル放送のハイビジョンの番組を、そのままの画質や音声で記録できます。

DVDの場合は…

デジタル放送を記録したい場合はこちら　　　他のDVD機器でも再生したい場合はこちら

VR方式 (DVDビデオレコーディング規格) テレビ放送などを記録・編集するために作られた記録方式です		**ビデオ方式** (DVDビデオ規格) 市販されているDVDビデオと同じ記録方式です
●デジタル放送などの「1回だけ録画可能」の番組を記録できます。 ●番組の不要な部分を消すなどの編集ができます。	特長	●本機で記録したディスクをファイナライズすると、DVDプレーヤーなどの対応機器で再生できるようになります。
●他のDVD機器で再生するには、そのディスクのVR方式の再生に対応している必要があります。	制限事項	●デジタル放送などの「1回だけ録画可能」の番組を記録することはできません。 ●番組の不要な部分を消すなどの編集はできません。
DVD-RAM **DVD-R** **DVD-R DL** **DVD-RW** (CPRM対応ディスクのみ) に、この方式で記録できます。	対応ディスク	**DVD-R** **DVD-R DL** **DVD-RW** に、この方式で記録できます。

DVD-R **DVD-R DL** **DVD-RW**

両方の記録方式で記録できるディスクは、どうすれば記録方式を分けることができるの?

DVD-R **DVD-R DL** の場合

本機では、フォーマットするとVR方式で、フォーマットしないとビデオ方式で記録します。

いったん記録またはフォーマットすると、あとから記録方式を変更することはできません。

VR方式で記録します ← **フォーマットすると** ← 未使用のDVD-R DVD-R DL → **フォーマットしないで記録すると** → **ビデオ方式**で記録します

フォーマット方法については(➔93)

DVD-RW の場合

本機ではVR方式で記録するか、ビデオ方式で記録するかをフォーマットのときに選びます。

いったん記録またはフォーマットしても、あとから記録方式を変更することができます。
(ただし記録された内容はすべて消去されます。)

VR方式で記録します ← **フォーマット時にVR方式を選ぶと** ← DVD-RW → **フォーマット時にビデオ方式を選ぶと** → **ビデオ方式**で記録します

フォーマット方法については(➔93)

使えるディスク・カードについて（つづき）

記録・再生ができるディスク

ディスクの種類	ロゴ	記録方式	本書での表示	本機でできること		
				フォーマット（初期化）が必要か？	記録できるもの	「1回だけ録画可能」のデジタル放送を記録
内蔵HDD（ハードディスク）	―	―	HDD	―	ビデオ（通常の録画番組） 写真 音楽	録画モード DR ○ 録画モード XP~EP、FR ○
BD-RE（Ver.2.1（バージョン））25GB/50GB	Blu-ray Disc	―	BD-RE(2.1)	必要	ビデオ（通常の録画番組） 写真	録画モード DR ○ 録画モード XP~EP、FR ○
BD-R 25GB/50GB	Blu-ray Disc	―	BD-R	必要	ビデオ（通常の録画番組）	録画モード DR ○ 録画モード XP~EP、FR ○
DVD-RAM	DVD RAM RAM4.7	VR方式	RAM	必要 ※1	ビデオ（通常の録画番組） 写真	○ CPRM対応ディスクのみ
DVD-RW	DVD RW	VR方式	-RW(VR)	必要	ビデオ（通常の録画番組）	○ CPRM対応ディスクのみ
		ビデオ方式	-RW(V) ファイナライズ前 DVD-V ファイナライズ後	必要	ビデオ（通常の録画番組）	×
DVD-R	DVD R R4.7	VR方式	-R(VR)	必要	ビデオ（通常の録画番組）	○ CPRM対応ディスクのみ
		ビデオ方式	-R(V) ファイナライズ前 DVD-V ファイナライズ後	不要	ビデオ（通常の録画番組）	×
DVD-R DL（片面2層）	DVD R R DL	VR方式	-R DL(VR)	必要	ビデオ（通常の録画番組）	○ CPRM対応ディスクのみ
		ビデオ方式	-R DL(V) ファイナライズ前 DVD-V ファイナライズ後	不要	ビデオ（通常の録画番組）	×

- ディスクの対応バージョンや速度については128ページ「仕様」をご覧ください。
- ディスクに記録できる時間は33ページ「録画の画質と時間について（録画モード）」をご覧ください。

- ディスクによっては、記録できない、記録時間が短くなる、記録状態によって再生できないことなどが起こります。当社製ディスクの使用をお勧めします。ディスクや関連機器の互換性などの情報は、当社ホームページをご覧ください。（ http://panasonic.jp/support/bd/）

※1 市販のディスクには録画用にフォーマット済みのものがあります。その場合はフォーマットの必要はありません。
※2 BD-RE(2.1) BD-R :当社製BD/DVDレコーダー（DMR-E700BD）や2006年春以前に発売された他社製のBDレコーダーでは使用できません。
BD-R :他の機器でフォーマットしたBD-Rは、本機では記録できない場合があります。
RAM :当社製DVDレコーダーやDVD-RAM対応のDVDプレーヤーでは再生できます。（2006 年 10 月現在）
-R(VR) :2005年7月以降に発売された当社製DVDレコーダーでは再生できます。（2006 年 10 月現在）
※3 **本機では BD-RE(2.1) 以外のディスクに直接録画できません。**
一度HDDに録画してからダビングして記録してください。

		特徴		互換性※2
ハイビジョンの画質や音声をそのまま記録	二重放送の主/副音声を両方記録	繰り返し記録	記録できる方法は？	他のBD/DVD機器で再生
○	○	○	録画 予約録画 ダビング	ー
×	○			
○	○	○	予約録画 ダビング	BD-RE対応機器でのみ可能 （ファイナライズは不要です）
×	○			
○	○	×	ダビングのみ※3	BD-R対応機器でのみ可能 （ファイナライズが必要な場合があります）
×	○			
×	○	○	ダビングのみ※3	DVD-RAM対応機器でのみ可能 （ファイナライズは不要です）
×	○	○	ダビングのみ※3	DVD-RW（VR方式）対応機器でのみ可能 （ファイナライズが必要な場合があります）
×	×	○	ダビングのみ※3	ファイナライズが必要
×	○	×	ダビングのみ※3	DVD-R（VR方式）対応機器でのみ可能 （ファイナライズが必要な場合があります）
×	×	×	ダビングのみ※3	ファイナライズが必要
×	○	×	ダビングのみ※3	DVD-R DL（VR方式）対応機器でのみ可能 （ファイナライズが必要な場合があります）
×	×	×	ダビングのみ※3	ファイナライズ後にDVD-R DL （ビデオ方式） 対応機器でのみ可能

詳しくは33ページ「録画の画質と時間について（録画モード）」をご覧ください。

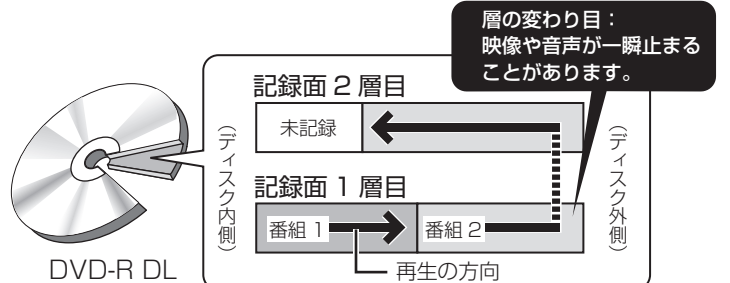
詳しくは以下のページをご覧ください。
34ページ「アナログ放送や外部入力/DV入力からの録画にかかる制限」
35ページ「音声多重放送の録画について」

繰り返し記録ができないディスクでは、番組を消去してもディスク残量は増えません。詳しくは90ページ「消去後のディスク・SDカードの残量について」をご覧ください。

8cmディスクについて

本機ではDVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RWの8cmディスクに記録、編集やフォーマットはできません。再生やHDDへのダビングのみ可能です。

DVD-R DL（片面2層）ディスクを再生するとき

DVD-R DL（片面2層）ディスクは、右図のように、記録面が片面に2層あります。1層目に収まりきらなかった番組は、引き続き2層目に記録され、2つの層にまたがって記録されます。（➜右図「番組2」）このような番組を再生する場合、層の切り換えは本機が自動的に行いますので、通常の番組と同じく全編を通して再生できますが、層の変わり目で、映像や音声が一瞬止まることがあります。

使えるディスク・カードについて（つづき）

再生のみできるディスク

ディスクの種類 本書での表示	ロゴ	特 徴
BDビデオ※1 BD-V		映画や音楽など、ハイビジョン画質・最大7.1ch音声に対応する市販ソフト ●本機では右記のようにリージョンコードが「A」と表示されたディスクを再生できます。 例） Region A
BD-RE (Ver.1.0) BD-RE(1.0) 23GB/25GB/50GB		●当社製BD/DVDレコーダー（DMR-E700BD）や2006年春以前に発売された他社製BDレコーダーで録画・編集されたBD-RE※2 ●カートリッジ付きのBD-RE
DVDビデオ DVD-V	DVD VIDEO	映画や音楽など、高画質の市販ソフト ●本機では右記のマーク（リージョン番号）が表示されたディスクを再生できます。 「2」（または「2」を含むもの）、「ALL」が表示されたもの 例） ●番号は国により違います。
CD CD		●音楽や音声が記録された市販ソフト（CD-DA形式で記録した CD-R やCD-RW を含む※2） ●写真（JPEG）が記録されたCD-RやCD-RW※2
+RW DVD-V	－	●他のDVDレコーダーで録画された+RW※2 ●録画した機器でファイナライズ（➜123）を行ったディスクのみ再生できます。
+R DVD-V	－	●他のDVDレコーダーで録画された+R※2 ●録画した機器でファイナライズ（➜123）を行ったディスクのみ再生できます。
+R DL（片面2層） DVD-V	－	●他のDVDレコーダーで録画された+R DL（片面2層）※2 ●録画した機器でファイナライズ（➜123）を行ったディスクのみ再生できます。

※1 ●Dolby TrueHDで記録された音声は、Dolby Digitalの音声として出力されます。
●DTS-HDで記録された音声は、DTSの音声として出力されます。
●BD-Jアプリケーション（➜124）が実行されている場合、本機の操作が遅くなることがあります。故障ではありません。
●2枚組の BD-V を再生している場合、1枚目の再生が終わると、再生画面が表示され続けることがあります。
●本書では、当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影したハイビジョン動画（AVCHD）が記録されたDVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW（➜68）を含みます。
※2 記録状態によって再生できない場合があります。
●ソフト制作者の意図により、本書の記載どおりに動作しないことがあります。詳しくは、ディスクのジャケットなどをご覧ください。
●CD-DA規格に準拠していないCD（コピーコントロールCDなど）は、動作および音質の保証はできません。

本機で使えないディスク

●2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM（12 cm）
●3.95 GB/4.7 GB DVD-R for Authoring
●本機以外の機器で記録し、ファイナライズ（➜123）されていないDVD-R（DVDビデオ方式）、DVD-R DL（DVDビデオ方式）、DVD-RW（DVDビデオ方式）
●PAL方式で記録されたディスク
●リージョンコード「A」以外のBDビデオ
●リージョン番号「2」「ALL」以外のDVDビデオ
●DVDオーディオ
●ビデオCD
●HD DVD
●DVD-ROM ●+R（8 cm） ●CD-ROM
●CDV ●CD-G ●Photo-CD ●CVD
●SVCD ●SACD ●MV-Disc ●PD など

本機では DVD オーディオやビデオ CD の再生はできません。CD-R/CD-RW に入った MP3 の再生もできません。

○○お知らせ○○

● BD-RE(1.0) は、本機では記録・編集できません。（再生のみできます）
記録・編集をする場合は、 BD-RE(2.1) をお使いください。

本機で使えるカード

カードの種類 本書での表示	特　徴
SDメモリーカード **SDHCメモリーカード** **miniSDカード**※ **microSDカード**※ SD	●デジタルカメラなどで撮影した写真の再生（➜74）やダビング（➜78）ができます。 ●当社製SDビデオカメラなどで撮影したMPEG2動画をHDDやDVD-RAM、DVD-R（VR方式）、DVD-R DL（VR方式）、DVD-RW（VR方式）にダビングできます。（➜66） ●当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影したハイビジョン動画（AVCHD）をBD-REにダビングできます。（➜68） ●MPEG2動画やハイビジョン動画（AVCHD）をSDカードから直接再生することはできません。 ●HDDにある音楽データを転送してSDオーディオプレーヤーなどで再生できます。（➜83）

■カードを廃棄 /譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、カード内のデータは完全には消去されません。
廃棄/譲渡の際は、カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。
カード内のデータはお客様の責任において管理してください。

使用可能な SD カードについて

本機では以下の SD カードが使用できます。
－SD メモリーカード（8 MB ～ 2 GB）
－SDHC メモリーカード（4 GB）
－miniSD カード※
－microSD カード※
本書では上記カードのことを「SD カード」と記載しています。

- ●4GB以上のメモリーカードはSDHCメモリーカードのみ使用できます。
- ●SDHCロゴのない4GB（以上）のメモリーカードは、SD規格に準拠していません。
- ●使用可能領域は表示容量より少なくなります。
- ●**最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。**
  http://panasonic.jp/support/bd/
- ●SD カードを他機でフォーマットすると、記録に時間がかかるようになる場合があります。また、パソコンでフォーマットすると本機では使用できない場合があります。このようなときは本機でフォーマットしてください。（➜93）
- ●本機は SD 規格に準拠したFAT12、FAT16 形式でフォーマットされた SD メモリーカード、および FAT32 形式でフォーマットされた SDHC メモリーカードに対応しています。
- ●本機で記録したSDHCメモリーカードは、SDHCメモリーカードに対応した機器でのみ使用できます。SDメモリーカードのみに対応した機器では使用できません。

※ miniSDカード、microSDカードは、必ずそれぞれに専用のアダプターを装着してご使用ください。

本機で再生できる音楽や写真（JPEG）について

音楽	再生可能 ディスク・カード	HDD CD　CD-DA 形式 SD　SD-Audio 規格（AAC のみ）
写真 JPEG※1	再生可能 ディスク・カード	HDD　BD-RE(2.1)　RAM　CD SD
	ファイル形式	JPEG ●ファイル名の拡張子に「jpg」、「JPG」と書かれたファイル（半角英数字のみ）
	画素数	34 × 34 ～ 5120 × 3840 （サブサンプリングは、4：2：2 または4：2：0）
	フォルダ数※2	CD　ディスク上にルートを含む最大99 フォルダ HDD　BD-RE(2.1)　RAM　SD 上位フォルダを含む最大 300 フォルダ
	ファイル数※2	CD　ディスク上の最大 999 ファイル HDD　BD-RE(2.1)　最大9999ファイル RAM　SD　最大 3000 ファイル
	Motion JPEG	対応していません

※ 1　表示に時間がかかることがあります。
※ 2　最大フォルダ数や最大ファイル数を超えると、一部のフォルダやファイルが表示されなくなる場合があります。

CD

- ●ISO9660 level1 と level2（拡張フォーマットは除く）、Joliet のフォーマットが使用できます。
- ●マルチセッションに対応していますが、セッション数が多いとディスクの読み込みや再生開始に時間がかかることがあります。
- ●ファイル数やフォルダ数が多い場合、動作に時間がかかったり、対応できないことがあります。
- ●表示可能な漢字コードは、JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準のみです。それ以外の漢字コードは正しく表示されません。
- ●本機画面とパソコン画面では表示が異なることがあります。
- ●ディスクの作りかた（書き込みソフト）によっては、再生順が変わることがあります。
- ●パケットライト方式には対応していません。
- ●記録状態によっては再生できないものがあります。

HDD　BD-RE(2.1)　RAM　SD

- ●DCF 準拠（デジタルカメラなどで記録したもの）したフォーマットが使用できます。
  DCF:Design rule for Camera File system［電子情報技術産業協会(JEITA) にて制定された統一規格］

BD-RE(2.1)　RAM　CD　SD

- ●写真（JPEG）のフォルダ構成については（➜123）

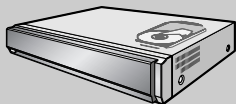
大事なお知らせ

HDD の取り扱い

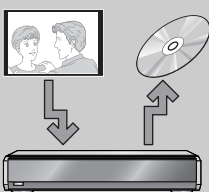
ハードディスク

HDD は記録密度が高く、長時間記録や高速頭出しができる反面、壊れやすい要因を多分に含んだ特殊な部品です。
取り扱いにお気を付けください。

HDDは振動・衝撃やほこりに弱い精密機器です

設置環境や取り扱いにより、部分的な破損や、最悪の場合、録画や再生ができなくなる場合もあります。特に動作中は振動や衝撃を与えたり、電源プラグを抜いたりしないでください。また、停電などにより、録画・再生中の内容が損なわれる可能性があります。

HDDは一時的な保管場所です

HDD は、録画した内容の恒久的な保管場所ではありません。編集やBD、DVD ディスクにダビングするまでの一時的な保管場所としてお使いください。※

※ハイビジョン画質で録画したデジタル放送の番組は、BDにそのままの画質や音質でダビングできます。

HDDに異常を感じた場合はすぐディスクに保存（バックアップ）を…

back up!

HDD内に不具合箇所があると、録画時や再生時、ダビング時に継続した異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、HDD全体が使えなくなってしまう恐れがあります。
このような現象が確認された場合は、すみやかにBDやDVDに保存し、修理をご依頼ください。

HDDが故障した場合は、記録内容（データ）の修復はできません。

本機から HDD の動作音が聞こえます。故障かな？

故障ではありません。

本機では、HDDの品質維持のため、自動的に内部点検を行っています。以下の状態のときに、本機から音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

- ●HDDが休止状態になるとき
- ●電源切/入時
- ●番組表（Gガイド）データを受信中
- ●昼の12時ごろに時刻の誤差を自動修正中
- ●予約録画終了時または午前4時ごろ（1週間に一度程度）に本機を自動的に再起動しているとき
- ●音楽データを AAC に変換しているとき

HDDは自動的に休止状態になります。

通電中、HDDは高速で回転しています。省電力のため、ディスクトレイにディスクが入っていない状態で約30分以上操作しないとHDDの回転を止め、休止します。HDDを休止状態にするために、お使いにならないときはディスクを取り出しておくことをおすすめします。

●起動に時間がかかるため、休止状態からの録画や再生はすぐに始まりません。[初期設定「クイックスタート」(➜101)が「入」になっていても同様です]

重要なお願い

設置するとき

- ●背面の内部冷却用ファンや側面の通風孔をふさがない
- ●水平で、振動や衝撃が起こらない場所に設置する
- ●ビデオなどの熱源となるものの上に置かない
- ●温度変化が起こりやすい場所に設置しない
- ●「つゆつき」が発生しにくい場所に設置する

「つゆつき」について(➜15ページ)

たばこの煙など

たばこの煙、くん煙殺虫剤（煙をたくタイプの殺虫剤）などが機器内部に入ると故障の原因になります。

移動するとき

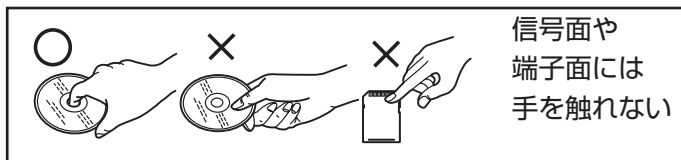
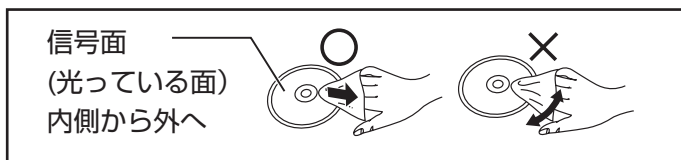
①電源を切る（本体表示窓から“BYE”が消えるまで待つ）
②電源プラグをコンセントから抜く
③HDDの回転が完全に止まってから（2分程度待ってから）、振動や衝撃を与えないように動かす（電源を切っても、HDDはしばらくの間は惰性で回転しています）

本機の使用中、何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

ディスク・カードの取り扱い

使用上のお願い

■持ちかた

信号面や
端子面には
手を触れない

■汚れたときや、つゆがついたときは
水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

■カートリッジ付 BD-RE や DVD-RAM の取り扱いについて
故障の原因になりますのでシャッターを無理に開けないでください。

取り扱い上のお願い

ディスク、カードの破損や、機器の故障の原因になりますので、次のことを必ずお守りください。

●ディスクにシールやラベルをはらない。(ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります。)
●ディスクの印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。
ボールペンなど先のとがった硬いものは使わない。
●レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない。
●傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
●カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。
●ディスクを落としたり、重ねたり、物をのせたり、衝撃を与えたりしない。
●以下のディスクを使わない。
・シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
・そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
・ハート型など、特殊な形のディスク

●次のような場所に置かない。
・直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど温度が高いところ
・湿気やほこりの多いところ
・温度差の激しいところ(結露が発生します)
・静電気や電磁波が発生するところ
●使用後はケースまたはカートリッジに収める。

使用上のお願い

お手入れについて

本体が汚れているとき
柔らかい布でふいてください。
●アルコールやシンナーは使わないでください。
●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

録画/再生用レンズが汚れたとき
長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な録画・再生ができなくなることがあります。
使用環境や使用回数にもよりますが、約1年に一度、レンズクリーナー(別売)(➜準備編 51)でほこりなどの除去をお勧めします。使い方は、レンズクリーナーの説明書をお読みください。
●クリーニング中に音がすることがありますが、故障ではありません。

本機を廃棄/譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する個人情報(メールや購入記録、データ放送のポイントなど)が記録されています。
廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、放送設定「個人情報リセット」を実行し、記録された情報を消去してください。(➜100)
●本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。

「つゆつき」について

「つゆつき」とは
●冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。
このような現象を「つゆつき」といいます。

●暖かい状態のHDDが冷たい空気に触れると、HDD内部に「つゆつき」が発生し、ヘッドなどを傷つける可能性があります。
●「つゆつき」が発生しやすい状況
・梅雨の時期
・本機を暖かいところから寒いところへ急に移動させたとき、またはその逆
・寒い部屋を急に暖房で暖めるなど、急激な冷暖房をしたとき
・本機に冷房の風が直接当たっていたとき
・湯気が立ちこめるなど、部屋の湿度が高いとき
●「つゆつき」が起きそうなときは、部屋の湿度になじむまで(約2〜3時間程度)、**電源を切ったまま放置してください。**

音のエチケット
楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

受信できるテレビ放送について

B-CAS カードを挿入しないとデジタル放送は映りません。

放送の種類 本書での表示	特徴	本機で利用できるサービス（用語については ➜123）
地上デジタル 地上デジタル	UHF帯の電波を使って行う放送で、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006 年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。 高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。現在の放送内容は、地上アナログ放送と同じ放送や、それをハイビジョン化したものが中心です。（2006 年 10 月現在） **本機では、ワンセグ放送（携帯端末向けの地上デジタルテレビ放送）は受信できません。**	テレビ番組ガイド（EPG） 字幕放送 双方向サービス
BS デジタル BS デジタル	放送衛星（Broadcasting Satellite）を使って行う放送で、ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。 ●BS 日テレ、BS 朝日、BS-i、BS ジャパン、BS フジなどは無料放送を行っています。 ●WOWOW などの有料放送には、加入申し込みと契約が必要です。 ●本機では、BS アナログ放送はご覧いただけませんが、より多くのチャンネルをご覧いただける BS デジタル放送をお楽しみいただけます。	テレビ番組ガイド（EPG） 字幕放送 双方向サービス
110 度 CS デジタル CS デジタル	通信衛星（Communications Satellite）を使って行う放送で、ニュース、映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの番組は有料です。 ●110度CSデジタル放送の放送事業者「スカパー！ 110」への加入申し込みと契約が必要です。 「スカパー！ 110」には CS1 と CS2 の 2 つの放送サービスがあります。 **お問い合わせ先** 「スカパー！ 110」カスタマーセンター **0570 - 012 - 110**（ナビダイヤル）（携帯電話・PHS の方は**045 - 339 - 0002**） 受付時間　10:00 ～ 20:00（年中無休） 「スカパー!110」公式ホームページ　http://www.skyperfectv110.jp/	テレビ番組ガイド（EPG） 字幕放送 双方向サービス
地上アナログ 地上アナログ	従来からの VHF/UHF 放送のことです。（2006 年10 月現在） 地上アナログ放送は、2011 年 7 月に終了することが国の方針として決定されています。地上アナログ放送終了後は、地上アナログ放送に関する機能は、お使いいただけません。 本機では、地上アナログ放送の電波のすきまで送られてくる文字放送（字幕）は、ご覧いただけません。	テレビ番組ガイド（EPG） ●BSデジタル放送受信の環境が必要です。 （➜準備編 32）

BS アナログ放送の WOWOW は BS デジタル放送のチャンネルの一部として、「スカパー！」は「スカパー！110」として110 度 CS デジタル放送で、お楽しみいただけます。すでにご契約されていた場合は、再契約が必要になり、専用デコーダーなどは不要になります。（放送内容は異なりますので、再契約をされる場合は内容をご確認ください）

デジタル放送には、3種類の放送があります。

■テレビ放送

従来からのテレビ放送です。

■ラジオ放送　本機では視聴のみできます

静止画像など

音楽など音声を主とした放送です。

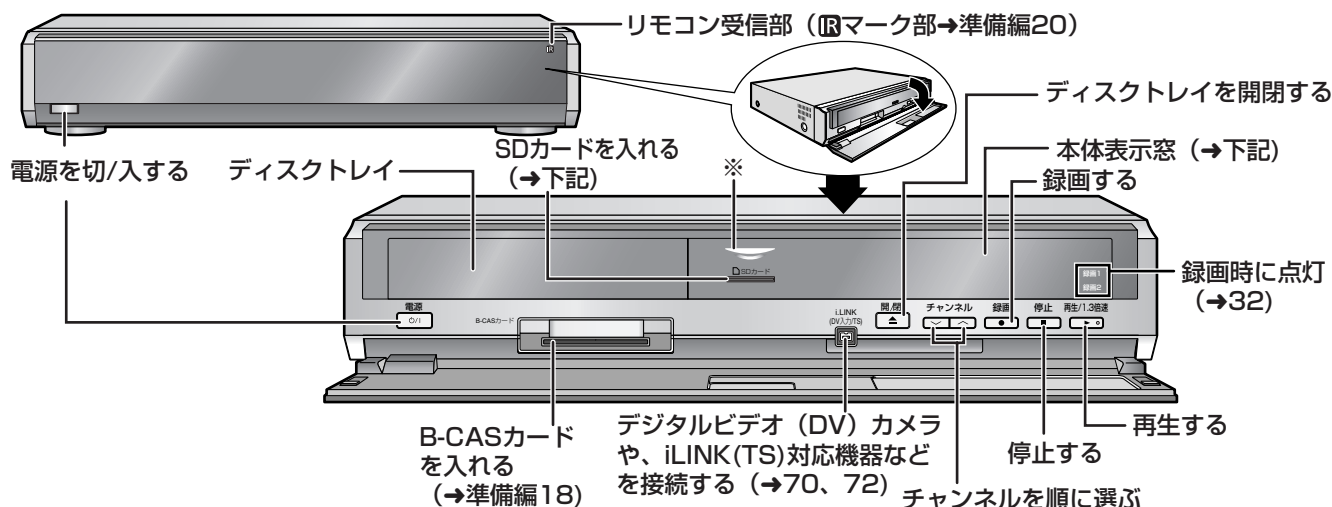
■データ放送　本機では視聴のみできます

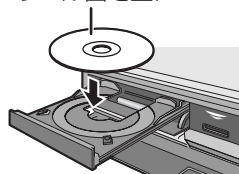
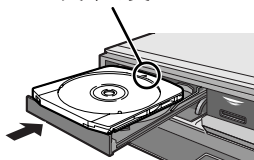
テレビ放送が表示されることもあります

お住まいの地域の生活情報やクイズなどの放送です。（天気予報やニュースなど）

ラジオ放送は、BS デジタルの一部でのみ、実施されています。（2006 年 10 月現在）

各部のはたらき

本体（本書ではリモコンでの操作を中心に説明しています）

※初期設定「SDカードLED制御」（➜104）で点灯・消灯の設定ができます。

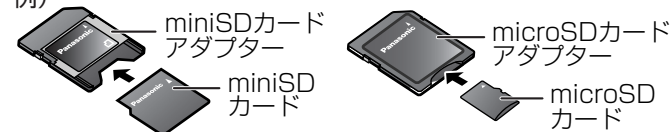
ディスクの入れかた

本体の［開 / 閉 ▲］を押してトレイを開き、ディスクを入れる
（もう一度を押すと、トレイが閉まります）

- 8 cm のDVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RWの場合、カートリッジからディスクを取り出し、みぞに合わせてディスクをトレイにのせてください。
- 両面ディスクの場合、記録または再生したい側のラベル面を上にして入れてください。両面にまたがって記録または再生することはできません。もう一方の面を使用するときは、いったんディスクを取り出し、裏返してください。

SDカードの入れかた/出しかた

本体表示窓右側の“SD”(➜下記）点滅中は、読み込み・書き込みを行っています。このとき、電源を切ったり、カードを取り出したりすると、本体が正常に動作しなくなったり、カードの内容が破壊されたりすることがあります。

- miniSD カードや microSD カードは、必ず専用のアダプターを装着し、アダプターごと出し入れしてください。

例）

入れ方　カードを奥まで
まっすぐ差し込む

出し方　カードの中央部を
押してロックを外し、
まっすぐ引き出す

ラベル面を
上に

角がカットされた側を右に

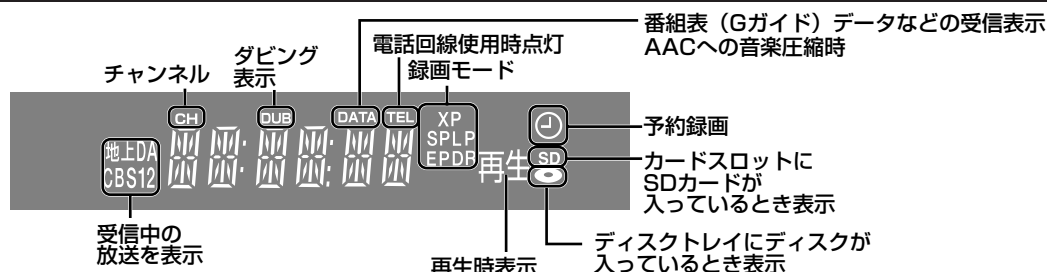
自動ドライブ選択機能

BD-RE(2.1)　BD-RE(1.0)　BD-R　RAM　-R(VR)　-R(V)　-R DL(VR)　-R DL(V)　-RW(VR)　-RW(V)　SD

停止中、ディスクを入れる、またはSDカードをスロットに入れると、「ディスクの操作」または「SDカードの操作」画面が表示されます。
そのとき項目を選び、［決定］を押すとBDまたはSDドライブに切り換わります。（詳しくは➜109）
ディスクを取り出し、ディスクトレイを閉める、またはSDカードを取り出すと、自動的にHDDドライブが選ばれます。

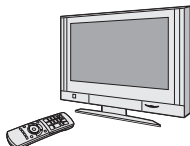
BD-V　DVD-V　CD

停止中またはHDD録画中、ディスクを入れると自動的にBDドライブに切り換わります。
ディスクを取り出し、ディスクトレイを閉めると自動的にHDDドライブが選ばれます。

本体表示窓

各部のはたらき（つづき）

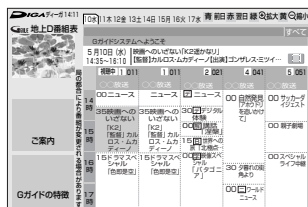
リモコン（本書ではリモコンでの操作を中心に説明しています）

本機のリモコンでテレビの操作をする

テレビの電源の入/切やチャンネルの切り換え、音量の調節、入力切換ができます。

操作ガイドを表示する（➜20）

テレビ画面で本機の基本的な操作のほか、困ったときの解決法を見ることができます。

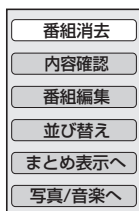
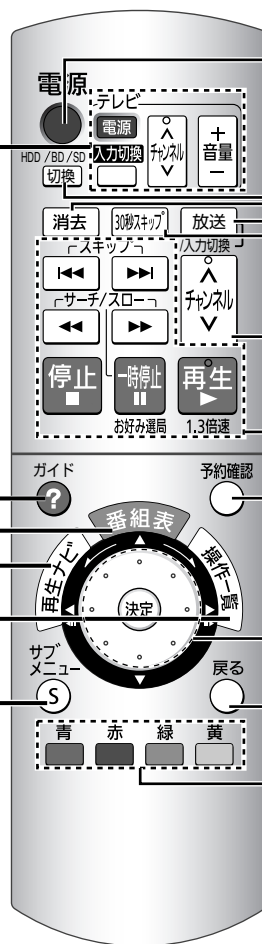
番組表（Gガイド）を表示する（➜28）

番組表から見たい番組や録画予約したい番組を選ぶことができます。

再生ナビ/ディスクメニューを表示する（➜47）

操作一覧を表示する（➜21）

操作一覧画面から本機の各機能の操作を行うことができます。

サブメニューを表示する

現在表示している画面での便利機能を表示します。

が表示されて編集などを行うことができます。

- 本機の電源を切/入する
  節電のため、操作しない状態が続くと自動的に電源が切れます。工場出荷時は6時間に設定されています。
  （➜101「自動電源〔切〕」）
- HDD/BD/SD ドライブを切り換える
- 消去する（➜90）
- 放送/入力を切り換える（➜24）
- 約30秒飛び越す（➜51）
- チャンネルを順に選ぶ
- 録画や再生時の基本操作
- 予約一覧画面を表示する（➜44）
- マルチジョグ（➜19ページ）
- 前の画面に戻る
- 画面上の指示に応じて使用

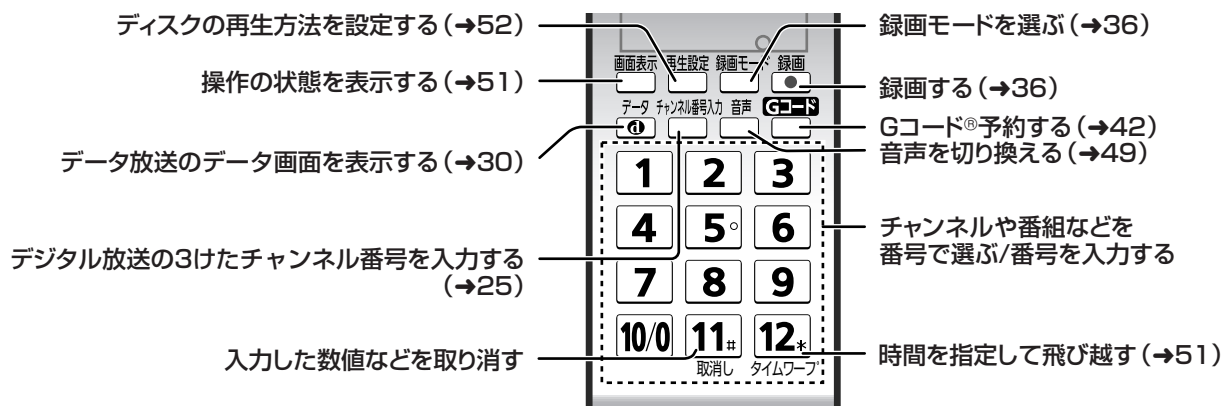
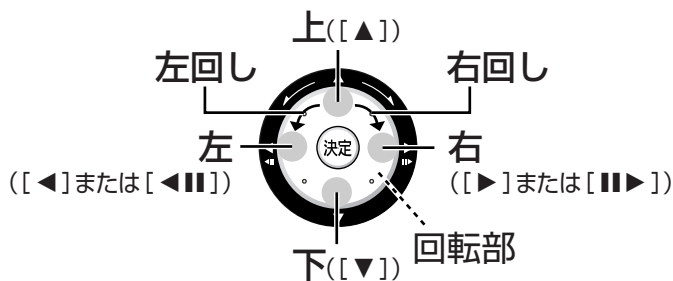
市販のBDビデオで使用するボタンについて

「リターン」は［戻る］、「トップメニュー」は停止中に［再生ナビ］、「ポップアップメニュー」は再生中に［再生ナビ］で操作します。
（詳しくはディスクの説明書をご覧ください。）

市販のDVDビデオで使用するボタンについて

「リターン」は［戻る］、「トップメニュー」は［再生ナビ］、「メニュー」は［サブ メニュー］で操作します。
（詳しくはディスクの説明書をご覧ください。）

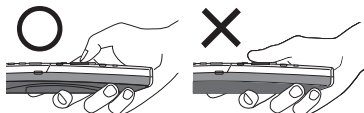
お知らせ

●本書では、ボタン名を［再生▶］などで示し、“ボタン”を省略しています。

マルチジョグのはたらき

●コマ送り / コマ戻し：（一時停止中）左右（[◀II] [II▶]）を押す
●早送り/ 早戻し：（再生中）右（送り）または左（戻し）に回す※1
●スロー再生：（一時停止中）右（送り）または左（戻し）に回す※2
※1 1クリック回すごとに速度が速くなります。反対方向に回すと、再生に戻ります
※2 1クリック回すごとに速度が速くなります。反対方向に回すと、一時停止に戻ります。

お願い

誤操作を避けるために以下のことにお気を付けください。

●マルチジョグを回すときはあまり強く押さないでください。誤操作の原因になります。**初期設定「マルチジョグ」**（➜101）でこの機能を「切」にすることができます。

● 決定 を押すときは周囲の回転部をいっしょに押さないように、指を立てて軽く押してください。（➜下図）

画面上での選択と決定について

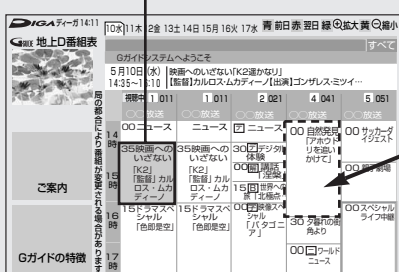
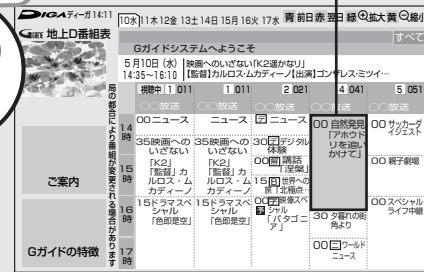
選択方法は

上下左右（[▲] [▼] [◀] [▶]）を押して選ぶ
（左右に回して選ぶこともできます）

【例えば】

今選ばれている番組が黄色になっています。

決定方法は

決定 を押す
選ばれた項目が実行されます。

上下左右（[▲] [▼] [◀] [▶]）を押して、選びたい番組が黄色になるようにします。

決定 を押します

本書内で下記の記載があるときは左記の操作を行ってください。

または

または

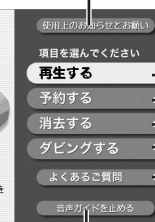
[▲] [▼] [◀] [▶] で「○○○○」を選び、決定 を押す

操作ガイドについて

本機のHDD での基本的な操作のほか、困ったときの解決法をテレビ画面でご覧になれます。録画や再生中に見ることはできません。

1 停止中に ガイド(?) を押す

2 知りたい項目を選び、(決定) を押す

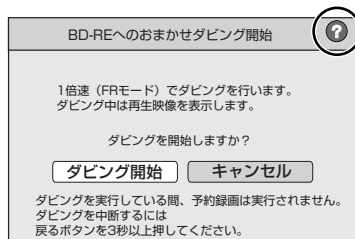
●この操作を繰り返して、知りたい情報を選んでください。

☞**前の画面に戻るには**

戻る を押す

☞**画面を消すには**

ガイド(?) を押す

☞**下記のような (?) マークが付いた画面が表示されたとき**

例）

ガイド(?) を押すと、操作に対する補足説明を表示します。

操作一覧画面について

操作一覧画面から本機の各機能の操作を行うことができます。

上下左右（[▲] [▼] [◀] [▶]）を押す
または
左右に回す

☞**前の画面に戻るには**

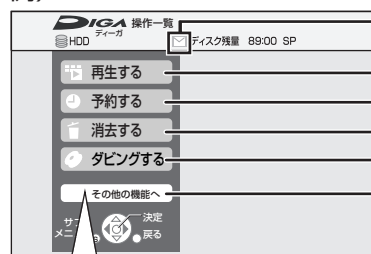
戻る を押す

☞**画面を消すには**

戻る を数回押す

1 停止中に、 を押す

●操作一覧画面が表示されます。
●ディスクによって、選択できる項目は異なります。

例）HDD

が表示されたときは(➔97「放送メール」へ)

(➔47「再生ナビから再生する」)※1
(➔40「番組表(Gガイド)を使って予約録画する」)
(➔90「消去ナビを使って消去する」)
(➔62「おまかせダビング」)
(➔下記の画面が表示されます)

番組表の検索	(➔45「検索機能を使う」)
予約確認	(➔44「予約内容を確認する」)
詳細ダビング	(➔64「詳細ダビング」)
ぴったり録画	(➔38「ディスクの容量にぴったり合うように録画する」)※2
DVおまかせ取込	(➔72「DVおまかせ取込機能を使ってダビングする」)※2
i.LINK(TS)ダビング	(➔70「i.LINK（TS）ダビングをする」)※2
放送設定	(➔98「放送設定を変える」)
初期設定	(➔101「本機の設定を変える」)
メール/情報	(➔97「いろいろな情報を見る」)
HDD管理	(➔92「フォーマット/ディスク名入力/ディスクプロテクト/全番組消去」)※3

※ 1 BD-V のときは「トップメニュー」が表示されます。
DVD-V のときは「トップメニュー」や「メニュー」が表示されます。
CD のときは「メニュー」が表示されます。

※ 2 BD-RE(2.1) BD-RE(1.0) BD-R RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) のときは「プレイリスト」が表示されます。**(➔48)**
SD のときは「写真（JPEG）一括取込」**(➔78)**、「ビデオ（AVCHD）取込」**(➔68)** が表示されます。

※ 3 BDのときは「BD管理」、DVDのときは「DVD管理」、SDカードのときは「カード管理」が表示されます。**(➔92)**

2 操作したい項目を選び、決定 を押す

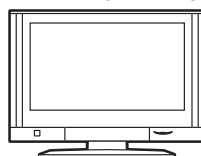
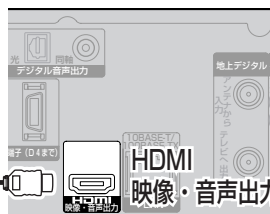
確認

操作ガイドについて／操作一覧画面について

VIERA Linkを使う

VIERA Linkとは
VIERA Link (HDAVI Control™) 機能に対応した当社製テレビ(VIERA)、レコーダー（DIGA)、アンプをHDMI ケーブルで接続することにより、テレビやアンプとの連動操作が可能になる便利な機能です。各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

接続

本機とVIERA Link に対応した当社製テレビ(VIERA) をHDMI ケーブルで接続する（➜準備編10）
●当社製 HDMI ケーブルを推奨します。 HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
品番：RP-CDHG10（1.0 m）、RP-CDHG15（1.5 m）、RP-CDHG20（2.0 m）、RP-CDHG30（3.0 m）など

☞アンプと接続する場合は
（➜準備編13）

設定

①**初期設定「VIERA Link 制御」（➜105）を「入」にする。**（お買い上げ時の設定は「入」です）
②**接続した機器側（テレビなど）で、VIERA Link が働くように設定する**
③**すべての機器の電源を入れ、一度テレビの電源を切/入したあと、テレビの入力を「HDMI入力」に切り換えて、画像が正しく映ることを確認する**（接続や設定を変更した場合にも、この操作をしてください）
●**初期設定**「クイックスタート」（➜101）を「入」にすると、本機の電源「入」を伴う連動操作をすばやく行うことができます。

VIERA Link Q & A

Q（質問）		A（回答）
お使いのテレビやアンプがVIERA Link 対応かわからないときは？		接続した当社製機器にVIERA Link のロゴマーク（**➜下記**）が付いているかをお確かめになるか、それぞれの取扱説明書をご覧ください。 VIERA Link
VIERA Linkが働かなくなったときは?		●本機の**初期設定**「VIERA Link 制御」が「入」になっているか確認してください。(**➜105**) ●接続した機器側のVIERA Link の設定を確認してください。 ●HDMI対応機器の接続を変更したとき、停電やコンセントの抜き差しをしたとき、ダウンロードを実行したときなどにVIERA Link が動作しなくなる場合があります。この場合、以下の操作をしてください。 ①HDMIケーブルで接続したすべての機器の電源を入れた状態で、テレビ（VIERA）の電源を入れ直す ②テレビ（VIERA）の「VIERA Link制御（HDMI機器制御）」の設定を「しない」に変更し、再度「する」に設定する（詳しくはVIERAの取扱説明書をご覧ください） ③VIERAの入力を本機を接続したHDMI入力に切り換えて、本機の画面を表示したあとに、VIERA Linkが動作するか確認する
VIERA側から録画（「見ている番組を録画」など）や録画予約したとき		
	録画の設定はどうなりますか？	●VIERA側からの録画（「見ている番組を録画」など）の場合 ・本機であらかじめ設定された録画モードでHDDに録画します。 ●VIERA側からの録画予約の場合 ・デジタル放送を録画するときは、HDDに録画モード「DR」で録画します。 ・アナログ放送を録画するときは、HDDに録画モード「SP」で録画します。
	録画予約が登録できたか確認するには？	●本機が予約を受け付けたときに、本体表示窓に“ACCEPT”が表示されます。 ●予約内容を確認するには、本機の予約一覧画面で確認してください。
	録画できないときは？	●本機に契約されたB-CASカードが挿入されているか確認してください。

自動的にテレビの電源を入れ、入力を切り換える

（テレビの電源が待機状態のときのみ）

下記ボタンを押すと、テレビが連動し、それぞれの画面が現われます。

本機電源入時	再生 ▶ 1.3倍速	予約確認	番組表	再生ナビ	Gコード	操作一覧	ガイド ?
本機電源切時	再生 ▶ 1.3倍速	予約確認	番組表	再生ナビ	Gコード		

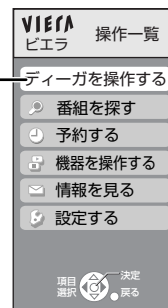
自動的に本機の電源を切る

リモコンを使ってテレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。
（ダビング中、ファイナライズ中、消去中、音楽の録音中や転送中、[録画●]を押して録画中などの操作中は切れません）
●VIERA Link に対応したアンプと HDMI ケーブルで接続している場合は、アンプの電源も切れます。

テレビのリモコンで本機を操作する

テレビの操作はテレビの取扱説明書をご覧ください。

1　テレビのリモコンを使って、ディーガの「操作一覧」を表示させる

表示例）
テレビによって画面は異なります

●本機の電源が「切」のときは、自動的に電源が入ります。

☞**操作一覧画面については**（➜21）

DIGA ディーガ 操作一覧
HDD　ディスク残量 89:00 SP
再生する
予約する
消去する
ダビングする
その他の機能へ
サブメニュー　決定　戻る

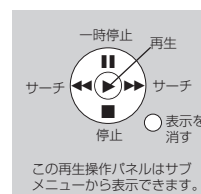
2　テレビのリモコンで操作したい項目を選び、[決定] を押す

☞テレビのリモコンで操作できるボタンは
[▲] [▼] [◀] [▶] [決定] [戻る] [サブ メニュー] と色ボタンで本機の操作ができます。
数字ボタンなどの上記以外のボタンを使って操作するときは、本機のリモコンを使用して操作してください。

再生中の番組などを操作する

テレビのリモコンで早送り・早戻し（サーチ）、停止などの操作ができます。
（再生操作パネル表示中のみ）
① 番組または写真を再生中に、[サブ メニュー] を押す
② 「再生操作パネル」が選ばれている状態で、[決定] を押す
●再生操作パネルが表示されます。
（番組再生時）[▲]:一時停止　[▼]:停止　[◀]:早戻し　[▶]:早送り
[決定]:再生　[戻る]:操作パネルを消す
（写真再生時）[▼]:停止　[◀]:前の写真を見る
[▶]:次の写真を見る　[戻る]:操作パネルを消す

例）番組再生時

一時停止　再生　サーチ　サーチ　停止　表示を消す
この再生操作パネルはサブメニューから表示できます。

☞ 音楽再生時は
音楽を再生している場合は、画面表示に従って操作してください。（再生操作パネルは表示されません）
音楽の再生を止めたいときは、[戻る] を数回押してください。テレビのリモコンにディーガの停止ボタンがある場合は、ディーガに向けて停止ボタンを押しても再生を止めることができます。

その他の機能については接続した機器（テレビなど）の取扱説明書をご覧ください。

☞**VIERA Link を使わない場合は**
初期設定「VIERA Link 制御」（➜105）を「切」にする。

テレビ放送を見る

準備
●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(ビデオ1など)

1 **電源** **を押して、本機の電源を入れる**

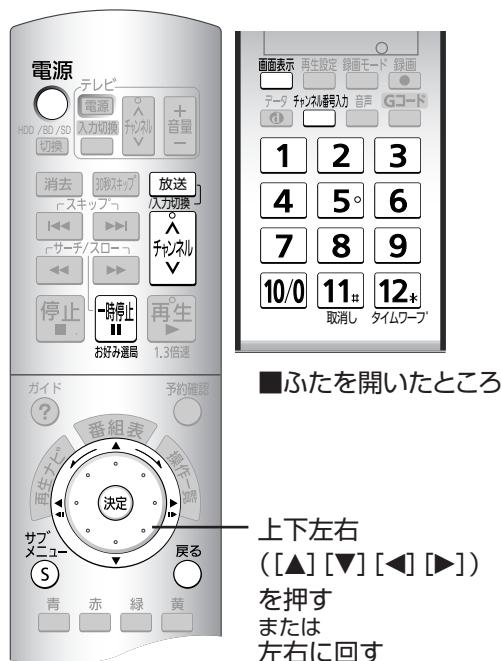
2 **放送/入力切換 を押して、放送を選ぶ**
●押すごとに、放送が切り換わります。([▲] [▼] では選べません)

●表示が消えると、選ばれた放送に切り換わります。

●「かんたん設置設定」の「地上デジタル放送チャンネルの設定」(➜準備編23)を「いいえ」にした場合、「地上D」は選択できません。

☞**録画中に放送/入力やチャンネルを切り換えるには(➜37)**

☞**受信しない放送をとばして切り換えるには**
放送設定「スキップ設定」で「スキップする」を選ぶ。**(➜98)**
●地上デジタル放送は設定できません。

3 **チャンネルを選ぶ**
●右ページの中から、選局方法を選んで行ってください。

〇〇 (お知らせ) 〇〇
(BSデジタル) (CSデジタル)

●雨や雷、雪などの天候のときは、一時的に映像や音声が止まったり、全く受信できなくなることがあります。天候の回復をお待ちください。

☞**前の画面に戻るには**
戻る を押す

☞**暗証番号の入力画面が表示されたら**
(➜100)

☞**番組購入の画面が表示されたら**
(➜30)

本体表示窓でのチャンネル表示について

本体表示窓では、現在選んでいるチャンネルが下記のように表示されます。
例) 地上デジタル放送
011

地上D CH 011

地上デジタル放送について

●**3 けたチャンネル番号**
デジタル技術により、1つの物理チャンネルの中に、複数のチャンネルをのせることができます。例えば、〇〇放送は、物理チャンネルの25ch を使って、「101」～「103」の 3 つの放送を提供します。この「101」、「102」、「103」を 3 けたチャンネル番号と呼びます。このうち、下位1けたが「1」の放送が、その放送局の代表チャンネルと呼ばれます。(この場合「101」)代表チャンネル以外の選局は、[**チャンネル**∧∨] や 3 けた番号入力により、選局できます。**(➜右ページ)**

●**リモコンのチャンネルボタン**
テレビ放送の場合、3けたチャンネル番号の上位 2けた(上記の場合は「10」)は、リモコンの同じ番号のボタンに割り当てられます。(本機は基本的に自動でこの割り当てを行います)
すなわち、この場合であれば [**10/0**] を押すと、3 けたチャンネル番号の「101」(その放送局の代表チャンネル)が選局されるように設定されます。この割り当てはお住まいの地域により異なります。**(➜準備編 56)**

テレビ放送の選局方法

数字ボタンで選局する

地上アナログ　地上デジタル　BS デジタル　CS デジタル

[1] ～ [12]（タイムワープ）（ふた内部）を押してチャンネルを選ぶ

☞リモコンのボタンに割り当てられた放送局（➜125）

☞それぞれのボタンで選べる放送局を変更するには

（➜準備編 46、準備編 48、準備編 50「受信チャンネルを修正する」）

番組表から選局する

地上アナログ　地上デジタル　BS デジタル　CS デジタル

（➜28「番組表（Gガイド）から見る」）

お好み選局表から選局する

地上デジタル　BS デジタル　CS デジタル

テレビ画面に表示される放送局のリストから選局できます。

●録画中は、お好み選局はできません。

1 停止中に、[一時停止 ❚❚ お好み選局] を押す

2 [▲] [▼] [◀] [▶] で放送局を選び、(決定) を押す

●［お好み選局／一時停止 ❚❚］を押すごとに、ページが切り換わります。

☞お好み選局表で選べる放送局を変更するには（➜27）

順送りで選局する

地上アナログ　地上デジタル　BS デジタル　CS デジタル

[チャンネル ∧∨] を押す

☞順送りで選べる放送局を変更するには

地上アナログ（➜準備編46）

地上デジタル　BS デジタル　CS デジタル（➜100 放送設定「選局対象」）

3けたチャンネル番号を入力して選局する

地上デジタル　BS デジタル　CS デジタル

1 [チャンネル番号入力]（ふた内部）を押す

●押すごとに選局対象の放送が切り換わります。CS1 とCS2 は「CS」で選んでください。

2 [1] ～ [10/0] を押して、チャンネルを入力する (例:103)［1］→［10/0］→［3］

●入力画面が表示されている間に入力してください。

☞リモコンのボタンに割り当てられた放送局（➜125）

枝番号の異なる放送を選局するには

地上デジタル

枝番号とは、地上デジタル放送の同じチャンネル番号に割り当てられる放送が複数受信できた場合に3けたチャンネル番号に追加される番号のことです。(例:「011-0」、「011-1」、「011-2」）3けたチャンネル番号を入力して選局する(➜上記)と下記の画面でチェックマークの入った放送局が選局されます。以下の手順で、違う枝番号の放送局を選局することができます。

1 地上デジタル放送を受信中に、[サブメニュー (S)] を押す

2 [▲] [▼] で「デジタル放送メニュー」を選び、(決定) を押す

3 [▲] [▼] で「枝番選局」を選び、(決定) を押す

4 [▲] [▼] で放送局を選び、(決定) を押す

枝番選局 011　枝番切換 選局　CH切換　戻る
011-0 ✓ LOGO ○○○○○○
011-1 LOGO ○○○○○○

☞3 けたチャンネル番号入力時に選択される放送局を変更するには

上記手順4で、[決定] を押す前に［チャンネル番号入力］（ふた内部）を押す

●選んだ放送局にチェックマークが付き、選局時にその放送局が選ばれます。

テレビ放送を見る（つづき）

番組視聴中の便利な機能

上下左右の黒帯を消して拡大する

画面モード切換

上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

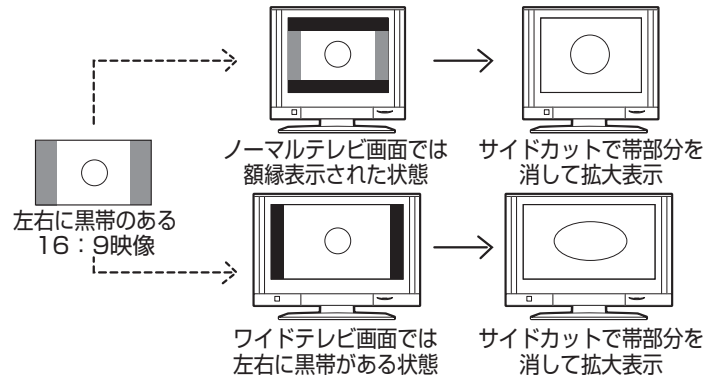
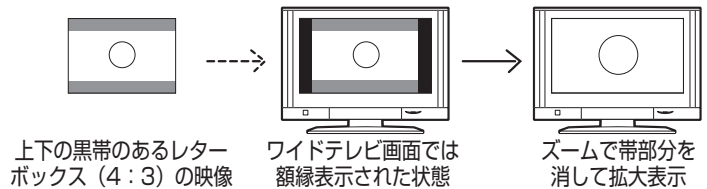
1 [サブメニュー] を押す

VIERA Link 対応のテレビとHDMIケーブルで接続しているときのみ

再生操作パネル
画面モード切換
デジタル放送メニュー
ドライブ切換

2 [▲] [▼] で「画面モード切換」を選び、[決定] を押す

3 [◀] [▶] で画面モードを選ぶ

ノーマル　　：通常の出力になります。
サイドカット：16：9映像の左右の黒帯を消して拡大表示します。黒帯がない映像の場合、左右の映像がカットされますので、お気を付けください。

ズーム：　4：3映像の上下の黒帯を消して拡大表示します。黒帯がない映像の場合、上下の映像がカットされますので、お気をつけください。

お知らせ

- 以下の場合、画面モード切換は「ノーマル」に戻ります。
  - ・他のチャンネルを選局したとき
  - ・番組の再生を始めたとき、または終了したとき
    （再生ナビ画面上で番組の再生を行い、再生を終了したあと、続けて別の番組を再生した場合は「ノーマル」には戻りません。「ノーマル」に戻すには、もう一度上記操作を行い、手順3で「ノーマル」を選んでください。）
  - ・電源を切／入したとき
- BDビデオ、DVDビデオの映像の場合、「サイドカット」は効果がありません。
- 初期設定「TVアスペクト」（➔104）を「4:3」にしている場合、「ズーム」は効きません。

見ている番組の情報を表示する

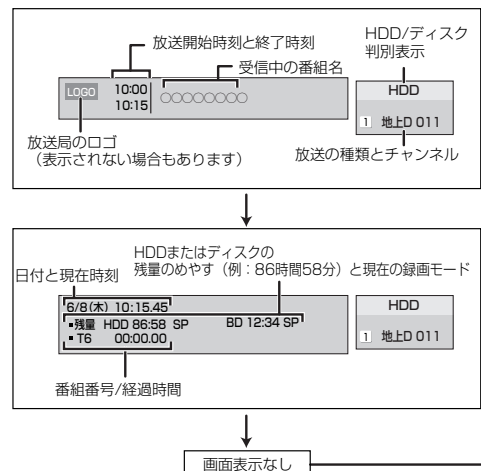
（情報表示）

[画面表示]（ふた内部）を押す

- 押すごとに切り換わります。
- 残量表示は、記録する入力信号によってディスクの使用量にばらつきが生じるため、記録可能なおおよその時間を表示しています。

☞**情報表示を消すには**

［画面表示］（ふた内部）を数回押す

例）地上デジタル放送

音声や音質を切り換える

受信中のテレビ番組の音声を切り換えたり（➔49）、音質効果の設定（➔53）ができます。

(地上デジタル)(BS デジタル)(CS デジタル)

番組視聴中に

1 サブメニュー を押す

2 [▲] [▼] で「デジタル放送メニュー」を選び、決定 を押す

例）デジタル放送メニュー
視聴制限一時解除
データ放送表示オフ
信号切換
アンテナレベル
枝番選局

3 [▲] [▼] で設定項目を選び、決定 を押す（➜右記へ）

●視聴している番組により表示される項目が変わります。

☞**画面を消すには**

戻る を押す

視聴制限一時解除	暗証番号（➜100）を入力して視聴制限を一時解除します。
データ放送表示オフ	データ放送の表示を終了します。
信号切換	デジタル放送の番組で、映像や音声などの信号を複数放送している場合は、以下の操作で切り換えることができます。 信号切換 マルチビュー 主番組 映像 映像1 音声 日本語 二重音声 主 データ データ1 字幕 オン オフ 字幕言語 日本語 英語 [▲] [▼] で設定する項目を選び、[◀] [▶] で設定する マルチビュー： マルチビュー放送の番組の選択 映像： 映像の種類の選択 音声： 音声の種類の選択 二重音声： 二重放送の音声の選択 データ： データの選択 字幕： 字幕の表示/ 非表示 字幕言語： 字幕の言語の選択 ●番組により、選べる項目が変わります。 ●マルチビュー放送では、1つの放送の中に複数の映像があります。 ●1つしかないときは切り換えできません。 ●録画モード「XP」～「EP」、「FR」で録画した場合、設定した内容（「データ」を除く）のみがそのまま録画されます。再生時にはその設定内容で再生されます。
アンテナレベル	アンテナの設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信している電波の強さではなく、質（信号と雑音の比率）を表します。
枝番選局	地上デジタル放送の枝番号を選びます。（➜25）

お好み選局表で選べる放送局を変更するには

①登録したい放送局を受信中に［お好み選局／一時停止❚❚］を3秒以上押して、「お好み設定」画面を表示させる
② ［▲］［▼］［◀］［▶］で設定したい位置を選び、［決定］を押す
●受信中のチャンネルが、「お好み選局」の設定した位置に登録されます。
●すでに登録されている位置に放送局を登録すると、以前の放送局は消去されます。

☞**設定したチャンネルを削除するには**

削除したい放送局を選び、［お好み選局／一時停止❚❚］を1秒以上押す。

番組表（Gガイド）から見る

新聞のテレビ欄のような一覧表から見たい番組を選ぶことができます。
この機能を使うにはまず、番組表（Gガイド）の受信が必要です。

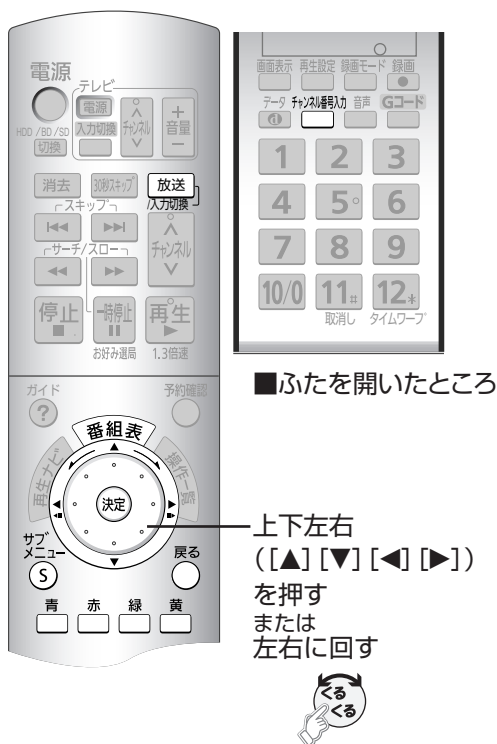
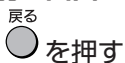
地上アナログ放送の番組表（Gガイド）を受信する場合、BSデジタル放送を受信できる衛星アンテナの接続が必要です。

準備
●番組表（G ガイド）を受信する。
（➜準備編32）

■ふたを開いたところ

上下左右
（[▲] [▼] [◀] [▶]）
を押す
または
左右に回す

☞**前の画面に戻るには**

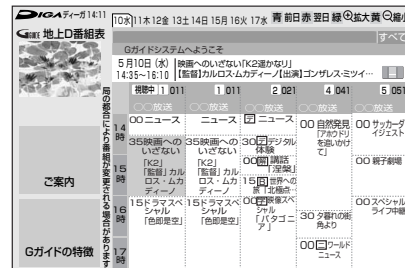
を押す

番組表（G ガイド）について

（地上アナログ）

●G ガイド地域一覧表（➜準備編58）に登録されていない放送局は、放送を見ることはできても番組表（G ガイド）には表示されません。

（地上デジタル）

●番組データが表示されていない場合は、その局を選んで、[決定] を押すと表示されます。（数分かかることもあります。）
●地上デジタル放送のG ガイドのロゴと広告は、BSデジタル放送が受信可能であれば表示されます。

1 [番組表] を押す

☞**別の放送の番組表（Gガイド）を見たいとき**

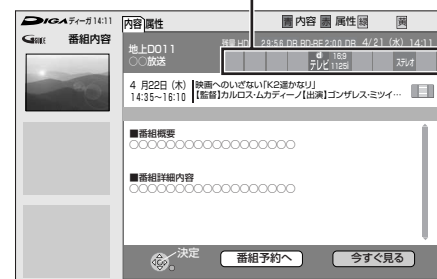
[放送/入力切換] を押す

●押すごとに、下記のように番組表（G ガイド）が切り換わります。

地上A → 地上D → BS → CS1 → CS2

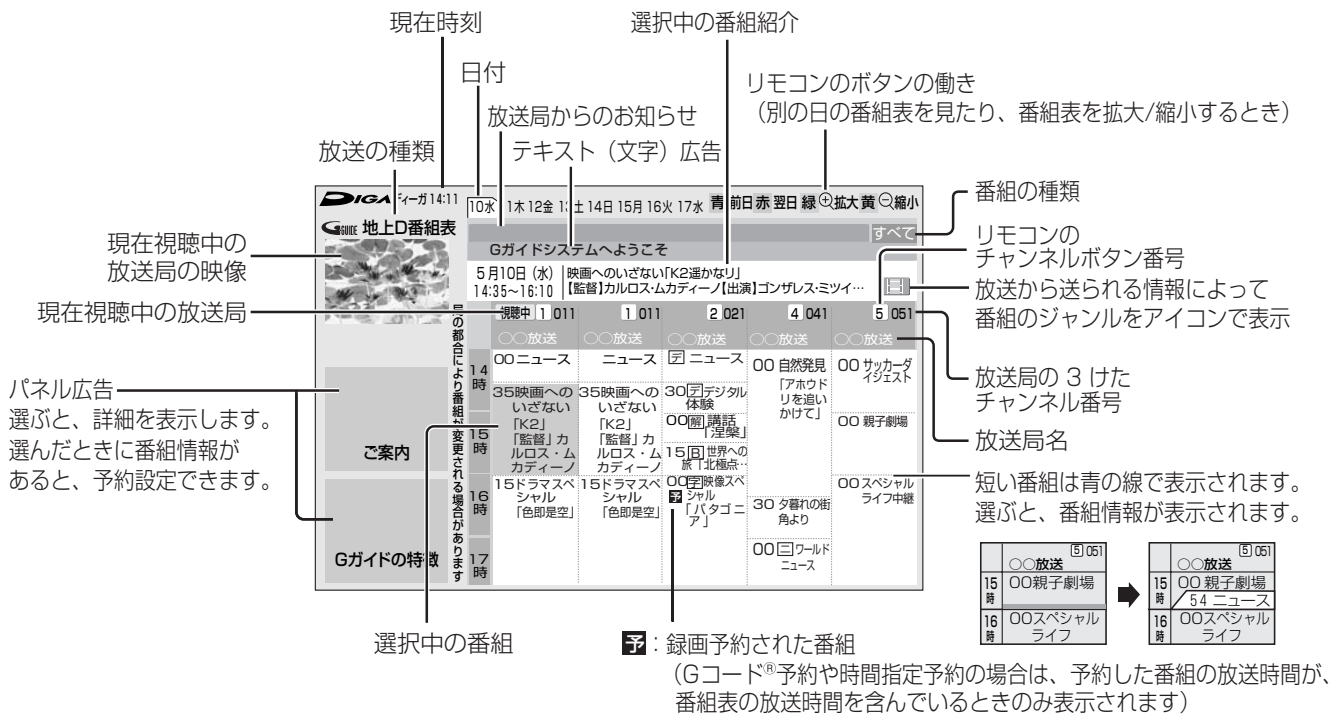
2 見たい番組を選び、[決定] を押す

①選び
②決定する

アイコン表示については（➜126）

（地上デジタル）（BS デジタル）（CS デジタル）

● [チャンネル番号入力] を押して、3けたのチャンネル番号を入力すると、そのチャンネルを含む番組表（G ガイド）を表示させることができます。

3 「今すぐ見る」を選び、[決定] を押す

①選び
②決定する

番組表（Gガイド）の見かた

●Gガイドのロゴと広告は表示されない場合があります。
●機器ごとに広告のデータ取得タイミングが異なるために、表示される内容が異なることがあります。
●現在視聴中の放送局は、一番左に追加表示されます。そのため、画面内に同じ放送局が2つ表示される場合があります。

番組表（Gガイド）での便利機能

別の日の番組表（Gガイド）を見るには	前日：青 を押す	翌日：赤 を押す
1画面に表示するチャンネル数を変更する	拡大：緑 を押す	縮小：黄 を押す

番組表（Gガイド）表示中に

1 サブメニュー（S）を押す

2 [▲][▼]で項目を選ぶ

(➜右記へ)

表示される内容は放送によって異なります。

視聴制限一時解除	（デジタル放送の番組表のみ） **[決定] を押す** ●暗証番号（➜100）を入力して視聴制限を一時解除します。
番組データ取得	（地上デジタル放送の番組表のみ） **[決定] を押す** ●選択した局の番組情報を受信します。
表示内容	（デジタル放送の番組表のみ） 番組表（Gガイド）で表示させる内容を変更します。 **[◀] [▶] で表示させたい放送の種類を選び、[決定] を押す** **お好み:**リモコンの［1］から［12*］に設定されているチャンネルとデジタル放送のチャンネルで設定した13 ～ 36 までのチャンネル **テレビ:**テレビ放送（映像 + 音声）のチャンネルのみの番組表（G ガイド） **ラジオ:**ラジオ放送（音声のみ）の番組表（G ガイド） **データ:**データ放送の番組表（G ガイド） **すべて:**受信できるすべての番組表（G ガイド）
パネル広告へ テキスト広告へ	**[決定] を押す** ●パネル広告欄またはテキスト広告欄に移動します。
番組表へ	（パネル広告、テキスト広告選択中のみ） **[決定] を押す** ●元の番組表（G ガイド）の表示に戻ります。
放送切換	別の放送の番組表（G ガイド）を表示させます。 **[◀] [▶] で表示させたい放送を選び、[決定] を押す**

データ放送 / 有料番組（ペイ・パー・ビュー）を見る

データ放送は

（地上デジタル）（BS デジタル）（CS デジタル）

データ放送のある番組では、テレビ画面の指示に従ってさまざまな情報やサービスを利用できます。

- 本機では、データ放送を録画できません。データ放送が含まれるテレビ番組の場合、録画が始まるとデータ画面が消えます。

準備

- 電話回線を接続する。（➜準備編17）
（データ放送の場合、サービスの種類によっては電話回線を使うときがあります）

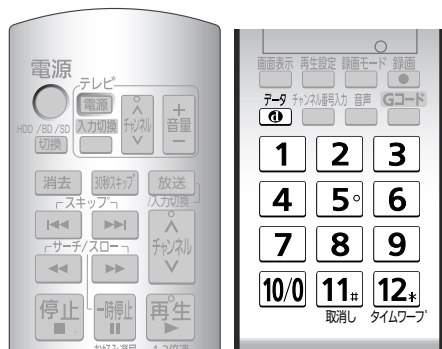
有料番組は

（BS デジタル）（CS デジタル）

衛星デジタル放送には、無料と有料のものがあります。

- 有料番組を見るには、放送会社との契約と電話回線の接続が必要です。
- ペイ・パー・ビュー（番組単位で購入）を視聴・録画するには、右記の購入操作が必要です。（2006年10月現在、ペイ・パー・ビューの番組は放送されていません。）

準備

- 電話回線を接続する。（➜準備編17）

■ふたを開いたところ

上下左右
（[▲] [▼] [◀] [▶]）
を押す
または
左右に回す

☞**前の画面に戻るには**

戻る ◯ を押す

データ放送を見る

1 データ放送のある番組を選局し、データ（ふた内部）を押す

- 情報が多いときは、表示が出るまでに時間がかかる場合があります。

例）

2 見たい項目を選び、決定 を押す

①選び

②決定する

- 番組により、[青]、[赤]、[緑]、[黄]や数字ボタンを使った選択画面が表示されますので、その指示に従ってください。
- お好みページの登録案内が表示されたときは、画面の指示に従ってください。

☞**お好みページを使うには（➜97）**

☞**データ画面を消すには**

データ（ふた内部）を押す

- データ画面が消えない場合は、「データ放送表示オフ」を行ってください。（➜27）

有料番組を見る

1 ペイ・パー・ビューの番組を選局し、決定 を押す

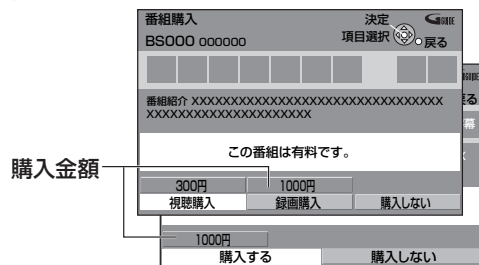
- 番組によってはプレビュー（有料番組の購入前に、わずかな時間だけ視聴できるサービス）画面が表示されます。

2 項目を選び、決定 を押す

- 番組により、選べる項目が変わります。

①選び

②決定する

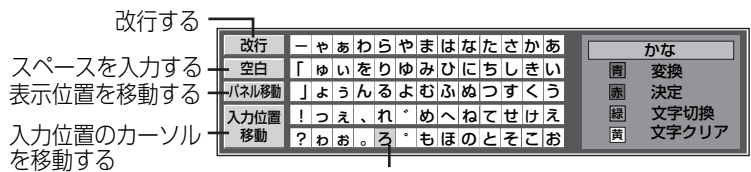
購入金額

購入する：　番組を購入したことになり、視聴できます。「録画禁止」の信号のある番組は録画できません。

購入しない：番組を購入しません。

視聴購入：　料金を払うと視聴できますが、「録画禁止」の信号のある番組は録画できません。

録画購入：　料金を払うと視聴と録画ができます。

☞購入した有料番組の確認/ 送信結果の確認をするには（➜97）

データ放送 / 有料番組の確認をする	データ放送や有料番組の確認は、番組表（G ガイド）からできます。 **1 番組表 を押す** **2 [▲] [▼] [◀] [▶] で番組を選び、決定 を押す** データ放送では +d ラジオ +d テレビ d テレビ d ラジオ 有料放送では 有料 が表示されます。（➜126） ●アイコンが表示されない番組もあります。
データ放送画面での文字入力	データ放送を表示中、画面に説明された操作をしたときに、下記のような文字入力画面（キーボード表示）が表示される場合があります。 例）入力モードが「かな」のとき 改行する スペースを入力する 表示位置を移動する 入力位置のカーソルを移動する 選んでいる文字が黄色になる この文字入力画面は、プロキシアドレスの設定（➜準備編44）でも表示されます。 **[▲] [▼] [◀] [▶] で入力する文字を選び、決定 を押す** **☞文字の種類を選ぶには** 緑 を押す ●押すごとに（かな→カナ→英数）に切り換わります。 ●漢字を入力するときは「かな」を選びます。 ●英数のみが入力できる項目のときは、「英数」に固定されます。 **☞文字を消すには** 黄 を押す **☞文字を確定するには** 赤 を押す **☞ひらがなを漢字変換するには** 青 を押し、[▲]［▼］で変換候補を選び、[決定］を押す。 **☞記号を入力するには** ① “きごう” と入力する ② 青 を押す ●画面上のキーボードが消え、記号を表示します。 ●他の記号に変換したいときは、[▼] を押し、候補の中から選び、[決定] を押します。

視聴

データ放送／有料番組を見る

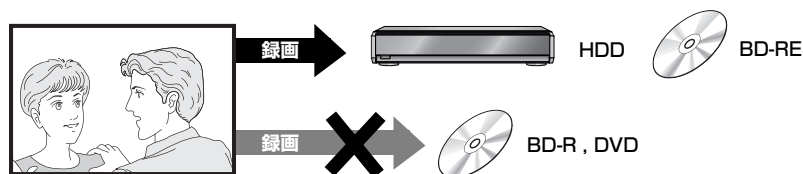
お知らせ

●電話回線での通信中は、本体表示窓に “TEL” が点灯します。このときは、電源ボタン以外が動作しなくなることがありますが、故障ではありません。また、同じ回線に接続された電話機などが使えません。“TEL” が消えるまでしばらくお待ちください。
●電話回線の使用時には、回線接続料がかかります。

有料番組について

●「録画禁止」の番組は、著作権が保護されているため、本機へ録画することはできません。
●購入した番組の視聴中にも、他のチャンネルに切り換えることができます。ただし、購入操作が終了していると、実際には番組を視聴しなくても料金が請求されます。
●一度視聴購入をした番組は、録画購入できません。

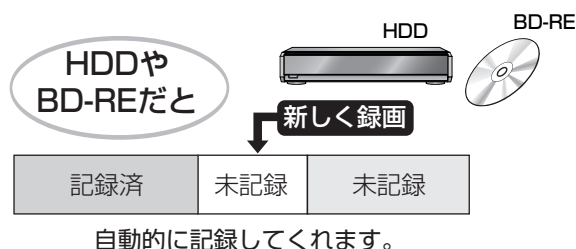
録画について

HDDとBD-RE※に録画できます

BD-R、DVDに記録したい場合はHDDからダビングしてください。
※BD-REには、予約録画のみ可能です。

ビデオテープのように録画部分を気にする必要はありません

HDDやBD-REに残量があるかぎり、自動的に未記録の部分に記録を行います。
●残量がない場合は番組を消去してください。(➔90)

録画前に、早送りや巻戻しで記録するところを探さないといけないけれど…

自動的に記録してくれます。

どっちも録りについて

本機ではデジタル放送の2番組、またはデジタル放送の1番組とアナログ放送の1番組を同時にHDDに録画することができます。

どっちも録りをするには…

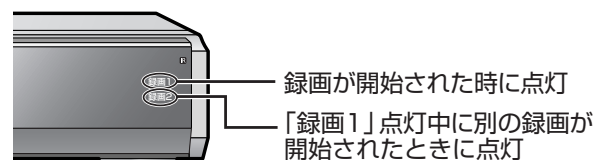
デジタル放送は、録画モード「DR」で録画してください。

●アナログ放送の2番組を同時に録画することはできません。
●DV入力やi.LINK(TS)入力から録画中は2番組を同時に録画することはできません。
●本機の外部入力(L1、L2)に接続したホームターミナルやセットトップボックスなどからデジタル放送の番組を録画する場合、「アナログ録画」として録画されます。また、外部入力から録画した、「1回だけ録画可能」の番組は、BDの著作権保護の規定により、BDにはダビングできません。
●BD-REに録画中はどっちも録りはできません。

操作方法については(➔37)

お知らせ

●高速ダビング中には、2番組同時に録画できません。
●デジタル放送を録画モード「XP」～「EP」、「FR」で録画する場合
・2番組同時に録画することはできません。
・追っかけ再生、同時録画再生はできません。
・放送/入力やチャンネルの切り換えはできません。
・ BD-V のみ再生できます。

■ 本体表示部の見かた

●録画の一時停止中は、“録画”ランプが点滅します。

録画の画質と時間について（録画モード）

録画モード	説明
DR（ダイレクトレコーディング）	デジタル放送をデジタル信号のままHDDやBD-REに録画しますので、ハイビジョン画質やサラウンド音声などもそのままの状態で記録できます。 また、HDDに録画した番組は、そのままの状態でBDにダビングすることができます。 複数の映像や音声を含む番組を録画した場合、再生時に映像や音声を切り換えることができます。
XP(高画質録画)～EP(長時間録画)	アナログ放送画質で録画します。デジタル放送の複数の信号や音声は、「信号切換」（➜27）で設定された状態で録画します。HDDへの録画や予約録画時、あるいはダビング時に設定できます。
FR（フレキシブルレコーディング）	ディスクの残量に合わせてXP～EP（8時間）の間で画質を自動調整します。HDD録画時に選ぶと、4.7 GBのDVDにぴったりダビングができるように調整します。 ぴったり録画（➜38）や予約録画、ダビング時にのみ設定できます。

	録画モード「DR」で録画した場合	録画モード「XP」～「EP」、「FR」で録画した場合
ハイビジョン画質の映像は？	そのままの画質で記録	アナログ放送の録画画質に変換されて記録
サラウンドの番組の音声は？	そのままの音声で記録	ステレオ音声で記録
複数の音声が含まれている番組は？	複数の音声をすべて記録	音声は１つだけ記録※
複数の映像が含まれている番組は？	複数の映像をすべて記録	映像は１つだけ記録※
字幕情報が含まれている番組は?	再生時、字幕表示の入/切ができる	再生時、字幕表示の入/切はできない※

※ 記録したい映像や音声、字幕表示の入/切などの内容を、「信号切換」（➜27）または、「信号設定」（➜41）で選んでください。

●CATVデジタルセットトップボックスなどを本機の外部入力に接続した場合、ハイビジョン画質での録画はできません。アナログ放送と同等の画質での録画となります。

録画モード ＼ ディスク			内蔵 HDD※1 (500GB)	BD-RE※2 BD-R※3 1層 (25 GB)	BD-RE※2 BD-R※3 片面2層 (50 GB)	DVD-RAM※3 片面 (4.7 GB)	DVD-RAM※3 両面※4 (9.4 GB)	DVD-R※3 DVD-RW※3 (4.7 GB)	DVD-R DL (片面2層)※3 (8.5 GB)
DR※5	BS デジタル	HD 放送 (<24 Mbps)	約 45 時間	約 2 時間 10分	約 4 時間 20分				
		SD 放送 (<12 Mbps)	約 90 時間	約 4 時間 20分	約 8 時間 40分				
	地上デジタル	HD 放送 (<17 Mbps)	約 63 時間	約 3 時間	約 6 時間				
XP（高画質）			約 110 時間	約 5 時間15分	約 10 時間30分	約 1 時間	約 2 時間	約 1 時間	約 1 時間 45 分
SP（標準）			約 222 時間	約 10 時間 30分	約 21 時間	約 2 時間	約 4 時間	約 2 時間	約 3 時間 35 分
LP（長時間）			約 442 時間	約 21 時間	約 42 時間	約 4 時間	約 8 時間	約 4 時間	約 7 時間 10 分
EP（長時間）			約 887 時間 (約 665 時間※6)	約 42 時間 (約 31 時間30分※6)	約84時間 (約63時間※6)	約 8 時間 (約 6 時間※6)	約 16 時間 (約 12 時間※6)	約 8 時間 (約 6 時間※6)	約 14 時間 20 分 (約10時間45分※6)

高速記録対応ディスク（RAM 5X、-R(VR) -R(V) 8X以上など）に高速ダビングする場合
動作音が気になるときは、**初期設定操作**（➜101）で「DVDの高速ダビング速度」（➜103）を「静音モード」にしてください。ただし、ダビングにかかる所要時間は長くなります。

※1 音楽や写真を記録している場合、記録できる時間は少なくなります。
※2 デジタル放送をDRモードで予約録画するときのみ直接録画することができます。 BD-RE(1.0) には記録できません。
※3 直接録画することはできません。表はダビングできる記録時間です。
※4 両面の連続記録・再生はできません。
※5 録画時間は放送（転送レート）により異なります。また、本機での残量表示は、BSデジタルHD放送（24Mbps時）を基準に計算されています。このため、実際の残量と異なる場合があります。
※6 **初期設定**「EP時の記録時間」（➜102）で「6時間」に設定した場合。
- ●EPモードの音質は「6時間」の方が高音質です。
- ●RAM EP（8時間）モードで記録した場合、DVD-RAM再生対応のDVDプレーヤーでも再生できないことがあります。他の機器で再生する可能性のあるときは、EP（6時間）モードで記録してください。

上記の表の数値はめやすです。記録する内容によっては変化することがあります。
本機では、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式（可変ビットレート方式:VBR）を採用しているため、残量表示と実際に記録できる時間が異なることがあります。（HDD と -R DL(VR) -R DL(V) では、特にその差が著しくなります）残量に余裕がある状態で記録してください。

録画について（つづき）

アナログ放送や外部入力/DV入力からの録画にかかる制限

ワイド放送などの16:9映像を録画する場合

初期設定「高速ダビング用録画」(➜102) が「入」のときに録画すると
初期設定「ビデオ方式の記録アスペクト」(➜102) の設定に従って、画面サイズを記録します。

4：3映像で記録された場合、初期設定「TVアスペクト」(➜104) を「16:9フル」に設定すれば、16:9映像としてご覧になれます。
テレビ側の画面モードで変更できる場合もありますので、ご使用のテレビの説明書をご覧ください。

二重音声放送を録画する場合

設定によって記録できる音声は異なります。
(詳しくは➜右ページ「音声多重放送の録画について」)

CATV（ケーブルテレビ）などから録画した番組のダビング

●外部入力1または外部入力2で接続したCATVなどから本機のHDDに録画した「1回だけ録画可能」の番組をダビングする場合

BD-RE(2.1) BD-R にはBDの著作権保護の規定により、ダビングできません。
CPRM対応の RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) をお使いください。

デジタル放送の録画について

不正なダビングを防止し、著作権を保護するため、デジタル放送には「1回だけ録画可能」※のコピー制御信号が加えられています。
※「デジタル1COPY」や「一世代のみコピー可」などとも呼ばれています。 （2004 年 4 月から）

DVDにダビングする場合はCPRM対応のディスクをお使いください。
コピー制御のしくみに関する一般的な内容については、下記ホームページをご覧ください。

社団法人　地上デジタル放送推進協会　http://www.d-pa.org/
社団法人　BSデジタル放送推進協会　http://www.bpa.or.jp/

CPRMとは
1回だけ録画が許可された番組を記録することができる著作権保護技術。ディスクのジャケットなどでご確認ください。

録画時には、次のことにお気を付けください

下図のように録画された番組は、録画制限のない番組でも録画制限のある番組として扱われます。
そのため、ダビング時、移動するなどの制限がかかります。

●番組分割（➜54）などの編集を行っても、録画制限のある番組として扱われます。

続けて１つの番組として録画すると…

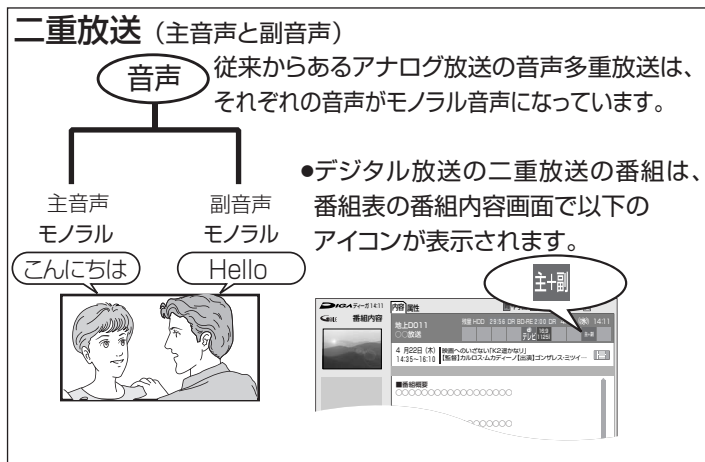
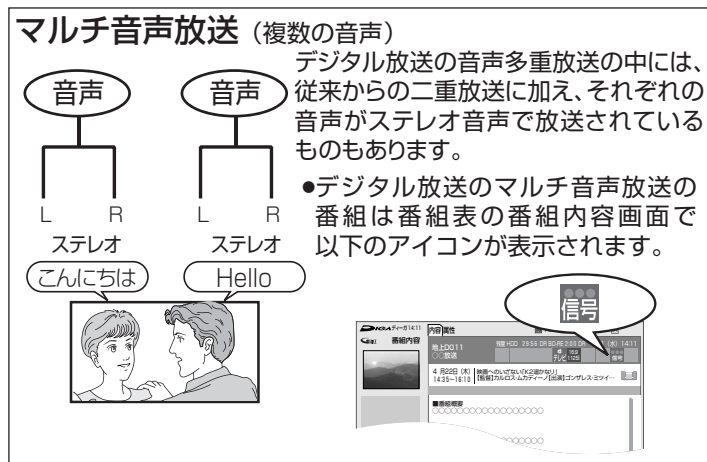
録画制限のある番組

１枚のディスクに記録できる番組数
HDD 最大500番組
(長時間連続して記録すると、8時間ごとの番組に分けて記録されます。)
BD-RE(2.1) BD-R 最大約200番組
(BD-R 直接録画はできません。ダビングしたときの番組数です。)
RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)
最大99番組
(直接録画はできません。ダビングしたときの番組数です。)

録画したあとに
番組を選びたいときは［再生ナビ］を押して番組を選んで再生してください。(➜47)

音声多重放送の録画について

海外ドラマやスポーツ中継などには、主音声と副音声を含んだ番組や複数の音声を含んだ番組があります。このような音声を含んだ番組を録画するときは設定やディスクにより記録される音声が異なります。以下の内容を参考にして正しく記録してください。

従来からの音声多重放送

デジタル放送の音声多重放送

放送される番組によっては、音声の種類などは上記の限りではありません。

Q					
どのような音声の番組を録画しますか？	デジタル放送のマルチ音声放送		デジタル放送の二重音声放送	アナログ放送や外部入力※1からの二重音声放送	
録画モードは？	「DR」で録画	「XP」～「EP」、「FR」で録画	録画モードにかかわらず※2	（「XP」～「EP」、「FR」で録画）	録画モードにかかわらず※2
初期設定「高速ダビング用録画」（➜102）の設定は？	「入」「切」にかかわらず	「入」「切」にかかわらず	「入」「切」にかかわらず	「切」	「入」（お買い上げ時）
記録される音声はこうなります。	複数の音声をすべて記録します。	どれか1つだけ音声を記録します。	主音声・副音声を両方記録します。	主音声・副音声を両方記録します。	主音声か副音声どちらか一方のみ記録します。

［録画 ●］を押して録画する場合
視聴している音声が記録されます。録画する前に「信号切換」の「音声」で記録したい音声を選んで録画してください。（➜27）
番組表を使って録画する場合
番組予約の「信号設定」の「音声」で記録したい音声を選んでください。（➜41）

録画前に**初期設定**「二重放送音声記録」で記録したい音声を選んでください。（➜103）

※1 **外部入力から二重音声放送を録画する場合**
外部機器側で「主音声」と「副音声」の両方で出力するように設定してください。
録画前に、**初期設定**「外部入力の音声」で「二重音声」を選んでください。（➜104）

※2 **初期設定**「XP時の記録音声モード」（➜104）を「LPCM」にし、録画モード「XP」で録画すると、主音声か副音声のどちらか一方のみ記録します。録画前に、**初期設定**「二重放送音声記録」で記録したい音声を選んでください。（➜103）

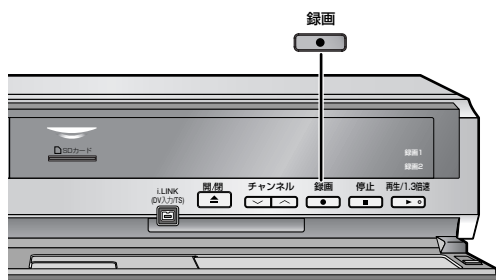
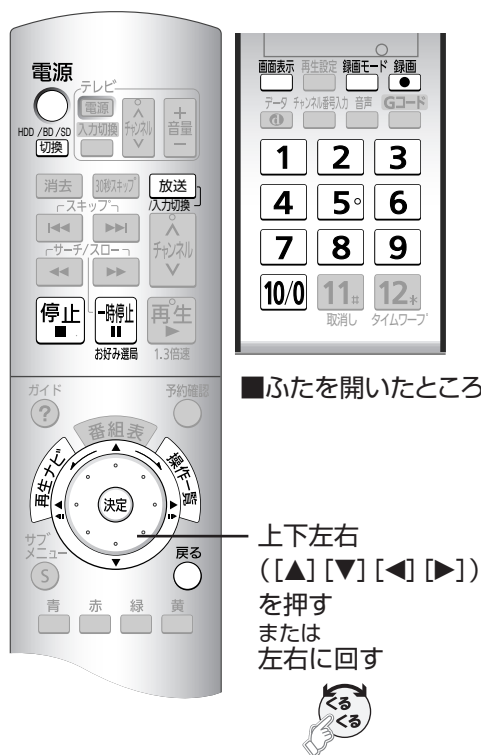
録画する

HDD

準備

- テレビの電源を入れ、本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。(ビデオ1など)
- [電源] を押して、本機の電源を入れる。

■ふたを開いたところ

上下左右
([▲] [▼] [◀] [▶])
を押す
または
左右に回す

お知らせ

- デジタル放送を録画モード「XP」~「EP」、「FR」で録画しているときは、BD-V 以外は再生できません。

1 HDD /BD /SD 切換 を押して、「HDD」を選ぶ

- 押すごとに、ドライブが切り換わります。

ドライブ切換
HDD
BD
SD

- 表示が消えると、選ばれたドライブに切り換わります。

2 放送/入力切換 を押して、録画したい放送を選ぶ

放送/入力切換
地上D
BS
CS1
CS2
地上A
L1
L2
DV
i.LINK(TS)

外部入力(CATV セットトップボックスなど)から録画する時に選んでください。(L1、L2)
- 接続した機器側で、録画したいチャンネルをあらかじめ選んでおいてください。(➜手順4へ)

3 録画したいチャンネルを選ぶ

- 選局方法は(➜25)

4 録画モード(ふた内部)を押して録画モードを選ぶ

- 押すごとに、録画モードが切り換わります。

録画モード
DR 残量 39:37
XP 残量 99:39
SP 残量 199:18
LP 残量 398:41
EP 残量 795:02

デジタル放送を視聴中またはi.LINK(TS)入力中のみ(DR)

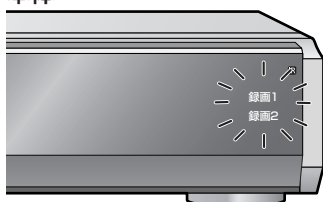
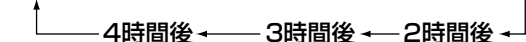
- 表示が消えると、選ばれた録画モードに切り換わります。
- 録画モードを「XP」で録画する場合は、記録する音声の設定を変更できます。(➜104 初期設定「XP時の記録音声モード」)

5 録画(ふた内部)を押して録画を始める

本機表示窓 0:00.02

- 本体表示窓に経過時間が表示されます。
- 録画中に録画モードを変えることはできません。
- 番組表(G ガイド)(➜28)に放送内容がある場合は、録画終了後に、自動的に番組名が付きます。

録画中のいろいろな操作

録画を止める	録画を止めたい番組をテレビ画面に表示してから停止させます。 や **を押して録画中の放送を選び、** **を押す** ●情報表示画面（➜51）で録画表示が表示されている番組が現在録画中の番組です。 現在テレビ画面に表示されている録画番組が、録画を止めたい番組であるか確認してください。 例）2番組同時録画中 現在、テレビ画面に表示されている録画番組 録画表示 録画中の番組の放送の種類とチャンネル テレビ画面に表示されていない録画番組 ●停止した位置までが1番組になります。 ☞ **予約録画を止めるには（➜44）**
一時停止する	**を押す** 一時停止したい番組と異なる番組やドライブが選ばれている場合は、[放送 / 入力切換]、[チャンネル∧∨]または [HDD/BD/SD 切換] を押して切り換えてください。 ●もう一度押すと録画を続けます。（番組は分割されません。） ●録画モード「DR」で録画中に一時停止すると、その部分が再生時に一瞬静止画になります。 ●予約録画中の番組は一時停止できません。
放送/入力を切り換える	[放送/入力切換] **を押す** ●デジタル放送を録画モード「XP」～「EP」、「FR」で録画中または、BD-REへの予約録画中は、放送/入力の切り換えはできません。
他のチャンネルに切り換える	デジタル放送を録画モード「DR」で録画しているときは、他のチャンネルに切り換えることができます。（アナログ放送を録画中または、BD-REへの予約録画中は切り換えできません） **選局方法は（➜25）** ●お好み選局表から選局することはできません。
どっちも録りをする	**左ページの手順1～5で別の番組を録画する** どっちも録りの状態 本体 テレビ画面 HDD 録画2● 8 地上D 081 地上D 011録画1● 現在、テレビ画面に表示されている録画番組 テレビ画面に表示されていない録画番組 （[放送/入力切換] や [チャンネル∧∨] を押して、録画中の番組を選ぶと、テレビ画面に映像が表示されます。） ●デジタル放送は録画モード「DR」で録画してください。 ●2番組同時に録画しているときでも、以下の再生をお楽しみいただけます。 （写真・音楽の再生はできません。） ・HDDの追っかけ再生、同時録画再生 ・BD、DVDの再生 ☞ **どっちも録りについて（➜32）**
録画の終了時間を指定する（終了時間予約録画）	**本体の [録画 ●] を押す** 指定したい番組と異なる放送やドライブが選ばれている場合は、[放送/入力切換]、[チャンネル∧∨] または [HDD/BD/SD切換] を押して切り換えてください。 ●押すごとに本体表示窓の録画終了時間が変わります。 録画経過時間→30分後→1時間後→1時間30分後 └─4時間後←─3時間後←─2時間後←┘ ☞ **終了時間の設定を取り消すには、** 本体の [録画 ●] を数回押し、"録画経過時間" を選ぶ。（録画は続きます。） ○○（お知らせ）○○ ●リモコンの [録画 ●] では働きません。 ●ぴったり録画中（➜38）や予約録画中は指定できません。 ●録画終了時、本機を操作していなければ自動的に電源も切れます。

録る

録画する

録画する（つづき）

録画しながら再生する（追っかけ再生、同時録画再生）

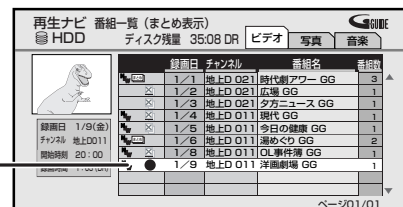
本機では録画を続けながら、録画中の番組を先頭から再生する**追っかけ再生**や、録画済みの番組を再生する**同時録画再生**を行うことができます。

1 [HDD/BD/SD 切換] を押して再生するドライブ（「HDD」または「BD」）を選ぶ

●ディスクを再生するときは「BD」を選んでください。

2 録画中に、 **を押す**

☞再生ナビ画面の便利な機能（➜48）

例）HDD

録画中の番組（●が表示されます）

3 [▲] [▼] で番組を選び、(決定) を押す

☞ 再生ナビ画面を消すには
［再生ナビ］を押す

☞ 再生を止めるには

 を押す

☞ 録画を止めるには
再生停止後、約2秒待って [停止■] を押す（➜37）

☞ 予約録画を止めるには（➜44）

〇〇（お知らせ）〇〇

● BD-RE(2.1) に予約録画中は、HDD の再生のみ可能です。
●デジタル放送を「XP」～「EP」、「FR」で録画しているときは、BD-V 以外は再生できません。

ディスクの容量にぴったり合うように録画する　ぴったり録画

HDD

4.7 GB の DVD にダビングした時に、ディスクの容量にぴったり合うように録画します。
録画時に、設定した時間に合わせて自動的に最適な画質［➜33「FR（フレキシブルレコーディング）」］になります。
36 ページ手順 1～3 のあと

1 停止中に、 **を押す**

最大録画時間
EP（8時間）モードで計算した残量時間です。

2 [▲] [▼] で「その他の機能へ」を選び、(決定) を押す

3 [▲] [▼] で「ぴったり録画」を選び、(決定) を押す

4 [◀] [▶] で “時間” または “分” を選び、[▲] [▼] で録画時間を設定する

- ［1］～［10/0］も使えます。
- 8時間を超えて設定することはできません。

5 [◀] [▶] で「録画開始」を選び、録画を始めたい場面で、(決定) を押す

録画開始後、設定した録画時間が経過すると、録画は自動的に停止します。

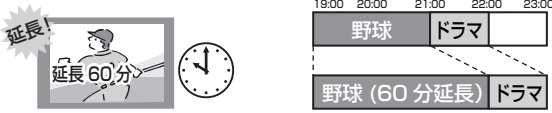
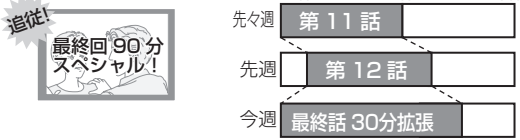
☞ 録画せずに画面を消すには
［戻る］を数回押す

☞ 録画の残り時間を確認するには
［画面表示］（ふた内部）を押す
異なる放送やドライブが選ばれている場合は、［放送/入力切換］、［チャンネル∧∨］や［HDD/BD/SD 切換］を押して切り換えてください。

例）

録画の残り時間

予約録画について

- ●本機では 1 ヵ月以内の番組を 32 番組まで予約できます。[毎日・毎週予約（➜下記）は 1 番組として数えます]
- ●本機では、同一時間帯の番組を2番組同時にHDDに録画することができます。（詳しくは➜32）
- ●録画先は HDD または BD-RE になります。（BD-R や DVD はダビングのみ可能です。）
- ●BD-RE にはデジタル放送の番組のみ予約可能です。（録画モードは「DR」になります。）
- ●BD-RE には 1 番組のみ予約できます。（毎日・毎週予約をすることはできません。）

予約方法には以下の3つの方法があります。

番組表（Gガイド）を使って予約（➜40）	Gコード®入力を使って予約（➜42）	録画時間を指定して予約（➜43）
	地上アナログ放送のみ	予約設定を手動で行う方法です。

予約録画の Q ＆ A は（➜45）

Ir システムを使って予約録画する（➜69）
i.LINKを使って予約録画する（➜69）

予約録画の便利な機能

録画を毎日・毎週予約する HDD

連続ドラマを**毎日・毎週予約**すると自動的に毎日または毎週録画し、毎回の放送を録りためていきます。

まとめ表示について

連続ドラマなどを毎日・毎週予約した番組は、再生ナビ画面（➜47）で1つにまとめて表示されるため、再生するときに録画した番組を探しやすくなります。
（「自動更新」を「入」にして録画した場合は除く）

前回の番組を消去し新たに録画するには

自動更新

自動更新（オートリニューアル）録画を設定しておくと、前回の放送分は消去され、新たに番組を録画しますので、HDD の容量を効率よく使えます。
- ●番組にプロテクトを設定している場合や、HDD 再生中、ダビング中は自動更新されません。（別番組として録画され、次回からそれが自動更新されます）
- ●HDDの残量が少ないと番組の最後まで更新されないことがあります。

番組追従機能

●番組表（G ガイド）から予約した番組にのみ働きます。

野球中継などの番組延長に対応

●デジタル放送のみ

予約登録後に番組の放送時間が変わっても、番組表が更新されれば、番組追従機能が働き、録画時間を自動的に変更します。

- ●放送時間が変更された場合、3時間の変更まで追従します。
- ●野球延長などで延長部分が、他のチャンネルで放送される場合にも対応します。
（番組は分割されます。）
- ●アナログ放送には働きません。

毎日・毎週予約したドラマなどの時間変更に対応 HDD

●毎日・毎週予約時のみ

「ドラマを毎週予約していたが、次回の放送予定に時間変更があった。または、最終回だけ30分拡大版だった。」などの場合に対応します。

- ●次回以降の予約登録をするときに、同じ番組名を番組表データから探して登録します。

- ●番組が以下のように変更された場合は追従できません。
  - ・番組表データの更新によって、番組名が変更されたとき
  （番組名が変更されない場合でも、番組名によっては追従できない場合があります）
  - ・放送開始時刻または終了時刻に2時間以上の変更があったとき

このような場合は最初の予約内容のまま登録します。

- ●番組追従機能によって予約の重複が起こった場合は、変更後の録画時間で録画の優先順位を決定します。開始時刻の早い番組が実行され、遅い番組の重複している部分は録画されません。
- ●番組追従機能は当社独自の機能です。G ガイド固有の機能ではありません。

☞**番組追従機能を無効にするには**
時間指定予約で予約を行ってください。（➜43）

予約録画する

HDD　BD-RE(2.1)

番組表（G ガイド）はお買い上げ後すぐには表示されません。放送局から番組表（G ガイド）のデータを受信する必要があります。
（詳しくは➜準備編 32）

準備

- テレビの電源を入れ、本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。（ビデオ 1 など）
- ［電源］を押して、本機の電源を入れる。
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。（➜準備編 36「時刻合わせ」）
- BD-RE に予約録画する場合は、記録可能な BD-RE(2.1) を入れる。（➜ 17）

上下左右
（[▲][▼][◀][▶]）
を押す
または
左右に回す

☞**前の画面に戻るには**
戻る ◯ を押す

☞**番組表（G ガイド）を消すには**

 を押す

☞**予約録画を止めるには**（➜44）

☞**予約の確認や取り消し、修正をするには**（➜44）

☞**暗証番号に関する表示が出たときには**（➜42）

番組表（G ガイド）上で予約を取り消す・修正するには

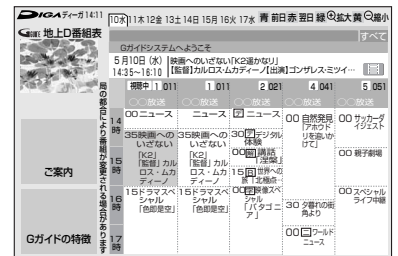
予約取り消し
① [▲] [▼] [◀] [▶] で " 予 " が付いている番組を選び、決定 を押す
② [▶] で「予約取り消し」を選び、決定 を押す
● " 予 " が消えます。

予約修正
① [▲] [▼] [◀] [▶] で " 予 " が付いている番組を選び、決定 を押す
② [▶] で「予約修正」を選び、決定 を押す
（➜ 右ページ「詳細設定画面」へ）

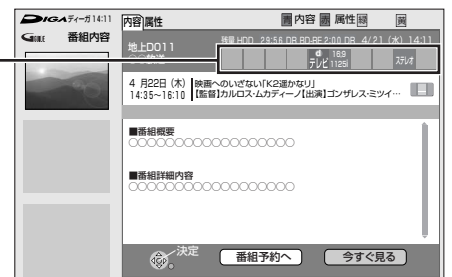
番組表（G ガイド）を使って予約録画する

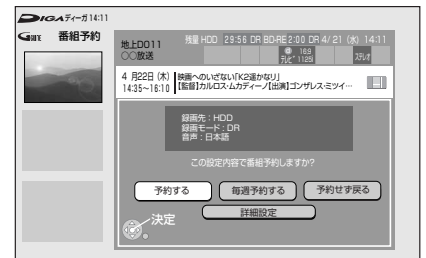
予約したい番組を、番組表（Gガイド）から選ぶだけで予約できます。また、毎週予約もワンタッチで設定することができます。

1 番組表 **を押す**

☞**別の放送の番組表（G ガイド）を見るには**
「放送／入力切換」を押す

☞**番組表（G ガイド）の見かたは**（➜29）

2 予約したい番組を選び、決定 を押す

アイコン（詳しくは➜126）

3 「番組予約へ」が選ばれている状態で、決定 を押す

- 予約内容を確認してください。
- 録画モードは、デジタル放送を録画するときは「DR」、アナログ放送を録画するときは、操作前に選ばれていた録画モードに設定されます。

☞**アナログ放送の番組が重なっているときは**
確認画面が表示されます。
［▲］［▼］で項目を選び［決定］を押してください。
［このまま予約する］　：手順4へ
［地上デジタルで探す］　：地上デジタル放送の番組表（Gガイド）を表示します。（➜手順2へ）

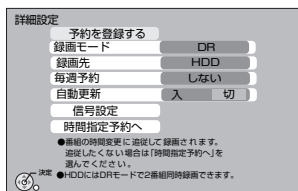
4 項目を選び、決定 を押す

予約する:予約を登録します。（録画先：HDD）
毎週予約する:毎週予約を登録します。（録画先：HDD）（➜39）
詳細設定:「詳細設定」画面に移り、予約内容を変更します。（➜右ページ「詳細設定画面」）
BD-REに予約する場合は、「詳細設定」を選んでください。
☞**予約番組が重なっているときは**（➜右ページ）

- 番組表（G ガイド）上で、予約した番組に " 予 " が表示され、予約待機状態になります。［「時間指定予約へ」（➜ 右ページ）で予約時間を変更した場合、表示されないときがあります。］

本体表示窓
点灯

詳細設定画面

左ページ手順 4 などで「詳細設定」を選んだあと、

1 [▲][▼] で変更したい項目を選ぶ
2 「信号設定」、「時間指定予約へ」は、[決定] を押す
3 [◀][▶] で設定する（右記へ）

設定が終了したら、[▲][▼] で「予約を登録する」を選び、[決定] を押す

● 予約修正の場合は「修正を反映する」を選び、[決定] を押してください。

項目	内容
録画モード	録画モードを設定します。
録画先 地上デジタル BS デジタル CS デジタル	以下の場合、録画先にBD-REを選べます。 ●デジタル放送の番組を録画する ●録画モードを「DR」にする ●毎週予約を「しない」にする **BD-RE(2.1) への予約設定について** ●本機にディスクが入っていない場合、予約の登録・修正はできません。 ●未フォーマットのディスクには録画できません。必ずフォーマット(➜ 93)してください。 ●予約を複数登録することはできません。 ●どっちも録り (➜ 32) はできません。予約が重なっているときは「予約重複確認」画面 (➜ 下記) が表示されます。 ●予約開始の約3分前までにディスクが挿入されていない場合は予約録画が実行されません。 ●予約録画を実行中に本機への電源供給が切れた場合、録画された番組は残りません。
毎週予約 HDD	[◀] [▶] を押すごとに、以下のように変わります。 しない ↔ 毎週同じ曜日 ↔ 毎週(月)～(金) ↔ 毎週(月)～(土) ↔ 毎日 ↔ しない ペイ・パー・ビューの番組にはできません。 録画する曜日によって表示内容は変わります。
自動更新 HDD	毎日・毎週予約時に「入」に設定しておくと、次回から前回録画した番組を自動的に消去し、新たに録画しますので、HDD 容量を効率よく使って録画できます。
信号設定 地上デジタル BS デジタル CS デジタル	複数の音声や映像の信号があるときや、番組の追加購入が必要なときに設定します。 マルチビュー：主番組 映像：映像1 音声：日本語 字幕：オフ　オン 字幕言語：日本語　英語 追加購入選択：追加金額:0円 ●録画モードを「XP」～「EP」、「FR」にして録画する場合 複数の映像や音声、字幕情報を含む番組は、録画後の再生中に映像・音声や字幕の入 / 切の切り換えはできません。録画前に設定項目を選択してください。（番組によっては、設定が無効になる場合があります） ●番組の中に購入が必要な信号があるときに、「追加購入選択」で料金を払うと録画ができます。（毎週予約では録画できません） ●選べる設定項目は番組によって変わります。1つしかない場合は、切り換えられません。 ●有料放送の番組を予約するときは、その放送会社と契約した B-CAS カードを挿入してください。
時間指定予約へ	録画時間や番組名などを変更します。**(➜43「時間指定予約画面」へ)** ●番組追従は行いません。 ●信号設定は反映されません。

予約番組が重なっているときは

（左ページ手順 4 のあと）

以前に予約している番組と時間が重なっていて、録画が正しく行われない場合、右記の画面が表示されます。

● 重複している予約を確認するには、「はい」を選び、**[決定]** を押してください。「予約重複確認」画面 (➜ 右記) が表示されます。
● どっちも録りをする場合、デジタル放送の録画モードをDRに し、録画先をHDDにしてください。

☞予約の重複を修正するには

① **[▲] [▼]** で修正したい番組を選び、**[決定]** を押す
② **[◀] [▶]** で修正方法を選び、**[決定]** を押す

修正： 予約時間などを修正します。
「番組予約」の場合は、上記「詳細設定画面」へ
「時間指定予約」の場合は、43ページ「時間指定予約画面」へ
取り消し： 予約を取り消します。
予約実行切： 予約の実行をやめます。

予約の重複について

同じ時間帯に予約が重複した場合、予約内容によって録画できる番組と録画できない番組があります。
「重複」のアイコンが表示されている場合は、番組の一部または全てが録画されません。

例）デジタル放送を録画モード「DR」で予約した番組が重複している場合

開始時刻の早い 2 番組が録画されます。一方の録画が終わり次第、3 番組目が途中から録画されます。

例）デジタル放送を録画モード「DR」以外で予約した番組が重複している場合

開始時刻の早い 1 番組のみ録画されます。録画が終わり次第、次の番組が途中から録画されます。

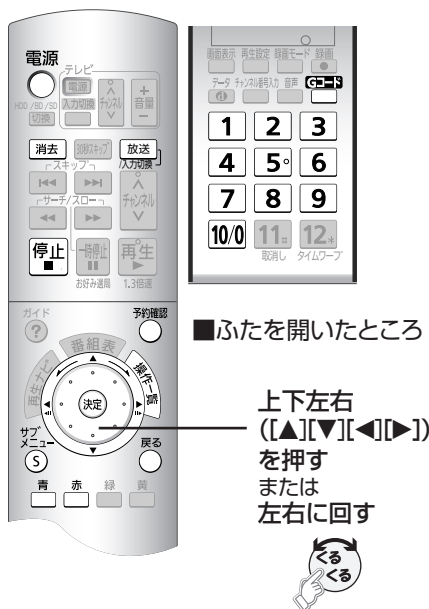
例）アナログ放送を予約した番組が重複している場合

開始時刻の早い 1 番組のみ録画されます。録画が終わり次第、次の番組が途中から録画されます。

予約録画する（つづき）

準備
- テレビの電源を入れ、本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。（ビデオ 1 など）
- [電源] を押して、本機の電源を入れる。
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。（➜準備編 36「時刻合わせ」）

■ふたを開いたところ

上下左右（[▲][▼][◀][▶]）を押す
または
左右に回す

☞**前の画面に戻るには**
戻る を押す

☞**画面を消すには**
戻る を数回押す

☞**予約録画を止めるには**（➜44）

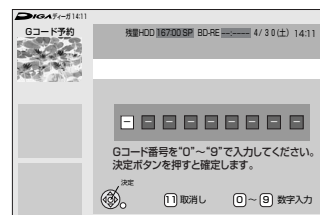
☞**予約の確認や取り消し、修正をするには**（➜44）

暗証番号に関する表示が出たとき
視聴制限のある番組を録画するには暗証番号の入力が必要です。視聴制限のない番組は入力の必要はありません。 ●視聴制限（➜100）を登録していない場合 暗証番号登録画面になります。画面の指示に従ってください。（登録すると「無制限」になります） ・暗証番号は視聴制限を変更するときに必要です。忘れないでください。 ●視聴可能年齢に制限をかけている場合（➜100） 設定した暗証番号を入力しないと制限のある番組は録画できません。

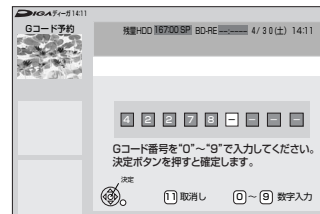
G コード® 入力を使って予約録画する　地上アナログ

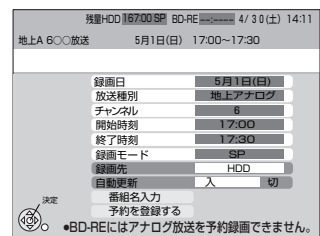
HDD

Gコード®を入力するだけで地上アナログ放送の番組が予約できます。
予約を正しく行うために、別冊の取扱説明書 準備編をご覧になり、ガイドチャンネルを正しく設定してください。複数のチャンネルポジションに同じガイドチャンネルが設定されていると、正しく予約できません。不要なチャンネルを削除してください。
- Gコード予約した番組は、実際の番組よりも多少長めに録画されることがあります。

1 Gコード（ふた内部）を押す

2 1 ～ 10/0（ふた内部）で G コード番号を入力する

- [▲] [▼] で数字を選び、[▶] を押しても入力できます。

☞**G コード番号を間違えたときは**
[◀] で戻り、再度入力する

3 決定 を押す

- 予約内容を確認してください。
- 録画モードは操作前に選ばれていたモードに設定されます。

☞**予約内容を変更するには**（➜ 右ページ「時間指定予約画面」）

☞ **「チャンネル」の項目が「G ――」になっているときは**
ガイドチャンネルが正しく設定されていません。「チャンネル」が選ばれている状態で [◀] [▶] で予約したいチャンネルに合わせてください。（➜ 準備編 47）
- 予約が完了すると、ガイドチャンネルも設定されます。

4 「予約を登録する」を選び、決定 を押す

「不可」が表示されているときはHDD の残量などを確認してください。

- 予約待機状態になります。

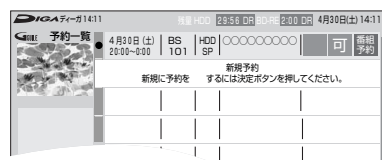
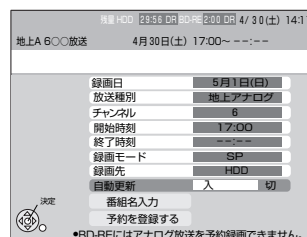
☞**予約一覧画面のアイコン表示について**（➜127）

録画時間を指定して予約録画する　（時間指定予約）

HDD **BD-RE(2.1)**

予約日、予約チャンネル、開始時刻、終了時刻などをご自分で設定する予約方法です。

1

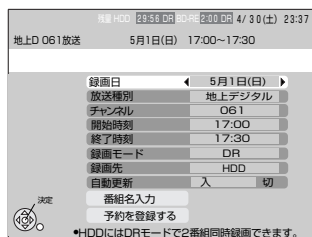
を押す

2 「新規予約」が選ばれている状態で、(決定) を押す

3 予約内容を設定する
（➜ 下記「時間指定予約画面」へ）

4 「予約を登録する」を選び、(決定) を押す

●予約待機状態になります。

「不可」が表示されているときは
ディスクの残量などを確認してください。

☞**予約番組が重なっているときは（➜41）**
☞**予約一覧画面のアイコン表示について（➜127）**
☞**暗証番号に関する表示が出たときは（➜左ページ）**

時間指定予約画面

[▲][▼] で変更したい項目を選び、[◀][▶] で設定する
（➜右記へ）

設定が終了したら、上記手順4へ
●予約修正の場合は「修正を反映する」を選び、[決定] を押してください。

録画日	[◀] [▶] を押すごとに、録画予定日を変更できます。 1ヵ月以内の日付を指定 ⟷ 毎日 ⟷ 毎週同じ曜日 毎日 ⟷ 毎週(月)～(土) ⟷ 毎週(月)～(金) ●HDDに予約録画するときのみ「毎日」「毎週同じ曜日」を選ぶことができます。
放送種別	録画する放送を設定します。
チャンネル	録画するチャンネルを設定します。
開始時刻 終了時刻	録画の開始時刻や終了時刻を設定します。 ● [◀] [▶] を押したままにすると、15分単位で変更できます。
録画モード	録画モードを設定します。
録画先 (地上デジタル) (BSデジタル) (CSデジタル)	録画先にBD-REを選ぶことができます。 ☞**録画先を「BD-RE」にするとき（➜41）**
自動更新 **HDD**	毎日・毎週予約時に「入」に設定しておくと、次回から前回録画した番組を自動的に消去し、新たに録画しますので、HDD 容量を効率よく使って録画できます。
番組名入力	[▲] [▼] で選んだあと、[決定] を押し、文字入力します。 ●文字入力について（➜95） ●入力しなくても、番組表（G ガイド）に放送内容がある番組を録画すると、録画後に自動的に番組名が付きます。

予約録画する（つづき）

録画中の予約録画を止める

録画を止めたい番組をテレビ画面に表示してから停止させます。

1 **や** チャンネル **を押して、録画中の番組を選び、** **を押す**

- 情報表示画面（➜51）で録画表示されている番組が現在録画中の番組です。
  現在テレビ画面に表示されている録画番組が止めたい番組であるか、確認してください。

2 [◀]で「はい」を選び、決定 を押す

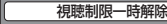
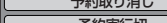
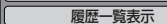
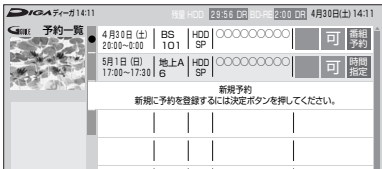
☞ **「予約一覧」画面から予約録画を止めるには**（➜下記「予約の実行をやめる（一時解除）」）

お知らせ

- 予約録画を止めると、予約一覧画面に「一部未実行」のアイコン（➜127）が表示されます。
  毎日･毎週予約を設定している場合は、次回の予約を新たに追加登録します。
- 予約登録がない場合やすべての予約が「予約実行切」になっている場合は、本体表示窓の“◴”が消灯します。

予約内容の確認や取り消し、修正などをする

予約内容を確認する

本体の電源が「切」の状態でも操作できます。

予約確認 **を押す**

- 予約状況がアイコン（➜127）などで表示されます。
- 実行されなかった予約は、翌々日の午前4時には一覧から消去されます。

「予約を取り消す」や「予約の実行をやめる」などを行いたい場合は以下に進んでください。

予約を取り消す	[▲][▼] で予約内容を選び、[消去] を押す ● 予約一覧から予約内容が消えます。 ● 予約登録がない場合やすべての予約が「予約実行切」の場合は、本体表示窓の“◴”が消灯します。
予約の実行をやめる（一時解除）	①[▲] [▼] で予約内容を選び、[サブ メニュー] を押す ②[▲] [▼] で「予約実行切」を選び、[決定] を押す （視聴制限一時解除／予約取り消し／予約実行切／履歴一覧表示） ● 予約内容に“予約実行切”が付きます。 ● もう一度 [サブ メニュー] を押して「予約実行入」を選ぶと、待機状態に戻ります。 ● すべての予約を「予約実行切」にすると、本体表示窓の“◴”が消灯します。 ● 予約録画実行中の番組を選んで上記の操作を行った場合、録画が停止します。予約時間内であれば、もう一度 [サブ メニュー] を押して「予約実行入」を選ぶと、予約録画が再開されます。（ただし、別番組として録画されます）
視聴制限を一時解除する	暗証番号（➜100）を入力して視聴制限を一時解除します。 ①[▲] [▼] で予約内容を選び、[サブ メニュー] を押す ②「視聴制限一時解除」が選ばれている状態で、[決定] を押す ③暗証番号を入力する
履歴を削除する	「一部未実行」の番組などの履歴を削除します。 ①[▲] [▼] で予約内容を選び、[サブ メニュー] を押す ②[▲] [▼] で 「履歴削除」を選び [決定] を押す ③[◀] [▶] で 「はい」 を選び [決定] を押す
予約内容を修正する	①[▲] [▼] で予約内容を選び、[決定] を押す ②「修正」が選ばれている状態で、[決定] を押す 「番組予約」の場合は、41 ページ「詳細設定画面」へ 「時間指定予約」の場合は、43 ページ「時間指定予約画面」へ ● 時間指定予約の場合、予約録画実行中の番組でも、録画モードが「FR」以外なら、予約終了時刻の変更ができます。 ● 本機に BD-RE(2.1) が入っていない場合、BD-REへの予約の修正はできません。

☞ **前の画面に戻るには**
戻る を押す

☞ **画面を消すには**
 戻る を数回押す

番組表（G ガイド）の便利な機能

検索機能を使う

「ジャンル」や「キーワード」などから、録画したい番組を検索して予約録画することができます。

1 停止中に、

を押す

2 [▲] [▼] で「その他の機能へ」を選び、決定を押す

3 「番組表の検索」が選ばれている状態で、決定を押す

- ジャンル検索：「ドラマ」「スポーツ」などのジャンルから番組を検索します。
- キーワード検索：「キーワード」から番組を検索します。
- 人名検索：出演者から番組を検索します。
- トピックス：今夜の見どころなど、番組に関する情報を見ます。トピックスから番組予約はできません。

4 [▲] [▼] で検索方法を選び、決定を押す

例）「ジャンル検索」を選んだ場合の最初の画面

5 [▲] [▼] で検索したい項目を選び、決定を押す

●この操作を繰り返して、検索項目を絞り込みます。

☞**検索する放送を変更するには**
［放送 / 入力切換］を押す

☞**別の日の検索結果を表示するには**
［ 青 ］（前日）または［ 赤 ］（翌日）を押す

6 [▲] [▼] で予約したい番組を選び、決定を押す（➜40 手順３へ）

●検索結果は、各放送の番組表（G ガイド）データの取得状況によって変わりますので、キーワードなどが一致していても検索できない場合があります。

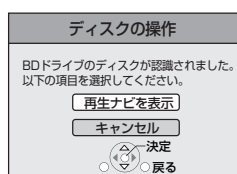
予約録画 Q & A

Q（質問）	A（回答）
予約録画待機中に録画や再生はできますか？	できます。 ただし、以下の場合は予約時刻になると予約録画が実行され、録画や再生は中断されます。 ●録画中：どっちも録り（➜32）ができない状態のとき ●再生中：録画モード「DR」以外で予約したデジタル放送の予約時刻になったとき（BD-V は再生できます） BD-REへの予約時刻になったとき（HDD は再生できます）
電源を入れたままでも予約録画は実行されますか？	実行されます。 電源の切／入にかかわらず、予約録画は実行されます。
前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じ場合、どうなりますか？	どっちも録り（➜32）ができない状態のときは、前の予約の終わり約1分が録画されません。 また、次の予約の録画先がBD-REの場合は、次の予約（BD-RE）の始めも、約1分が録画されません。
他の操作を実行中に予約録画が実行されなくなるのはどんな場合ですか？	●編集中 ●おまかせダビング中 ●１倍速でダビング中 ●写真をダビング中 ●音楽を録音・転送中 ●フォーマット実行中 ●ファイナライズ実行中 ●高速ダビング中（BD-REへの予約録画のみ） などを実行中は、予約録画は開始されません。各作業の実行前の画面に予約録画に関するメッセージが表示されますので、ご確認ください。
電源を入れたまま予約録画が始まった場合、録画終了後、自動的に電源は切れますか？	切れません。 終了後も電源は入ったままになります。予約録画中に電源を切ることはできます。
予約時刻が重なっている番組はどうなりますか？	同じ時間帯に予約が重複した場合、予約内容によって録画できる番組と録画できない番組があります。（➜41「予約の重複について」） （予約一覧画面で「重複」アイコンが表示されている番組は、一部またはすべてが録画されません）

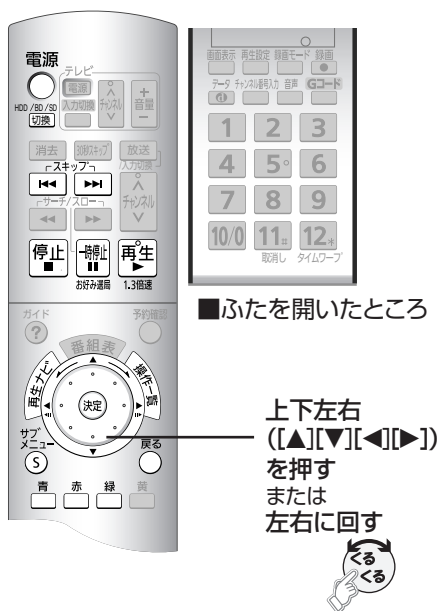
再生する

HDD BD-RE(2.1) BD-RE(1.0) BD-R BD-V RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V) DVD-V

準備
- テレビの電源を入れ、本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。(ビデオ 1 など)
- [電源] を押して、本機の電源を入れる。
- BDやDVDを再生する場合は、再生可能なディスクを入れる。(➔ 17)

記録済みのディスクを挿入すると、下記の画面が自動的に表示されます。

「再生ナビを表示」が選ばれている状態で、[決定] を押すと、右ページ手順 **3** に進むことができます。

■ふたを開いたところ

上下左右
([▲][▼][◀][▶])
を押す
または
左右に回す

☞**録画しながら再生するには**(➔38)

お知らせ
- ディスクによっては、メニュー画面や映像・音声が出るまで時間がかかることがあります。
- -R DL(VR) -R DL(V) は層の変わり目で映像や音声が一瞬止まることがあります。(➔11)
- DR モードの番組の再生時、番組の切り換わり部分や、編集を行った部分、録画中に一時停止した部分などで、映像や音声が一瞬止まることがあります。
- メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護やテレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは [停止■] を押して停止させてください。
- 映像が縦に引き伸ばされているとき (4：3 映像で記録されているとき)
  初期設定「TV アスペクト」(➔104) を「16:9 フル」に設定すれば、16:9 映像としてご覧になれます。テレビ側の画面モードで変更できる場合もありますので、ご使用のテレビの説明書をご覧ください。

1 HDD/BD/SD [切換] を押して、「HDD」または「BD」を選ぶ

- ディスクを再生するときは、「BD」を選んでください。

2 [再生 ▶ 1.3倍速] を押して、再生を始める

HDD :最後に停止した位置から再生します。
BD-RE(2.1) BD-RE(1.0) BD-R RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V) :最初に記録された番組から再生します。
BD-V DVD-V :ディスクが指定した位置から再生します。
- ただし、続き再生メモリー機能 (➔50「停止」) が働いている場合は、停止した位置から再生します。

お知らせ
- BD-V 画面に色ボタンを操作する案内が出るときは、リモコンの [青] [赤] [緑] [黄] を使って操作してください。
- BD-RE(2.1) BD-RE(1.0) BD-R 他機器で再生制限が設定されている場合、同じ機器で設定した4けたの暗証番号を入力し [決定] を押してください。再生制限が一時的に解除され、通常の操作を行えます。

メニュー画面が表示されたとき BD-V DVD-V

市販のBDやDVDなどを入れて、メニュー画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

[▲] [▼] [◀] [▶] で項目を選び、(決定) を押す

☞**停止中にトップメニューを表示させるには**

☞**再生中トップメニューを表示させるには**

① サブメニュー (S) を押す

② [▲] [▼] で「トップメニュー」を選び、(決定) を押す

DVD-V [再生ナビ] を押して表示させることもできます。

SD カードの MPEG2 動画の再生について

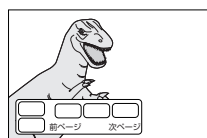
当社製 SD ビデオカメラなどで撮影した MPEG2 動画を見るには、まずHDD などにダビングしてください。(➔ 66)
- SD カードから直接再生することはできません。

ポップアップメニューを表示する

BD-V
再生しながら色々な操作ができる便利な機能です。
- ディスクによってはポップアップメニューがないものもあります。

1 再生中に **を押す**

(を押して、「ポップアップメニュー」を選んで表示させることもできます)

例)

2 [▲] [▼] [◀] [▶] で項目を選び、(決定) を押す

- ディスクによって表示される画面は異なります。操作方法はディスクの説明書をご覧ください。
- [再生ナビ] を押すと、元の再生画面に戻ります。

再生ナビから再生する

HDD BD-RE(2.1) BD-RE(1.0) BD-R RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)

再生ナビを使うと、一覧表の中から見たい番組を選んで再生できます。

1 を押して、「HDD」または「BD」を選ぶ

●ディスクを再生するときは「BD」を選んでください。

2 を押す

HDD BD-RE(2.1) RAM

☞「番組一覧」を表示するには

青 を押す

例）HDD

アイコン（詳しくは➜126）

3 番組を選び、決定 を押す

①選び

②決定する

☞ まとめ アイコンの番組を選んだときは（HDDのみ）

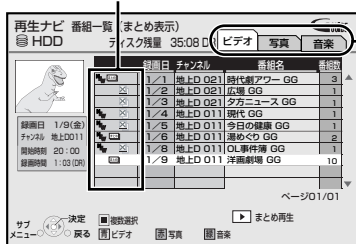
まとめ 番組内の番組を一覧表示します。

[▲] [▼] で再生したい番組を選び、決定 を押す

☞前後のページを表示するには

[⏮] (前ページ) または [⏭] (次ページ) を押す

●選んだ番組の再生が始まります。

ただし、続き再生メモリー機能（➜50「停止」）が働いている場合は、停止した位置から再生します。

番組・写真・音楽の切り換え表示

再生ナビ画面では、番組・写真・音楽を別々に管理しています。それぞれを再生するには、切り換えが必要です。

［青］、［赤］、［緑］を押すと切り換わります。

HDD　ビデオ　写真　音楽

RAM BD-RE(2.1)　ビデオ　写真

SD　写真　音楽

・ビデオ　：録画・記録した番組

・写真　：SD カードなどからダビングした写真

・音楽　：CD から録音した音楽

お知らせ

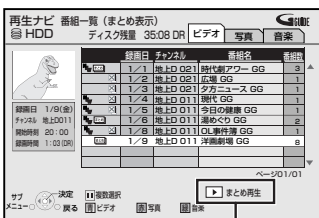
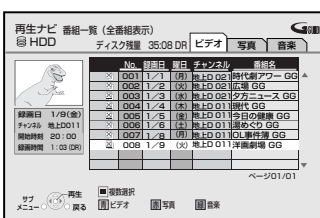
● BD-RE(2.1) BD-RE(1.0) BD-R 他機器で再生制限が設定されている場合、同じ機器で設定した4けたの暗証番号を入力し［決定］を押してください。再生制限が一時的に解除され、通常の操作を行えます。

☞**再生ナビ画面を消すには**

［再生ナビ］を押す

まとめ表示と全番組表示について（HDD）

再生ナビ画面などの番組一覧では、毎日・毎週予約で録画した番組をシリーズとして１つにまとめて表示する「まとめ表示」と、録画したすべての番組を一覧表示する「全番組表示」があります。

まとめ表示

サブメニュー Ⓢ を押して

「全番組表示へ」

「まとめ表示へ」

を選び、決定 を押す

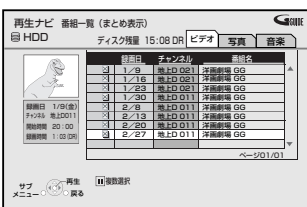
全番組表示

まとめ再生について（➜下記）

まとめ 表示の番組を選び、

決定 を押す

戻る を押す

まとめ 番組内の番組を一覧表示します。

まとめ表示について

毎日・毎週予約で録画した番組は、番組一覧（まとめ表示）ではまとめて表示されます。連続ドラマなどの番組がまとまって表示されるので番組の検索に便利です。

☞**まとめ番組のまとめを解除するには/番組を1つにまとめるには**

番組一覧のまとめ表示中に、「シリーズ解除」または「シリーズまとめ」を行ってください。（➜48）

まとめ再生について

まとめ アイコンの番組を選んで、［再生 ▶］を押すと まとめ 番組内の番組を連続再生します

見る

再生する

再生する（つづき）

再生ナビ画面の便利な機能

再生ナビ画面では、サブ メニューを使用して、番組の並び替えや他の画像への切り換えなどの操作が行えます。

再生ナビ画面上で

1 サブメニュー Ⓢ を押す

例）HDDのサブ メニュー

2 [▲] [▼] で項目を選び、

決定 を押す

（➜ 右記へ）

- 「シリーズまとめ」を行う場合は、[一時停止 ❚❚] を押して、まとめたい番組を2つ以上を選んでから [サブ メニュー] を押してください。

項目	内容
番組消去	番組を消去します。（➜54）
内容確認	番組の内容を確認できます。（➜54）
番組編集	番組の編集ができます。（➜54）
並び替え HDD ●全番組表示時のみ	番組の表示順を項目ごとに並び替えます。 たくさんの番組の中から再生したい番組を探すときなどに便利です。 **[▲] [▼] で並び替えたい項目を選び、[決定] を押す** ●再生ナビ画面を消すと、並び替えの情報は取り消されます。
まとめ表示へ **全番組表示へ** HDD	まとめ表示と全番組表示を切り換えます。
写真／音楽へ HDD **写真へ** BD-RE(2.1) RAM **ビデオ／音楽へ** HDD **ビデオへ** BD-RE(2.1) RAM **ビデオ／写真へ** HDD	「番組一覧」（ビデオ）、「アルバム一覧」（写真）、「音楽メニュー」（音楽）に画面を切り換えます。 （「写真/音楽へ」、「ビデオ/音楽へ」または「ビデオ/写真へ」を選んだ場合） **[▲] [▼] で項目を選び、[決定] を押す** ● [青]、[赤]、[緑] を押して画面を切り換えることもできます。
シリーズまとめ HDD ●まとめ表示時のみ	[一時停止 ❚❚] で選んだ番組を、まとめ 番組として 1 つにまとめます。 **[◀] で「シリーズまとめ作成」を選び、[決定] を押す**
シリーズ解除 HDD ●まとめ表示時のみ	まとめ 番組のまとまりを解除します。 **[◀] で「シリーズまとめ解除」を選び、[決定] を押す**

☞**再生ナビを表示したときに、右記画面が表示されたら**

連続ドラマなどの毎日・毎週予約していた番組が終了し、新番組が開始されます。
毎日・毎週予約を続けると、再生ナビ画面上で以前の番組と新しい番組とが同じ まとめ 番組になります。
予約一覧画面で「シリーズ終了」アイコンの表示がある番組を削除し、予約を登録し直すことをお勧めします。

予約番組のシリーズ終了のお知らせ

毎週予約で録画された番組名に "［終］" がありました。
次回以降の番組名が変わり番組追従できないことがあります。新番組の予約に登録し直すことをお勧めします。

決定
戻る

他の機器で作成したプレイリストの再生

BD-RE(2.1) BD-RE(1.0) BD-R RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)

他の機器で作成したプレイリストを再生することができます。本機ではプレイリストの作成や編集はできません。

準備
- 再生可能なディスクを入れる。（➜17）
- [HDD/BD/SD 切換] を押して、「BD」を選ぶ。

1 停止中に、 **を押す**

2 [▲] [▼] で「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 [▲] [▼] で「プレイリスト」を選び、決定 を押す

- BD-RE(2.1) BD-RE(1.0) BD-R 他機器で再生制限が設定されている場合、同じ機器で設定した4けたの暗証番号を入力し [決定] を押してください。再生制限が一時的に解除され、通常の操作を行えます。

4 [▲] [▼] [◀] [▶] で再生したいプレイリストを選び、決定 を押す

- 選んだプレイリストの再生が始まります。

☞**前後のページを表示するには**

[|◀◀]（前ページ）または [▶▶|]（次ページ）を押す

- [▲] [▼] [◀] [▶] で「前ページ」または「次ページ」を選び、[決定] を押してもページの切り換えができます。

☞**画面を消すには**

戻る を数回押す

音声を切り換える

HDD BD-RE(2.1) BD-RE(1.0) BD-R BD-V RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) DVD-V

テレビ番組の受信、または再生中の音声を切り換えることができます。

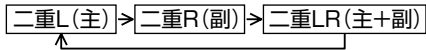
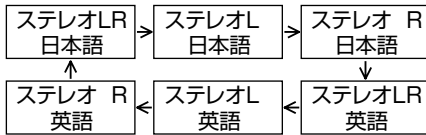
●デジタル放送で切り換えることのできる音声の種類と数は、番組により異なります。
●ステレオ放送のときは「ステレオ音声」が、二重放送のときは「主音声」が自動的に選ばれます。(2カ国語オート再生)
[音声] を押して、音声を選んだあとは、2カ国語オート再生は働きません。(一度電源を切ると、この機能は働くようになります)
●電源を切るまで、選ばれた音声のままになります。

放送受信時

[音声] (ふた内部)を押す

●押すごとに、放送の内容によって切り換わります。

例)二重放送

二重L(主) → 二重R(副) → 二重LR(主+副)

例)マルチ音声放送

●デジタル放送のマルチ音声の場合、「信号切換」(➜27)で音声を切り換えることもできます。

お知らせ

●初期設定「高速ダビング用録画」(➜102)が「切」になっていないと、アナログ放送の音声を切り換えることができません。(お買い上げ時の設定は「入」です)
●録画中に[音声]を押しても、記録される音声に影響はありません。
●録画モードが「XP」で、初期設定「XP時の記録音声モード」(➜104)が「LPCM」になっているとき、音声を切り換えることはできません。

再生時

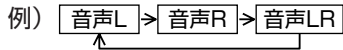
[音声] (ふた内部)を押す

●押すごとに、収録されている内容によって切り換わります。

HDD BD-RE(2.1) BD-RE(1.0) BD-R RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)

例) 音声L → 音声R → 音声LR

BD-V DVD-V

音声情報 1日 Digital 2/0ch

(➜52「言語」)

● HDD BD-RE(2.1) BD-RE(1.0) BD-R RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)
二重放送の主、副両音声を録画・ダビングした場合は、主音声が "L"、副音声が "R" に記録されています。押すごとに切り換わります。

お知らせ

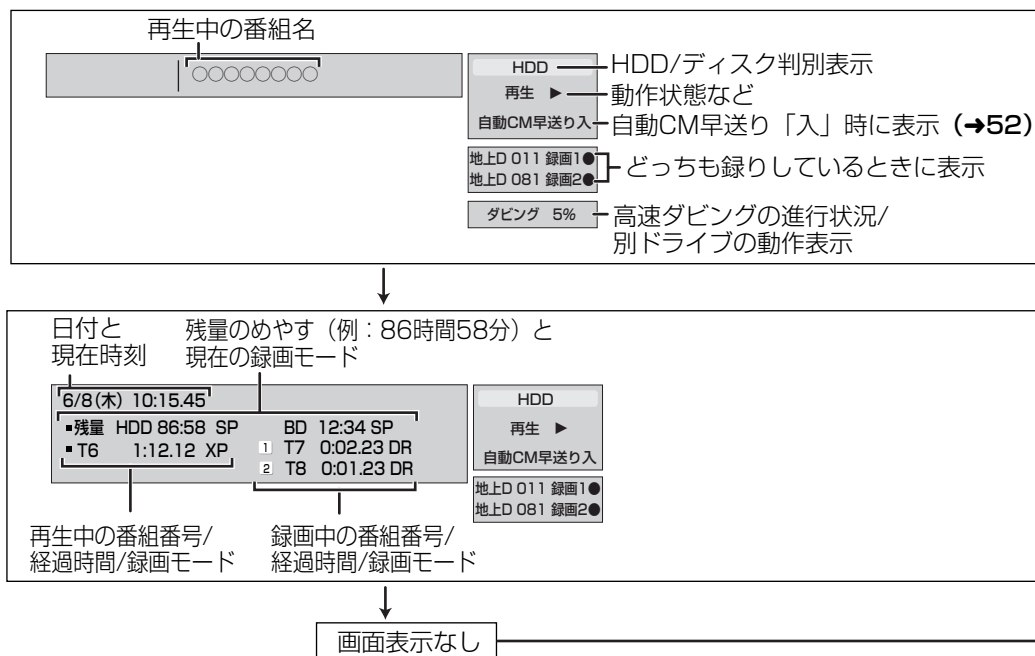
● BD-V DVD-V ディスクに複数の言語が収録されていない場合や、ディスク制作者の意図などにより、切り換えができないディスクもあります。

再生中のいろいろな操作

HDD BD-RE(2.1) BD-RE(1.0) BD-R BD-V RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V) DVD-V

操作	方法	説明
停止	[停止 ■] **を押す**	**続き再生メモリー機能** [停止 ■]を押すと止めた位置を一時的に記憶します。 [再生 ▶]を押すと、止めた位置から再生します。 ● HDD ：番組ごとに止めた位置を記録します。再生ナビから再生すると番組の止めた位置から再生が始まります。 ●その他のディスク：ディスク全体で1カ所のみ止めた位置を記憶します。 ●記憶した位置は、以下の場合解除されます（HDD は除く）。 ・トレイを開けてディスクを取り出したとき。 ●電源「入」時に、停電になったり電源コードが抜けるなどで電源が切れた場合、記憶されません。
一時停止（静止画）	[一時停止 ❚❚] **を押す** お好み選局	●もう一度押す、または[再生 ▶]を押すと、再生を再開します。
早送り・早戻し（サーチ）	サーチ/スロー [◀◀] [▶▶] **を押す**	押すごとに、または押したままにすると、速くなります（5段階）。 ●マルチジョグの左回し / 右回しでも動作します。※1 ・1クリック回すごとに速度が速くなります。速度を遅くすることはできません。 ●[再生 ▶]で通常再生に戻ります。（マルチジョグを反対方向に回しても戻ります） ●早送り1速時のみ音声が出ます。（BD-V ※2やSDカードのハイビジョン動画をダビングした BD-RE(2.1)（➜68）はどの速度でも音声が出ません。） ●ディスクによっては速くならないことがあります。
スキップ	再生中または一時停止中に、 スキップ [⏮] [⏭] **を押す**	押した回数だけ番組や場面を飛び越して再生します。 ● HDD［スキップ ⏮］のみが有効です。ただし、以下の場合には［スキップ ⏭］も有効です。 ・まとめ再生（➜47） ・番組本編の音声がステレオ以外の番組（DRモードの番組を除く） ● BD-V とSDカードのハイビジョン動画をダビングした BD-RE(2.1) の場合は、同じタイトル内のチャプターのスキップになります。タイトルを飛び越すことはできません。
ダイレクト再生 BD-V DVD-V	**[1] ～ [10/0]（ふた内部）でタイトルやチャプターの番号を入力する**	●停止中（右の画面表示中）は、選択されたタイトルを、再生中は選択されたチャプターをそれぞれ再生します。 BD-V 3けたで入力 例）5の場合…[10/0] → [10/0] → [5]、15の場合…[10/0] → [1] → [5] DVD-V 2けたで入力 例）5の場合…[10/0] → [5]、15の場合…[1] → [5] Blu-ray Disc™
早見再生（1.3倍速）	[再生 ▶] **を約1秒以上押す** 1.3倍速	通常よりも速く再生します。 ●もう一度[再生 ▶]を押すと、通常再生に戻ります。 ● BD-RE(1.0) BD-V ※2やSDカードのハイビジョン動画をダビングした BD-RE(2.1)（➜68）ではできません。 ● -RW(VR) -RW(V) ではできません。（ファイナライズしたあとでもできません） ●DRモードの番組の場合、録画した放送の内容によっては部分的に早見再生が働かないときがあります。
スロー再生	一時停止中に サーチ/スロー [◀◀] [▶▶] **を押す**	押すごとに、速度が速くなります（5段階）。 ● BD-V ※2やSDカードのハイビジョン動画をダビングした BD-RE(2.1)（➜68）は、スロー再生で戻ることはできません。 ●マルチジョグの左回し / 右回しでも動作します。※1 ・1クリック回すごとに速度が速くなります（5段階）。速度を遅くすることはできません。 ●マルチジョグを反対方向に回すと一時停止に戻ります。 ●[再生 ▶]で通常再生に戻ります。 ●スロー再生を約5分以上続けたときは、一時停止します。（BD-V DVD-V は除く）
コマ送り / コマ戻し	一時停止中に **[◀❚❚] [❚❚▶] を押す**	押すごとに1コマずつ送り（戻し）ます。 ●押したままにすると、連続してコマ送り（戻し）します。 ●[再生 ▶]で通常再生に戻ります。 ● BD-V ※2やSDカードのハイビジョン動画をダビングした BD-RE(2.1)（➜68）はコマ送りのみ行うことができます。

※1 回すときに強く押すと誤操作の原因になります。**初期設定**「マルチジョグ」（➜101）でこの機能を「切」にすることができます。
※2 当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影したハイビジョン動画（AVCHD）が記録されたDVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW（➜68）を含みます。

時間を指定して飛び越す(タイムワープ) ● BD-V ※2 DVD-V を除く	**1 [12* タイムワープ] (ふた内部)を押す** **2 飛び越し時間の表示中に、[▲] [▼] で飛び越す時間を設定し、[決定] を押す** ●飛び越し時間表示が消えたときは、もう一度[タイムワープ/12*]を押してください。 ●[▲] [▼] を押すごとに 1 分ずつ(押したままにすると10分ずつ)、送り[▲]、戻し[▼]します ●SDカードのハイビジョン動画をダビングした BD-RE(2.1) (➔68)はできません。
30 秒先へスキップする ● BD-V ※2 DVD-V を除く	**[30秒スキップ] を押す** 押すごとに、約30秒飛び越して再生します。 ●SDカードのハイビジョン動画をダビングした BD-RE(2.1) (➔68)はできません。
操作の状態を表示する(情報表示)	本機を操作したとき、テレビ画面で操作内容や本機の状態などを確認できます。 **[画面表示] (ふた内部)を押す** ●押すごとに切り換わります。 例) HDD
画面モードを切り換える	上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。 ☞**操作方法については(➔26)**

見る

再生中のいろいろな操作

再生設定

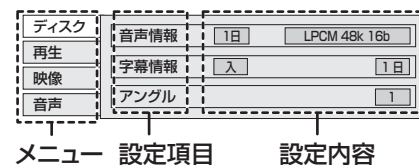
設定の基本操作
（マルチジョグの左回し/右回しで選ぶことはできません。）

1 [再生設定] **（ふた内部）を押す**
- ●ディスクにより設定項目は異なります。

2 [▲] [▼] で設定したいメニューを選び、[▶] を押す

3 [▲] [▼] で設定項目を選び、[▶] を押す

4 [▲] [▼] で選んで設定する
- ● [決定] を押して設定変更を実行するものもあります。

☞**設定を終了するには**
[再生設定]（ふた内部）を押す

ディスク独自の機能を設定する（ディスク）

音声情報※
- ● BD-V DVD-V 音声や言語を選びます。（➜右記「音声属性/言語」）
- ● HDD BD-RE(2.1) BD-RE(1.0) BD-R RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)
  音声属性表示のみ

信号切換
- ● HDD（DR モードの番組のみ）BD-RE(2.1) BD-RE(1.0) BD-R
  映像や音声などを切り換えます。「字幕」「字幕言語」の設定内容はデジタル放送の視聴時にも適用されます。
  - ▶マルチビュー
  - ▶映像
  - ▶音声
  - ▶二重音声
  - ▶字幕（オン/ オフ）
  - ▶字幕言語（日本語/ 英語）

字幕情報※
- ● BD-V DVD-V 字幕表示の 入/ 切や、言語を選びます。（➜右記「言語」）
- ● HDD （DR モード以外の番組のみ）
- ● RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)
  入 / 切のみ [他機で録画したディスクなど、字幕の入 / 切 情報が記録されたディスクのみ切り換えられます。本機では、アナログ放送の字幕情報は記録されません。デジタル放送の字幕情報は、録画モード「DR」で HDD や BD に記録する場合を除き、録画時の「字幕」の設定（➜27、41）のまま記録され、再生時に入/切を切り換えることはできません。]

音声チャンネル HDD （DR モード以外の番組のみ） RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)
音声（L/R）を切り換えます。

字幕スタイル BD-V
ディスクに記録されている字幕スタイルを選択します。

アングル※ BD-V DVD-V
アングルを選びます。

※ディスクに収録されているメニュー画面（➜46）でのみ切り換えできるものもあります。
●収録内容により表示が変わります。収録されていない場合は変更できません。

再生方法を設定する（再生）

リピート（本体表示窓に経過時間が表示されるときのみ）
●繰り返し再生の方法を選びます。ディスクによりリピートの種類は異なります。

▶番組	：番組全体
▶タイトル	：タイトル全体（BD ビデオ、DVD ビデオなど）
▶チャプター	：チャプター
▶プレイリスト	：プレイリスト
▶全曲	：ディスク全体（選んだアルバムの全曲）
▶1曲	：選んだ曲のみ

ランダム
順不同に再生します。（音楽の再生時のみ）
- ▶切
- ▶入

自動CM早送り HDD BD-RE(2.1) BD-RE(1.0) BD-R RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)
（音声が下記の場合のみ）
CMを自動的に飛ばして再生します。
●録画内容によっては、正しく働かないことがあります。
例：下図の CM 部分が 5 分以上の場合など

番組	CM	番組
モノラル/二重	ステレオ	モノラル/二重
再生 →	スキップ →	再生 →

●以下の場合は働きません。
- ・DR モードの番組
- ・外部入力から録画した番組

●設定した内容は電源を切っても保持されます。

〈音声属性〉
LPCM/■■Digital/■■Digital+/■■TrueHD※1/DTS-HD※2/DTS/MPEG/AAC：信号タイプ
ch：チャンネル数　　k：サンプリング周波数（kHz）
b：ビット数（bit）

〈言語〉

日：日本語	英：英語	仏：フランス語
独：ドイツ語	伊：イタリア語	西：スペイン語
蘭：オランダ語	中：中国語	露：ロシア語
韓：韓国語	＊：その他	

※1 Dolby TrueHD で記録された音声は、Dolby Digital の音声として出力されます。
※2 DTS-HD で記録された音声は、DTS の音声として出力されます。

お好みの画質を設定する（映像）

画質選択

HDD BD-RE(2.1) BD-RE(1.0) BD-R BD-V RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V) DVD-V

映像ディスク再生時の画質を選びます。
DR モードの番組には、「シネマ」の設定は効果がありません。

▶ノーマル　：標準
▶ソフト　：ざらつきの少ない柔らかな画質
▶ファイン　：輪郭の強調されたくっきりした画質
▶シネマ　：映画鑑賞向け
▶ユーザー　：さらに画質を調整

[▶] で「詳細画質設定」を選び、[決定] を押す
・コントラスト（白黒の強弱）
・ブライトネス（画面全体の明るさ）
・シャープネス（鮮やかさ）
・カラー（色の濃さ）
・ガンマ（暗くて見えにくい映像の輪郭）

HD オプティマイザー

HDD BD-RE(2.1) BD-RE(1.0) BD-R BD-V RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V) DVD-V

「入」を選ぶと、動画のモザイクノイズや文字周りのもやを精度よく補正します。

プログレッシブ

プログレッシブ [525 p (480p)] 出力するかしないかを設定します。
映像が左右に引き伸ばされるときは「切」にしてください。

●初期設定「D 端子出力解像度」で「D2」～「D4」を選んでいる場合 (➜105)
プログレッシブ [525p (480p)] 出力を入 / 切 します。
●初期設定「HDMI 映像優先モード」で「入」を選んでいる場合 (➜104)
プログレッシブ [525p (480p)] 出力は「入」固定になります。

変換モード [「プログレッシブ」(➜上記) が「入」の場合のみ]

プログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。

▶Auto（標準）　：フィルム素材とビデオ素材を自動で認識し、適切に変換します。
▶Video　：Autoでぶれが生じるとき

お好みの音声効果を設定する（音声）

音質効果

HDD BD-RE(2.1) BD-RE(1.0) BD-R RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V) DVD-V CD SD

リ．マスター（サンプリング周波数が 48kHz 以下で記録された音声のみ）

音声圧縮処理によって欠落したデジタル信号の高音域成分を復元することで、より豊かな音質を楽しめます。
●音声がひずむ場合「切」にしてください。
●再生する内容によっては、効果が現れない場合があります。

▶リ．マスター標準（参考例：ポップス・ロック・ジャズなど）
▶リ．マスター強（参考例：クラシックなど）

サラウンド（2 チャンネル以上の音声のみ）

フロントスピーカー（L / R）だけで音の臨場感を出します。
●音声がひずむ場合、「切」にしてください。
●接続した機器のサラウンド機能は「切」にしてください。
●本機で録音した二重音声には働きません。
●HDD CD SD 音楽には働きません。

▶サラウンド標準
▶サラウンド強
▶切

シネマボイス

HDD BD-RE(2.1) BD-RE(1.0) BD-R BD-V RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V) DVD-V（ドルビーデジタル、DTS、AAC でセンターチャンネルを含むディスクのみ）

セリフを聞き取りやすくします。

番組を編集する

HDD BD-RE(2.1) BD-R RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)
（ファイナライズしたディスクでは編集できません。ただし、
BD-R -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) はファイナライズ後でも「内容確認」のみできます）

- ディスクの内容を直接編集します。消去などを行った場合には、元に戻すことはできません。お気をつけください。
- 録画中やダビング中に「部分消去」、「サムネイル変更」、「番組分割」はできません。
- SD カードのハイビジョン動画（AVCHD）をダビングした BD-RE(2.1)（➔68）は、「番組分割」、「部分消去」はできません。

BD-R -R(VR) -R DL(VR)

編集するたびに情報が未記録部分に書き込まれるため、何度も繰り返すとディスク残量が減少します。編集は HDD 上で行い、そのあと、ダビングすることをお勧めします。

準備
- [HDD/BD/SD 切換] を押して、「HDD」または「BD」を選ぶ。
- ディスクやカートリッジの誤消去防止設定（プロテクト）（➔93）を解除しておく。

1 再生中または停止中に、 を押す

例）HDD

HDD BD-RE(2.1) RAM

☞**「番組一覧」を表示するには**

 を押す

2 編集する番組を選び、 を押す

☞ まとめ **番組内の番組を編集するには（HDD のみ）**

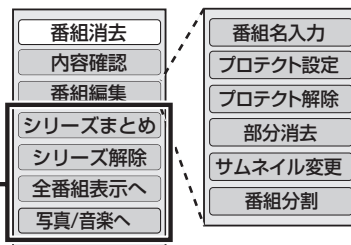
①[▲] [▼] で編集する番組のある まとめ アイコンの番組を選び、[決定] を押す
②[▲] [▼] で編集する番組を選び、[サブ メニュー] を押す

☞**前後のページを表示するには**
[|◀◀]（前ページ）または [▶▶|]（次ページ）を押す

☞**複数の番組をまとめて編集するには**
[▲] [▼] で番組を選び、[一時停止 ❚❚] を押す操作を繰り返す
- ☑が表示されます。もう一度 [一時停止 ❚❚] を押すと解除されます。

例）HDD

番組消去	番組名入力
内容確認	プロテクト設定
番組編集	プロテクト解除
シリーズまとめ	部分消去
シリーズ解除	サムネイル変更
全番組表示へ	番組分割
写真/音楽へ	

操作方法は➔48「再生ナビ画面の便利な機能」

3 編集する項目を選び、決定 を押す（➔ 右記へ）

- 「番組編集」を選んだときは、さらに [▲] [▼] で項目を選び、[決定] を押します。

☞**前の画面に戻るには**

 を押す

☞**画面を消すには**

 を押す

番組を消す
番組消去

内容を確認する
内容確認

番組名を付ける
番組名入力

誤消去防止の設定 / 解除
プロテクト設定 / 解除
HDD BD-RE(2.1) BD-R RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)

番組の不要な部分を消す
部分消去
HDD BD-RE(2.1) BD-R RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)

DVDトップメニューで表示される画像（サムネイル）を変更する
サムネイル変更
HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)

番組を2つに分割する
番組分割
HDD BD-RE(2.1) BD-R RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)

消去すると記録した内容が消え、元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。

[◀] で「消去」を選び、(決定) を押す

☞**消去後のディスク残量については（➜90）**

番組名、録画日、チャンネルなどの確認ができます。

☞**画面を消すには**

[決定] を押す

☞**文字入力については（➜95）**

大切な記録内容を誤って消去しないよう、番組ごとに書き込み禁止（プロテクト）の設定または解除ができます。

[◀] で「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、(決定) を押す

- プロテクト設定すると 🔒 が表示されます。（HDD まとめ アイコンの番組を選んでプロテクト設定した場合は、まとめ 番組内の番組を一覧表示した画面に 🔒 が表示されます）解除すると消えます。

記録した番組の消したい部分を指定して消去します。

1 「イン点」が選ばれている状態で、消去する開始点で (決定) を押す※

2 「アウト点」が選ばれている状態で、消去する終了点で (決定) を押す※

3 [▲] [▼] で「終了」を選び、(決定) を押す

☞**続けて別の不要な部分を消去するには**

「次へ」が選ばれている状態で [決定] を押す（手順 4 を行ったあと、手順 1 へ）

4 [◀] で「消去」を選び、(決定) を押す

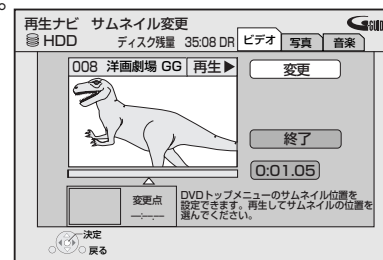
DVD のファイナライズ後のトップメニュー画面で表示される画像を変更することができます。

1 再生▶ (1.3倍速) を押して、再生を始める

2 「変更」が選ばれている状態で、お好みの場面で (決定) を押す※

☞**選び直すには**

① [▲] [▼] で「変更」を選び、[再生 ▶] を押して再生を始める
②お好みの場面で [決定] を押す

3 「終了」が選ばれている状態で、(決定) を押す

分割すると元に戻すことができません。分割してよいか確認してから行ってください。

1 「分割」が選ばれている状態で、分割する場面で (決定) を押す※

☞**分割する場面を確認するには**

「プレビュー」が選ばれている状態で、[決定] を押す

- 分割する場面の前後 10 秒間が再生されます。

☞**分割する場面を選び直すには**

① [▲] [▼] で「分割」を選び、[再生 ▶] で再生を始める
② 分割する場面で、[決定] を押す

2 [▲] [▼] で「終了」を選び、(決定) を押す

3 [◀] で「分割」を選び、(決定) を押す

- 分割した番組は、まとめ表示では まとめ アイコンの番組になります。
- 分割すると、分割点の直前部分が一瞬再生されなくなります。「プレビュー」（➜ 上記）で確認のうえ、実行してください。
- 番組名（➜ 上記）や録画禁止などの情報は、分割した番組の両方に反映されます。

※編集中の便利な機能（編集したい場面を探すのに便利です）

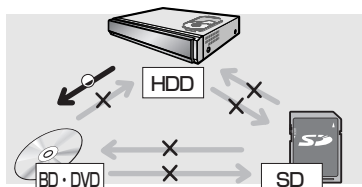
- 早送りやスロー再生（➜50）、タイムワープ（➜51）などを使うと、目的の部分を探すのに便利です。

番組のダビングについて

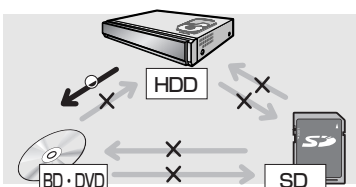
本機では以下の3種類のダビングがあります。

再生中番組の保存

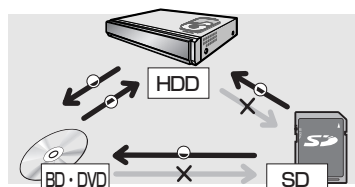
再生中の番組をダビングすることができます。
複数の音声や映像などが含まれるDRモードの番組をBDにはそのまま、DVDには音声・映像などを選んでダビングすることができます。

番組のダビングできる方向

おまかせダビング

難しい設定なしにＨＤＤにある番組を複数選んで、BDやＤＶＤへ簡単にダビングできます。操作手順も音声ガイドが案内してくれます。

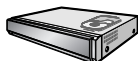
番組のダビングできる方向

詳細ダビング

お好みの設定で番組のダビングを行うことができます。
- SDカードのMPEG2動画は、BDへダビングすることはできません。

番組のダビングできる方向

写真のダビングは（➜78）

Q ダビング元は？

HDD

Q ダビング先は？

- BD-RE(2.1) / BD-R
- RAM / -R(VR) / -R DL(VR) / -RW(VR)
- ファイナライズ前の -R(V) / -R DL(V) / -RW(V)

Q 何をダビングしますか？

選べるダビングはこうなります。

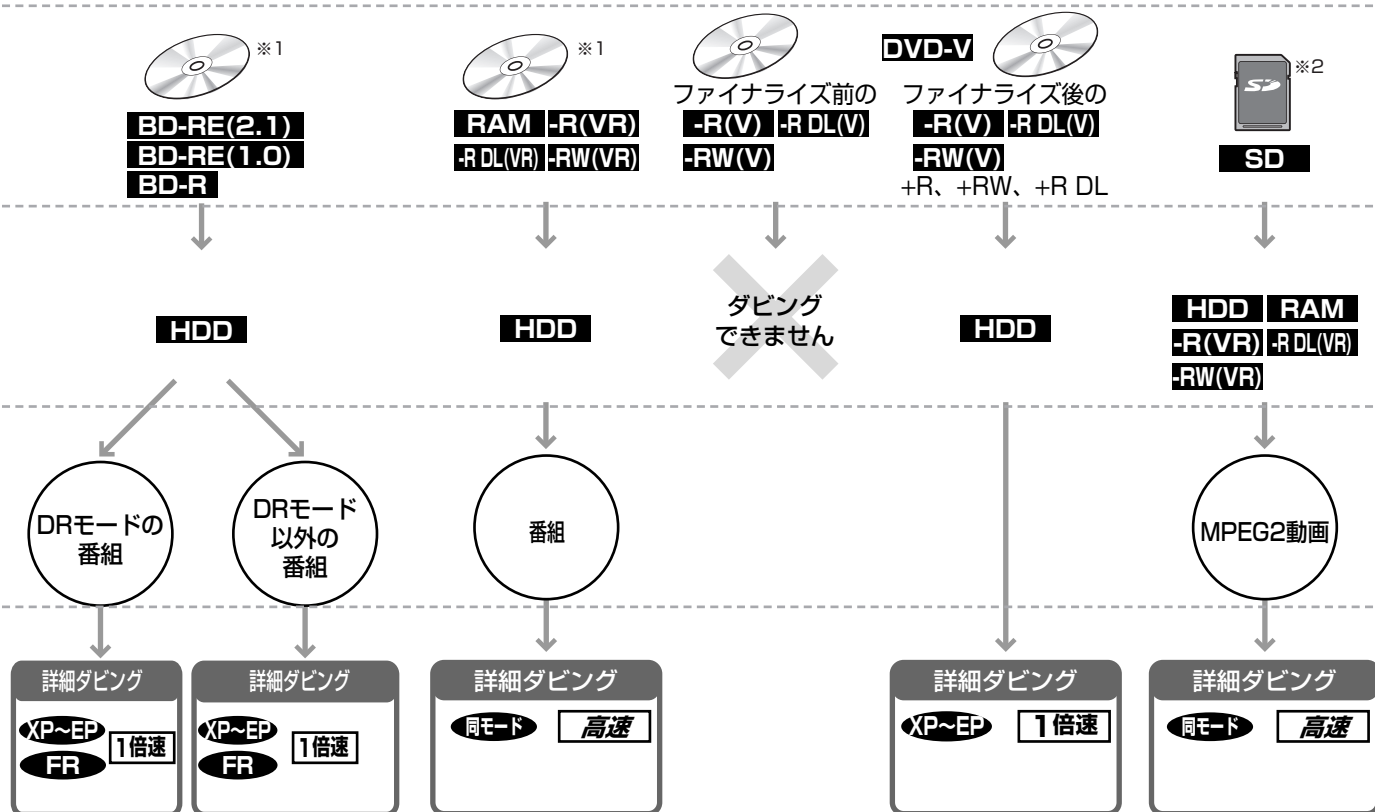
	BD-RE(2.1) / BD-R：DRモードの番組	BD-RE(2.1) / BD-R：DRモード以外の番組	RAM / -R(VR) / -R DL(VR) / -RW(VR)：DRモードの番組	RAM / -R(VR) / -R DL(VR) / -RW(VR)：DRモード以外の番組	ファイナライズ前の -R(V) / -R DL(V) / -RW(V)：DRモード以外の番組
再生中番組の保存	同モード 高速 FR 1倍速	同モード・FR 1倍速	FR 1倍速	同モード 高速 FR 1倍速	同モード 高速「入」 FR 1倍速
おまかせダビング	同モード 高速 FR 1倍速	FR 1倍速	FR 1倍速	同モード 高速 FR 1倍速	同モード 高速「入」 FR 1倍速 ファイナライズ自動
詳細ダビング	同モード 高速OK XP～EP・FR 1倍速	XP～EP・FR 1倍速 CM早送り	XP～EP・FR 1倍速	同モード 高速OK XP～EP・FR 1倍速 CM早送り	同モード 高速「入」 XP～EP・FR 1倍速 CM早送り ファイナライズ選択

マークの見かた

録画モード

- 同モード　ダビング元と同じ録画モードになります。
- XP～EP　録画モードを変更します。
- FR　ディスク残量ぴったりに画質を調整します。

ダビング速度

- 高速　高速でダビングすることができます。
- 高速OK　録画モードを「高速」にすると、高速でダビングできます。
- 高速「入」　初期設定「高速ダビング用録画」(➜102) を「入」にして録画した番組をダビングする場合は、高速でダビングできます。
- 1倍速　番組の記録時間またはそれ以上の時間がかかります。

ファイナライズとは

記録したディスクを他の DVD 機器でも再生できるように、再生専用ディスクに処理することです。

-R(V) -R DL(V) -RW(V)
ダビング後、ファイナライズを行うと、他の DVD 機器でも再生できます。※3

※1「1回だけ録画可能」の番組は、HDDへダビングできません。
※2 ハイビジョン動画（AVCHD）のダビングについては（➔68）
※3 再生する機器が、ファイナライズしたディスクの再生に対応している必要があります。

ファイナライズの実行

ファイナライズ自動　ダビングのあと自動でファイナライズします。

ファイナライズ選択　ダビングのあとファイナライズを行うか選択できます。

「トップメニュー」や「ファーストプレイ選択」は選べません。背景の色や再生方法を設定したい場合は、ダビングする前に、DVD管理の「トップメニュー」や「ファーストプレイ選択」を変更してください。（➔94）

自動CM早送り

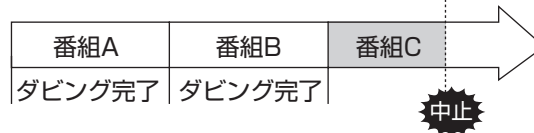
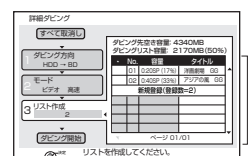
CM早送り　録画モードが「高速」以外のときに番組のCMを飛ばしてダビングすることができます。

番組のダビングについて（つづき）

ダビング Q & A

Q（質問）	A（回答）
こういうときはどのダビングで行えばいいですか？	
ダビング先の残量が気になるとき	**詳細ダビング**です。 録画モードを変更してダビングすれば、ダビング先の容量に合わせてダビングできます。 **録画モードを「FR」にしてダビングすると、**ディスク残量ぴったりに画質を自動で調整して記録します。ただし、何番組かをまとめてダビングする場合、ディスク残量ぴったりにならないことがあります。 ●ダビング元より高画質な録画モードを選んでも、画質は向上しません。（劣化防止にはなります）
複数の映像や音声を含んだ DR モードの番組をダビングするとき	**BDにおまかせダビング**で行ってください。※ BDには複数の映像や音声をそのままダビングすることができます。 DVD には**再生中番組の保存**で行ってください。 DVD には映像や音声を 1 つしかダビングできません。 「再生中番組の保存」だとダビングしたい映像や音声を選んだ状態でダビングできます。
番組のCMを飛ばしてダビングしたいとき	**詳細ダビング**です。 録画モードを「高速」以外に設定したときに実行できます。（DR モードの番組をダビングするときは働きません） ―5 分以上の CM には働きません。 ―番組の一部が CM とまちがえられて、ダビングされない場合があります。 デジタル放送などの「移動される番組」（➜**下記**）では、元の番組が消されてしまうので、元に戻すことができません。CM を「部分消去」（➜**54**）で消してから、「自動CM早送り」を「切」（➜**64**「**詳細設定**」）にしてダビングすることをお勧めします。 **自動 CM 早送り** 音声が右記の場合のみ働きます。 番組 / CM / 番組 モノラル／二重 / ステレオ / モノラル／二重 再生 / スキップ / 再生 録画内容によっては正しく働かない場合があります。
デジタル放送の番組をダビングするとHDD の番組が消去されるって本当ですか？	**HDD の番組は消去されます。** 「1 回だけ録画可能」の番組は、HDD から **BD-RE(2.1)** **BD-R** やCPRM 対応の **RAM** **-R(VR)** **-R DL(VR)** **-RW(VR)** へ移動のみできます（HDD からは消去されます）。複製はできません。 録画内容が消える　移動　番組 ダビングできません プロテクト（➜**54**）を設定した番組 ●BD や DVD ディスクから HDD への移動はできません。 ● **RAM** **-R (VR)** **-RW(VR)** にダビング（移動）する場合は、当社製の CPRM対応のディスクのご使用をお勧めします。 **お知らせ** ●外部入力1または外部入力2で接続したセットトップボックスから本機のHDDに録画した「1回だけ録画可能」の番組は、BDの著作権保護の規定により、BDにはダビングできません。CPRM対応の **RAM** **-R(VR)** **-R DL(VR)** **-RW(VR)** をお使いください。
ハイビジョンの画質やサラウンド音声をそのままダビングできますか？	●BD には、DRモードでダビングすると、画質や音声をそのままダビングできます。 ●DVDには画質や音声をそのままダビングすることはできません。以下のようにダビングされます。 **DRモードの番組** → **ダビング後** ハイビジョン画質の映像 → アナログ放送の録画画質に変換されてダビング サラウンド番組の音声 → ステレオ音声でダビング 複数の映像が含まれている番組 → 映像は 1 つだけダビング 複数の音声が含まれている番組 → 音声は 1 つだけダビング 字幕情報が含まれた番組 → 再生時、字幕表示の入/切はできない

※ BDの残量が足りない場合はFRモードのダビングになり、DRモードの番組をそのままダビングできません。

Q(質問)	A(回答)
高速ダビングと1倍速ダビングの違いは?	高速ダビングは… ダビングする番組の記録時間よりも短い時間で画質(録画モード)を変えずに、ダビングすることができます。 1倍速ダビングは… ダビングする番組の記録時間と同じ時間、またはそれ以上の時間をかけてダビングします。 (表は下記) ※ HDD の番組のみ可能(ただしおまかせダビング中やファイナライズを含むダビング中、SD カードの MPEG 2 動画をダビング中はできません) ー 追っかけ再生(➜38)や「部分消去」、「サムネイル変更」、「番組分割」(➜54)などはできません。 ー 写真や音楽の再生はできません。
高速でダビングできないのはどんな場合?	●**BD-RE(2.1) BD-R に以下のようにダビングする場合** ・「DR」モード以外の番組をダビング ・十分な残量のないディスクに「DR」モードの番組をダビング ●**DR モードの番組をDVDにダビングする場合** DR モードの番組は**初期設定**「高速ダビング用録画」(➜102)を「入」にして録画しても、高速でダビングできません。 ●**-R(V) -R DL(V) -RW(V) に下記のようにダビングする場合** ・**初期設定**「高速ダビング用録画」(➜102)を「切」にして録画した番組を含むダビング ・部分消去を繰り返した番組 ・SD カードの MPEG2 動画を HDD にダビングした番組 ●**詳細ダビングで「録画モード」を「高速」以外にした場合** 上記の場合、1倍速でのダビングになります。
ダビング実行中にダビングを中止するとどうなる?	例)番組 A・B・C の順にダビングして番組 C の途中で中止した場合 ● 高速 番組 A・B のみダビングされます。 ● 1倍速 番組 A・B と番組 C の途中までがダビングされます。 ただし ・番組 Cが「1回だけ録画可能」の番組の場合 - 番組 C はダビング(移動)されず、HDD に残ります。 ・ -R(V) -R DL(V) -RW(V) にダビングする場合 -(HDD に一時的に複製中のとき)番組 A・B・C はダビングされません。 -(ディスクに高速ダビング中のとき)番組 C はダビングされません。 BD-R -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) に高速ダビングする場合、番組 C がダビングされていない場合でも、番組 C の中止したところまでがディスクに書き込まれるため、ディスク残量は減少します。
ダビング中に予約録画の開始時刻になるとどうなる?	● 高速 予約録画が実行されます。(ただし、おまかせダビング中やファイナライズを含むダビング中、録画先がBD-REの場合は実行されません) ● 1倍速 予約録画は実行されません。 ダビング中のため予約録画が実行されなかった場合、ダビング終了後の時間から、予約録画は開始されます。
複数の番組をダビングする場合、ダビングされる順番はどうなる?	おまかせダビング 画面の上から順にダビングされます。(登録した順にダビングはされません) 詳細ダビング 画面の上から順にダビングされます。 ●お好みの順にダビングしたい場合は、「詳細ダビング」で1つずつ番組を登録してください。

	高速ダビング	1倍速ダビング
「サムネイル変更」の保持	○	×
ダビング中の録画・再生	○※	×

番組のダビングについて(つづき)

残す

番組のダビングについて(つづき)

高速でのダビング所要時間のめやす（最高速時 / JEITA 測定基準によるダビング時間と倍速表示値を示す）

HDD		2X高速記録対応 BD-RE （1層）		2X高速記録対応 BD-RE （片面2層）		2X高速記録対応 BD-R （1層）		2X高速記録対応 BD-R （片面2層）	
録画モード	録画時間	所要時間	倍速	所要時間	倍速	所要時間	倍速	所要時間	倍速
DR※1	1時間	約15分	約4倍	約15分	約4倍	約15分	約4倍	約15分	約4倍

※1：地上デジタル（約17Mbps）の場合。

HDD		5X高速記録対応 DVD-RAM		16X高速記録対応 DVD-R※2		4X高速記録対応 DVD-R DL(片面2層)		4X高速記録対応 DVD-RW※3	
録画モード	録画時間	所要時間	倍速	所要時間	倍速	所要時間	倍速	所要時間	倍速
XP	1時間	約12分	約5倍	約7分30秒	約8倍	約15分	約4倍	約15分	約4倍
SP		約6分	約10倍	約3分45秒	約16倍	約7分30秒	約8倍	約7分30秒	約8倍
LP		約3分	約20倍	約2分5秒	約28倍	約3分45秒	約16倍	約3分45秒	約16倍
EP(6時間)		約2分	約30倍	約1分30秒	約40倍	約2分30秒	約24倍	約2分30秒	約24倍
EP(8時間)		約1分30秒	約40倍	約1分12秒	約50倍	約1分53秒	約32倍	約1分53秒	約32倍

1時間の番組をHDDに録画し、表に記入した高速記録対応ディスクに高速ダビングした場合のダビング速度の最速値です。
ディスク上の書き込み位置やディスクの特性などの条件により時間や速度が変わります。
※2 本機では16X 高速記録対応 DVD-R を使用しても、最大 8X の速度でダビングします。
※3 本機では 6X 高速記録対応 DVD-RW を使用しても、最大 4X の速度でダビングします。
●ダビング中に録画や再生をすると、最高速度にならないことがあります。

高速記録対応ディスク（RAM 5X、-R(VR) -R(V) 8X以上など）に高速ダビングする場合
動作音が気になるときは、**初期設定操作（➜101）**で「DVDの高速ダビング速度」（➜103）を「静音モード」にしてください。ただし、ダビングにかかる所要時間は長くなります。

-R(V) -R DL(V) -RW(V) にダビングする場合
高速モード以外でダビングする場合、1倍速で番組を HDD に一時的に複製したあと、ディスクに高速でダビングします。ダビング後、一時的に複製した HDD の番組は消去されます。以下の場合、-R(V) -R DL(V) -RW(V) にダビングすることはできません。
●HDDの残量が少ないとき（使用するディスクによっては、HDD の残量が SP モードで最大 4 時間必要になる場合があります）
●HDD に記録されている番組数とダビングする番組数の合計が 500 を超えるとき

DVD-R DL(片面2層) へのダビング
2層にまたがって記録された番組は、再生時に層の変わり目で映像や音声が途切れることがあります。（➜11）

ダビングにかかる制限について

16:9映像や4:3映像の番組のダビング

●-R(V) -R DL(V) -RW(V) にダビングする場合
●**初期設定**「高速ダビング用録画」（➜102）を「入」にして
ファイナライズ後のディスク（DVDビデオ）をダビングする場合

初期設定「ビデオ方式の記録アスペクト」（➜102）の設定に従って記録します。

主・副両音声を記録した番組のダビング

●-R(V) -R DL(V) -RW(V) にダビングする場合
●**初期設定**「XP時の記録音声モード」（➜104）を「LPCM」にし、
XPモードで、1倍速でダビングする場合

こんにちは　✕

どちらか一方のみ記録されます。
ダビング前に**初期設定**「二重放送音声記録」で記録したい音声を選んでください。（➜103）

CATV（ケーブルテレビ）などから録画した番組のダビング

●外部入力1または外部入力2で接続したCATVなどから本機のHDDに録画した「1回だけ録画可能」の番組をダビングする場合

BD-RE(2.1) BD-R にはBDの著作権保護の規定により、ダビングできません。
CPRM対応の RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) をお使いください。

ダビングしたあとに
●再生するときは、[再生ナビ] を押して番組を選んで再生してください。（➜47）

番組をダビングする

再生中番組の保存

HDD に録画した番組を再生中に、ディスクにダビングすることができます。(再生中の番組を1つだけダビングします)

ダビング方向: HDD ➡ BD-RE(2.1) BD-R RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)

準備

- [HDD/BD/SD 切換] を押して「HDD」を選ぶ。
- ダビング可能なディスクを入れる。(➜17)
- ディスクに十分な残量があることを確認しておく。(➜26「情報表示」)

☞前の画面に戻るには

戻る を押す

☞ダビングを実行中に中止するには

戻る を3秒以上押す

☞ダビング中に HDD の録画や再生をするには(高速でダビング時のみ)

決定 を押して確認画面を消したあと、録画・再生の操作をする

- [画面表示] を押すと、ダビングの進行状況が確認できます。

基本操作

1 ダビングしたい番組を再生する

☞複数の映像や音声、字幕情報を含むDRモードの番組の場合

- BDには複数の映像や音声、字幕情報がそのままダビングされます。残量が足りない場合は、FRモードのダビングとなり、そのままダビングできません。
- BDにFRモードでダビングする場合やDVDにダビングする場合には、再生されている内容しかダビングできません。再生されている内容は変更することができます。(➜下記「ダビングする音声などの内容を変更するには」)
ダビング後は、映像・音声の切り換えや字幕の入/切はできなくなります。

2 サブメニュー S を押す

3 「再生中番組の保存」を選び、決定 を押す

4 「保存開始」を選び、決定 を押す

- 再生位置にかかわらず、再生中の番組の先頭からダビングが開始されます。

「再生中番組の保存」時のダビング速度と録画モードについて

ダビングする番組 ＼ ダビング先	DR モードの番組	DR モード以外の番組 初期設定「高速ダビング用録画」を「入」で録画した番組	DR モード以外の番組 初期設定「高速ダビング用録画」を「切」で録画した番組
BD-RE(2.1) BD-R	高速(録画モードは「DR」)	1倍速(録画モードはダビング元と同じ)	
RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)	1倍速(録画モードは「FR」)	高速(録画モードはダビング元と同じ)	
-R(V) -R DL(V) -RW(V)		高速(録画モードはダビング元と同じ)	1倍速(録画モードはダビング元と同じ)

ダビング先のディスク容量を超える場合は、1倍速(録画モードは「FR」)になります。

☞ダビングする音声などの内容を変更するには

再生設定「信号切換」(➜52)でダビングしたい内容を選ぶ

例えば、日本語の音声をダビングしたいときは

再生設定「信号切換」でダビングしたい内容を選ぶ

設定した内容が再生されます。

設定した内容がダビングされます。

番組をダビングする（つづき）

おまかせダビング

HDD に録画された番組をディスクにダビングすることができます。

ダビング方向: HDD ➡ BD-RE(2.1) BD-R RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)

-R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V) にダビングする場合、**自動的に**ファイナライズ（➔123）を行い、再生専用ディスクを作成します。他 のDVD 機器でも再生できるようになりますが、あとから記録や編集をすることはできなくなります。

新品のディスクなどにダビングする場合、ダビングする番組内容に合わせて**自動的に**フォーマット（➔93）を行います。

-RW(VR) ファイナライズ後のディスクでも自動的に「ファイナライズ解除」（➔94）を行ってダビングを行います。

お知らせ

- **ダビング容量について**
  （ダビング先に記録される容量）
  管理情報が含まれるなどの理由により、ダビングする番組の合計より少し大きくなります。
- おまかせダビング中は、録画や再生はできません。

☞**前の画面に戻るには**

戻る を押す

☞**ダビングを実行中に中止するには**

戻る を3秒以上押す

（ファイナライズ中は中止できません）

☞**音声ガイドを止めるには**

初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする（➔101）

1 ダビング可能なディスクを入れる

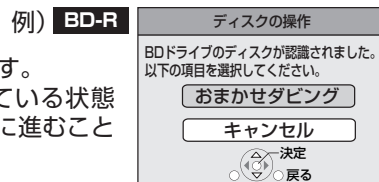
- ディスクに十分な残量があることを確認してください。

未記録のディスクを挿入すると右記の画面が自動的に表示されます。

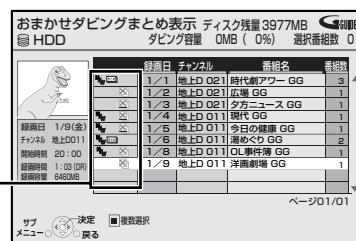
「おまかせダビング」が選ばれている状態で［決定］を押すと、下記手順4に進むことができます。

例） BD-R

ディスクの操作
BDドライブのディスクが認識されました。
以下の項目を選択してください。
おまかせダビング
キャンセル
決定
戻る

☞ **記録済みのディスクの場合**
［▲］［▼］で「キャンセル」を選び、［決定］を押す

2 停止中に、 を押す

3 「ダビングする」を選び、決定を押す

アイコン（詳しくは➔126）

4 ダビングしたい番組を選び、 一時停止 を押す

- ☑が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。

☞ まとめ **表示の番組を選んだとき**

まとめ 番組内の番組を一覧表示します。

［▲］［▼］でダビングしたい番組を選び、［一時停止 ❚❚］を押す

☞ **前後のページを表示するには**
［|◀◀］または［▶▶|］を押す

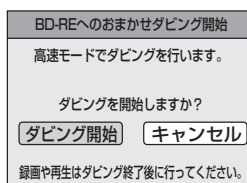
☞ **登録を取り消すには**
［▲］［▼］で番組を選び、［ 一時停止 ❚❚］を押す

☞ **おまかせダビング画面の便利な機能**（➔ 右ページ）

5 すべてを選んだあと、決定 を押す

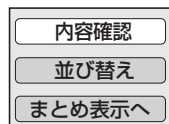
☞ **メッセージ画面が表示されたら**
選んだ番組のダビング時の注意を表示します。
内容を確認してください。

6 「ダビング開始」を選び、決定を押す

例） BD-RE(2.1) に録画モード「DR」の番組をダビングする場合

- ダビングが開始されます。
- ダビング終了後、引き続きファイナライズを行う場合、ファイナライズに数分から最大約15分（ -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) 最大約60分）かかります。

おまかせダビング画面の便利な機能

左ページ手順 4 のとき

① [▲] [▼] で番組を選び、サブメニュー Ⓢ を押す

内容確認
並び替え
まとめ表示へ

② [▲] [▼] で項目を選び、決定 を押す

内容確認	選んだ番組の番組名、録画日、チャンネルなどを表示します。
並び替え ●全番組表示時のみ	番組の表示順を変更します。表示順は録画日やチャンネルなどが選べます。 （番組に☑が付いているときはできません） 表示順は、おまかせダビングの画面を消すと取り消されます。
まとめ表示へ **全番組表示へ**	まとめ表示と全番組表示を切り換えます。 （番組に☑が付いているときはできません） ☞**まとめ表示と全番組表示について**（➜47）

おまかせダビング時の速度と録画モードについて

ダビングする番組 / ダビング先	DRモードの番組	DRモード以外の番組	
		初期設定「高速ダビング用録画」を「入」で録画した番組	**初期設定**「高速ダビング用録画」を「切」で録画した番組
BD-RE(2.1) BD-R	高速※1（録画モードは「DR」）	1倍速（録画モードは「FR」）	
RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)	1倍速（録画モードは「FR」）	高速※1（録画モードはダビング元と同じ）	
-R(V) -R DL(V) -RW(V)		高速※2（録画モードはダビング元と同じ）	1 倍速（録画モードは「FR」）

※1　DR モードの番組と DR モード以外の番組をまとめてダビングする場合、1倍速（録画モードは「FR」）になります。

※2　**初期設定**「高速ダビング用録画」（➜102）を「切」にして録画した番組とまとめてダビングする場合、1倍速（録画モードは「FR」）になります。

ダビング先のディスク容量を超える場合は、1倍速（録画モードは「FR」）になります。

新品のDVDディスクなどにダビングする場合のフォーマットについて

新品のDVDディスクなどにダビングする場合、ダビングする番組内容に合わせて以下のように自動的にフォーマット（➜93）を行います。

ダビングする番組		フォーマット
DRモードの番組		VR方式でフォーマット
「1回だけ録画可能」の番組		VR方式でフォーマット
DRモード以外の番組	**初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」で録画	ビデオ方式でフォーマット※
	初期設定「高速ダビング用録画」を「切」で録画	VR方式でフォーマット

※**初期設定**「高速ダビング用録画」（➜102）を「切」にして録画した番組とまとめてダビングする場合、VR方式でフォーマットします。

番組をダビングする（つづき）

手順5で ディーガがしゃべる!

詳細ダビング

ダビング方向: HDD ➡ BD-RE(2.1) BD-R RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)

BD-RE(2.1) BD-RE(1.0) BD-R RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) ➡ HDD

DVD-V（ファイナライズ後の -R(V) -R DL(V) -RW(V)） ➡ HDD （➜66）

SD（MPEG2） ➡ HDD RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)

（録画モードは「高速」のみ）

準備
- ダビング可能なディスクを入れる。（➜17）
- ディスクに十分な残量があることを確認しておく。（➜26「情報表示」）

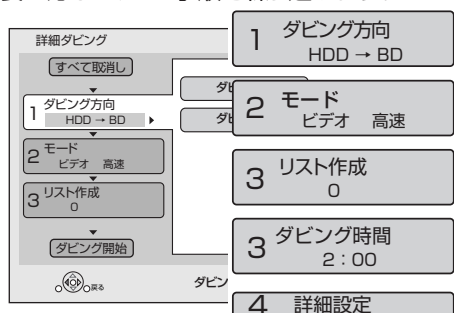
基本操作 ①選び ②決定する

1 停止中に、[操作一覧] を押す

2 「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す

3 「詳細ダビング」を選び、[決定] を押す

4 設定項目を選び、[▶] を押す（➜右記へ）

必要に応じて、この手順を繰り返します。

5 「ダビング開始」を選び、[決定] を押す

6 「はい」を選び、[決定] を押す

- ダビングが開始されます。

☞ファイナライズ確認画面が表示されたときは

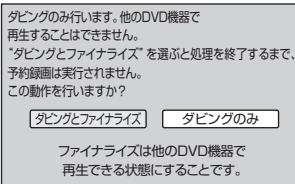
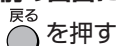
（HDD ➡ -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V) の場合）

「ダビングとファイナライズ」または「ダビングのみ」を選び、[決定] を押す

- 「ダビングのみ」を選ぶと、ダビングのみ行います。ダビング終了後に他の機器で再生するには、ディスク（記録方式）または、機器によっては、DVD管理でファイナライズを行ってください。（➜94）
- 「ダビングとファイナライズ」を選ぶと、ダビング終了後、引き続きファイナライズを行い、再生専用ディスクを作成します。他のDVD 機器でも再生できるようになりますが、あとから記録や編集をすることはできなくなります。

ダビングのみ行います。他のDVD機器で再生することはできません。
"ダビングとファイナライズ"を選ぶと処理を終了するまで、予約録画は実行されません。
この動作を行いますか?
[ダビングとファイナライズ] [ダビングのみ]
ファイナライズは他のDVD機器で再生できる状態にすることです。

☞前の画面に戻るには

[戻る] を押す

☞音声ガイドを止めるには

初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする（➜101）

☞ダビングを実行中に中止するには

[戻る] を3秒以上押したままにする（ファイナライズ中は中止できません。ファイナライズ確認画面で「ダビングとファイナライズ」を選んでも、ダビングを中止した場合は、ファイナライズも実行されません。）

☞ダビング中に HDD の録画や再生をするには

（高速で、ファイナライズを含まないダビング時のみ）

[決定] を押して確認画面を消したあと、録画・再生の操作をする

- ［ 画面表示 ］を押すと、ダビングの進行状況が確認できます。

何から何にダビング?

1　ダビング方向

ダビング素材を選ぶ

録画モードを設定する

2　モード

- 録画モードについて（➜33）

ダビングする番組などを選ぶ※

3　リスト作成

ダビング時間を設定する

3　ダビング時間

- ファイナライズ後のディスクをダビングするときのみ（➜66）

CM を飛ばしてダビングする※

4　詳細設定

- 録画モードを「高速」以外に設定したときのみ

※「ファイナライズ後のディスク（DVDビデオ）をダビングする」（➜66）場合は除く。

「ダビング元」が選ばれている状態で、(決定) を押す

ダビング元を選び、(決定) を押す

「ダビング先」を選び (決定) を押す

ダビング先を選び、(決定) を押す

●ディスクにダビングする場合は、「BDドライブ」を選んでください。

「ダビング素材」が選ばれている状態で、(決定) を押す

「ビデオ」を選び、(決定) を押す

「録画モード」を選び、(決定) を押す

録画するモードを選び、(決定) を押す

高速 / XP / SP / LP / EP / FR

「高速」以外を選ぶと1倍速でのダビングになります。

ダビングリスト容量について(➜下記)

「新規登録」が選ばれている状態で、(決定) を押す

ダビングする番組を選び、[一時停止] を押す

●☑が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。

すべてを選んだ後 (決定) を押す。

☞ [まとめ] アイコンの番組を選んだとき（HDD のみ）

[まとめ] 番組内の番組を一覧表示します。

[▲] [▼] でダビングしたい番組を選び、(決定) を押す

●高速モードで -R(V) -R DL(V) -RW(V) にダビングする場合、表示のあるもののみ登録できます。

☞**前後のページを表示するには**

[|◀◀] (前ページ) または [▶▶|] (次ページ) を押す

☞**登録を取り消すには**

[▲] [▼] で番組などを選び、[一時停止 ❚❚] を押す

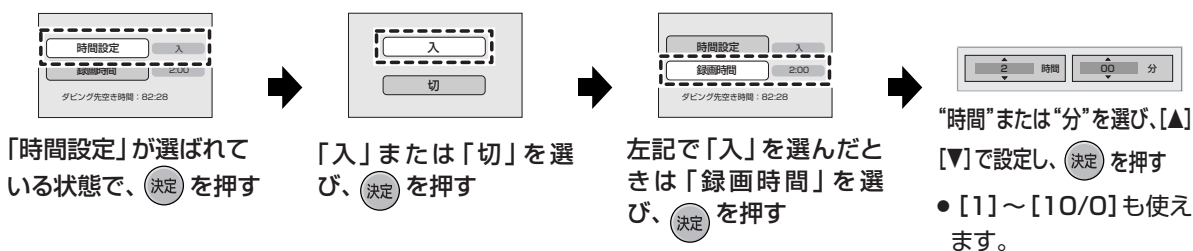
☞**詳細ダビングの便利な機能 (➜67)** ☞**アイコン表示については (➜126)**

「時間設定」が選ばれている状態で、(決定) を押す

「入」または「切」を選び、(決定) を押す

左記で「入」を選んだときは「録画時間」を選び、(決定) を押す

"時間"または"分"を選び、[▲] [▼] で設定し、(決定) を押す

● [1] ～ [10/0] も使えます。

●再生を始めるまでの操作時間も含むため、ダビングしたい番組より数分長めに設定してください。

☞**「時間設定」を「切」にした場合は**

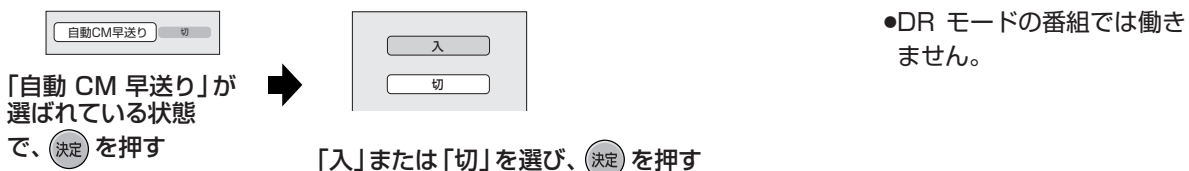
HDD の容量がなくなるまでダビングを続けます。

「自動 CM 早送り」が選ばれている状態で、(決定) を押す

「入」または「切」を選び、(決定) を押す

●DR モードの番組では働きません。

[◀] を押す

(➜左ページ手順 4 に戻る)

●当社製 DVD ビデオカメラで撮影した映像を DVD-RAM から HDD にダビングすると、撮影した日付単位で1 番組になります。

●**ダビングリスト容量について** (ダビング先に記録される容量)

・1 倍速の場合は、録画モードによって変化します。

・管理情報が含まれるなどの理由により、ダビングする番組の合計より少し大きくなります。

ファイナライズ後のディスク(DVD ビデオ)をダビングする

手順5でディーガがしゃべる!

ダビング方向: DVD-V (ファイナライズ後の -R(V) -R DL(V) -RW(V)) ➡ HDD
(ファイナライズ後の+RW、+R、+ R DL からもダビングできます)

トップメニュー画面の操作もそのまま記録されます。
ただし、早送り・早戻し、コマ送り・コマ戻し、一時停止をすると、その部分の映像は記録されません。

64 ページ「詳細ダビング」手順 4 で以下のように設定したあと
「ダビング方向」:「ダビング元」➜「BDドライブ」、「ダビング先」➜「HDD」
「モード」:「ダビング素材」➜「DVD-Video」
「録画モード」を選ぶ(「高速」と「FR」は選べません)
「ダビング時間」:設定した時間まで HDD にダビングします。

5 「ダビング開始」を選び、(決定)を押す

6 「はい」を選び、(決定)を押す

ダビングが開始され、終了するまでが1番組として記録されます。
(ただし、8時間を超える場合は、8時間ごとに分割されます)

7 ダビングしたい番組を再生する

ディスクの設定によっては、自動的に再生が始まります。
- 最初に右記の画面がダビングされます。
- 番組の再生が終わったあとも、設定した時間まで HDD にダビングを続けます。

☞**トップメニューが表示された場合は**
[▲] [▼] [◀] [▶] で番組を選び、[決定]を押す

☞**好みの番組を再生するには**
① [再生ナビ] を押す
② [▲] [▼] [◀] [▶] で番組を選び、[決定]を押す

☞**ディスクの再生が始まらない場合は**
① [再生 ▶] を押す
② (トップメニューが表示されたら)
[▲] [▼] [◀] [▶] で番組を選び、[決定]を押す

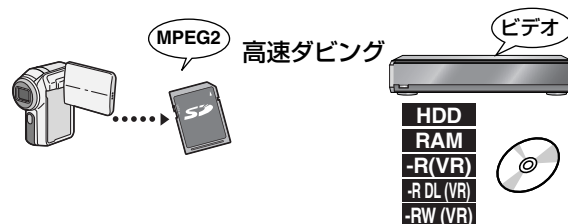
お知らせ
- **市販のDVDビデオのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングできません。**
- 高画質や高音質のディスクをダビングしても、元の画質や音質のまま記録することはできません。
- ファイナライズした -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) の番組をダビングしたい場合は 64 ページ「詳細ダビング」へ

☞**前の画面に戻るには**
(戻る)を押す

☞**ダビングを実行中に中止するには**
(戻る)を3秒以上押す

☞**音声ガイドを止めるには**
初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする(➜101)

SD カードの MPEG2 動画をダビングする

当社製 SD ビデオカメラなどで撮影した MPEG2 動画を、SD カードから HDD や DVD-RAM、DVD-R(VR 方式)、DVD-R DL(VR 方式)、DVD-RW(VR方式)に保存できます。
ダビングをすると、ダビング先では撮影した日付単位で 1 番組(ビデオ)として扱われます。
- SD カードにある MPEG2 動画をそのまま本機で再生することはできません。まず HDD などにダビングしてください。
- MPEG2 動画をダビング中は録画や再生はできません。
- SD カードの MPEG2 動画は BD には直接ダビングできません。いったん HDD にダビングしてから、BD にダビングしてください。

停止中に、SD カードをスロットに入れると、右記の画面が自動的に表示されます。
[▲] [▼] で「ビデオ(MPEG2)を取込」を選び、[決定] を押すと、64ページ「詳細ダビング」手順 5 に進むことができます。
(画面上で設定項目を確認し、必要に応じて手順 4 で設定を変更してください)

SDカードの操作
SDカードが認識されました。
以下の項目を選択してください。
写真(JPEG)を表示
写真(JPEG)を取込
ビデオ(MPEG2)を取込
ビデオ(AVCHD)を取込
音楽を再生
音楽を転送
決定
戻る

- SD カード内にあるMPEG2動画は自動的にダビングリストへ登録されます。
- SD カード内にMPEG2 動画やハイビジョン動画(AVCHD)がない場合、「ビデオ(MPEG2)を取込」や「ビデオ(AVCHD)を取込」は、それぞれ表示されません。

ダビングの操作方法は

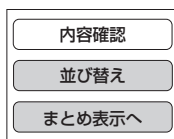
「詳細ダビング」(➜64) をご覧ください。
手順 4 の設定項目は以下のように設定してください。
「ダビング方向」:「ダビング元」➜「SD カード」
「モード」:「ダビング素材」➜「ビデオ」

詳細ダビングの便利な機能

リスト作成画面が表示されているとき
（64 ページ「詳細ダビング」の「リスト作成」時）

1 [▲] [▼] で番組を選び、サブメニュー Ⓢ を押す

2 [▲] [▼] で項目を選び、決定を押す

番組の内容を確認する 内容確認	●選んだ番組の番組名、録画日、チャンネルなどを確認できます。
並び替えをする 並び替え HDD ●全番組表示時のみ	●番組の表示順を変更します。表示順は録画日やチャンネルなどが選べます。（番組に☑が付いている場合はできません）表示順はリスト登録画面の「リスト作成」に戻るか、ダビングの画面を消すと、取り消されます。
表示を切り換える まとめ表示へ 全番組表示へ HDD	●まとめ表示と全番組表示を切り換えます。（番組に☑が付いている場合はできません）☞**まとめ表示と全番組表示について**（➜47）

リスト登録画面が表示されているとき
（64、79 ページ「詳細ダビング」の「リスト作成」時）

1 [▲] [▼] で番組などを選び、

を押す

2 [▲] [▼] で項目を選び、決定を押す

リストの項目を入れ替える	① [▲] [▼] で不要な項目を選び、[決定] を押す ② [▲] [▼] [◀] [▶] で新たに登録したい番組や写真などを選び、[決定]を押す ●項目が入れ替わります。
登録されたリストや設定を取り消す すべて取消し	① [▲] [▼] [◀] [▶] で「すべて取消し」を選び、[決定] を押す ② [◀] で「はい」を選び、[決定]を押す ●設定やリストは以下の場合にも消去されることがあります。 ・ダビング元で番組や写真の記録、消去などをしたとき ・ディスクトレイを開ける、電源を切る、カードを取り出す、ダビング方向を変える、ダビング素材を変えるなどを行ったとき
リストに登録された項目を変更する リスト全消去 追加 消去 移動	**リスト全消去:** リストに登録された項目をすべて消去します。 **追加:** 選んだ項目の上に新しい項目を追加します。「追加」を選んだときは、さらに [▲] [▼] [◀] [▶] で追加する番組や写真などを選び、[決定] を押してください。 **消去:** 選んだ項目を消去します。まとめて消去することもできます。（➜**上記「リスト全消去」**）「消去」を選んだときは、さらに [◀] で「はい」を選び、[決定]を押してください。 **移動:** 選んだ項目を移動して、リストの順番を入れ替えます。「移動」を選んだときは、さらに [▲] [▼] で移動先を選び、[決定] を押してください。（ダビング素材が「写真」のときはできません。）

ハイビジョンビデオカメラと連携する

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影し、ハイビジョン動画（AVCHD）が記録された SD カードから BD-RE へダビングしたり（999 タイトルまで）、DVD に記録されたハイビジョン動画（AVCHD）を再生できます。

SDカードのハイビジョン動画をBD-REにダビングする

- SDカードにあるハイビジョン動画はそのまま本機で再生することはできません。まず、BD-REにダビングしてください。HDDや他のディスクにはダビングできません。
- ハイビジョン動画は、放送の番組や写真と混在して1枚のディスクに記録することができません。ダビングする BD-RE(2.1) は、SDカードのハイビジョン動画の保存専用としてお使いください。
- ダビング中は録画や再生はできません。
- BD-REにダビングされたハイビジョン動画は、HDDやSDカードに再ダビングできません。

SD

停止中に、SDカードをスロットに入れると、下記の画面が自動的に表示されます。

[▲] [▼] で「ビデオ（AVCHD）を取込」を選び、[決定] を押すと、右記手順4に進むことができます。

- SDカード内にMPEG2動画やハイビジョン動画（AVCHD）がない場合、「ビデオ（MPEG2）を取込」や「ビデオ（AVCHD）を取込」は、それぞれ表示されません。

ダビング方向：SD ➡ BD-RE(2.1)

準備
- BD-RE、SDカードを入れる。（➜17）
- [HDD/BD/SD 切換] を押して「SD」を選ぶ

1 停止中に、[操作一覧] を押す

2 「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す

3 「ビデオ（AVCHD）取込」を選び、[決定] を押す

4 ダビングしたいタイトルを選び、[一時停止 II] を押す

- 撮影した日付単位で1タイトル（番組）として表示されます。
  ※デジタルハイビジョンビデオカメラの制限などにより、同じ日に撮影されたものでも、タイトル（番組）が分かれて表示される場合があります。詳しくはデジタルハイビジョンビデオカメラの取扱説明書を参照してください。
- ☑が表示されます。操作を繰り返すとまとめて選べます。

☞**登録を取り消すには**
- [▲] [▼] でタイトルを選び、[一時停止 II] を押す

5 すべてを選んだあと、[決定] を押す

6 「ダビング開始」を選び、[決定] を押す

- 高速ダビングを開始します。
- 初めてダビングを行うディスクの場合、フォーマットをしてからダビングを開始します。

ディスクに記録されたハイビジョン動画を再生する

BD-RE(2.1) RAM -R -R DL -RW

- -R -R DL -RW 撮影した機器でファイナライズされていないディスクは再生できません。
- BD-RE(2.1) ハイビジョン動画の編集は「番組名入力」、「番組消去」および「プロテクト設定/解除」が可能です。（➜54）
- ディスクによっては複数のタイトルを連続再生できません。[再生ナビ] を押して、タイトルを選んで再生してください。メニューのないディスクについては「ダイレクト再生」（➜50）で再生してください。
- AVCHD規格で記録されたディスクを再生中、部分削除など編集された映像のつなぎ目で数秒間画像が静止することがあります。
- 「サーチ」や「スロー再生」（➜50）の直後の再生開始時に、数秒音声が出ないことがあります。

準備
- 再生可能なディスクを入れる。（➜17）

1 [HDD/BD/SD 切換] を押して、「BD」を選ぶ

2 [再生 ▶] を押して、再生を開始する

BD-RE(2.1)

[再生ナビ] を押し、[▲] [▼] を押してタイトルを選んでも再生できます。

RAM -R -R DL -RW

☞**トップメニュー画面が表示された場合**
[▲] [▼] [◀] [▶] を押してタイトルを選び、[決定] を押す。

☞**トップメニューが表示されない場合**
「ダイレクト再生」（➜50）を使って再生してください。

☞**トップメニューを表示させるには**
[再生ナビ] を押す。

☞**再生中のいろいろな操作（➜50〜51）**
BD-V の操作と同じになります。

ケーブルテレビ
CATVから本機に録画する

HDD

本機とホームターミナル/セットトップボックス（以下、CATVと表記します）を接続して、CATVで受信した番組をHDDに録画することができます。

準備
- 本機とCATVを接続する。（外部入力1または外部入力2と接続 ➜ 準備編20、i.LINK（TS）で接続 ➜ 70）
- i.LINK（TS）で接続した場合、初期設定「i.LINK機器モード」を「TSモード2」にする。（➜105）

お知らせ
- 外部入力1または2で接続している場合、HDDに録画した「1回だけ録画可能」の番組は、BDの著作権保護の規定により、BDにはダビングできません。CPRM対応の RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) をお使いください。

1 放送/入力切換 を押してCATVを接続している端子（「L1」、「L2」、「i.LINK（TS）」）を選び、CATVでチャンネルを選ぶ

2 録画モード（ふた内部）を押して録画モードを選ぶ

3 録画（ふた内部）を押す
- 録画が開始されます。

☞録画を一時停止するには
一時停止 を押す
- もう一度押すと、録画を再開します。

☞録画を止めるには
停止 を押す

本機に予約録画する

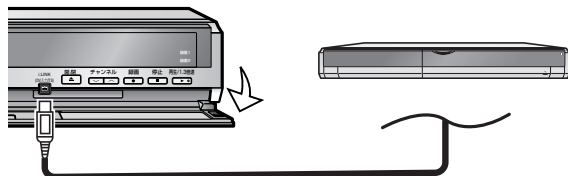
i.LINK を使う ●CATVで受信しているハイビジョンの番組も、そのままの画質で本機に記録することができます。	**1. CATV 側で i.LINK の設定と予約の設定をする** ● 「録画機器」を「D-VHS」、「録画モード」を「自動」に設定してください。本機には「DR」で録画されます。 **2. 本機の設定をする** ①初期設定「i.LINK 機器モード」を「TS モード 2」に（➜105）、初期設定「クイックスタート」を「入」にする（➜101） ②本機の電源を切る
Ir（アイアール） システムを使う ●CATVで受信している放送を本機で連動予約またはタイマー予約することができます。	**1. CATV側でIr システムの設定と予約の設定をする** ● 「リモコン種別」を「DVDレコーダー（1、2…）」に設定してください。本機のリモコンモード番号に合わせても機器が動作しない場合、動作する番号に合わせてください。 **2. 本機の設定をする** ●連動予約のとき ①［HDD/BD/SD 切換］を押して、「HDD」を選ぶ ②［放送/入力切換］で接続した外部入力端子（L1、L2）を選ぶ ③［録画モード］（ふた内部）で録画モードを設定する ④本機の電源を切る ●タイマー予約のとき ・予約待機状態であることを確認する（本体表示窓の“⏲”点灯） ・本機が予約を受け付けたときに、本体表示窓に“ACCEPT”が表示されます。 予約時刻になると録画が実行されます。

お知らせ
- Ir システムのタイマー予約は、本機側の予約一覧に登録されます（➜44）。i.LINK と Ir システムの連動予約は登録されません。
- 本機が動作中に予約登録を行うと正しく登録されない場合があります。予約登録後は、予約内容を確認されることをお勧めします。

i.LINK と Ir システムの連動予約時のみ
- 以下の場合、CATVからの録画は中断されます。本機側の予約をすべて解除（本体表示窓の“⏲”消灯）しないと、正しく実行されない場合があります。
  - ・i.LINK予約録画中に、本機で設定した予約録画が始まった場合
  - ・Irシステムの連動予約録画中に、本機で設定した録画モード「DR」以外の予約録画やBD-REへの予約録画が始まった場合
- 予約録画実行中に本機の操作を行うと、予約が中断する場合があります。
- 番組の先頭部分が録画されない場合があります。録画開始時間を多少早めに設定しておくことをお勧めします。

i.LINK（TS）対応機器との間でダビングする

本機と i.LINK（TS）対応機器を i.LINK ケーブルで接続すると、本機の HDD に録画したDRモードの番組をハイビジョン画質のままダビングすることや、i.LINK（TS）対応機器から本機のHDDへダビングすることができます。
●本機は、i.LINK（TS）に対応した当社製の DVD レコーダー、D-VHS ビデオデッキ、HDD ビデオレコーダー、HDD内蔵CATV デジタルセットトップボックスに対応しています。

接続時には、本機と i.LINK（TS）対応機器の電源を切ってください。

i.LINK対応機器
i.LINK（TS）端子に接続してください。

i.LINKケーブル（別売）

DVD レコーダー、D-VHS ビデオデッキ、HDD ビデオレコーダーと接続する場合：
　初期設定操作（➜101）で「i.LINK 機器モード」を「TS モード 1」にする（➜105）
HDD内蔵CATV デジタルセットトップボックスと接続する場合：
　初期設定操作（➜101）で「i.LINK 機器モード」を「TS モード 2」にする（➜105）
●本機からi.LINK（TS）機器の電源の入/切や再生などの操作はできません。

接続した機器とダビング方法

i.LINK（TS）ダビングをする（➜右記）

本機

DVDレコーダー

D-VHSビデオデッキなど

○○お知らせ○○

接続したDVDレコーダーなどを再生機側、本機を録画機側として使うときは

本機

DVDレコーダーなど

当社製HDD内蔵CATVデジタルセットトップボックス

ダビング方法など、詳しくは接続した機器の説明書をご覧ください。
●当社製HDD内蔵CATVデジタルセットトップボックスからダビングする場合は、セットトップボックス側でi.LINKの設定をし、「録画機器」を「D-VHS」に設定してください。
●録画モードは自動的に「DR」でダビングされます。
●ダビング中に本機の操作を行うと、ダビングが中止される場合があります。
●本機の録画予約の開始時刻になると、予約録画が実行され、ダビングは中止されます。

接続した機器を再生してダビングする（➜右記）

本機

D-VHSビデオデッキ

ダビング

接続した機器へダビングする
● HDD のDRモードの番組のみダビングできます

接続した機器を再生してダビングする
● HDD にダビングできます

準備 ●本機の電源を入れる。(起動が完了するのを待ちます)

1 接続した i.LINK(TS)機器の電源を入れる

●「i.LINK(TS)機器の接続」画面が表示されます。

☞「i.LINK(TS)機器の接続」画面が表示されていないとき
手順1のあと
①本機の停止中に、[操作一覧]を押す
②[▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す
③[▲][▼]で「i.LINK(TS)ダビング」を選び、[決定]を押す
(➜下記手順3へ)

2 [◀]で「開始」を選び、決定を押す

3 ダビングしたい番組を選び、決定を押す

☞ まとめ アイコンの番組を選んだとき
まとめ 番組内の番組を一覧表示します。
[▲][▼]でダビングしたい番組を選び、決定を押す
☞前後のページを表示するには
[|◀◀]または[▶▶|]を押す
☞複数の番組をまとめて登録するには
[▲][▼]で番組を選び、[一時停止 ❚❚]を押す操作を繰り返す
●☑が表示されます。もう一度[一時停止 ❚❚]を押すと解除されます。

4 「ダビング開始」を選び、決定を押す

●ダビングが開始されます。

☞ダビングを実行中に中止するには
戻る を3秒以上押す

☞前の画面に戻るには
戻る を押す

基本操作
①選び
②決定する

お知らせ

●DR モード以外の番組はダビングできません。
●「1回だけ録画可能」の番組をダビングした場合、ダビングした番組は HDD から消去されます。
●ダビング中に接続した機器の操作を行うと、ダビングが中止される場合があります。
●ダビング中は録画や再生はできません。
また予約録画は実行されません。
●D-VHSビデオへダビングする場合、テープの終端になると、ダビングは中止されます。十分残量のあるテープをご使用ください。
●「1回だけ録画可能」の番組をダビング中にダビングを中止した場合、中止した番組のダビング終了位置までの内容が部分消去されます。
●接続した機器が以下の場合、ダビングできません。
・再生や録画中など動作中のとき
・確認画面などが表示されているとき
・i.LINK(TS)が動作する状態になっていないとき
(例:「i.LINK機器モード」が「TSモード1」になっていない)
●i.LINK(TS)ダビング中のみ接続した機器で本機からの映像が映ります。

準備 ●本機の電源を入れる。(起動が完了するのを待ちます)

1 放送/入力切換を押して、「i.LINK(TS)」を選ぶ

2 録画モード(ふた内部)を押して録画モードを選ぶ

●録画モードについて(➜33)

3 接続した機器で再生を始め、録画(ふた内部)を押す

●録画が開始されます。

☞録画を一時停止するには
一時停止 を押す
●もう一度押すと、録画を再開します。

☞録画を止めるには
停止 ■ を押す

お知らせ

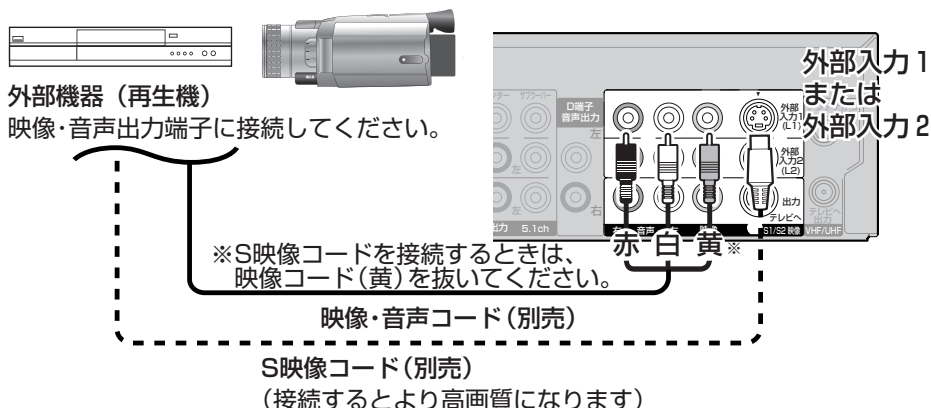
●接続した機器で一時停止、早送り、早戻しなどを行うと、ダビングが停止する場合があります。
●D-VHSに録画された「1回だけ録画可能」の映像は、本機にダビングできません。
●当社製DVDレコーダーやHDD内蔵CATVデジタルセットトップボックスからダビングする場合「接続した機器へダビングする」(➜上記)を行ってください。

☞ディスクの残量に合わせて録画するには
●ぴったり録画(➜38)

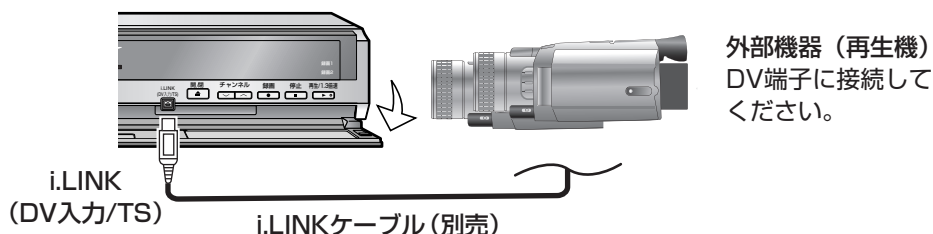
ビデオやビデオカメラからダビングする

接続

接続時には、本機とビデオやビデオカメラなどの電源を切ってください。

外部入力に接続する場合

☞**二重放送の音声を入力するときは**
「音声多重放送の録画について」(➜35) をご覧ください。

i.LINK（DV 入力 /TS）端子に接続する場合

i.LINKケーブル1本でビデオカメラなどの映像や音声をダビングすることができます。（対応機種のみ）

初期設定「i.LINK 機器モード」を「DV モード」に設定してください。(➜105)

- 記録する音声の種類を**初期設定**「DV 入力時の音声設定」(➜104) で選べます。
- 接続した機器から本機を操作することはできません。
- i.LINK（DV 入力 /TS）端子経由で本機に接続できる DV 機器（ビデオカメラなど）は1台のみです。

ダビング

接続した機器を再生してダビングする

HDD

DV おまかせ取込機能を使ってダビングする

DV おまかせ取込

- i.LINK（DV入力／TS）端子に接続したときのみ

HDD

準備
●本機の電源を入れる。(起動が完了するのを待ちます)
● [HDD/BD/SD 切換] を押して「HDD」を選ぶ。

1 [放送/入力切換] を押して、ビデオなどを接続した端子(L1、L2、DV)を選ぶ

2 [録画モード](ふた内部)を押して録画モードを選ぶ

●録画モードについて(➜33)

3 接続した機器で再生を始め、録画を始めた場面で [録画](ふた内部)を押す

●録画が開始されます。

☞**録画を一時停止するには**

[一時停止] を押す

●もう一度押すと、録画を再開します。

☞**録画を止めるには**

[停止] を押す

●接続した機器の再生も停止させてください。

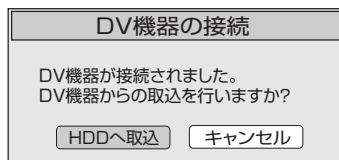
☞**ディスクの残量に合わせて録画するには**

ぴったり録画(➜38)

準備
●本機の電源を入れる。(起動が完了するのを待ちます)
●[HDD/BD/SD 切換] を押して「HDD」を選ぶ。

1 接続した機器の電源を入れ、機器側でダビング開始点を探し、一時停止しておく

●「DV機器の接続」画面が表示されます。

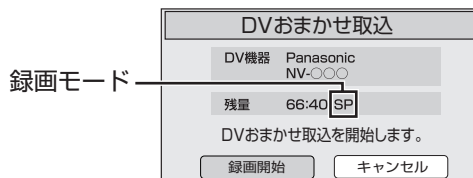
DV機器の接続
DV機器が接続されました。 DV機器からの取込を行いますか?
HDDへ取込　キャンセル

☞**「DV機器の接続」画面が表示されていないときは**

手順 1 のあと

①本機の停止中に、[操作一覧] を押す
②[▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す
③[▲][▼]で「DVおまかせ取込」を選び、[決定] を押す
(➜下記手順 3 へ)

2 [◀] で「HDDへ取込」を選び、[決定] を押す

3 [録画モード](ふた内部)を押して、録画モード(➜33)を選ぶ

●DV入力からのダビングは、i.LINK(TS)ダビング(➜70)と録画方式が異なるため、「DR」モードは選べません。

4 「録画開始」が選ばれている状態で、[決定] を押す

☞**録画を止めるには**

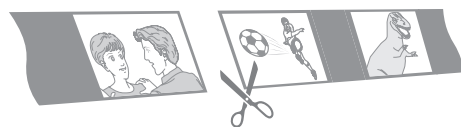
を押す

☞**前の画面に戻るには**

[戻る] を押す

必要なら　ダビングした番組を編集する

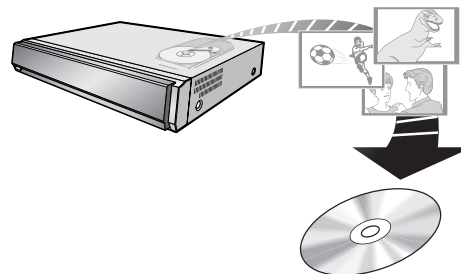
ダビングした番組は、必要に応じて整理・編集を行ってください。詳しくは参照ページの操作説明をご覧ください。

番組名を付ける ➜54「番組名入力」
番組を2つに分割する ➜54「番組分割」
番組の不要な部分を消す ➜54「部分消去」
その他の編集については54〜55ページをご覧ください。

保存　HDD から BD や DVD にダビングする

HDD にダビングした番組を、BD や DVD にダビングする場合、以下の3つの方法があります。

再生中の番組をダビングしたいなら
➜61「**再生中番組の保存**」

難しい設定なしにダビングしたいなら
操作手順を音声ガイドが案内してくれます。
➜62「**おまかせダビング**」

お好みの設定でダビングしたいなら
➜64「**詳細ダビング**」

お知らせ

●以下の場合、予約録画の開始時刻になると、予約録画が実行され、ダビングは中止されます。
・DV入力からダビング中のとき
・外部入力(L1、L2)からダビング中に、アナログ放送の予約録画、または録画モード「DR」以外で予約したデジタル放送の予約録画が開始されたとき
・BD-REに予約録画が開始されたとき
●日付や時刻情報は記録されません。
●DV機器によっては、映像や音声が正しくダビングされない場合があります。
●DVおまかせ取込中は、追っかけ再生や同時録画再生はできません。
●DV入力から録画中に、他の番組を録画することはできません。
●「DVおまかせ取込」がうまく働かない場合は、接続と DV機器側の設定を確かめ、電源を入れ直してください。それでも働かない場合は、「接続した機器を再生してダビングする」(➜左ページ)を行ってください。

写真(JPEG)を再生する

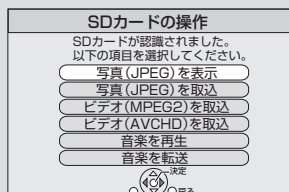
HDD BD-RE(2.1) RAM CD SD

- 本機では、8 MB～4 GB までの SD カードが使用できます。(➜ 13)
- CD パソコンなどで写真（JPEG）を記録した CD-R、CD-RWが再生できます。
- 写真の表示順は、写真が作成された日時の順に表示されます。
- 録画中やダビング中は写真の再生はできません。

準備

- ［HDD/BD/SD 切換］を押して、再生するドライブを選ぶ。
- ディスクまたはSDカードを入れる。(➜ 17)

SD

停止中に、SD カードをスロットに入れると、下記の画面が自動的に表示されます。「写真（JPEG）を表示」が選ばれている状態で、[決定] を押すと、右記の手順 2 に進むことができます。

- SDカード内にMPEG2動画やハイビジョン動画（AVCHD）がない場合、それぞれ「ビデオ(MPEG2)を取込」や「ビデオ（AVCHD）を取込」は表示されません。

☞**再生を止めるには**

を押す

- 再生を止めた写真の位置を一時的に記憶します。ただし、以下の場合は解除されます。
  - ・CD SD 電源を切る、またはディスクや SD カードを取り出したとき
  - ・BD-RE(2.1) RAM ディスクを取り出したとき

☞**再生ナビ / メニュー画面を消すには**

を押す

◯◯ お知らせ ◯◯

- 16：9の写真は上下左右に黒帯が表示される場合があります。

☞**再生ナビ画面のアイコン表示については（➜126）**

1 ［再生ナビ］を押す

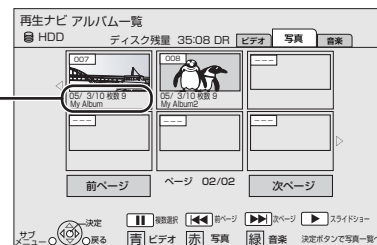
- HDD BD-RE(2.1) RAM SD「アルバム一覧」が表示されます。(➜手順 2 へ)

☞**写真の「アルバム一覧」を表示するには**

HDD BD-RE(2.1) RAM SD

（写真）を押す

例）HDD

アルバム内の 1 枚目の写真の撮影日※/写真の枚数/アルバム名

※お使いのデジタルカメラやパソコンの編集ソフトによっては、撮影日の情報が入らないものがあります。そのときは、「--/--/--」になります。

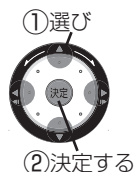
- CD「写真（JPEG）一覧」が表示されます。(➜手順 3 へ)

2 アルバムを選び、［決定］を押す

例）HDD

- 選んだアルバムの「写真（JPEG）一覧」が表示されます。
- 写真の表示順は、写真が作成された日時の順に表示します。

☞**上位フォルダを選ぶには（➜右ページ）**

3 写真を選び、［決定］を押す

- 選んだ写真が表示されます。

☞ HDD BD-RE(2.1) RAM SD **写真の「アルバム一覧」に戻るには**

［戻る］を数回押す

- 以下の方法でも戻ることができます。
  ①「写真（JPEG）一覧」画面で、[サブ メニュー] を押す
  ②[▲] [▼] で「アルバム一覧へ」を選び、[決定] を押す

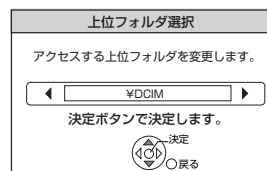
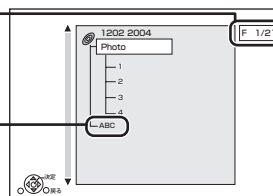
☞ CD **別のフォルダを選ぶには（➜右ページ）**

☞**前後のページを表示するには**

[|◀◀]（前ページ）または [▶▶|]（次ページ）を押す

- [▲] [▼] [◀] [▶] で「前ページ」または「次ページ」を選び、[決定] を押しても、ページの切り換えができます。

写真再生のいろいろな機能

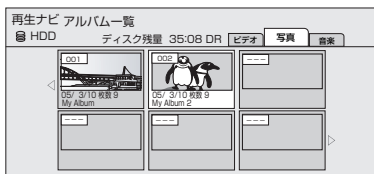
フォルダを切り換える (本機で表示されるフォルダ構造例 ➔123)	BD-RE(2.1) RAM SD (上位フォルダに異なる対応フォルダがある場合のみ) **1 「アルバム一覧」画面で、サブメニュー(S)を押す** **2 [▲] [▼] で「上位フォルダ選択」を選び、(決定)を押す** **3 [◀] [▶] でフォルダを選び、(決定)を押す** CD **1 「写真(JPEG)一覧」画面で、[▲] で「フォルダ選択」を選び、(決定)を押す** **2 [▲] [▼] [◀] [▶] でフォルダを選び、(決定)を押す** F: フォルダ番号/ 総フォルダ数 再生できる写真(JPEG)が入っていないフォルダ ☞**フォルダ選択画面からメニュー画面に戻るには** [戻る] を押す
写真を連続して再生する(スライドショー)	HDD BD-RE(2.1) RAM SD **「アルバム一覧」画面で、[▲] [▼] [◀] [▶] で再生したいアルバムを選び、(再生▶)を押す** ☞**以下の方法でもスライドショーを開始できます** ①「アルバム一覧」画面で、[▲] [▼] [◀] [▶] で再生したいアルバムを選び、[サブ メニュー] を押す ②「スライドショー開始」が選ばれている状態で、[決定] を押す CD **1 「写真(JPEG)一覧」画面で、[▲] で「フォルダ選択」を選び、サブメニュー(S)を押す** **2 「スライドショー開始」が選ばれている状態で、(決定)を押す** ☞**スライドショーの設定を変えるには** ① HDD BD-RE(2.1) RAM SD 「アルバム一覧」画面で、[▲] [▼] [◀] [▶] で再生したいアルバムを選び、[サブ メニュー] を押す CD 「写真(JPEG)一覧」画面で、[▲] で「フォルダ選択」を選び、[サブ メニュー] を押す ② [▲] [▼] で「スライドショーの設定」を選び、[決定] を押す ③ [▲] [▼] で設定する項目を選ぶ ④表示間隔　:[◀] [▶] で表示間隔(0 秒〜30秒)を設定し、[決定] を押す リピート再生 :[◀] [▶] で「入」または「切」を選び、[決定] を押す
画像を回転、縮小する	**1 写真を再生中にサブメニュー(S)を押す** **2 [▲] [▼] で項目を選び、(決定)を押す** 項目の詳細については(➔26) 画面モード切換 右90°回転 左90°回転 縮小 画素数の小さい写真を表示しているときのみ ●スライドショー再生中はできません。 ☞**回転した写真を元に戻すには** [サブ メニュー] を押して、[▲] [▼] で逆方向への回転を選び、[決定] を押す ☞**縮小した写真を元に戻すには** [サブ メニュー] を押して、[▲] [▼] で「拡大」を選び、[決定] を押す お知らせ ●以下の場合、写真の回転の情報は保持されません。 ・CD の写真 ・ディスクまたはアルバムにプロテクトがかかっているとき ・他の機器で再生したとき ・写真をダビングしたとき ●再生ナビ画面表示中に SD カードを取り出すと、回転の情報が正しく保持されないときがあります。必ず再生ナビを終了してから取り出してください。 ●縮小の情報は保持されません。
写真の情報を見る(情報表示)	**写真を再生中に、****(ふた内部)を2回押す** ☞**情報表示を消すには** [画面表示](ふた内部) を押す 例) HDD フォルダー写真No.　115-0001 撮影日　2006/6/21　枚数　1/10 情報がない場合「----/--/--」と表示されます。
再生中に前後の写真を見る	**[◀] [▶] を押す**

写真(JPEG)を編集する

HDD BD-RE(2.1) RAM SD

- 写真単位、またはアルバム単位で編集することができます。
- 本機では、8 MB～ 4 GBまでの SD カードが使用できます。(➜ 13)
- CD-R や CD-RW に記録された写真は編集できません。

準備
- [HDD/BD/SD 切換] を押して、編集したい写真が入っているドライブを選ぶ。
- ディスク、カートリッジ、カードの誤消去防止設定(プロテクト)を解除しておく。(➜ 93)

1 再生中または停止中に、 を押す

例) HDD

☞**写真の「アルバム一覧」を表示するには**

HDD BD-RE(2.1) RAM SD (写真) を押す

2 アルバムを編集する場合は:
編集したいアルバムを選び、サブメニュー を押す

例) SD アルバム一覧

☞**上位フォルダを切り換えるには**

① [▲] [▼] で「上位フォルダ選択」を選び、[決定] を押す
② [◀] [▶] でフォルダを選び、[決定] を押す

- 「アルバム新規作成」のときは、アルバムを選ばずにそのまま [サブ メニュー] を押してください。

写真を編集する場合は:

1 編集したい写真のあるアルバムを選び、決定 を押す

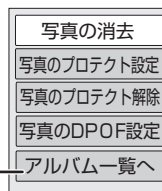
2 編集したい写真を選び、サブメニュー を押す 例) SD 写真(JPEG)一覧

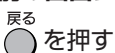
写真の消去
写真のプロテクト設定
写真のプロテクト解除
写真のDPOF設定
アルバム一覧へ — アルバム一覧に戻る

☞**前後のページを表示するには**

[|◀◀] (前ページ) または [▶▶|] (次ページ) を押す
- [▲] [▼] [◀] [▶] で「前ページ」または「次ページ」を選び、[決定] を押してもページの切り換えができます。

☞**複数のアルバムや写真をまとめて編集するには**

[▲] [▼] [◀] [▶] でアルバムや写真を選び、[一時停止 ❚❚] を押す操作を繰り返す
- ☑ が表示されます。もう一度 [一時停止 ❚❚] を押すと解除されます。

3 編集する項目を選び、決定 を押す (➜ 右記へ)

- 「アルバム編集」を選んだときは、さらに [▲] [▼] で項目を選び、[決定] を押します。

アルバムに写真を追加する
写真の追加

新しいアルバムを作成する
アルバム新規作成

消去する
アルバム消去
写真の消去

アルバム名を付ける※
アルバム名入力

誤消去防止の設定 / 解除※
アルバムのプロテクト設定 / 解除
写真のプロテクト設定 / 解除

プリンターや写真店でプリントする枚数を決定する※
写真の DPOF 設定 SD

アルバム内の写真をすべて HDD、BD-REまたはDVD-RAM へコピーする
ディスクへ一括コピー HDD
HDD へ一括コピー RAM BD-RE(2.1)

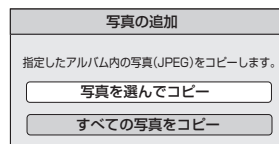
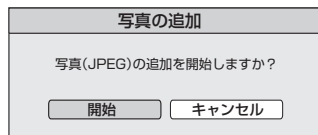
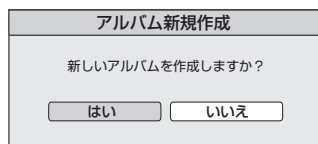
※他の機器では設定が無効になる場合があります。

☞**前の画面に戻るには**

戻る を押す

☞**画面を消すには**

 を押す

「写真の追加」のとき

「アルバム新規作成」のとき

① [◀] で「開始」または「はい」を選び、(決定) を押す

② [▲] [▼] [◀] [▶] で追加したい写真があるアルバムを選び、(決定) を押す

BD-RE(2.1) RAM SD

☞上位フォルダを切り換えるには

①[サブ メニュー] を押す
②「上位フォルダ選択」が選ばれている状態で、[決定] を押す
③ [◀] [▶] でフォルダを選び、[決定] を押す

写真の追加

指定したアルバム内の写真(JPEG)をコピーします。

写真を選んでコピー

すべての写真をコピー

③ [▲] [▼] で項目を選び、(決定) を押す

☞「写真を選んでコピー」のときには

追加したい写真を選び、[決定] を押す

☞「すべての写真をコピー」のときには

アルバム内の写真をすべてコピーします。

➡ 下記手順④へ

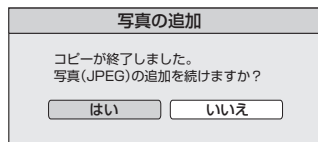
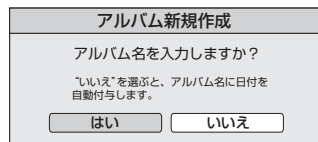
④ [◀] [▶] で「はい」または「いいえ」を選び、(決定) を押す

「アルバム新規作成」のみ

アルバム新規作成

アルバム名を入力しますか？

"いいえ"を選ぶと、アルバム名に日付を自動付与します。

はい　いいえ

⑤ [◀] [▶] で「はい」または「いいえ」を選び、(決定) を押す

☞「はい」のときには

アルバム名を付けます。(➜95「文字入力」)

☞「いいえ」のときには

アルバム内の1枚目の写真の撮影日を、自動的にアルバム名にします。
(撮影日情報がない場合は「撮影：--/--/--」になります)

● 「はい」の場合は上記手順②へ戻り、続けてコピーできます。

消去すると記録内容が消え、元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。

[◀] で「消去」を選び、(決定) を押す

●アルバムを消去する場合は、アルバム内の写真以外のファイルも消去されます。(アルバム内の下位フォルダは除く)

☞**文字入力については**(➜95)

●本機で入力したアルバム名は、他の機器では表示されないことがあります。

[◀] で「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、(決定) を押す

●プロテクト設定すると「🔒」が表示されます。解除すると消えます。

●本機でプロテクトを設定していても、他の機器では解除されることがあります。

写真がDCF規格 (➜13) でない場合や、カードに残量がない場合は設定できません。

[◀] [▶] で枚数(0 ～ 9 枚)を選び、(決定) を押す

●DPOF マークが表示されます。DPOF

●本機での設定は他の機器で見られない場合があります。
●本機で設定すると、他の機器で行った設定は解除されます。

☞**設定を解除するには**

「0 枚」に設定する

[◀] で「コピー開始」を選び、(決定) を押す

●アルバムが複数選択されているときはできません。

お知らせ

● 「写真の追加」、「アルバム新規作成」、「ディスクへ一括コピー」、「HDDへ一括コピー」を実行中は予約録画は実行されません。
●上位フォルダに「写真の追加」、「アルバム新規作成」を実行することはできません。

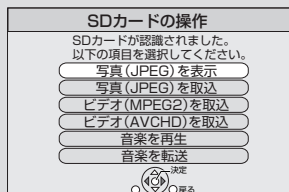
SD カードなどの写真をダビングする

手順5でディーガがしゃべる!

HDD BD-RE(2.1) RAM SD

- 本機では、8 MB〜4 GBまでの SD カードが使用できます。(➜ 13)
- CD-RやCD-RWに記録された写真はダビングできません。

SD

停止中に、SD カードをスロットに入れると、下記の画面が自動的に表示されます。[▲][▼]で「写真(JPEG)を取込」を選び、[決定]を押すと、右記「カードの写真を一度にHDD や ディスクにダビングする」の手順 4 に進むことができます。

画面を消す場合は、[戻る]を押す

- SDカード内にMPEG2動画やハイビジョン動画(AVCHD)がない場合、それぞれ「ビデオ(MPEG2)を取込」や「ビデオ(AVCHD)を取込」は表示されません。

お知らせ

- フォルダ単位でダビングする場合や「写真(JPEG)一括取込」の場合は、フォルダ内の写真以外のファイルもダビングされます(フォルダ内の下位フォルダは除く)。
- ダビング先のフォルダにすでに写真がある場合、続けて記録されます。
- ダビング先の容量や、ファイルやフォルダの数(➜ 13)がいっぱいになった場合は、途中でダビングを中止します。
- ダビング元のフォルダ名が入力されていない場合は、ダビング先ではフォルダ名の番号が変わることがあります。ダビング前にフォルダ名を入力することをお勧めします。(➜76「アルバム名入力」)
- プリント枚数の設定(DPOF)はダビングされません。
- ダビング後の写真の表示順は、写真が作成された日時の順になります。
- ダビングリストへの登録順は、ダビング先に反映されないことがあります。
- 本機で記録したSDHCメモリーカードは、SDHCメモリーカードに対応した機器でのみ使用できます。SDメモリーカードのみに対応した機器では使用できません。

☞前の画面に戻るには

[戻る] を押す

☞ダビングを実行中に中止するには

[戻る] を3秒以上押す

☞音声ガイドを止めるには

初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする(➜101)

ダビングリストを作成してダビングする

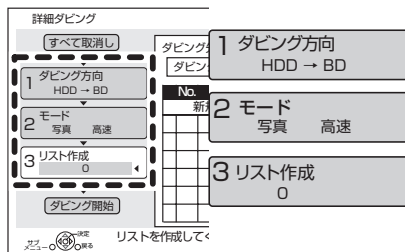
ダビング方向: HDD BD-RE(2.1) RAM SD ➡ HDD BD-RE(2.1) RAM SD

準備 ●BD-RE、DVD-RAM または SD カードを入れる(➜17)

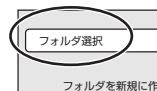
1 停止中に、 **を押す**

2 「その他の機能へ」を選び、(決定)を押す

3 「詳細ダビング」を選び、(決定)を押す

4 設定したい項目を選び、[▶]を押す(➜ 右ページへ)

- 各項目を設定してください。必要に応じてこの手順を繰り返します。

5 「ダビング開始」を選び、(決定)を押す

- (写真単位のダビングの場合のみ)別のフォルダをダビング先に指定できます。(➜ 右ページへ)

6 「はい」を選び、(決定)を押す

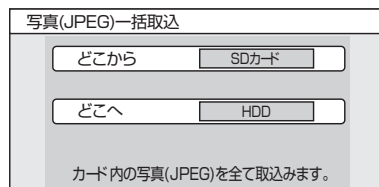
- ダビングが開始されます。

カードの写真を一度に HDD やディスクにダビングする 写真(JPEG)一括取込

ダビング方向: SD ➡ HDD BD-RE(2.1) RAM

準備 ● [HDD/BD/SD 切換]を押して SD ドライブを選ぶ。

上記「ダビングリストを作成してダビングする」手順 1 〜 2 のあと

3 「写真(JPEG)一括取込」を選び、(決定)を押す

4 「どこへ」を選び、[◀][▶]でダビング先を設定する

- BD-RE(2.1) RAM へダビングする場合は「BD ドライブ」を選んでください。

5 「実行」を選び、(決定)を押す

- ダビングが開始されます。

何から何にダビング？

1 ダビング方向

「ダビング元」が選ばれている状態で、決定を押す

ダビング元を選び、決定を押す

「ダビング先」を選び、決定を押す

ダビング先を選び、決定を押す

●ディスクにダビングする場合は「BDドライブ」を選んでください。

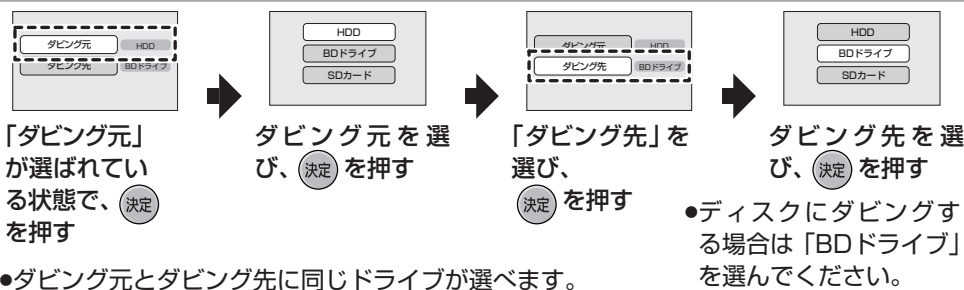
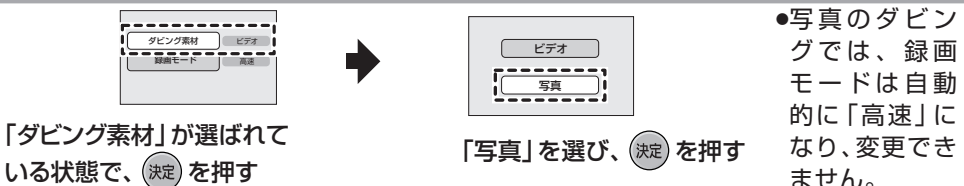
●ダビング元とダビング先に同じドライブが選べます。

ダビング素材を設定する

2 モード

「ダビング素材」が選ばれている状態で、決定を押す

「写真」を選び、決定を押す

●写真のダビングでは、録画モードは自動的に「高速」になり、変更できません。

ダビングする写真やフォルダを選ぶ

3 リスト作成

●右記の手順を繰り返し、複数の写真またはフォルダをダビングリストに登録できます。

●写真とフォルダや、別々のフォルダの写真を同じリストに登録することはできません。

☞写真単位で登録するときは

「新規登録」が選ばれている状態で、決定を押す

ダビングする写真を選び、決定を押す

●まとめて登録するには（➜ 下記）

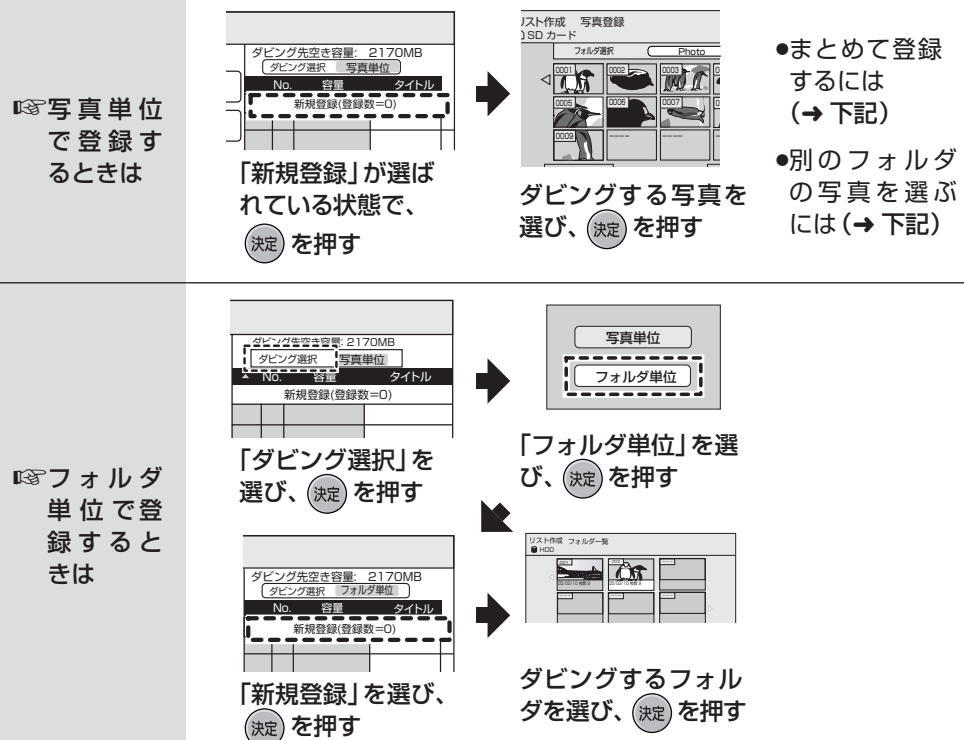
●別のフォルダの写真を選ぶには（➜ 下記）

☞フォルダ単位で登録するときは

「ダビング選択」を選び、決定を押す

「フォルダ単位」を選び、決定を押す

「新規登録」を選び、決定を押す

ダビングするフォルダを選び、決定を押す

☞**前後のページを表示するには**
[|◀◀] (前ページ) または [▶▶|] (次ページ) を押す

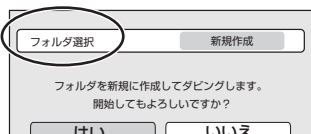
☞**複数の写真、フォルダをまとめて登録するには**
[▲] [▼] [◀] [▶] で写真またはフォルダを選び、[一時停止❚❚] を押す操作を繰り返す
●☑が表示されます。もう一度 [一時停止❚❚] を押すと解除されます。
ダビングリストには番号の小さい順から登録されます。

☞**詳細ダビングの便利な機能（➜67）**

[◀] を押す（左ページ手順 4 に戻る）

別のフォルダの写真を選ぶには
（写真単位のダビングの場合のみ）

①「フォルダ選択」を選び、[決定] を押す
●上位フォルダを切り換えるには（➜ 下記）
②フォルダを選び、[決定] を押す

別のフォルダをダビング先に指定するには
（写真単位のダビングの場合のみ）

①「フォルダ選択」を選び、[決定] を押す
②フォルダを選び、[決定] を押す

上位フォルダを切り換えるには
（本機で認識できる上位フォルダがある場合のみ）

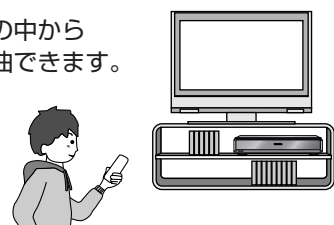
①[サブ メニュー] を押す
②「上位フォルダ選択」が選ばれている状態で、[決定] を押す
③[◀] [▶] でフォルダを選び、[決定] を押す
●上位フォルダの異なるフォルダを同じリストに登録することはできません。

音楽を楽しむ前に

本機では、音楽 CD※（CD-DA）の曲を HDD に録りためたり、HDD から好きな曲を SD カードに転送することができます。
※ CD-DA 形式で記録された CD-R や CD-RW を含む

大容量HDDに
録りためて

（CDタイトルの入力はめんどう…）

Gracenote®データベースで
タイトル自動入力

データベースの一部を内蔵しているので、
インターネットにつながなくても
ＣＤタイトルを取得できます。

家で聴く

（聴きかたは、ご自由に）

再生ナビで
かんたん選曲

ＨＤＤに録りためた曲の中から
聴きたい曲を簡単に選曲できます。

SDカードをに持ち出して
外で聴く

（HDD から SD カードに）

好きな曲だけ転送

（SD カード対応の D-snap などの）

SDオーディオプレーヤー
などで再生できます

CD から HDD へのデジタル録音には、SCMS（シリアル・コピー・マネージメント・システム）という制限があります。
著作権保護のため、この制限がある CD から HDD への録音はできません。
●本機では、音楽 CD から SD カードへ直接録音することはできません。一度 HDD に録音したあと、SD カードへ転送してください。

本機の録音のしくみ

本機では録音モードにかかわらず、まず LPCM で録音し、電源「切」時に AAC へ音楽圧縮を行います。
●録音モードを「LPCM」にして録音した場合は、LPCMとSDカード転送用のAAC（XP）、両方のデータを保持します。
●録音モードを「AAC（XP/SP/LP）」にして録音した場合は、AACへの音楽圧縮後は、AACのデータのみを保持します。

■ AAC への音楽圧縮について

通常は電源「切」時に、音楽圧縮を行います。
電源を切ったあと、約2分経過すると音楽圧縮の処理を開始します。（圧縮中は、本体表示窓に“DATA”が点灯します）

点灯
DATA
本体表示窓

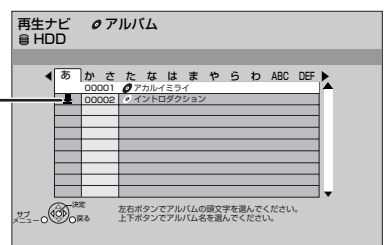
●SD カードへの転送時
AAC への音楽圧縮が終了する前に SD カードへの転送を行った場合、先に AAC への音楽圧縮を行ってから SD カードに転送するので、転送時間が通常よりも長くかかります。

■ AACへの音楽圧縮にかかる時間

例えば60分の音楽CDを録音した場合
録音モードが「LPCM/AAC（XP）/AAC（SP）」のときは,
約60分の時間が必要です。
録音モードが「AAC（LP）」のときは,約120分の時間が必要です。
●圧縮が終了していなくても再生できます。ただし、録音モードを「AAC（XP/SP/LP）」にして録音した場合は、録音直後と、AAC への音楽圧縮後に再生したときの音質が異なります。

☞音楽圧縮が終了しているか確認するには

アルバム一覧などで ⬇ のアイコンが表示されているアルバムは、AACへの音楽圧縮が終了していないアルバムです。

音楽圧縮が終了していないアルバム

録音モード（録音時の音質とデータ容量）を設定する

HDD に録音するときの音質を設定します。高音質にするほど録音できる曲数は少なくなります。

録音モード	特徴	SD カード転送時のデータ形式
LPCM	音声信号を圧縮せずに CD 音質のままで録音します。 お買い上げ時、音楽 CD の録音モードは LPCM に設定されています。	AAC（XP）データで転送されます。
AAC （XP/SP/LP）	AAC は、音楽データを小さく圧縮するための圧縮方式の 1 つです。 ビットレートの違いにより、音質と録音できる曲数が変わります。	HDD 録音時の録音モードと同じ形式で転送されます。

記録可能時間のめやす（音楽のみを記録する場合）

メディア / 録音モード	内蔵 HDD	SD カード							
	500 GB	32 MB	64 MB	128 MB	256 MB	512 MB	1 GB	2 GB	4 GB
LPCM	約 678 時間								
AAC （XP）	約 8,200 時間	約 31 分	約 1 時間 4 分	約 2 時間 10 分	約 4 時間 19 分	約 8 時間 43 分	約 16 時間 47 分	約 34 時間 8 分	約 66 時間 29 分
AAC （SP）	約 10,900 時間	約 41 分	約 1 時間 25 分	約 2 時間 53 分	約 5 時間 46 分	約 11 時間 38 分	約 22 時間 23 分	約 45 時間 31 分	約 88 時間 39 分
AAC （LP）	約16,400 時間	約 1 時間 2 分	約 2 時間 8 分	約 4 時間 20 分	約 8 時間 39 分	約 17 時間 27 分	約 33 時間 34 分	約 68 時間 17 分	約132 時間 59 分

☞**録音モードを設定するには**

初期設定「録音音質」で設定してください。（➜103）

☞**録音モードを AAC（XP/SP/LP）に設定したときは**

本機では、録音モードにかかわらず、まず LPCM で録音してから AAC に音楽圧縮するしくみになっています。そのため、AAC への音楽圧縮が行われる前に連続して多くの曲を録音した場合には、上記LPCMの録音可能時間しか録音できません。その場合は、AAC に音楽圧縮が行われたことを確認後、録音してください。（➜ 左ページ「本機の録音のしくみ」）

タイトルの自動取得について

本機は、Gracenote®データベースを使ってCDのタイトルを自動的に取得する機能を持っています。本機には Gracenote データベースの一部が内蔵※されているため、インターネットに接続しなくてもタイトル情報が取得できます。ただし、新発売の CD などは内蔵の Gracenote データベースにタイトルが登録されていないことがあります。その場合は、ネットワークに接続（➜ 準備編 14）すると、インターネットを通じて Gracenote サーバーにアクセスし、最新のCDのタイトルやアーティスト情報などを自動的に取得することができます。

※本機には Gracenote データベースから抜粋した、約 35 万アルバムのタイトル情報が登録されています。

- CD によっては、情報が似ている他の CD のタイトル情報を取得することがあります。このときはHDDへ録音後、タイトルを修正してください。（➜86）

■ Gracenoteについて

CD を入れたときなどに、自動的にタイトルを検索しますので、特別な操作は必要ありません。

☞**複数のタイトルが見つかったときは**

［▲］［▼］で該当するタイトルを選び、［決定］を押す

「該当なし」を選んだ場合は、「不明なアルバム」「不明なアーティスト」として設定されます。

☞**タイトルが見つからなかったときは**

「不明なアルバム」「不明なアーティスト」として設定されます。

- タイトルが長い場合、曲一覧ではすべて表示できません。その場合は、HDDへの録音後、「曲の内容確認」（➜86）でタイトルを確認することができます。
- 本機の画面上では、Gracenote データベースを “CDDB”（CD データベース）と省略して表示しています。
- Gracenote データベースへのアクセスに時間がかかる場合は、ネットワークに正しく接続されているかご確認ください。（詳しくは ➜ 準備編 14「ネットワーク接続をする」）

音楽 CD を 再生する

CD

音楽 CD を入れる（➜17）

Gracenote データベースで、CD のタイトル情報を自動取得します。（➜81「タイトルの自動取得について」）

●自動的に再生が始まります。

再生中の曲（♪が表示されます）

再生ナビ　曲一覧
CD
▶ 00.09　04.30
三月の月
コノハナサクヤ

No	曲名	アーティスト
01	三月の月	伊東レオン
02	コノハナサクヤ	伊東レオン
03	ここから向こうへ	伊東レオン
04	さよなら桜	伊東レオン
05	東風ふかば	伊東レオン

再生　戻る　緑 タイトル再取得　黄 HDDへ録音

☞**CDのタイトル情報を再取得するには**

［緑］を押す

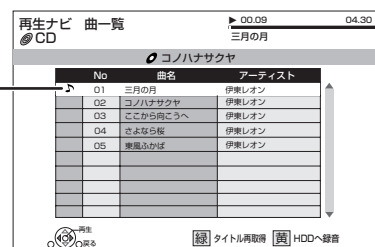
☞**別の曲を再生するには**

［▲］［▼］で再生したい曲を選び、［決定］を押す

☞**再生中のいろいろな操作**（➜85）

お知らせ

●録画中やダビング中は再生できません。

●テレビ画面への焼き付き低減のため、再生中に、約10分以上本機の操作を何も行わなかったときは、スクリーンセーバー画面が表示されます。（リモコンボタンを押すと、元の画面に戻ります。）

音楽 CD を HDD に録音する

CD ➜ HDD

音楽 CD（CD-DA）の全曲を、HDD に録音します。（曲単位で録音することはできません）

準備

●録音するモードを設定する（➜ 103 初期設定「録音音質」）

録音速度（最高速時）
CD-Audio/CD-R/CD-RW（CD-DA）からHDD への録音：最大約 8 倍速※
※ CD-R/CD-RW では録音速度が遅くなる場合があります。

お知らせ

●HDD に録音できる曲数は、最大 40000 曲です。

●コピーコントロール CD など、CD 規格外ディスクの再生および録音は保証しておりません。

●HDD内の録音データは、定期的にバックアップすることをお勧めします。（➜88）

●録音中は、録画や再生はできません。また、予約録画の実行はされません。

☞**前の画面に戻るには**

戻る を押す

☞**録音を止めるには**

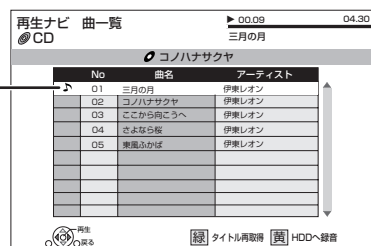
戻る を3秒以上押す

基本操作　①選び　②決定する

1 音楽CDを入れる（➜17）

Gracenote データベースで、CDの タイトル情報を自動取得します。（➜81「タイトルの自動取得について」）

●自動的に再生が始まります。

再生中の曲（♪が表示されます）

2 「曲一覧」画面で、黄 を押す

●HDDに録音したアルバムの数が多くなると、録音開始の確認画面を表示するまでに時間がかかる場合があります。

3 「録音開始」を選び、決定 を押す

●録音が開始されます。

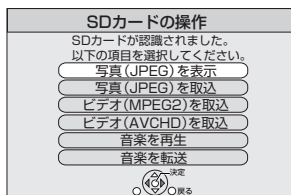
本体表示窓に、録音全体の進行状況が表示されます。（例：録音が約61％まで終了）

HDD の曲を SD カードに転送する

HDD ➜ SD

HDD の曲を SD カードに転送します。
転送はアルバム単位、または「マイベスト」、「よく聴く曲」単位で行います。（曲単位で転送することはできません）

準備
- ［HDD/BD/SD 切換］を押して、「HDD」を選ぶ。
- SD カードを入れる。(➜ 17)
- 必要に応じて下記操作を行う。

SD 停止中に、SDカードをスロットに入れると、下記の画面が自動的に表示されます。

［▲］［▼］で「音楽を転送」を選び、［決定］を押すと、右記の手順 2 に進むことができます。
- SDカード内にMPEG2動画やハイビジョン動画（AVCHD）がない場合、それぞれ「ビデオ（MPEG2）を取込」や「ビデオ（AVCHD）を取込」は表示されません。

転送速度（最高速時）
HDD から SD カードへの転送：
最大約 16 倍速※
※ HDD 内の転送する曲が全て AAC への音楽圧縮が終了している場合

お知らせ
- SD カードは転送前に本機またはSDオーディオ対応機器でフォーマットする必要があります。
- SD カードに転送できる曲数は、最大 999 曲、プレイリスト数は最大99です。
- SDカードにAAC以外の曲が記録されている場合、転送できる最大曲数、最大プレイリスト数は少なくなります。
- 1回の転送で転送できる曲数は、最大99曲です。
- AACへの音楽圧縮が終了していないアルバムを転送する場合、転送時間が通常よりも長くかかります。
- 同じアルバム、または「よく聴く曲」を2回以上転送した場合、同じ曲が転送した回数分重複して、SDカードに記録されます。
- 「マイベスト」から転送する場合、SD カード内にすでに「マイベスト」の曲が存在していると、SD カードの「マイベスト」の曲は上書きされ、元の曲は「マイベスト」から外されます。(SDカード内には残ります)
- 本機で記録したSDHCメモリーカードは、SDHCメモリーカードに対応した機器でのみ使用できます。SDメモリーカードのみに対応した機器では使用できません。
- 転送中は録画や再生はできません。また、予約録画の実行はされません。

☞前の画面に戻るには

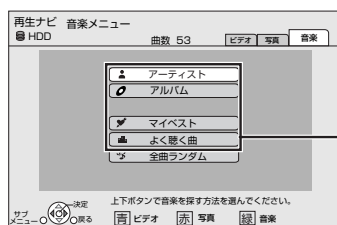
戻る を押す

☞画面を消すには

戻る を数回押す

☞転送を実行中に中止するには

戻る を3秒以上押す

1 再生ナビ を押す

☞「音楽メニュー」を表示するには

緑（音楽）を押す

2 転送したい音楽をメニュー項目から選び、決定 を押す

☞メニュー項目については（➜84手順2）
- 「アーティスト」を選んだ場合
  ①［◀］［▶］でアーティストの頭文字を選ぶ
  ②［▲］［▼］でアーティスト名を選び、［決定］を押す
  ③［▲］［▼］でアルバムを選び、［決定］を押す
- 「アルバム」を選んだ場合
  ①［◀］［▶］でアルバムの頭文字を選ぶ
  ②［▲］［▼］でアルバムを選び、［決定］を押す

3 黄 を押す

4 「転送開始」を選び、決定 を押す

- 転送が開始されます。

本体表示窓に、転送全体の進行状況が表示されます。（例：転送が約61%まで終了）

SD カードを他の機器で楽しむ

以下の条件を満たした機器であることを、カタログなどでご確認ください。
- **「SDオーディオ」対応機器であること**
  「SD Audio」、「SD-Audio」のように表記されている場合もあります。
- **AAC（64、96、128kbps）が再生可能なこと**

再生できる当社製機器のご紹介（2006年10月現在）

SDオーディオプレーヤー（D-snap）
- SV-SD800N
- SV-SD400V
- SV-SD770V/710
- SV-SD570V/510
- SV-SD370V/310など

携帯電話
- NTTドコモ　：P902iS※
  P902i※など

※AACのみの再生となります。

- 動作確認済み機器については、当社ホームページ（➜表紙）をご覧ください。
- 本機は、SDオーディオ規格に準拠したSD/SDHCメモリーカードの記録・再生に対応していますが、すべてのSD/SDHCオーディオ対応機器との動作互換を保証するものではありません。

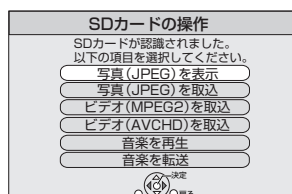
SD カードに転送した音楽について

著作権保護と音楽文化の健全な発展と、正当な購入者の権利保護のために、暗号技術を利用したSDMI（セキュア・デジタル・ミュージック・イニシアティブ）に対応しています。このため、SDカードをご利用いただくにあたり、下記の制限があります。
- 本機は音楽データを暗号化してSDカードに転送します。
  暗号化された音楽データを別の機器に複写して使用することはできません。
- コピー制限情報が埋め込まれている場合、取り扱えないことがあります。

HDD や SD カードの音楽を再生する

HDD SD

準備
- [HDD/BD/SD 切換] を押して、再生するドライブ（「HDD」 または 「SD」）を選ぶ。
- SD SD カードを入れる。(➜ 17)
- SD 必要に応じて下記操作を行う。

SD 停止中に、SDカードをスロットに入れると、下記の画面が自動的に表示されます。

[▲] [▼] で「音楽を再生」を選び、[決定] を押すと、右記の手順 2 に進むことができます。
- SDカード内にMPEG2動画やハイビジョン動画（AVCHD）がない場合、それぞれ「ビデオ（MPEG2）を取込」や「ビデオ（AVCHD）を取込」は表示されません。

お知らせ
- 録画中やダビング中は再生できません。
- テレビ画面への焼き付き低減のため、再生中に、約10分以上本機の操作を何も行わなかったときは、スクリーンセーバー画面が表示されます。（リモコンボタンを押すと、元の画面に戻ります。）

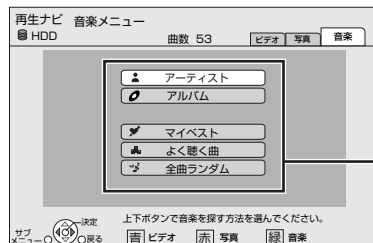
☞**前の画面に戻るには**

戻る を押す

☞**画面を消すには**

戻る を数回押す

1 を押す

基本操作 ①選び ②決定する

- HDDに録音したアルバムの数が多くなると、「音楽メニュー」を表示するまでに時間がかかる場合があります。

☞**「音楽メニュー」を表示するには**

緑 （音楽）を押す

2 再生したい音楽をメニュー項目から選び、決定 を押す

- メニュー項目によっては、曲の一覧が表示されるまで、繰り返し選び [決定] を押します。

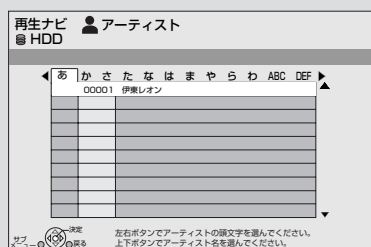
HDD

- アーティスト：アーティストごとに分類されています。
- アルバム：アルバム名ごとに分類されています。
- マイベスト：マイベスト（➜ 右ページ）に登録した曲を集めています。
- よく聴く曲：最近聴いた 200 曲の中から、再生回数の多い順に最大 30 曲集めています。
- 全曲ランダム：全曲をランダムに再生します。

SD

- マイベスト：HDD の「マイベスト」から SD カードに転送された曲を集めています。
- プレイリスト：HDDの「マイベスト」以外からSD カードに転送された曲をまとまりごとに表示します。
- 全曲：SD カード内の全曲が、記録した順に並んでいます。

- SDオーディオ規格準拠のAACの曲と、それを含むプレイリストのみ表示します。

例）「アーティスト」を選んだ場合

① [◀] [▶] でアーティストの頭文字を選ぶ
② [▲] [▼] でアーティスト名を選び、[決定] を押す
③ [▲] [▼] で再生したいアルバムを選び、[決定] を押す

3 再生したい曲を選び、決定 を押す

- 選んだ曲の再生が始まります。

再生中のいろいろな操作

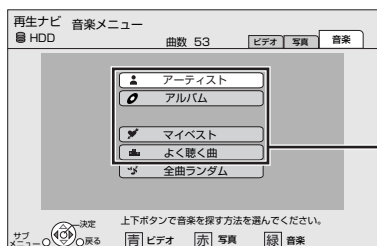
操作	方法	備考
停止	を押す	
一時停止	を押す お好み選局	●もう一度押す、または [再生 ▶] を押すと、再生を再開します。
早送り／早戻し	サーチ/スロー [◀◀] [▶▶] を押す	●[再生 ▶] で通常再生に戻ります。 ●音声は出ません。
スキップ	再生中または一時停止中に スキップ [I◀◀] [▶▶I] を押す	押した回数だけ曲を飛び越して再生します。
別の一覧から曲を探す HDD SD	戻る ◯ を押す ● 「アーティスト」一覧や「音楽メニュー」などに戻ります。（➜ 左ページ手順 2 へ）	
お気に入りの曲をマイベストに登録する HDD ●全曲ランダム（➜ 84）での再生時はできません	「曲の一覧」画面で登録したい曲を選び 赤 を押す	●マイベストには99曲まで登録できます。
リピート ランダム ●全曲ランダム（➜ 84）での再生時は設定できません	**1** 再生設定（ふた内部）を押す **2** [▲] [▼] で「再生」を選び、[▶] を押す **3** [▲] [▼] で「リピート」または「ランダム」を選び、[▶] を押す **4** [▲] [▼] で設定を変更する リピート： 繰り返し再生の方法を選びます。 ●切 ●全曲 ：選んだアルバムなどの全曲 ●1曲 ：選んだ曲のみ ランダム： 選んだアルバムなどの全曲を順不同に再生します。 ●切 ●入	
リ．マスター ●サンプリング周波数が48kHz以下で記録された音声のみ	音声圧縮処理によって欠落したデジタル音声信号の高音域成分を復元することで、より自然で豊かな音質が楽しめます。 ●音声がひずむ場合、「切」にしてください。 ●再生する内容によっては、効果が現れない場合があります。 ● 「サラウンド」の設定は働きません。 **1** 再生設定（ふた内部）を押す **2** [▲] [▼] で「音声」を選び、[▶] を押す **3** [▲] [▼] で「音質効果」を選び、[▶] を押す **4** [▲] [▼] で設定を変える リ．マスター標準（参考例：ポップス・ロック・ジャズなど） リ．マスター強（参考例：クラシックなど） 切	

アルバム名や曲名などを編集する

HDD SD

アルバム名や曲名などを編集します。

● [HDD/BD/SD 切換] を押して、ドライブ（「HDD」または「SD」）を選ぶ。

1 を押す

☞「音楽メニュー」を表示するには

緑（音楽）を押す

☞ **HDD「HDDの全曲消去」、「よく聴く曲のクリア」を行う場合、または SD「カードの全曲消去」、「マイベストの全曲消去」を行う場合は（➔手順4へ）**

2 編集したい音楽をメニュー項目から選び、決定 を押す

3 編集したいアルバム、または曲を選ぶ

☞ **「アーティスト」を選んだ場合**

① [◀] [▶] でアーティストの頭文字を選ぶ
② [▲] [▼] でアーティスト名を選び、[決定] を押す
③ [▲] [▼] でアルバムを選ぶ
- アルバムを編集するときは、手順**4**へ
- 曲を編集するときは [決定] を押したあと、[▲] [▼] で曲を選ぶ

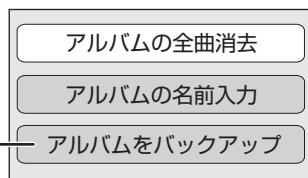
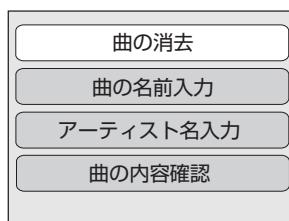
☞ **「アルバム」を選んだ場合**

① [◀] [▶] でアルバムの頭文字を選ぶ
② [▲] [▼] でアルバムを選ぶ
- アルバムを編集するときは、手順**4**へ
- 曲を編集するときは [決定] を押したあと、[▲] [▼] で曲を選ぶ

4 サブメニュー S を押す

例）HDD アルバム選択中

操作方法は（➔88）

例）HDD 曲選択中

曲の消去
曲の名前入力
アーティスト名入力
曲の内容確認

5 編集する項目を選び、決定 を押す（➔ 右記へ）

☞ **前の画面に戻るには**

戻る を押す

☞ **画面を消すには**

戻る を数回押す

HDDやSDカードの全曲を消去する
- HDDの全曲消去
- カードの全曲消去

消去する
- アルバムの全曲消去
- マイベストの全曲消去
- プレイリストの全曲消去
- アーティストの全曲消去
- 曲の消去

曲名、アルバム名、アーティスト名を変更する
- アルバムの名前入力
- アーティストの名前入力
- 曲の名前入力
- アーティスト名入力

HDD

内容を確認する
- 曲の内容確認

HDD

「マイベスト」から外す
- マイベストから除外

HDD
- 「マイベスト」のときのみ

「よく聴く曲」から外す
- よく聴く曲から除外

HDD
- 「よく聴く曲」のときのみ

よく聴く曲の履歴を消去する
- よく聴く曲のクリア

HDD

消去すると、元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。

1 [◀] で「はい」を選び、決定 を押す

2 [◀] で「実行」を選び、決定 を押す

消去すると、記録内容が消え元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。

[◀] で「消去」を選び、決定 を押す

●HDDの「マイベスト」、「よく聴く曲」では消去できません。

曲の名前入力	
名前	露子にあいたい
読み	ツユコニアイタイ
名前、読みが未入力の場合、確定できません。	
確定	
決定 戻る	

1 「名前」が選ばれている状態で、決定 を押す

2 文字を入力する (→ 95)

3 [▲] [▼] で「読み」を選び、決定 を押す

4 文字を入力する (→ 95)

5 [▲] [▼] で「確定」を選び、決定 を押す

●アルバム名、アーティスト名の「読み」の頭文字が変更になると、それぞれの一覧で表示される順番が変わります。

曲のアルバム名やアーティスト名、録音音質などの確認ができます。

☞内容確認の画面を消すには

戻る

 を押す

[◀] で「マイベストから除外」を選び、決定 を押す

●HDD から曲自体が消去されることはありません。

選択した曲の再生回数の情報を消去します。選択した曲は「よく聴く曲」のリストから外れます。

●HDD から曲自体が消去されることはありません。

[◀] で「よく聴く曲から除外」を選び、決定 を押す

曲の再生回数の情報をすべて消去します。「よく聴く曲」のリストを作り直したいときに便利です。

●HDD から曲自体が消去されることはありません。

[◀] で「よく聴く曲のクリア」を選び、決定 を押す

バックアップする

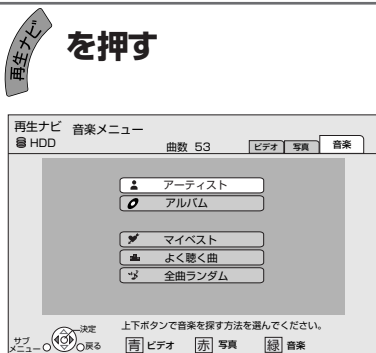
HDD の録音データをバックアップする

本機内蔵のHDDは、振動・衝撃・熱などに弱く壊れやすい精密機器です。そのため、HDD内の録音データは、バックアップしておくことをお勧めします。本機は録音データをDVD-RAMにアルバム単位でバックアップします。（DVD-RAM以外のディスクにはバックアップできません）

●バックアップするDVD-RAMは、バックアップ専用としてお使いください。（バックアップデータはフォーマット以外の消去方法がありません。番組や写真が混在したディスクの場合、フォーマットすると、大切な録画番組などもいっしょに消去されてしまいます。）

●本機は1回の操作で、1アルバムのみをバックアップします。複数のアルバムをバックアップしたいときは、下記の操作を繰り返してください。

準備 ●DVD-RAMを入れる。（➜ 17）
●[HDD/BD/SD 切換] を押して、「HDD」を選ぶ。

1 **を押す**

☞**「音楽メニュー」を表示するには**

緑（音楽）を押す

2 「アーティスト」または「アルバム」を選び、決定を押す

●「アーティスト」を選んだ場合は、アルバムの一覧が表示されるまで、繰り返し選び、[決定] を押します。

3 バックアップしたいアルバムを選び、サブメニュー S を押す

4 「アルバムをバックアップ」を選び、決定を押す

5 「開始」を選び、決定を押す

●進行状況が表示され、バックアップが始まります。
●バックアップが完了するとメッセージが表示されます。

☞**前の画面に戻るには**

戻る を押す

☞**バックアップ作業を中止するには**

戻る を3秒以上押す

バックアップを中止すると、途中までの作業はすべてキャンセルされます。もう一度バックアップをやり直してください。

お知らせ

●バックアップデータは暗号化して記録されます。
・このため、バックアップデータを再生したり、他の機器にコピーして利用することはできません。また、バックアップ元の機器でないとバックアップデータの復元はできません。

DVD-RAMのバックアップデータをHDDに復元する

DVD-RAMに保存したバックアップデータの内容を、本機のHDDに復元します。
万が一、HDDが故障して、データが損なわれた場合には、HDDの修理が完了してから復元を行ってください。

●DVD-RAMを入れる。(➜ 17)
●[HDD/BD/SD 切換] を押して、「HDD」を選ぶ。

基本操作
①選び
②決定する

1

を押す

（音楽）を押す

2

を押す

3

「バックアップからの復元」を選び、決定 を押す

4

復元したいアルバムを選び、決定 を押す

5

「開始」を選び、決定 を押す

●進行状況が表示され、復元が始まります。
●復元が完了するとメッセージが表示されます。

☞前の画面に戻るには

戻る を押す

☞復元作業を中止するには

戻る を3秒以上押す

●中止した場合、途中までの作業がすべてキャンセルされます。もう一度復元をやり直してください。

●本機は1回の操作で、1アルバムのみを復元します。複数のアルバムを復元したいときは、上記の操作を繰り返してください。
●復元後本機で再生してみて、正しく復元できていることを確認してください。
●復元後もDVD-RAMのバックアップデータは残ります。

番組・写真・音楽を消去する

HDD BD-RE(2.1) BD-R RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V) SD

（ファイナライズしたディスクではできません）

準備

- ［HDD/BD/SD 切換］を押して、消去したい記録内容が入っているドライブを選ぶ。
- ディスクやカートリッジ、カードの誤消去防止設定（プロテクト）を解除しておく。（➜ 93）

消去すると記録内容が消え、元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。

消去後のディスク・SDカードの残量について

- HDD BD-RE(2.1) RAM -RW(VR)：
  記録した番組などを消去すると、消去した分、ディスク残量が増えます。

- -RW(V)：
  最後に記録した番組を消去したときのみ、ディスク残量が増えます。

消去しても残量は増えません			消去すると残量が増えます	
番組1	番組2	……	最後に記録した番組	残量

- SD：
  記録した写真または音楽を消去すると、消去した分、カード残量が増えます。

どれを消去しても残量が増えます				
写真1	写真2	・・・	最後に記録した写真	残量

- BD-R -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V)：
  消去しても残量は増えません

☞**前の画面に戻るには**

を押す

☞**画面を消すには**

を数回押す

☞**音声ガイドを止めるには**

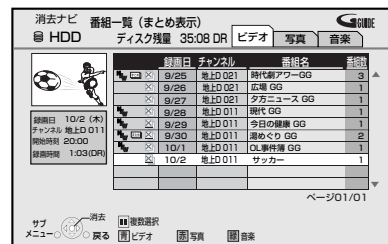
初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする（➜101）

消去ナビを使って消去する

1 **停止中に、** **を押す**

不要になった番組などを一覧画面から簡単に選んで消去することができます。

2 **「消去する」を選び、（決定）を押す**

例）HDD

☞**「番組一覧」を表示するには**（番組を消去する場合）

HDD BD-RE(2.1) RAM 青（ビデオ）を押す

☞**写真の「アルバム一覧」を表示するには**（写真を消去する場合）

HDD BD-RE(2.1) RAM SD 赤（写真）を押す

☞**「音楽メニュー」を表示するには**（音楽を消去する場合）

HDD SD 緑（音楽）を押す

（➜ 右ページへ）

番組や写真を再生中に消去する

- SD カードのハイビジョン動画をダビングした BD-RE(2.1)（➜68）は、再生中の消去はできません。

1 **再生中に、［消去］を押す**

- スライドショー再生中は、写真の消去はできません。

2 **［◀］で「消去」を選び、（決定）を押す**

番組を消去する		**1 [▲] [▼] で消去する番組を選び、(決定) を押す** ☞ まとめ **アイコンの番組を選んだとき（HDD のみ）** まとめ 番組内の番組を一覧表示します。 [▲] [▼] で消去したい番組を選び、(決定) を押す **2 [◀] で「消去」を選び、(決定) を押す**
写真を消去する	アルバム単位で消去する	**1 [▲] [▼] [◀] [▶] で消去するアルバムを選び、消去 を押す** **2 [◀] で「消去」を選び、(決定) を押す**
	写真単位で消去する	**1 [▲] [▼] [◀] [▶] で消去する写真のあるアルバムを選び、(決定) を押す** **2 [▲] [▼] [◀] [▶] で消去する写真を選び、(決定) を押す** **3 [◀] で「消去」を選び、(決定) を押す**
音楽を消去する	アルバム・アーティスト単位で消去する	**1 [▲] [▼] で消去する音楽を探す方法を選び、(決定) を押す** **2 [▲] [▼] [◀] [▶] で消去するアルバムまたはアーティストを選び、消去 を押す** **3 [◀] で「消去」を選び、(決定) を押す**
	曲単位で消去する	**1 [▲] [▼] で消去する音楽を探す方法を選び、(決定) を押す** **2 [▲] [▼] [◀] [▶] で消去する曲のあるアルバムまたはアーティストを選び、(決定) を押す** **3 [▲] [▼] で消去する曲を選び、(決定) を押す** **4 [◀] で「消去」を選び、(決定) を押す**

☞**前後のページを表示するには**
[|◀◀]（前ページ）または [▶▶|]（次ページ）を押す
- 写真の消去ナビ画面の場合は、[▲] [▼] [◀] [▶] で「前ページ」または「次ページ」を選び [決定] を押しても、ページの切り換えができます。

☞**複数の番組などをまとめて選択するには**
[▲] [▼] [◀] [▶] で番組などを選び、[一時停止 ❚❚] を押す操作を繰り返す
- ☑が表示されます。もう一度 [一時停止 ❚❚] を押すと解除されます。

消去ナビ画面上（上記手順 **1** など）では、
[サブ メニュー] を使って、内容確認やプロテクト解除などの操作が行えます。
サブ メニュー操作について
- 「番組一覧」（➜ 54 手順 **2**）
- 「写真（JPEG）一覧」（➜ 76 手順 **2**）
- 「アルバム一覧」（➜ 76 手順 **2**）
- 「音楽メニュー」（➜ 86 手順 **2** または **3**）

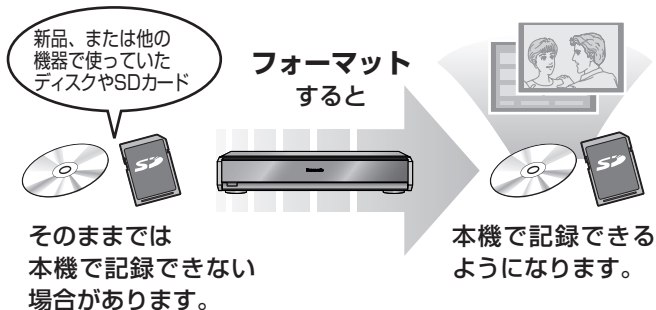
フォーマット/ディスク名入力/ディスクプロテクト/全番組消去

フォーマットとは

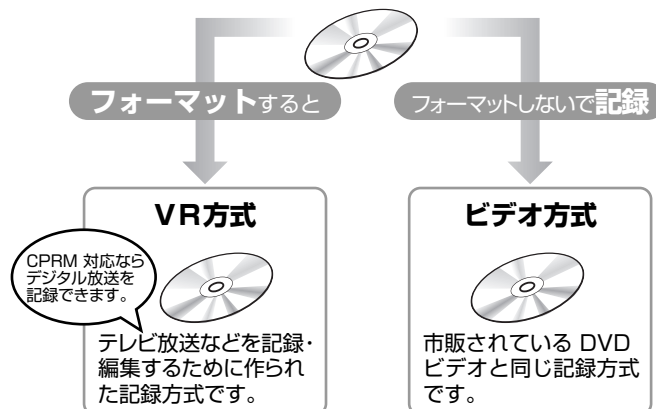
新品、または他の機器で使っていたディスクやSDカード

フォーマットすると

そのままでは本機で記録できない場合があります。

本機で記録できるようになります。

フォーマットすると、記録した内容はすべて消去され元に戻すことができません。（パソコンデータなども含む）すべて消去してよいか確認してから行ってください。（番組やフォルダ、ディスクやカードにプロテクトを設定していても消去されます）

DVD-R、DVD-R DL の記録方式とフォーマットについて

- VR 方式で記録したい場合は、記録前にフォーマットを行ってください。
- 本機では、DVD-R、DVD-R DL をフォーマットせずに使用した場合、ビデオ方式で記録されます。

いったん記録またはフォーマットすると、あとから記録方式を変更することはできません。

☞**記録方式については**（➜9）

DVD-RW のフォーマットについて

- 本機では、VR方式またはビデオ方式のどちらの記録方式でフォーマットするか選ぶことができます。

☞**前の画面に戻るには**

戻る ◯ を押す

☞**画面を消すには**

戻る ◯ を数回押す

☞**音声ガイドを止めるには**

初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする（➜101）

BD-RE(2.1) **BD-R**

「フォーマットを終了しました。フォーマット中に行ったディスクチェックの結果、本機で記録できる容量が少なくなっています。」と表示されたら

他社製ディスクで動作確認ができていないディスクの場合、ディスクのチェックを行います。その結果、録画可能時間が短くなることがあります。

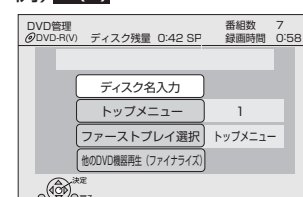
HDD **BD-RE(2.1)** **BD-R** **RAM** **-R(VR)** **-R(V)** **-R DL(VR)** **-R DL(V)** **-RW(VR)** **-RW(V)** **SD**

準備

- ディスクやSDカードを編集する場合は、ディスクやSDカードを入れる。（➜ 17）
- ［HDD/BD/SD 切換］を押して、編集したいドライブを選ぶ。
- ディスクやカートリッジ、カードの誤消去防止設定（プロテクト）を解除しておく。（➜ 右ページ）

1 **停止中に、［操作一覧］を押す**

2 **「その他の機能へ」を選び、［決定］を押す**

3 **「HDD 管理」、「BD 管理」、「DVD 管理」または「カード管理」を選び、［決定］を押す**

例）**RAM**

例）**-R(V)**

- **BD-RE(2.1)** **BD-RE(1.0)** **BD-R** 他機器で再生制限が設定されている場合、同じ機器で設定した4けたの暗証番号を入力し［決定］を押してください。再生制限が一時的に解除され、通常の操作を行えます。

4 **操作したい項目を選び、［決定］を押す**

（➜ 右ページへ）

左ページ手順 1 ～ 4 のあとに操作します。

ディスクに名前を付ける

ディスク名入力

BD-RE(2.1) BD-R RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)

（ファイナライズしたディスクにはできません）

☞文字入力については（➜ 95）

●未使用の DVD-R、DVD-R DL にディスク名を入力すると、ビデオ方式になります。
VR 方式で記録したい場合は、先にフォーマットしてください。（➜ 下記）

入力したディスク名は「BD管理」または「DVD管理」画面に表示されます。

例） -R(V)

-R(V) -R DL(V) -RW(V)
ファイナライズ後はトップメニューに表示されます。

誤消去防止の設定/解除

ディスクプロテクト

BD-RE(2.1) BD-R RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)

（ファイナライズしたディスクにはできません）

ディスクの内容を誤って消去しないように設定できます。

[◀] で「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定 を押す

例） RAM

プロテクト設定すると「🔒 オン」が表示されます。

カートリッジ付き DVD-RAM や SD カードの場合

本機で左記の設定をしなくても、ディスクや SD カードで誤消去防止設定ができます。

カートリッジ付きディスク

SD カード

スイッチを「LOCK」側にする。

番組をすべて消去する

全番組消去

HDD BD-RE(2.1) BD-R RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)

（ファイナライズしたディスクにはできません）

実行すると元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。

例） HDD

1 [◀] で「はい」を選び、決定 を押す

2 [◀] で「実行」を選び、決定 を押す

お知らせ

●全番組消去すると、プレイリストもすべて消去されます。
●プロテクトを設定した番組がある場合は、働きません。
● HDD BD-RE(2.1) RAM 写真または音楽データは消去されません。
● -R(VR) -R DL(VR) 消去しても残量は増えません。

ディスクやSDカードを初期化する

HDD のフォーマット

HDD

ディスクのフォーマット

BD-RE(2.1) BD-R RAM -RW(V) -RW(VR)

フォーマット（VR 方式）

-R(V) -R DL(V)（未使用のディスクのみ）

カードのフォーマット

SD

HDD BD-RE(2.1) BD-R RAM -R(V) -R DL(V) SD

例） RAM

ディスクのフォーマット

フォーマットを行うと、ディスク内容が全て消去されます。このディスクのフォーマットには、約○分かかります。
フォーマットを行いますか？

はい　いいえ

1 [◀] で「はい」を選び、決定 を押す

2 [◀] で「実行」を選び、決定 を押す

●フォーマットが始まります。通常は数分（RAM 最大約70分 BD-RE(2.1) 最大数時間）かかります。

-RW(V) -RW(VR)

1 [◀] [▶] で「VR 方式」または「ビデオ方式」を選び、決定 を押す

2 [◀] で「実行」を選び、決定 を押す

●フォーマットが始まります。通常は数分かかります。

☞フォーマットを中止するには

戻る を押す

● BD-RE(2.1) RAM フォーマットが2分以上かかる場合のみ中止できます。ただし、再度フォーマットを行わないと使えません。

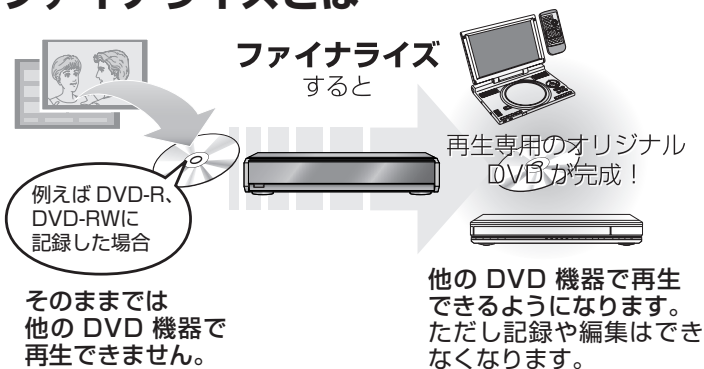
お願い

フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクやSDカードが使えなくなることがあります。

お知らせ

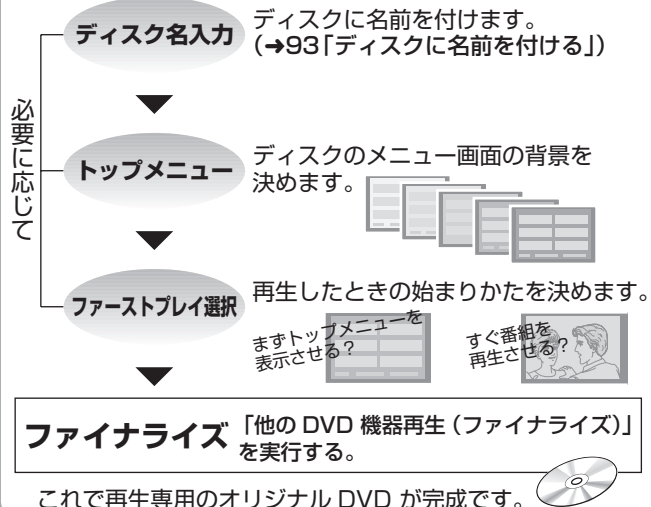
●CD-R/RWや記録済みのBD-R、DVD-R、DVD-R DL はフォーマットできません。
●本機では未使用の DVD-R、DVD-R DL をフォーマットすると、VR 方式になります。（フォーマットすると、ビデオ方式では記録できなくなります。）
●本機でフォーマットした場合、本機以外の機器で使えないことがあります。
●フォーマットに時間がかかったり、できなかった場合などは、ディスクに汚れや傷のある可能性があります。ディスクの信号面をご確認ください。

他の機器で再生できるようにする（ファイナライズ）

ファイナライズとは

そのままでは
他の DVD 機器で
再生できません。

他の DVD 機器で再生
できるようになります。
ただし記録や編集はでき
なくなります。

BD-R -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) はファイナライズしても、BD-R -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) の再生に対応した機器でしか再生できません。

- 他の機器で再生するには、それぞれの機器がファイナライズしたディスク（記録方式）の再生に対応している必要があります。
- 本機でファイナライズしたディスクでも、記録状態によっては他の機器で再生できない場合があります。

92 ページ手順 1 ～ 4 のあとに操作します。

メニュー画面の背景を設定する

トップメニュー

-R(V) -R DL(V) -RW(V)

ファイナライズ後のディスクの再生時に表示されるトップメニューの背景を設定できます。

[▲] [▼] [◀] [▶] でお好みの背景を選び、(決定) を押す

- トップメニュー内に表示される画像（サムネイル）は変更できます。
(➜54「サムネイル変更」)

再生の始まりかたを設定する

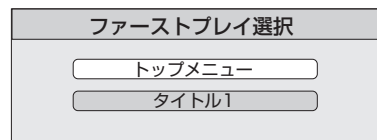
ファーストプレイ選択

-R(V) -R DL(V) -RW(V)

ファイナライズ後のディスクの再生の始まりかたを設定できます。

[▲] [▼] で「トップメニュー」または「タイトル1」を選び、(決定) を押す

トップメニュー：再生時、メニュー画面を表示する
タイトル1　　　：再生時、ディスクの先頭（タイトル 1）から再生する

ファーストプレイ選択
トップメニュー
タイトル1

他の BD/DVD 機器で再生できるようにする

他の DVD 機器再生（ファイナライズ）

-R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)

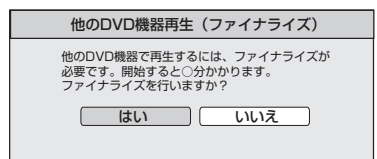
他の BD 機器再生（ファイナライズ）

BD-R

1 [◀] で「はい」を選び、(決定) を押す

2 [◀] で「実行」を選び、(決定) を押す

- ファイナライズが始まります。実行中は中止できません。
- ファイナライズは数分から最大約15分（-R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) 最大約 60 分）かかります。
- 高速記録対応ディスクの場合、確認画面に表示される時間より長くかかることがあります。（最大で約4倍）

他のDVD機器再生（ファイナライズ）
他のDVD機器で再生するには、ファイナライズが必要です。開始すると○分かかります。
ファイナライズを行いますか？
はい　いいえ

お願い

ファイナライズ実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクが使えなくなることがあります。

ファイナライズすると…

- BD-R -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) 再生専用となり、記録や編集はできなくなります。
- -RW(VR) -RW(V) 再生専用となりますが、フォーマット（➜93）すると、繰り返してダビングや編集ができます。ただし記録していた番組などはすべて消去されます。
- -RW(VR) 再生専用となりますが、「ファイナライズ解除」（➜下記）を行うと、繰り返してダビングや編集ができます。

お知らせ

- 本機以外の機器で記録したディスクはファイナライズできないことがあります。

ファイナライズを解除する

ファイナライズ解除

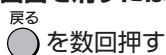
-RW(VR)

ファイナライズを解除して、ダビングや編集を行えるようにします。

1 [◀] で「はい」を選び、(決定) を押す

2 [◀] で「実行」を選び、(決定) を押す

☞**前の画面に戻るには**
(戻る) を押す

☞**画面を消すには**
(戻る) を数回押す

文字入力

HDD BD-RE(2.1) BD-R RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V) SD

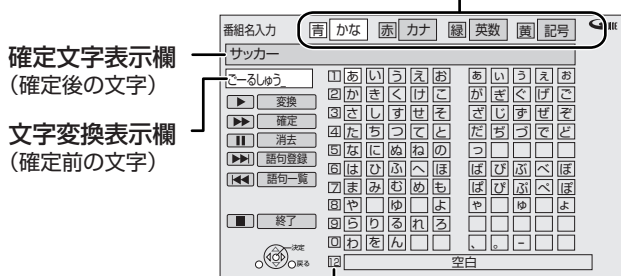
録画した番組などに名前を付けることができます。

1 入力画面を表示する

予約番組の番組名
(➜ 42「G コード®入力を使って予約録画する」手順 3)
(➜ 43「録画時間を指定して予約録画する」手順 3)
記録済みの番組の番組名（➜ 54「番組名入力」）
ディスク名（➜ 93「ディスク名入力」）
写真のアルバム名（➜ 76「アルバム名入力」）
音楽の曲名、アルバム名、アーティスト名（➜ 86）

2 青（かな）、赤（カナ）、緑（英数）、黄（記号）で文字の種類を選び、決定 を押す

［▲］［▼］［◀］［▶］で文字の種類を選び、［決定］を押しても、文字の種類が選べます。

●漢字を入力するときは、まず「かな」を選びます。

3 入力する文字を選び、決定 を押す

☞**ひらがなのまま入力するには**
［▶▶］（確定）を押す

☞**ひらがなを漢字変換するには**
①［再生 ▶］（変換）を押す
●変換候補選択画面が表示されます。
②［▲］［▼］で変換したい漢字の候補を選び、［決定］を押す
● ［|◀◀］または［▶▶|］を押すと、前ページまたは次ページの変換候補選択画面が表示されます。
● ［戻る］を押すと、入力画面に戻ります。

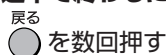
☞**よく使う語句を登録したり、登録した語句を呼び出すには**（➜ 右記）

☞**消去するには**
［一時停止 ❚❚］（消去）を押す

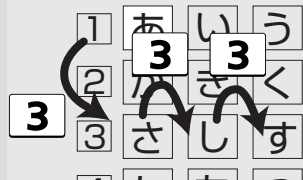
●確定文字表示欄では“＿”の部分に文字が挿入されます。
●この手順を繰り返し、複数の文字を入力します。

4 入力が終わったら、停止（終了）を押し、［◀］で「保存」を選び、決定 を押す

番組一覧などのそれぞれの画面に戻ります。

☞**前の画面に戻るには**
戻る を押す

☞**途中で終わるには**
戻る を数回押す
（入力した文字は保存されません）

よく使う語句を登録する	登録できる語句数：20 個まで 登録できる文字数（1個あたり）： 英数 先頭から 20 文字 その他 先頭から 10 文字 **1 登録したい語句を入力する** **2 ▶▶|（語句登録）を押す** **3 ［◀］で「登録」を選び、決定 を押す** ☞**登録を中止するには** 戻る を押す
登録した語句を呼び出す	**1 |◀◀（語句一覧）を押す** **2 ［▲］［▼］［◀］［▶］で呼び出す語句を選び、決定 を押す**
登録した語句を消去する	**1 |◀◀（語句一覧）を押す** **2 ［▲］［▼］［◀］［▶］で消去する語句を選び、サブメニュー S を押す** **3 「語句消去」が選ばれている状態で、決定 を押す** **4 ［◀］で「消去」を選び、決定 を押す**

数字ボタン［1］～［10/0］、［12*］でも文字を入力できます。
例：ひらがな「す」を選ぶ場合
1 ［3］を押す
●「さ」行に移動します。
2 ［3］を2回押し、［決定］を押す
●「す」が文字変換表示欄に表示されます。

入力できる文字数について

	種類	英数	その他
HDD	番組名	64	32
	写真のアルバム名	36	18
	曲名	118	59
	音楽のアルバム名	118	59
	アーティスト名	78	39
BD-RE(2.1) BD-R	番組名※	252	127
	写真のアルバム名（BD-RE(2.1)のみ）	36	18
	ディスク名	252	127
RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)	番組名	64	32
	写真のアルバム名（RAMのみ）	36	18
	ディスク名	64	32
-R(V) -R DL(V) -RW(V)	番組名	44	22
	ディスク名	40	20
SD	写真のアルバム名	36	18

※予約番組の番組名 英数：64文字 その他：32文字
●入力したすべての文字が表示されない画面もあります。
● BD-RE(2.1) BD-R 文字の種類によっては入力できる文字数が少なくなることがあります。

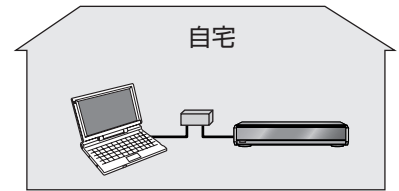
自宅にあるパソコンで操作する

本機と接続したパソコンやブラウザ(➜124)機能を持っているテレビで、インターネットを介さなくても、以下の遠隔操作ができます。

●番組編集　　　　：HDD に録画されている番組の番組名入力や消去

●レコーダー操作　　:本機の(予約)録画、電源入/切など

ただし、ブラウザ機能を持っているテレビ(当社製Tナビ)では、番組名入力はできません。

☞携帯電話や外出先のパソコンから操作したいときは (➜ 準備編 45)

●ネットワーク接続する(➜ 準備編 14)
●ネットワークの設定をし(➜ 準備編 42)「ネットワーク機能」を「家庭内ネット」に設定する(➜ 準備編 45 手順 6)
・ブロードバンドレシーバー対応サービス (➜ 準備編 14)をご利用になる場合は、「インターネット」に設定してください。
●ブロードバンドレシーバーの設定をする(➜ 105)

1 インターネット閲覧(ブラウザ)ソフトを起動させ、本機の IP アドレス(➜準備編 45、手順 4 で確認)をアドレス欄に入力する

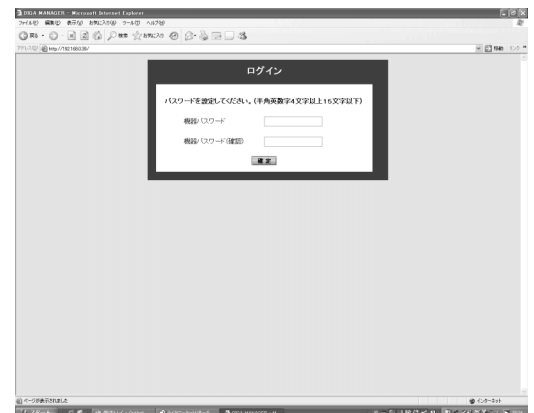
●ログイン画面が表示されます。
●ブラウザ機能を持っているテレビ(当社製Tナビ)での IP アドレス入力について、詳しくはご使用のテレビの説明書をご覧ください。

☞**ログイン画面が表示されないときは (Internet Explorer® 6.0 の場合)**
インターネット閲覧(ブラウザ)ソフトを起動させ、「ツール」→「インターネットオプション」→「接続」→「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」の「LAN にプロキシサーバーを使用する」のチェックを外し、「OK」をクリックする

2 機器パスワードを入力し、「確定」をクリックする

●初めてログインするときは機器パスワードが未設定ですので、ここで設定してください。
2回目以降のログイン時は、設定した機器パスワードを入力します。
●サービスの機器登録で設定済みの機器パスワードをお持ちの方は、それと同じパスワードを入力してください。

☞**機器パスワードとは**
(➜ 準備編 52「機器パスワードとは何か?」)

☞**機器パスワードを忘れたときは**
(➜ 118「機器パスワードを忘れた」)

3 操作内容を選ぶ

●各操作は画面の指示に従い、行ってください。

番組編集
HDDに録画されている番組の番組名入力や消去ができます。
●番組の消去をする場合は、**初期設定**「ネットからの番組消去機能」を「入」にしてください。(➜ 105)

レコーダー操作
本機の(予約)録画、電源入/切などができます。

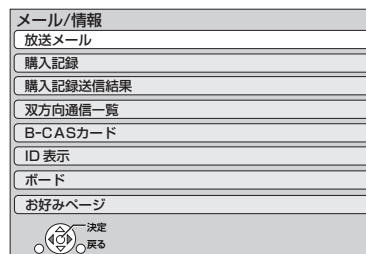
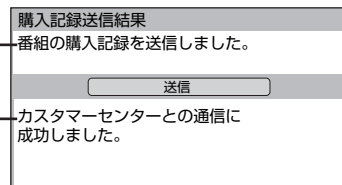
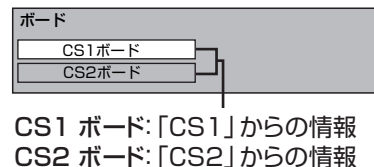
ヘルプ
操作方法などの説明を見ることができます。

ログアウト
操作を終了します。

いろいろな情報を見る（メール/情報）

放送局から届くメールや、その他本機が送受信する情報などを確認します。

メール / 情報の基本操作	
	1 停止中に［操作一覧］を押す **2 [▲] [▼] で「その他の機能へ」を選び、［決定］を押す** **3 [▲] [▼] で「メール / 情報」を選び、［決定］を押す** **4 [▲] [▼] で確認する項目を選び、［決定］を押す** ☞**前の画面に戻るには** ［戻る］を押す ☞**画面を消すには** ［戻る］を数回押す

メール/情報
放送メール
購入記録
購入記録送信結果
双方向通信一覧
B-CASカード
ID表示
ボード
お好みページ
決定
戻る

項目	内容
放送メール	放送メールには、放送局からのお知らせ（最大 31 通まで保存）や、本機の機能向上のためのダウンロード情報（最新の 1 通のみ保存）などがあります。 **[▲] [▼] で確認したいメールを選び、[決定] を押す** ●本機の機能向上のためのダウンロード情報が届いたときに、メールの内容画面の下部にダウンロード予約ボタンが表示されます。ダウンロードの予約を「する」または「しない」を選んでください。 「する」を選んだ場合、メールに記載されているダウンロード開始時刻の約 5 分前には、電源を切っておいてください。 ※ダウンロード予約の設定が「自動」の場合は、ダウンロード予約ボタンは表示されず、自動的にダウンロードが行われます。 ☞**ダウンロード予約の設定については（➜ 準備編 38）** ●メールが最大保存数を超えると、未読/既読に関係なく、日付の古い順に消去されます。また、最大保存数を超えていなくても、受信から 14 日経過したメールは消去されます。 ●メールはお客様自身で消去することはできません。 ●メールの送信や返信はできません。
購入記録	購入した有料番組を確認できます。 ●価格改定などにより請求金額は異なる場合があります。 ☞**累計金額をリセット（0円に戻す）には** ① [取消し/11#] を押して、リセット画面を表示させる ② [◀] で「はい」を選び、[決定] を押す ●リセットした項目は、うすい文字で表示されます。
購入記録送信結果	有料番組の購入情報が正しく送信されているかどうか確認します。 ●前回の送信結果として、送信失敗のために再送信をうながす旨が表示される場合があります。その場合は「送信」を選び、[決定]を押すと再送信できます。 最新の送信記録を表示 前回の送信結果を表示 （画面例）購入記録送信結果 / 番組の購入記録を送信しました。 / 送信 / カスタマーセンターとの通信に成功しました。
双方向通信一覧	データ放送で電話回線を利用した履歴などを確認します。
B-CAS カード	契約されている各委託放送事業者のカスタマーセンターへの問い合わせのときなど、B-CAS カードの番号が必要なときに使用します。
ID 表示	当社の「お客様ご相談センター」への問い合わせのときなど、本機の情報を調べたいときに使用します。 ☞**その他の情報を見るには** ● [青] を押すと、本機のソフト情報を表示。 ● [赤] を押すと、データ放送時のルート証明書情報を表示。
ボード	110 度 CS デジタル放送から送られてくる、番組情報などのお知らせを確認します。 ① [▲] [▼] で「CS1 ボード」または「CS2 ボード」を選び、[決定]を押す ② [▲] [▼] で確認したい情報を選び、[決定]を押す （画面例）ボード / CS1ボード / CS2ボード CS1 ボード:「CS1」からの情報 CS2 ボード:「CS2」からの情報
お好みページ	データ放送の画面上で、「お好みページ」の登録操作を行ったときに登録されます。今後、このようなデータ放送が徐々に増えてくる予定です。（2006 年 10 月現在） ただし、ページによっては本機で登録や表示ができないものがあります。 **[▲] [▼] で実行したいタイトルを選び、[決定] を押す** ●登録されている内容に従った動作が行われます。 例えば、指定されたテレビ放送のチャンネルに切り換わったりします。 ☞**お好みページを削除したり自動で消去するには** ① [サブ メニュー] を押す ②削除する場合は、「削除」を選び、[決定] を押す。 ●データ放送からの指示により自動で消去してもよい場合は、「消去許可設定」で「許可」を選んだあと、「更新」を選び、[決定] を押す。

放送設定を変える（放送設定）

放送設定一覧（➜ 98 ～ 100）をご覧になり、必要であれば設定を変更してください。設定内容は、電源を切っても保持されます。

放送設定の基本操作

1 停止中に [操作一覧] を押す

2 [▲] [▼] で「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す

3 [▲] [▼] で「放送設定」を選び、[決定] を押す

4 [▲] [▼] でメニューを選び、[決定] を押す

5 [▲] [▼] で設定項目を選び、[決定] を押す

●さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

6 [◀] [▶] で設定内容を変更する

放送設定
かんたん設置設定
放送設置
デジタル放送・再生
ダウンロード
放送設定リセット
決定
戻る

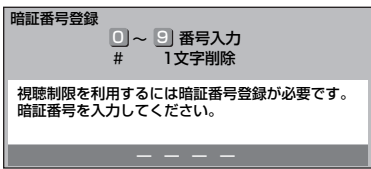
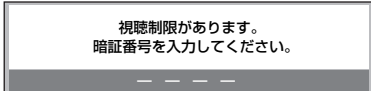
☞**前の画面に戻るには**

[戻る] を押す

☞**画面を消すには**

[戻る] を数回押す

お知らせ

●操作方法が異なる場合があります。このときは、画面の指示に従ってください。

● [決定] を押すときは、周囲の回転部をいっしょに押さないようにお気をつけください。

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
かんたん設定	かんたん設置設定（➜ 準備編 22）	→ [決定] を押して、さらに設定します。
放送設置	→ [決定] を押して、さらに設定します。	
	チャンネル設定（➜ 準備編 46 ～ 50）	→ [決定] を押して、さらに設定します。
	地上アナログ	
	地上デジタル	
	BS	
	CS1	
	CS2	
	スキップ設定	▶ 視聴する ▶ スキップする：[放送 /入力切換] を押しても選択できなくなります。
	番組表設定（➜ 準備編 33）	→ [決定] を押して、さらに設定します。
	G ガイド地域設定	▶ 札幌～沖縄：（「かんたん設置設定」の実行で自動的に設定）
	番組表受信設定	BS908：（放送局からの案内がない限り、変更しないでください）
	G ガイド受信確認	G ガイド受信スケジュールを確認できます。
	地域設定（➜ 準備編 38）	→ [決定] を押して、さらに設定します。
	県域設定	▶ 東北海道～沖縄県
	郵便番号	ーーー・ーーーー（郵便番号）
	地域設定消去	▶ はい　▶ いいえ
	受信設定（➜ 準備編 34）	→ [決定] を押して、さらに設定します。
	地上デジタル	→ [決定] を押して、さらに設定します。
	アッテネーター	▶ オン　▶ オフ
	物理チャンネル選択 物理チャンネル（➜ 準備編 57）を指定してアンテナレベルを確認します。	▶ 物理チャンネル入力　ーーCH
	衛星	→ [決定] を押して、さらに設定します。
	アンテナ電源	▶ オン　▶ オフ 「オン」にした場合、テレビ側でBS・110度 CS デジタル放送の受信ができない、または映りが悪くなるときがあるため、テレビ側の衛星アンテナ電源を「入（オン）」にしてください。
	トランスポンダ選択	BS-1 ～ BS-15、CS-2 ～ CS-24
	衛星周波数 （放送局からの案内がない限り、変更しないでください）	ーー.ーーーー GHz

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
放送設置（つづき）	電話設定（➜ 準備編 40）	→ [決定] を押して、さらに設定します。
	回線設定	▶ 自動　▶ プッシュ　▶ ダイヤル20　▶ ダイヤル10
	トーン検出 「回線設定」（➜ 上記）が「自動」以外のときに設定できます。	▶ する　▶ しない
	内線設定	−−−−−−−−−（内線番号）
	電話テスト	−−
	発信者番号通知	▶ 指定なし　▶ 通知する　▶ 通知しない
	電話会社設定	−−−−−−−−−（電話会社番号）
	マイラインプラス 「電話会社設定」（➜ 上記）を設定したときのみ設定できます。	▶ 解除する　▶ 解除しない
	B-CAS カードテスト（➜ 準備編 38）	−−
	ネットワーク設定（➜ 準備編 42）	→ [決定] を押して、さらに設定します。
	接続テスト	−−
	IP アドレス自動取得	▶ する　▶ しない
	IP アドレス	−−−.−−−.−−−.−−−
	サブネットマスク	−−−.−−−.−−−.−−−
	ゲートウェイアドレス	−−−.−−−.−−−.−−−
	DNS-IP 自動取得	▶ する　▶ しない
	プライマリ DNS	−−−.−−−.−−−.−−−
	セカンダリ DNS	−−−.−−−.−−−.−−−
	接続速度自動設定	▶ オフ　▶ オン
	接続速度設定 「接続速度自動設定」（➜ 上記）が「オフ」時のみ設定できます。	▶ 10BASE 半二重　▶ 10BASE 全二重 ▶ 100BASE 半二重　▶ 100BASE 全二重
	MAC アドレス	＊＊-＊＊-＊＊-＊＊-＊＊-＊＊（MAC アドレス表示）
	ブラウザ設定（➜ 準備編 44）	→ [決定] を押して、さらに設定します。
	標準に戻す	▶ はい　▶ いいえ
	プロキシアドレス	（初期値は空欄）
	プロキシポート番号	（初期値は 0）
デジタル放送・再生	字幕の設定 デジタル放送の字幕や、番組からのお知らせなど（文字スーパー）を表示させるための設定です。 録画モード「XP」〜「EP」、「FR」で録画した場合、設定した内容がそのまま録画され、再生時にはその設定内容で再生されます。	→ [決定] を押して、さらに設定します。 字幕の設定 字幕　オン　オフ 字幕言語　日本語　英語 文字スーパー　オン　オフ 文字スーパー言語　日本語　英語 ●「字幕」/「文字スーパー」が「オン」でも、字幕/文字スーパーのない番組や設定した言語の字幕 / 文字スーパーがない場合、字幕 / 文字スーパーは表示されません。 ●強制的に表示される字幕や文字スーパーなど、設定しても番組によって無効になる場合があります。 ●地上アナログ放送の文字放送（字幕）は見られません。
	字幕	▶ オン　▶ オフ
	字幕言語	▶ 日本語　▶ 英語
	文字スーパー	▶ オン　▶ オフ
	文字スーパー言語	▶ 日本語　▶ 英語

放送設定を変える（放送設定）（つづき）

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
デジタル放送・再生（つづき）	**制限項目設定** ●年齢や購入金額の上限を設定できます。 ●上限を超える番組を見るときは、暗証番号の入力が必要です。入力すると番組を見ることができます。 ●年齢制限を超える番組は、番組表（G ガイド）などで「・・・」と表示されます。	→[決定] を押して、さらに設定します。 暗証番号登録 0 ～ 9 番号入力 # 1文字削除 視聴制限を利用するには暗証番号登録が必要です。 暗証番号を入力してください。 － － － － **画面の指示に従って [1] ～ [10/0] を押し、暗証番号（4 けた）を入力する** ●10 秒間ボタン操作がないと、元の画面に戻ります。 ●初めて入力するときは番号を2 回入力し、登録します。暗証番号は、忘れないようにメモをしておいてください。 お知らせ ●4 けたの暗証番号は自由にお決めいただけます。もし忘れた場合は、契約されている各委託放送事業者にお問い合わせください。 ●暗証番号を入力後、下記の設定を行ってください。
	視聴可能年齢	▶ <u>無制限</u> ▶ 4 才～ 19 才（1 才刻み）
	一番組限度額	▶ <u>無制限</u> ▶ 100 円 ▶ 500 円 ▶ 1000 円 ▶ 1500 円 ▶ 2000 円 ▶ 2500 円 ▶ 3000 円
	暗証番号変更	●「視聴可能年齢」と「一番組限度額」の設定は残ります。
	暗証番号取消し	●「視聴可能年齢」と「一番組限度額」の設定は「無制限」に戻ります。
	設定した年齢や購入金額を超える番組を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。 視聴制限があります。 暗証番号を入力してください。 － － － －	●暗証番号を入力すると、番組が映ります。 ●「視聴可能年齢」の場合は、一度暗証番号を入力すると、電源を「切」にするまで見ることができます。
	選局対象 デジタル放送で [チャンネル ∧ ∨] を押して順送りできるチャンネルを選びます。	▶ お好み：リモコンの [1] から [12*] に設定されているチャンネルとデジタル放送で設定した 13 ～ 36 までのチャンネル ▶ テレビ：テレビ放送（映像＋音声）のチャンネルのみ ▶ ラジオ：ラジオ放送（音声）のチャンネルのみ ▶ データ：データ放送のチャンネルのみ ▶ <u>すべて</u>：受信できるすべてのチャンネル
ダウンロード	**ダウンロード予約**（➜ 準備編 38） デジタル放送からの情報を本機に取り込むことにより、本機の制御プログラムを最新のものに書き換えます。	▶ <u>自動</u>：電源「切」時に、自動的にダウンロードします。 ▶ 手動：情報が届いた場合、メールで知らせます。 （➜ 97「放送メール」）
放送設定リセット	**設定項目リセット** 「受信設定」の「衛星」（➜ 98）と「電話設定」（➜ 99）をお買い上げ時の設定に戻します。	▶ はい ▶ <u>いいえ</u>
	個人情報リセット 初期設定項目（➜ 101～105）［時刻（年/月/日/時/分）は除く］と放送設定項目（➜ 98～100）をお買い上げ時の設定に戻します。また、本機に記録されているお客様の操作に関する個人情報（メールや購入記録、データ放送のポイントなど）や、予約一覧画面（➜ 44）の内容も消去されます。 廃棄などで本機を手放される場合以外には、実行しないでください。	→[決定] を3秒以上押して、さらに設定します。 ▶ はい ▶ <u>いいえ</u> お知らせ ●双方向データ放送をご利用の場合、本機からの操作により、放送局に登録された情報はこの操作では消去されません。消去方法はそれぞれのサービスにお問い合わせください。 ●HDD に録画された番組などは、この操作では消去されません。消去するには、「HDD のフォーマット」（➜ 93）を行ってください。

本機の設定を変える（初期設定）

初期設定一覧（➜101 ～ 105）をご覧になり、必要であれば設定を変更してください。設定内容は、電源を切っても保持されます。

初期設定の基本操作

1 停止中に［操作一覧］を押す

2 [▲] [▼] で「その他の機能へ」を選び、［決定］を押す

3 [▲] [▼] で「初期設定」を選び、［決定］を押す

4 [▲] [▼] でメニューを選び、［決定］を押す

5 [▲] [▼] で設定項目を選び、［決定］を押す

●さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

6 [▲] [▼] [◀] [▶] で設定内容を選び、［決定］を押す

初期設定
設置
ディスク
映像
音声
画面設定
接続
ブロードバンドレシーバー
決定
戻る

☞**前の画面に戻るには**

戻る
 を押す

☞**画面を消すには**

戻る
 を数回押す

お知らせ

●操作方法が異なる場合があります。このときは、画面の指示に従ってください。
●[決定] を押すときは、周囲の回転部をいっしょに押さないようにお気をつけください。

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
設置	**自動電源〔切〕** 操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。	▶ 2 時間 ▶ 6 時間 ▶ 切 時間を設定すると、本機の動作（録画やダビングなど）が終了してから2 時間後または 6 時間後に、電源が切れます。
	リモコン設定	→ [決定] を押してさらに設定します。
	リモコンモード（➜ 準備編 36）	▶ リモコン1 ▶ リモコン2 ▶ リモコン3
	マルチジョグ（➜ 19）	▶ 入 ▶ 切
	ワイドモード テレビのＳ映像入力に合わせて出力を設定します。（➜ 準備編 28）	▶ S 1 ：テレビの端子が「S1」のとき ▶ S 1/S2 ：テレビの端子が「S1」または「S2」のとき ▶ 切 ：テレビの端子が「S」、またはテレビ側で、自動的にワイドテレビの画面設定に切り換える機能を作動させたくないとき
	時刻合わせ（➜ 準備編 36）	▶（年/月/日/時/分） ▶ 自動時刻チャンネル
	音声ガイドの出力 「かんたん設置設定」などの実行時に音声で操作ガイダンスを行います。	▶ 入 本書の［ディーガがしゃべる!］マーク部分で働きます。（詳しくは ➜6） ▶ 切
	クイックスタート 「入」に設定すると、電源「切」状態から、以下の操作がすばやく行えるようになります。（映像または S 映像コード接続時） ・［番組表］を押して約 1 秒後※に、番組表（G ガイド）を表示します。 ※D 端子ケーブルや HDMI ケーブルで接続している場合は、さらに数秒かかります。 ●テレビの種類や接続端子によっては、表示が遅れることがあります。 ●そのほかの操作は、電源を入れてから数十秒かかります。 ●初期設定「ネットワーク機能」（➜ 105）を「インターネット」または「家庭内ネット」に設定すると、「入」に固定されます。	▶ 入 ▶ 切 「入」に設定すると、内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときに比べて以下の内容が異なります。 ●待機時消費電力が増えます。 ●本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または、午前4時ごろ（1週間に一度程度）に、本機を再起動することがあります。（再起動中は、本体表示窓に “PLEASE WAIT” と表示され、電源ボタン以外のすべてのボタン操作が数分間できません。また、ドライブやHDD から動作音がしますが、故障ではありません。） ●内部の温度上昇を防ぐため、内部冷却用ファンが低速で回ることがあります。
	初期設定リセット 設定をお買い上げ時の設定に戻します。 （時刻と視聴制限は除く）	▶ する ▶ しない 初期設定リセットを行うと、本体側の「リモコンモード」もお買い上げ時の設定（リモコン1）に戻ります。リモコンが働かなくなった場合は（本体表示窓に “U30” と表示）、リモコンモードを変更してください。 （➜ 準備編 37「本体表示窓に “U30” と表示されたとき」）

本機の設定を変える（初期設定）（つづき）

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）	
ディスク	**再生設定**	→ [決定] を押して、さらに設定します。	
	DVD-Videoの視聴制限 DVD ビデオの視聴制限ができます。	▶ <u>レベル8</u>：すべての DVD ビデオが視聴可。 ▶ レベル7～1：制限レベルの記録されている DVD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可。 ▶ レベル0：すべての DVD ビデオが視聴不可。 ▶ ロック解除　▶ 暗証番号変更 ▶ レベル変更　▶ 一時解除	●暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って [1] ～ [10/0] で暗証番号（4 けた）を入力してください。 ●暗証番号は忘れないでください。 暗証番号は共通です。
	BD-Videoの視聴可能年齢 年齢制限されたBDビデオの視聴可能な下限年齢を設定できます。	▶ <u>無制限</u>：すべてのBDビデオが視聴可能。 ▶ 254歳～0歳：年齢制限の記録されているBDビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可。 ▶ ロック解除　▶ 暗証番号変更 ▶ 視聴可能年齢変更　▶ 一時解除	
	音声言語 BDビデオやDVD ビデオ再生時の音声を選びます。	▶ <u>日本語</u>　▶ 英語 ▶ オリジナル（ディスクの最優先言語で再生） ▶ その他＊＊＊＊	＊には [1] ～ [10/0] で言語番号（➜ 105）を入力 選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面（➜46）でのみ切り換えられるものもあります。
	字幕言語 BDビデオやDVD ビデオ再生時の字幕言語を選びます。	▶ <u>オート</u>：「音声言語」で選んだ言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。 ▶ 日本語　▶ 英語 ▶ その他＊＊＊＊	
	メニュー言語 テレビ画面に表示される言語を選びます。	▶ <u>日本語</u>　▶ 英語 ▶ その他＊＊＊＊	
	BD-Video操作音 メニュー操作音の入ったBDビデオで操作音が出ます。ただし、初期設定「デジタル出力」（➜ 右ページ）で、各項目を「Bitstream」に設定している場合、「入」にしても操作音は出ません。	▶ <u>入</u>： BD-V 初期設定「デジタル出力」の「PCMダウンサンプリング変換」（➜右ページ）を「切」にしていても、出力は 48 kHz になります。 ▶ 切	
	ビデオ（AVCHD）優先モード ●本機以外で記録された BD-RE の場合、ビデオ（AVCHD）からダビングした素材の表示や再生ができないことがあります。その場合は、この設定を「入」にすると表示や再生ができる場合があります。 ●ディスクが入っている状態では変更できません。ディスクが入っている場合は、ディスクを取り出して、設定してください。	▶ 入　▶ <u>切</u>	
	記録設定	→ [決定] を押して、さらに設定します。	
	EP 時の記録時間 録画モードが EP 時の最大記録時間を選びます。（➜ 33「録画モード」）	▶ 6時間：4.7 GBディスクに 6 時間記録 ▶ <u>8時間</u>：4.7 GBディスクに 8 時間記録	
	高速ダビング用録画 -R(V) -R DL(V) -RW(V) HDD に録画した番組を、高速ダビングできるようになります。 ただし録画される番組は画面サイズなどが制限されます。（➜ 右記） 「切」に設定していると、右記の制限はかかりませんが、-R(V) -R DL(V) -RW(V) へ高速ダビングはできなくなります。 ●この設定はアナログ放送や外部入力（DV 入力含む）から録画するときや、記録ファイナライズ後のディスク（DVD ビデオ）をダビングするときに有効です。	▶ <u>入</u>：高速ダビング対応にする → [決定] を押して、さらに「はい」を選びます。 ・記録される番組には以下の制限がかかります。 -画面サイズは「ビデオ方式の記録アスペクト」（➜ 下記）の設定に従って記録されます。 -二重放送の音声は、「二重放送音声記録」（➜ 右ページ）で選んだほうの音声のみ記録されます。 ・放送受信中の音声を切り換えることはできなくなります。 -二重放送の音声は、「二重放送音声記録」（➜ 右ページ）で選ばれているほうが出力されます。 ▶ 切	
	ビデオ方式の記録アスペクト 記録時のアスペクトの設定をします。	▶ <u>オート</u>：記録する番組の開始時のアスペクトに従って記録します。 ▶ 4：3 ▶ 16：9 以下の場合、設定されたアスペクトで記録されます。 ● -R(V) -R DL(V) -RW(V) にダビングするとき ●「高速ダビング用録画」（➜ 上記）を「入」にして、地上アナログ放送や外部入力からの番組を録画するとき ●「高速ダビング用録画」（➜ 上記）を「入」にして、ファイナライズ後のディスク（DVD ビデオ）をダビングするとき ただし、録画モード「EP」、「FR（EPモード相当の画質）」で記録時は「4：3」で記録されます。	

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
ディスク（つづき）	**DVD の高速ダビング速度** 高速モードでのダビング速度を設定します。（RAM 5X、-R(VR) -R(V) 8X 以上の高速記録対応ディスクの場合など）	▶ <u>最高速モード</u> ▶ **静音モード**：ダビング時の動作音が小さくなります。ただし、ダビングの所要時間は長くなります。
	HDD 音楽録音設定	→[決定]を押して、さらに設定します。
	録音音質 音楽 CD から HDD へ録音する場合の音質を選びます。	▶ <u>LPCM</u>　：音楽 CD と同じ音質 ▶ AAC（XP）：AAC 約128 kbps ▶ AAC（SP）：AAC 約96 kbps ▶ AAC（LP）：AAC 約64 kbps
映像	**スチルモード** 一時停止時の画像の表示方法が選べます。 （➜ 124「フレーム/フィールド」）	▶ <u>オート</u> ▶ フィールド：動きのある映像や“オート”時にぶれが生じるとき ▶ フレーム：“オート”時に細かい絵柄などが見えにくいとき
	シームレス再生 番組と番組のつなぎ目や部分消去した部分などの再生する状態を選べます。 （BDに記録された番組、DR モードの番組には無効です）	▶ <u>入</u>：なめらかに再生（早送り中やチャプターの音声が異なる場合は働きません。また、位置がずれることがあります） ▶ 切：精度よく再生（つなぎ目で画像が一瞬止まる場合があります）
	HD ノイズフィルター ざらつきが少なく柔らかい画像にします。	▶ 入：「D 端子出力解像度」（➜ 105）が「D3」「D4」のときのみ有効 ▶ <u>切</u>
音声	**音声のダイナミックレンジ圧縮** BD-V DVD-V 小音量でもセリフを聞き取りやすくします。	▶ 入（ドルビーデジタルの音声にのみ働きます） ▶ <u>切</u>
	二重放送音声記録 記録する二重放送の音声を選びます。	▶ <u>主音声</u>　▶ 副音声 以下の場合、選択された音声が記録されます。 ● -R(V) -R DL(V) -RW(V) にダビングするとき ●「高速ダビング用録画」（➜ 左ページ）を「入」にして、地上アナログ放送や外部入力からの番組を録画するとき ●「XP時の記録音声モード」（➜ 104）を「LPCM」にして録画モード「XP」で録画するとき
	デジタル出力	→[決定]を押して、さらに設定します。
	PCM ダウンサンプリング変換 サンプリング周波数 96 kHz または 88.2 kHz で収録された音声を 48 kHz または 44.1 kHz に変換する（「入」）かしない（「切」）かを選びます。	▶ 入：96 kHz または 88.2 kHz に対応していない機器と接続したとき ▶ <u>切</u>：96 kHz または 88.2 kHz に対応した機器と接続したとき （BD-V「BD-Video操作音」（➜ 左ページ）を「入」にしているとき、出力は48 kHzになります） （176.4 kHz 以上の信号や著作権保護処理がされているディスクの出力は、設定にかかわらず 48 kHz または 44.1 kHz に変換されます）
	Dolby Digital※1 ドルビーデジタルの信号を接続した機器側で処理を行う“Bitstream”で出力するか、本機で“PCM”に処理して出力するかを設定します。	▶ <u>Bitstream</u>：ドルビーデジタルロゴのある機器に接続するとき ▶ PCM：ドルビーデジタルロゴのない機器に接続するとき※2
	Dolby Digital Plus※1 ドルビーデジタルプラスの信号を、ドルビーデジタルの“Bitstream”で出力するか、PCMで出力するかを設定します。	▶ Bitstream：ドルビーデジタルロゴのある機器に接続するとき ▶ <u>PCM</u>：ドルビーデジタルロゴのない機器に接続するとき※2
	DTS※1 DTS の信号を接続した機器側で処理を行う“Bitstream”で出力するか、本機で“PCM”に処理して出力するかを設定します。	▶ <u>Bitstream</u>：DTS デジタルサラウンドロゴのある機器に接続するとき ▶ PCM：DTS デジタルサラウンドロゴのない機器に接続するとき※2
	AAC※1 放送や音楽のAAC の信号を接続した機器側で処理を行う“Bitstream”で出力するか、本機で“PCM”に処理して出力するかを設定します。	▶ <u>Bitstream</u>：AAC をデコードできる機器に接続するとき ▶ PCM：AAC をデコードできない機器に接続するとき※2

正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあるほか、MD などに正しく録音できません。

DOLBY DIGITAL ドルビーデジタル

DIGITAL dts SURROUND DTS デジタルサラウンド

※1 HDMI 映像・音声出力端子の音声出力時に接続機器が対応していない項目が選ばれていると、接続機器の性能により設定どおりに出力されない場合があります。（例：TV に HDMI で接続した場合、本機の HDMI 音声出力は、ダウンミックス 2ch に制限されます）

※2 光、同軸デジタルは 2ch になります。HDMI は、Dolby Digital Plus のとき最大 7.1ch、それ以外のとき最大 5.1ch で出力されます。

本機の設定を変える（初期設定）（つづき）

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
音声（つづき）	**外部入力の音声** 外部入力（L1、L2）から録画するときに記録する音声の種別を設定します。	▶ ステレオ ▶ **二重音声**：二重放送の音声を記録する場合は、「二重放送音声記録」（➜ 103）で音声をあらかじめ選んでください。
	XP時の記録音声モード 録画モードが XP 時に、記録する音声の種類が選べます。 （XP での録画時やダビング時に働きます）	▶ Dolby Digital（➜ 124） ▶ LPCM（➜ 125） ・画質は少し下がります。 ・XP 以外の録画モードでは、「Dolby Digital」になります。 ・二重放送の音声は「二重放送音声記録」（➜ 103）であらかじめ選んでください。
	DV 入力時の音声設定 i.LINK（DV入力/TS）端子（➜ 72）から録音する音声の種類が選べます。	▶ ステレオ 1　：DV 録画時の音声（L1, R1）を録音するとき ▶ ステレオ 2　：編集などであとから追加した音声（L2, R2：ナレーションなど）を録音するとき ▶ MIX　：ステレオ1とステレオ2の音声を録音するとき 二重放送の音声を記録する場合は、「二重放送音声記録」（➜ 103）で音声をあらかじめ選んでください。
画面設定	**画面表示動作〔オート〕** 操作時の表示をテレビ画面に自動で表示します。	▶ 入　▶ 切（表示しない）
	地上アナログ時のブルーバック 地上アナログ放送の受信信号が弱いときに画面背景を表示しないようにできます。	▶ 入　▶ 切（表示しない）
	ブランク輝度出力 黒帯部分の明るさを設定します。（D端子またはHDMIケーブル接続時） テレビ画面の焼き付き低減のため、通常は「入」に設定することをお勧めします。	▶ 入：「HDMI出力解像度」（➜ 下記）が「525p」以外のとき、「D端子出力解像度」（➜ 右ページ）が「D3」「D4」のときのみ有効 ▶ 切：黒帯部分を暗くするとき
	本体表示窓の明るさ 本体表示窓の明るさを調節します。	▶ 常時 明　▶ 常時 暗 ▶ **オート**：再生中は暗くなり、電源「切」時は、すべて消灯します。 ・電源「切」時の消費電力の節電になります。 **（電源「切」時の消費電力 ➜ 準備編 19）**
	SD カード LED 制御 SD カードスロットの上にあるランプの点灯方法を設定します。	▶ 常時点灯　▶ 常時消灯 ▶ **カード入点灯**：電源「入」時に、SD カードを入れると点灯します。
接続	**TV アスペクト** 接続したテレビに合わせて設定します。 **（➜ 準備編 27）**	▶ 4：3　：4：3 標準テレビに接続しているとき ▶ 16：9　：ワイドテレビに接続しているとき ▶ 16：9フル：ワイドテレビに接続していて、サイドパネル（左右に黒い帯がある状態）をなくして表示したいとき
	HDMI 接続	→ [決定] を押して、さらに設定します。
	HDMI 映像優先モード（➜ 準備編 30）	▶ 入 ▶ 切：アンプなどの機器と HDMI ケーブルで接続し、テレビと D 端子ケーブルで接続するとき（アンプと接続する前に設定してください。）
	HDMI 出力解像度 接続した機器が対応している項目には、画面上に“＊”が表示されます。“＊”のついていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。 映像が乱れた場合は、本体の [停止 ■] と [再生/1.3 倍速 ▶] を5秒以上押したままにしてください。その場合は「525p」に設定されます。再度正しく設定してください。	▶ オート：1125p、1125i、750p、525p の順で接続した機器に適した解像度を自動で選択します。 ▶ 525p（プログレッシブ） ▶ 1125i（インターレース） ▶ 750p（プログレッシブ） ▶ 1125 p（プログレッシブ） ・1125pに設定してお使いになるときは、HDMI ケーブル以外から映像を出力する場合は、番組によっては映像の端がわずかに欠けることがあります。映像劣化などの防止のため、5.0 m 以下の当社製 HDMI ケーブルをお勧めします。 アンプと接続する場合、接続するアンプが設定した解像度に対応していないときは、正しく出力できません。その場合は、本機とテレビを HDMI ケーブルで接続し、本機とアンプは HDMI 以外のケーブルで接続してください。（➜ 準備編 12）

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
接続（つづき）	**HDMI RGB 出力レンジ** RGB 入力のみに対応した機器（DVI 機器など）に接続したとき有効になります。	▶ スタンダード ▶ エンハンス：映像の黒白が鮮明でないとき
	HDMI 音声出力	▶ 入 ▶ 切：テレビと本機をHDMIケーブルで接続し、HDMI非対応のアンプなどと音声コード、同軸デジタルケーブルや光デジタルケーブルで接続するとき
	VIERA Link 制御 VIERA Linkに対応した機器と HDMI ケーブルで接続したときに、連動操作の設定をします。	▶ 入 ▶ 切：VIERA Linkの機能を使わないとき
	D 端子出力解像度（➜ 準備編 28）	▶ D1　▶ D2　▶ D3　▶ D4 設定を変更して映像が乱れた場合は、本体の［停止 ■］と［再生/1.3 倍速 ▶］を5秒以上押したままにしてください。「D1」に設定されます。
	TV アスペクト（4:3）の設定 （4：3テレビに接続時） 16：9映像の映しかたを選びます。	→［決定］を押して、さらに設定します。
	DVD-Video の 16：9 映像	▶ パン＆スキャン：左右の切れた映像で再生するとき （パン＆スキャン再生ができないソフトは、レターボックスで再生します） ▶ レターボックス：上下に帯のある映像で再生するとき
	録画ディスクの 16：9 映像	▶ スルー：録画された映像の横縦比で再生するとき ▶ パン＆スキャン：左右の切れた映像で再生するとき ▶ レターボックス：上下に帯のある映像で再生するとき HDDに記録されたDRモードの番組や、BD-RE、BD-Rを再生している場合、設定にかかわらず常にレターボックスで再生されます。
	スピーカー設定 スピーカーの出力設定により、理想的な音空間を作ります。	▶ マルチチャンネル：スピーカーを3本以上接続するとき（➜ 準備編30） ▶ 2チャンネル：スピーカーを2本接続するときやドルビープロロジックデコーダーに接続するとき ● アッテネーター：▶ 入　▶ 切 音声が歪む場合は、「入」にしてください。
	i.LINK 機器モード i.LINK（DV 入力/TS）端子に接続した機器に合わせて設定します。	▶ DV モード：DV 機器と接続しているとき ▶ TS モード 1：i.LINK（TS）に対応するDVDレコーダー、D-VHSビデオデッキ、HDDビデオレコーダーと接続しているとき ▶ TSモード 2：当社製CATVデジタルセットトップボックスと接続しているとき（初期設定「クイックスタート」（➜ 101）を「入」に設定してください）
ブロードバンドレシーバー	**ネットワーク機能** ネットワーク機能を使ってパソコンや携帯電話から操作するかどうかの設定をします。	▶ インターネット：本機をインターネットに接続するとき ▶ 家庭内ネット：本機をインターネットに接続しないとき ▶ 無効：パソコンや携帯電話から操作しないとき
	ネットからの番組消去機能 パソコンや携帯電話から、本機の HDD にある番組を消去できるようにします。	▶ 入 ▶ 切
	機器パスワード初期化 パソコンや携帯電話から操作するときに使用するパスワードを初期化します。	▶ する ▶ しない

言語番号一覧

アイスランド……7383	オーリヤ……7982	ショナ……8378	トルクメン……8475	ヘブライ……7387
アイマラ……6589	オランダ……7876	シンド……8368	トルコ……8482	ベトナム……8673
アイルランド……7165	カザフ……7575	シンハラ……8373	トンガ……8479	ベロルシア（白ロシア）……6669
アゼルバイジャン……6590	カシミール……7583	スウェーデン……8386	ドイツ……6869	ベンガル（バングラ）……6678
アッサム……6583	カタロニア……6765	スロバキア……8375	ナウル……7865	ペルシャ……7065
アファル……6565	ガリチア……7176	スロベニア……8376	日本語……7465	ポーランド……8076
アフリカーンス……6570	韓国（朝鮮）語……7579	スワヒリ……8387	ネパール……7869	ポルトガル……8084
アブハジア……6566	カンナダ……7578	スンダ……8385	ノルウェー……7879	マオリ……7773
アムハラ……6577	カンボジア……7577	スペイン……6983	ハウサ……7265	マケドニア……7775
アラビア……6582	キルギス……7589	ズールー……9085	ハンガリー……7285	マライ（マレー）……7783
アルバニア……8381	ギリシャ……6976	セルビア……8382	バシキール……6665	マラッタ……7782
アルメニア……7289	クルド……7585	セルボクロアチア……8372	バスク……6985	マラヤーラム……7776
イタリア……7384	クロアチア……7282	ソマリ……8379	パシュト……8083	マルタ……7784
イディッシュ……7473	グアラニー……7178	タイ……8472	パンジャブ……8065	マダガスカル……7771
インターリングア……7365	グジャラト……7185	タタール……8484	ヒンディー……7273	モルダビア……7779
インドネシア……7378	グリーンランド……7576	タミル……8465	ビハール……6672	モンゴル……7778
ウェールズ……6789	グルジア……7565	タガログ……8476	ビルマ……7789	ヨルバ……8979
ウォロフ……8779	ケチュア……8185	タジク……8471	フィジー……7074	ラオ……7679
ヴォラピュック……8679	ゲール（スコットランド）……7168	チェコ……6783	フィンランド……7073	ラテン……7665
ウクライナ……8575	コーサ……8872	中国語……9072	フェロー……7079	ラトビア（レット）……7686
ウズベク……8590	コルシカ……6779	チベット……6679	フランス……7082	リトアニア……7684
ウルドゥー……8582	サモア……8377	ティグリニア……8473	フリジア……7089	リンガラ……7678
英語……6978	サンスクリット……8365	テルグ……8469	ブータン……6890	ルーマニア……8279
エストニア……6984	ジャワ……7487	デンマーク……6865	ブルガリア……6671	レトロマンス……8277
エスペラント……6979		トウイ……8487	ブルターニュ……6682	ロシア……8285

Q & A(よくあるご質問)

	Q(質問)	A(回答)	ページ
ディスク	CD-R や CD-RW は使えるか?	●CD-DA や写真(JPEG)のフォーマットで記録された CD-R や CD-RW が再生できます。 ●本機は CD-R や CD-RW には記録できません。	12、13 –
	海外で買った BD ビデオや DVD ビデオは再生できるか?	●映像方式が NTSC で、それぞれリージョンコード/番号が以下の場合なら再生できます。ディスクのジャケットをご確認ください。 BD-V リージョンコードが「A」 DVD-V リージョン番号が「ALL」または「2」を含んでいる。	12
	リージョン番号がない DVD ビデオは再生できるか?	●リージョン番号は、ディスクが規格に適合していることを表しています。リージョン番号がない(規格を満たしていない)場合は再生できません。	–
録画・ダビングや録音	市販のビデオや DVD から録画できるか?	●市販されているほとんどの DVD やビデオタイトルは、録画禁止処理がされています。その場合は録画できません。	–
	本機で記録したディスクは他の機器で再生できるか?	● BD-RE(2.1) BD-R 2006年10月以降に発売された当社製 BD/DVDレコーダーで再生できます。(2006年 10月現在) 当社製 DMR-E700BDや2006年春以前に発売された他社機器では対応していません。 ● RAM 当社製の DVD レコーダーや DVD-RAM 対応の DVD プレーヤーでは再生できます。(2006 年 10 月 現在) ● -R(VR) 2005 年 7 月以降に発売された当社製 DVD レコーダーで再生できます。(2006 年 10 月 現在) ● -R(V) -RW(V) ファイナライズすると、DVD プレーヤーなどの対応機器で再生できます(ただし、すべての機器で再生保証するものではありません)。また、記録状態によって再生できない場合があります。 ● -R DL(VR) DVD-R DL(VR 方式)に対応した機器で再生できます。 ● -R DL(V) ファイナライズすると DVD-R DL(ビデオ方式)に対応した機器で再生できます。 ● -RW(VR) DVD-RW(VR方式)に対応した機器で再生できます。	– – – 94 – 94 –
	本機で外部入力からのデジタル信号を録音できるか?	●i.LINK(TS)対応機器とi.LINKケーブルで接続し、本機のHDDにダビングすると、デジタル信号を録音することができます。	–
	本機からBDやDVDの音声をデジタル信号のままMD などに録音できるか?	●できます。BD や DVD の音声を録音する場合、**初期設定**「デジタル出力」を以下のように設定してください。 「PCMダウンサンプリング変換」 :「入」 「Dolby Digital」 :「PCM」 「Dolby Digital Plus」 :「PCM」 「DTS」 :「PCM」 「AAC」 :「PCM」 (ただし、ディスクがデジタル信号での録音を許可していることと、録音側の機器がサンプリング周波数 48 kHz に対応していることが必要です)	103
	ディスクに高速でダビングしたいときは?	●デジタル放送は、録画モード「DR」でHDD に録画すると、BD-RE(2.1) BD-R にハイビジョン画質のまま、高速ダビングすることができます。 ●デジタル放送は、録画モード「XP」~「EP」、「FR」でHDD に録画すると、CPRM 対応の RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) に高速ダビングすることができます。 ●アナログ放送は、**初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」にして録画すると、-R(V) -R DL(V) -RW(V) に高速ダビングができます。(お買い上げ時の設定は「入」です。)	– – 102
	MPEG4 は録画できるか?	●できません。本機は MPEG4 に対応していません。	–
	デジタルテレビやセットトップボックスから i.LINK ケーブルを使って本機の操作や予約録画はできるか?	●本機は、i.LINKに対応した当社製CATVデジタルセットトップボックスから録画・ダビング・予約録画を行うことができます。	69~71
音楽	SD カードの曲を HDD に録音できるか?	●SD カードから HDD に録音することはできません。	–
	SD カード内の曲データをパソコンに書き込み/移動できるか?	●本機から SD カードに転送した曲は、パソコンへの書き込み/移動はできません。	–
	MP3 を再生できるか?	●本機では再生できません。	–
	音楽をデジタル信号のままMDなどに録音できるか?	●HDDやSDカードの音楽は録音できません。 ● CD デジタル音声出力端子から出力している場合は録音できますが、SCMSという著作権保護のための制限により、1世代のみの録音となります。	– 80

こんな表示が出たら

	表示文字	調べるところ・原因・対策	ページ
本体表示窓	B-CAS OUT	●デジタル放送の録画開始時にB-CASカードが正しく挿入されていなかったり、デジタル放送の録画中にB-CASカードが抜けるなどしたときに、表示されます。B-CASカードを挿入してください。	準備編 18
	DL 1/5 （数字の 1 は例です）	●ダウンロード実行中です。表示が消えるまで本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。（1/5 などはダウンロードの進み具合を表します）	準備編 38
	HARD ERR	●電源を入れ直しても症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	–
	HDMI ONLY	●BDの場合、ディスクによっては著作権保護の規定により、アナログでの出力を禁止している場合があります。その場合は、HDMI端子のみ映像出力が可能です。	–
	NoREAD	●ディスクに汚れや傷が付いているため、録画や再生、編集できません。 ●レンズクリーナー（別売）（➜ 準備編 51）での作業が終了したときにも、左記のメッセージが表示されることがあります。[開/閉 ▲] を押してクリーナーを取り出してください。	15 –
	PLEASE WAIT	●終了処理中です。“BYE” が表示されたあと、電源が切れます。 ●停電または動作中に電源コードが抜けたための復旧動作中にも表示されます。表示が消えれば使えます。	– –
	PROG FULL	●すでに32件の予約がされています。不要な予約を消してください。	44
	U30 2 ※ （数字）は1〜3のいずれかを表示	●本体とリモコンのリモコンモードが違っています。リモコンモードを合わせてください。 U30 2　表示されたこの数字のボタンを押しながら、[決定] を2秒以上押したままにしてください。	準備編 36
	U50 ※	●アンテナ電源の異常です。アンテナ線内で芯線と編組線が接触（タッチ）していないか確認してください。	–
	U59 ※	●本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。表示が消えるまで（約30分間）お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置し、背面の内部冷却用ファンの周りを空けてください。	–
	U61 ※	●（ディスクトレイにディスクが入っていないとき）録画や再生、ダビング中に、異常が確認された場合に表示されます。本体動作を正常に戻すため、復旧動作中であることを示しています。故障ではありません。表示が消えれば使えます。	–
	U71 ※	●接続機器が HDMI に対応していません。	–
	U72 ※ U73 ※	●HDMI 接続時に異常が発生しました。 ・接続機器が HDMI に対応していません。 ・HDMI ケーブルが破損しています。 ・HDMI ロゴの付いたケーブルをお使いください。	–
	U75 ※	●本機とHDMIケーブルで接続されたテレビやアンプなどの機器が、著作権保護に対応していないため、著作権保護されたDVDビデオやBDビデオは再生できません。	–
	U76 ※	●お使いのDVDビデオは著作権情報が不正なため再生できません。	–
	U88 ※	●（ディスクトレイにディスクが入っているとき）再生やダビング中に、ディスクに異常が確認された場合に表示されます。本体動作を正常に戻すため、復旧動作中であることを示しています。故障ではありません。表示が消えれば使えます。	–
	F99 ※	●本機が正常に動作しません。本体の [電源 ⏻/I] を押し、電源を切/入してください。それでも症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	–
	UNFORMAT	●フォーマット（初期化）されていない、または他の機器で記録されたディスクが入っています。ご使用になる場合は、ディスクをフォーマットしてください。ただし、記録されていた内容はすべて消去されます。	93
	UNSUPPORT	●本機で記録や再生ができないディスクが入っています。	10〜12

※ これらの表示は、本機の症状を表すサービス番号です。

上記に紹介している操作をしても表示が消えない場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口（➜ 133）へ修理を依頼してください。ご依頼の際には「サービス番号、F99」などとお知らせください。

こんな表示が出たら（つづき）

	表示文字	調べるところ・原因・対策	ページ
テレビ画面	読み込みできません。 ディスクを確認してください。	●ディスクが裏返しになっていませんか。 ● BD-RE(1.0) 新品などの何も記録されていないディスクは本機では読み込みできません。番組が記録されているディスクなら本機で再生できます。	17 12
	(対応)カードが入っていません。	●本機に対応していないカードが入っていませんか。対応したSDカードを入れたのに表示された場合は、本機の電源を切り、SDカードを入れ直してください。 ●SDカードのフォーマットが異なっていませんか。	13 13
	記録できないディスクが入っています。 このディスクは規定のフォーマットがされていません。	●本機で記録できないディスクが入っていませんか。 ● BD-R -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V) ファイナライズ後のディスクが入っていませんか。 ● BD-RE(2.1) BD-R RAM -RW(VR) -RW(V) フォーマットを行ってください。	10 – 93
	(ディスクなどが)いっぱいで記録できません。 番組数がいっぱいで記録できません。 ダビング先の容量が足りません。	● HDD BD-RE(2.1) RAM -RW(VR) -RW(V) SD 不要な番組、写真または音楽を消去してください。 ●新しいディスクやカードを使ってください。	90 –
	録画を正常に終了できませんでした。	●録画禁止の番組のため、録画できません。 ●ディスクの残量がなくなっていませんか。 ●最大番組数を超えていませんか。	– – 34
	ディスクへの書き込みができません。 フォーマットできません。	●ディスクに傷や汚れがありませんか。	15
	チャンネルを設定してください。	●ガイドチャンネルが正しく設定されていないため、Gコード®予約ができません。	準備編 46
	⊘	●ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。	–
	再生できません。	●非対応のディスク（映像方式が異なるディスクなど）が入っています。	12
	本機では再生できません。	●非対応の画像を再生しようとしています。 ●本体表示窓の“SD”が点滅していないことを確認して、SDカードを入れ直してください。	13 17
	フォルダがありません。	●本機で対応したフォルダがありません。	123
	ディスクへダビングするための準備をHDDに行います。HDDはディスクへダビングするために必要な空き容量が足りません。最大4時間（SPモード）の空き容量が必要です。不要な番組を消去してください。 ディスクへダビングするための準備をHDDに行います。HDDへ記録できる番組数が500番組までとなっています。選択された番組で500番組をこえるため、HDDの不要な番組を消去してください。	● -R(V) -R DL(V) -RW(V) HDD の残量が少ないときや HDD に記録されている番組数とダビングする番組数の合計が 500 を超える場合、ダビングすることはできません。HDD の不要な番組を消去してください。	90
	データを取得中です。	●デジタル放送からデータを取得中です。	準備編 38
	B-CAS カードを正しく挿入してください。	●B-CAS カードの挿入方向の間違い、または使用できないカードが挿入されています。B-CAS カードを正しく挿入してください。	準備編 18
	アンテナとの接続に不具合があります。接続をもう一度確認してください。	●アンテナ電源の異常です。アンテナ線内で芯線と編組線が接触（タッチ）していないか確認してください。	–
	受信できません。 アンテナの設定や調整を確認してください。	●アンテナの設定や調整が正しくできていない、天候の影響などで受信障害が発生している、または放送されていないチャンネルを選局しているため受信できません。	準備編 34
	受信できません。B-CASカード、アンテナ設定、もしくは、このチャンネルの契約をご確認ください。	●正しく受信できない番組を録画した場合、または購入されていない有料放送の番組を録画した場合に表示されます。 ●アンテナの設定や調整が正しくできていない、天候の影響などで受信障害が発生している、または放送されていないチャンネルを選局している場合は正しく受信できません。 ●有料放送の場合は、購入してから録画してください ●契約したB-CASカードを挿入していますか。	30 準備編 34 30 準備編 18
	現在、このチャンネルは放送を休止しています。	●放送を休止しているチャンネルを選んでいます。	–

	表示文字	調べるところ・原因・対策	ページ
テレビ画面	番組データがありません。決定ボタンで取得します。	●地上デジタル放送の番組表（Gガイド）のみで表示されます。番組表（Gガイド）で取得したい番組のチャンネルを選んで [決定] を押すと、受信可能なチャンネルであれば数分で受信します。	28
	購入できません。電話の接続・設定を確認のうえ、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。	●B-CAS カードの記録容量を超えている場合など、購入記録が送信できないときに表示されます。電話回線の接続や設定を確認してください。	準備編 17 準備編 40
	現在、受信できません。	●受信するための送信データが異常の場合に表示されます。	－
	視聴できません。視聴するには決定ボタンを押してください。	●有料番組の購入をしていません。 [決定] で、再度購入操作が行えます。	30
	データを送信します。よろしいですか？	●データ放送の指示により、データをサービスセンターに送信します。	－
	降雨対応放送に切り替わりました。	●雨の影響により、衛星電波が弱くなったため、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り替えました。画質、音質が少し悪くなり、番組情報が表示できない場合もあります。	－
	緊急警報放送が開始されました。決定で選局、戻るで本メッセージを非表示にします。	●緊急警報放送が始まっています。必ず確認するようにしてください。	－

ディスク挿入時

BD-RE(2.1) BD-RE(1.0) BD-R RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)
-R(V) -R DL(V) -RW(V) (未ファイナライズのディスクのみ)

停止中に、ディスクを入れると下記画面が表示されます。

☞ **未記録のディスクの場合**

(未フォーマットの BD-RE(2.1))

他機で記録した BD-RE(2.1) でも左記画面が表示されることがあります。その場合、フォーマットをすると記録された内容がすべて消去されます。

(未フォーマットの BD-RE(2.1) 以外)

「おまかせダビング」が選ばれている状態で、また、[▲] [▼] で「予約録画」を選んで [決定] を押すと、それぞれおまかせダビング画面（➜ 62）、フォーマット画面（➜ 93）を表示することができます。

☞ **記録済みのディスクの場合**

「再生ナビを表示」が選ばれている状態で、[決定] を押すと、再生ナビ画面を表示することができます。(➜ 47)

ディスク取り出し時

-R(V) -R DL(V) -RW(V) (未ファイナライズのディスクのみ)

停止中に、本体の [開 / 閉 ▲] を押して、記録済みのディスクを取り出そうとすると、下記の画面が表示され、ファイナライズを行うか、行わずにディスクを取り出すかを選ぶことができます。ファイナライズを行うと、再生専用ディスクとなり、他の DVD 機器で再生できるようになります。ただし、あとから記録や編集をすることはできなくなります。

☞ **ファイナライズを行う場合**
本体の [録画 ●] を押す
●ファイナライズが実行されます。

☞ **ファイナライズを行わない場合**
本体の [開 / 閉 ▲] を押す
●ディスクトレイが開きます。

HDD または SD カードの録画や再生中などに、本体の［開 / 閉 ▲］を押すと、ファイナライズを行わずにディスクトレイが開きます。その場合、本体表示窓には、下記の表示が出ます。

NoFIN

●ファイナライズ後のディスクのトップメニュー画面の背景色や再生方法を設定したい場合は、ファイナライズを実行する前に DVD 管理の「トップメニュー」や「ファーストプレイ選択」を変更してください。(➜ 94)

SD カード挿入時

SD

停止中に、SD カードを入れると下記の画面が表示されます。

[▲] [▼] で項目を選び、[決定] を押すと、各操作画面へ進むことができます。

写真（JPEG）を表示：	再生ナビ画面を表示します。(➜ 74)
写真（JPEG）を取込：	写真（JPEG）一括取込を行います。(➜ 78)
ビデオ（MPEG2）を取込：	MPEG2動画をダビングします。(➜ 66)
ビデオ（AVCHD）を取込：	ハイビジョン動画（AVCHD）をダビングします。(➜ 68)
音楽を再生：	再生ナビ画面を表示します。(➜ 84)
音楽を転送：	HDD の音楽を SD カードに転送します。(➜ 83)

●SD カード内にMPEG2動画がない場合、「ビデオ（MPEG2）を取込」は表示されません。
●SD カード内にハイビジョン動画（AVCHD）がない場合、「ビデオ（AVCHD）を取込」は表示されません。

故障かな !?

故障かな？と思ったら以下の項目を確かめてください。それでも直らないときや、症状が載っていないときはお買い上げの販売店にご連絡ください。

次のような場合は、故障ではありません

- ●周期的なディスクの回転音がする。（ファイナライズ時などに通常より回転音が大きくなる場合があります。）
- ●電源切/入および HDD の休止時に音がする。休止中の反応が遅い。
- ●気象条件が悪いため、受信映像が乱れる。
- ●早送り / 早戻しすると映像が乱れる。
- ●BS/CS放送の一時的な休止による受信障害

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
電源	電源が入らない	●電源コードがコンセントから外れていませんか。 ●初期設定「クイックスタート」が「入」の場合、本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または、午前4時ごろ（1週間に一度程度）に、本機全体を再起動することがあります。（再起動中は、本体表示窓に “PLEASE WAIT” と表示され、電源ボタン以外のすべてのボタン操作が数分間できません。また、ドライブや HDD から動作音がしますが、故障ではありません。）	準備編 19 101
	自動的に電源が切れた	●節電機能が設定されていませんか。（**初期設定**「自動電源〔切〕」が「2時間」または「6時間」になっている） ●各種安全装置が働いていることがあります。本体の **[電源⏻/I]** を押し、電源を入れてください。 ●VIERA Link 対応のテレビと HDMI ケーブルで接続した場合、テレビの電源が切れると本機の電源も自動的に切れます。VIERA Link を使用しない場合は、**初期設定**「VIERA Link 制御」を「切」にしてください。	101 – 105
	自動的に電源が入る	●VIERA Link 対応のテレビと HDMI ケーブルで接続した場合、テレビの番組表から予約が登録されると、本機の電源が自動的に入ります。VIERA Link を使用しない場合は、**初期設定**「VIERA Link 制御」を「切」にしてください。	105
表示	表示が出ない	●**初期設定**「本体表示窓の明るさ」が「オート」になっていませんか。「オート」の場合は、電源「切」時は本体表示窓の表示が消灯しています。	104
	表示が暗い	●**初期設定**「本体表示窓の明るさ」で明るさを変えてください。	104
	“0：00” が点滅している	●時刻を合わせてください。	準備編 36
	電源「切」時に、本体表示窓に “DATA” が表示される	●番組データを受信中など自動的に放送情報を受信するために、表示する場合があります。 ●音楽データをAAC方式でデータ圧縮しているときに表示されます。	– 80
	電源「切」時に、本体表示窓に “TEL” が表示される	●購入記録の送信など電話回線使用中です。	–
	残量表示が使用した量に比べて少なくなったり多くなったりする	●残量表示は実際より増減することがあります。録画モード「DR」で録画した場合は特にばらつきが大きくなります。 ● -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) 記録や編集を約200回以上繰り返すと、残量が減ります。	– –
テレビ画面や映像	本機を接続したら、テレビの映りが悪くなった	●分配器を使っていませんか。市販のブースターなどを使うと改善されることがあります。 ●アンテナ線が劣化していませんか。販売店にご相談ください。 ●以下の場合は、テレビ側のアンテナ電源も「入」にしてください。 ・かんたん設置設定で衛星アンテナの設定を「個別受信」にしているとき ・**放送設定**「アンテナ電源」を「オン」にしているとき ●アンテナ線とHDMIケーブル、LAN ケーブルなどの距離を離してください。	– – 準備編 24 98 –
	映像が出ない 映像が乱れる	●接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。 ●プログレッシブ映像に対応していないテレビとD端子ケーブルで接続し、プログレッシブ映像を出力する設定をしていませんか。本体の **[停止 ■]** と **[再生/1.3 倍速 ▶]** を同時に5秒以上押し、設定を解除してください。 ●プログレッシブ映像に対応していないテレビとD端子ケーブルで接続し、HDMI ケーブルでアンプなどの機器と接続していませんか。HDMI ケーブルで接続した機器の電源を切り、**初期設定**「HDMI 映像優先モード」を「切」に設定してください。 ●HDMI ケーブルで接続した機器から映像を出力する場合は、**初期設定**「HDMI 映像優先モード」を「入」にしてください。 ●テレビのハイビジョン方式（MUSE）の端子に接続すると、音声が乱れたり、映らないことがあります。 ●お使いのテレビによっては、再生、停止などの操作時に画面にノイズが出る場合があります。 ●HDMI 接続で4台以上の機器をつなぐと映像が映らなくなることがあります。接続台数を減らしてください。	– – 104 104 – – –

テレビ画面や映像（つづき）

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
表示していた画面が消える	●本機は、テレビ画面への焼き付き低減のため、以下の状態のときに10分以上操作を行わないと、自動的に表示していた画面を消去します。 ・再生ナビ、番組表、操作一覧、予約確認画面を表示していたとき ・写真を再生中のとき（スライドショー再生中は除く）は、再生ナビ画面に戻ります。 ・音楽を再生中のときはスクリーンセーバー画面が表示されます。（リモコンボタンを押すと、元の画面に戻ります）	–
横縦比4:3の画像が左右に引き伸ばされる 画面サイズがおかしい	●**初期設定**「TV アスペクト」をお使いのテレビに合わせて設定してください。テレビ側の画面モードなどを使って調節できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。 ●**初期設定**「ワイドモード」や「TVアスペクト（4：3）の設定」の、「DVD-Videoの16：9 映像」、「録画ディスクの16：9 映像」の設定を確認してください。 ●D 端子ケーブルで接続している場合、**再生設定**「映像」メニューで「プログレッシブ」を「切」にしてください。効果がない場合や「切」にできない場合は、**初期設定**「D 端子出力解像度」を「D1」に、または「HDMI 映像優先モード」を「切」に設定してください。	104 101、105 53、104、105
記録した番組の映像が縦に引き伸ばされる	●地上アナログ放送や外部入力からの映像を以下のように録画した場合、**初期設定**「ビデオ方式の記録アスペクト」の設定に従って、画面サイズを記録します。 ・**初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」にして録画したとき（お買い上げ時の設定は「入」です） ・ -R(V) -R DL(V) -RW(V) に記録したとき 4：3映像で記録された場合、**初期設定**「TV アスペクト」を「16:9フル」に設定すれば、16:9 映像としてご覧になれます。テレビ側の画面モードで調節できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。	102 102 – 104
テレビの左右に黒帯（サイドパネル）が表示される	●**初期設定**「TV アスペクト」を「16：9フル」にするか、「画面モード切換」で「サイドカット」を選んでください。ただし、画像が左右に伸びる場合があります。	26、104
映像の左右の端が切れる、 または色が薄い	●表示領域の広いテレビでは、左右の映像が切れたり、色が薄くなったりします。	–
再生時の映像に残像が多い	●**再生設定**「映像」メニューの「HD オプティマイザー」を「切」にしてください。	53
ハイビジョン映像で出力されない	●BD の場合、ディスクによっては著作権保護のため、D 端子からの出力が 525p (480p) に制限されることがあります。	–
プログレッシブ出力で DVD ビデオを再生時、映像の一部が二重にぶれて見える	●映像そのものの編集方法や素材の状態に起因する症状ですが、インターレース出力では問題なく再生できます。**初期設定**「D 端子出力解像度」を「D1」にしてください。525i (480i) (インターレース) で出力されます。 HDMI 映像・音声出力端子から映像出力時は、以下の手順で設定してください。 ①HDMI 映像・音声出力端子以外の映像端子で接続する ②**初期設定**「HDMI 映像優先モード」を「切」にする ③**初期設定**「D 端子出力解像度」を「D1」にする	105 – 104 105
画質を調整しても映像が変わらない	●映像によっては効果が得られない場合があります。	–
画面メッセージが出ない	●**初期設定**「画面表示動作〔オート〕」が「入」になっていますか。	104
ブルーバック（青い画面）にならない	●**初期設定**「地上アナログ時のブルーバック」が「入」になっていますか。	104
予約録画中の映像が映らない	●予約録画は電源の入/切にかかわらず実行されます。予約録画中の映像を確認するには、電源を「入」にしてください。	–
ハウリング（ピー）音が出る	●モニター出力付きテレビに接続してディスクなどを再生するときは、本機の入力をモニター出力が接続されている外部入力以外に切り換えてください。	–

故障かな！？（つづき）

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
デジタル放送	BS・110度 CSデジタル放送が受信できない 映像や音声が出ない、または映りが悪くなった	●BS・110度 CSデジタル放送対応アンテナを使用していますか。BSデジタル放送のみを受信する場合でも、従来のBSアンテナでは受信できない場合があります。	−
		●アンテナ線やアンテナプラグが劣化またはショートしていませんか。	−
		●BS・110度 CSデジタル放送に対応したアンテナ線や分配器、分波器、ブースターなどを使用していますか。	−
		●**放送設定**「受信設定」が正しく設定されていますか。アンテナレベルを調整してください。	準備編 34
		●風や振動により、アンテナの向きが変わっていませんか。アンテナを調整し、**放送設定**「受信設定」でアンテナレベルが最大になる角度にしてください。	準備編 34
		●着雪（アンテナ）、雨、雷雲などによる電波の減衰が考えられます。BS・110度 CSデジタル放送は、雨や雷、雪などに弱く、一時的に映像や音声が止まったり、全く受信できなくなることがあります。天候の回復をお待ちください。	−
		●降雨対応放送になっていませんか。雨の影響により、衛星からの電波が弱くなると、放送によっては電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り換わることがあります。降雨対応放送は画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質、音質に戻ります。	−
		●衛星アンテナ設定でアンテナレベルの表示が白色で映らないときは、位相雑音の多いことが考えられます。お買い上げの販売店にご相談ください。	−
		●放送衛星のメンテナンスのため、一時的に放送が休止している場合があります。放送が開始されるまでお待ちください。	−
	地上デジタル放送が受信できない	●お住まいの場所が、地上デジタル放送の放送エリアになっていますか。地上デジタル放送は、現在の地上アナログ放送との混信を避けるために、当初は非常に小さい出力電波で開始されるため受信エリアが限られます。また、受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合もあります。	−
		●地上デジタル放送に対応した UHF アンテナ、ブースターなどを使用していますか。現在の地上アナログ放送用の UHF アンテナは、視聴地域の特定チャンネルに対応している場合があり、地上デジタル放送用の UHF アンテナやデジタル対応のブースターおよび混合器などが必要になる場合があります。	−
		●UHF アンテナは地上デジタル放送の送信局に向いてますか。現在の地上アナログ放送の送信局と方向が違う地域があります。お買い上げの販売店にご相談ください。	−
		●風や振動により、アンテナの向きが変わっていませんか。アンテナを調整し、**放送設定**「受信設定」でアンテナレベルが最大になる角度にしてください。	準備編 34
		●**放送設定**「受信設定」のアンテナレベルを確認し、レベルが低い場合は、「アッテネーター」の設定を変更すると、受信できる場合があります。	準備編 34
		●共聴システムをご使用の場合、共聴システムが地上デジタル放送に対応（パススルー方式）になっていますか。CATV の場合は、ご契約の CATV 会社に、その他の場合は共聴システムの管理者にお問い合わせください。	−
	字幕や文字スーパーが出ない	●**放送設定**「字幕の設定」の「字幕」や「文字スーパー」が「オン」になっていますか。	99
		●字幕や文字スーパーのない番組を選局していませんか。字幕のある番組は、番組内容画面に「字幕」のアイコンが表示されています。	−
	WOWOW やスターチャンネルなどの有料放送が視聴できない	●有料放送の視聴には、放送局ごとに機器と受信契約が必要です。視聴契約手続きをしてください。	30
		●契約したB-CASカードを挿入していますか。	準備編 18
		●電話回線を正しく接続していますか。	準備編 17
		●**放送設定**「電話設定」を正しく行っていますか。	準備編 40

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
音声	音が出ない 聞きたい音声が聞こえない 音が小さい、おかしい	●接続や**初期設定**「デジタル出力」の設定を確認してください。アンプに接続しているときは、アンプの入力切換なども確かめてください。 ●間違った音声を選んでいませんか。 ・**[音声]** を押して、正しい音声を選んでください。 ・(デジタル放送のマルチ音声のみ)「信号切換」の「音声」で、正しい音声を選んでください。 ●デジタル放送はアナログ放送に比べ、音量が小さいときがあります。 ●カラオケディスクなど、サラウンド効果が出ないディスクの場合や二重放送の番組を再生する場合は、**再生設定**「音声」メニューで「音質効果」を「切」にしてください。 ●デジタル音声出力(光)端子、デジタル音声出力(同軸)端子または HDMI 映像・音声出力端子から音声出力時は、音声効果が Bitstream 信号には働きません。 ●HDMI 接続で4台以上の機器をつなぐと音声が止まることがあります。接続台数を減らしてください。 ●テレビと本機を HDMI ケーブルで接続し、音声をデジタル音声出力(光)端子、デジタル音声出力(同軸)端子、5.1ch音声出力端子から出力する場合は、**初期設定**「HDMI 音声出力」を「切」にしてください。 ●HDMI ケーブルで接続した機器から音声を出力する場合は、**初期設定**「HDMI 音声出力」を「入」にしてください。 ●HDMI ケーブルで接続している場合、お使いの機器によっては異音が生じる場合があります。 ●ハイビジョン動画(AVCHD)を記録したディスクの場合、サーチやスロー再生の直後の再生開始時に、数秒音声が出ないことがあります。	103 49 27、52 – 53 53 – 105 105 – 68
	音声が切り換えられない	●以下の場合は、地上アナログ放送は音声の切り換えができません。 ・**初期設定**「高速ダビング用録画」が「入」のとき(お買い上げ時の設定は「入」です) ●**初期設定**「高速ダビング用録画」が「入」のときに、地上アナログ放送や外部入力から録画する場合、「主音声」か「副音声」のどちらか一方しか記録されません。 ●録画モードが「XP」で、**初期設定**「XP時の記録音声モード」が「LPCM」の場合、音声を切り換えることはできません。 ●デジタル放送を録画モード「XP」～「EP」、「FR」で録画した場合、マルチ音声は、録画前に「信号切換」(または「信号設定」)の「音声」で選ばれていたほうのみ記録されます。再生時に切り換えることはできません。 ●光デジタルケーブル、同軸デジタルケーブルまたは HDMI ケーブルでアンプと接続していませんか。**初期設定**「Dolby Digital」が「Bitstream」のときは切り換えできません。「PCM」に設定するか音声コードで接続してください。 ●ディスク制作者の意図で音声が切り換えられないディスクもあります。	 102 102 104 27、41 103 –
ボタン操作	テレビが操作できない リモコンが働かない	●テレビのメーカー番号が異なっていませんか。電池を交換すると、メーカー番号を合わせ直す必要がある場合があります。 ●電池が入っていますか。電池が切れていませんか。 ●本体のリモコン受信部に向けて操作していますか。また、受信部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光が当たっていませんか。 ●リモコンと本体の間に障害物(ラックなどの色つきガラスも含む)などがありませんか。 ●本体とリモコンのリモコンモードが異なっていませんか。 表示された番号の数字ボタンを押しながら、 **[決定]** を2秒以上押したままにしてください。	準備編 36 準備編 5 準備編 5 準備編 5 準備編 36

故障かな！？（つづき）

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
ボタン操作（つづき）	操作できない	●「HDD」、「BD」または「SD」を間違って選んでいませんか。 ●ディスクや再生状態（停止中など）によっては、一部操作ができない場合があります。 ●本体表示窓に “U59” 点灯時は本体内部温度が高くなっています。“U59” が消えるまで待ってください。 ●各種安全装置が働いていることがあります。 ①本体の [電源 ⏻/I] を押し、電源を切る ・電源が切れない場合は、約10秒間押したままにすると強制的に切れます。（または、電源コードをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む） ②本体の [電源 ⏻/I] を押し、電源を入れる 上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。 ●ダウンロードの実行中になっていませんか。（本体表示窓に “DL” が表示）ダウンロードが終了するまでお待ちください。	18 － 107 － 107
	ディスクが取り出せない	●本機の故障が考えられます。電源「切」状態で本体の [停止 ■] と [チャンネル ∧] を同時に約5秒以上押したままにすると、ディスクトレイは開きます。（ただし、初期設定「本体表示窓の明るさ」が「常時 明」または「常時 暗」に設定されている必要があります） ディスクを取り出し、お買い上げの販売店へご相談ください。 ●HDD が休止状態になっていませんか。	－ 14
	起動が遅い 電源「入」時に、映像や音声の出力に時間がかかる	●初期設定「クイックスタート」が「入」になっていますか。 ●初期設定「クイックスタート」が「入」になっていても、以下のような場合は起動に時間がかかります。 ・ RAM 以外のディスクが入っているとき ・時計が設定されていないときや、停電直後または電源コードを差した直後 ●初期設定「クイックスタート」が「入」になっていても、D 端子ケーブルや HDMI ケーブルで接続している場合は、映像や音声の出力に時間がかかります。	101 － － －
録画や予約、ダビング	デジタル放送の録画やダビングできない	●デジタル放送には「1回だけ録画可能」という著作権保護の仕組みで守られた番組があります。「1回だけ録画可能」な番組をディスクにダビングするためには、 BD-RE(2.1) BD-R やCPRM 対応の RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) が必要です。 ● -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) CPRM 対応の場合でも、ダビングする前にデジタル放送が記録できるようにVR方式でフォーマットする必要があります。 ●デジタル放送のラジオ番組やデータ放送の番組は録画できません。	58 58、93 －
	どっちも録りができない （2番組を同時に録画できない）	●デジタル放送（地上デジタル・BS・CS1・CS2）を録画モード「XP」～「EP」、「FR」のいずれかで録画しているときは、他の番組を録画することはできません。 ●高速ダビング中は、1番組のみ録画可能です。 ●DV入力やi.LINK（TS）経由の録画は、2番組同時にはできません。 ● BD-RE(2.1) に予約録画中は、2番組同時録画はできません。	32 32 32 41
	[停止 ■] を押しても、録画が止まらない	●録画中の番組が選ばれていますか。[放送/入力切換] や [チャンネル ∧ ∨] で選んでください。	37、44
	予約録画ができない	●予約内容が間違っていませんか。予約録画の時間が重なっていませんか。 ●予約の実行が「切」になっていませんか。予約一覧画面で、「予約実行切」が表示されているときは、「予約実行入」にしてください。 ●1倍速でダビング中やおまかせダビング中、ファイナライズを含むダビング中は予約録画は実行されません。 ●フォーマット中、ダウンロード実行中など中断できない操作の実行中は予約録画は実行されません。 ●時刻が合っていますか。	44 44 59 － 準備編 36
	番組追従機能が働かない	●Gコード®予約や時間指定予約では働きません。 ●毎週予約をした場合、放送開始時刻または終了時刻に2時間以上の変更があった番組には働きません。 ●毎週予約をした場合、番組表データの更新によって、番組名が予約時から変わった場合など、番組によっては、正しく働かない場合があります。（番組名が変更されない場合でも、番組名によっては追従できない場合があります） ●アナログ放送の場合、予約登録後に放送時間が変更になると正しく働きません。	41 39 39 39

録画や予約、ダビング（つづき）

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
BD-REへの予約ができない	●デジタル放送の番組のみ予約可能です。 ●録画モード「DR」以外では予約できません。 ●毎日・毎週予約はできません。また、1番組のみ予約可能です。	41 41 41
Gコード®予約ができない	●ガイドチャンネルが正しく設定されていますか。 ●同じガイドチャンネルが複数のチャンネルに設定されていませんか。不要な方を削除してください。	準備編 46 準備編 46
予約録画が終わっても、予約内容が消えない	●毎日・毎週予約のときは予約内容が残ります。 ●予約が正しく終了しなかった場合は「一部未実行」などのアイコンが表示されます。予約を取り消す操作をしてください。（翌々日の午前4時を過ぎると自動的に消えます。）	39 44
録画した番組の一部、またはすべてが消えた	●録画、ダビングや編集中に停電になったり電源コードが抜けるなどで電源が切れませんでしたか。番組が消えたり、ディスクが使えなくなる場合があります。フォーマット（ HDD BD-RE(2.1) RAM -RW(VR) -RW(V) ）するか、新しいディスクを使ってください。（当社では、消えた番組や使えなくなったディスクは補償できません） ●自動更新を「入」にして予約録画すると、前回録画した番組を自動的に消去し、録画します。 ●「1回だけ録画可能」な番組を BD や DVD にダビングすると、その番組は HDD からは消去されます。	93 39 58
録画可能時間が、ディスクのパッケージに表示されている時間より短い	●他社製ディスクで動作確認ができていないBDの場合、ディスクのチェックを行うため、録画可能時間が短くなることがあります。	92
ダビングできない	●ディスクが入っていますか。あるいは、記録できないディスクが入っていませんか。 ●フォーマットされていない BD-RE(2.1) BD-R RAM -RW(VR) -RW(V) が入っていませんか。 ●ファイナライズ後のディスクは記録できません。 -RW(V) はフォーマット、 -RW(VR) はフォーマットまたはファイナライズ解除すると繰り返し記録できます。 ●ディスクやカートリッジに誤消去防止（プロテクト）が設定されていませんか。 ●ディスク残量がない場合や、番組数が最大数になっている場合は記録できません。（不要な番組を消去するか、新しいディスクを使ってください） ● -R(V) -R DL(V) -RW(V) 以下の場合ダビングできません。HDD の不要な番組を消去してダビングしてください。 ・HDD の残量が少ないとき（使用するディスクによっては、HDD の残量が SP モードで最大4時間必要な場合があります） ・HDD に記録されている番組数とダビングする番組数の合計が 500 を超えるとき ●記録したあとのディスクの出し入れや電源の切/入を約30回以上繰り返したBD-R、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RWは、記録や編集ができなくなることがあります。 ●本機で記録したディスクは、他の当社製 DVD レコーダーで追記できない場合があります。 ●市販されているBDソフト、DVDソフトの多くは違法な複製ができないようにコピー禁止処理されてます。コピー禁止処理された映像は録画・録音できません。 ●外部入力 1 または 2 に接続された機器から HDD に記録された「1 回だけ録画可能」の番組は、BD の著作権保護の規定により、BD にダビングできません。CPRM 対応の RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) をお使いください。 ●ハイビジョン動画（AVCHD）を記録した BD-RE(2.1) には、放送の番組や写真を記録することはできません。再フォーマットすれば記録することができます。ただし、それまで記録されていた内容は消去されます。 ●管理情報が含まれるなどの理由により、ダビング先に記録される容量がダビングする番組の合計より少し大きくなり、ダビングできないことがあります。	10、56 93 93、94 93 90 90 – – – 60 68、92 –
ハイビジョン動画（AVCHD）をダビングできない	● BD-RE(2.1) 以外にはダビングできません。 ●放送の番組や写真を記録したディスクにはダビングできません。ハイビジョン動画の記録専用としてお使いください。	68 68
高速モードでダビングできない	● -R(V) -R DL(V) -RW(V) HDD へ録画する前に**初期設定**「高速ダビング用録画」を「切」に設定しませんでしたか。（お買い上げ時は「入」です） ●録画モード「DR」以外で録画した番組は、BDには高速ダビングできません。 ●録画モード「DR」で録画した番組は、DVDには高速ダビングできません。	102 59 59
高速モードでのダビングに時間がかかる	●高速記録に対応していないディスクを使っていませんか。高速記録対応ディスクでも、ディスクの状態によってはダビングに時間がかかる場合があります。 ●番組数が多い場合は時間がかかります。	60 –
ダビングしたディスクが他の機器で再生できない	● -R(V) -RW(V) ファイナライズすると DVD プレーヤーなどの対応機器で再生できます。 ● BD-RE(2.1) BD-R RAM -R(VR) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) 再生するには、それぞれのディスク（記録方式）の再生に対応している必要があります。 ● -R DL(V) ファイナライズすると DVD-R DL（ビデオ方式）に対応した機器で再生できます。	94 – 94

故障かな！？（つづき）

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
録画や予約、ダビング（つづき）	外部機器からダビングできない	●正しく接続していますか。 ●外部機器を接続した外部入力チャンネル「L1」、「L2」、「DV」または「i.LINK（TS)」などを選んでいますか。 ●接続した外部機器にあわせて**初期設定**「i.LINK機器モード」を設定していますか。	70、72 70～73 105
	外部機器からダビングすると、黒い帯状のノイズが録画された	●接続した機器がテレビに近いために、テレビからの妨害を受けていることが考えられます。接続した機器をテレビから離してください。	－
	DV おまかせ取込ができない	●録画できない場合や中断する場合は、接続と接続機器の設定などを確かめてください。 ●DV 機器からの映像がテレビ画面に表示されない場合は、録画できません。 ●DV 機器側が、再生の一時停止状態になっていますか。 ●テープ上でタイムコードが連続していない場合や、接続した機器によっては、正しく働かない場合があります。 ●**初期設定**「i.LINK 機器モード」を「DV モード」に設定してください。	70 － 73 － 105
番組表（Gガイド）	番組表（G ガイド）が表示されない 8日分表示されない	●本機を初めてご使用のときや、約 1 週間以上本機の電源コードを抜いて使用していなかった場合は、番組表（Gガイド）が表示できません。 本機はデジタル放送の「受信設定」を正しく設定したうえで、電源「切」の状態で番組表（Gガイド）データを自動受信します。（1日程度かかる場合があります）本機をご使用にならないときは、電源を「切」にしてください。 ●本機は、地上アナログ放送の番組表（Gガイド）であっても、衛星アンテナを接続し、BS デジタル放送が受信できる必要があります。 ●地上アナログ放送の場合、**放送設定**「チャンネル設定」の放送局名が正しく設定されている必要があります。 ●地上デジタル放送の番組表（Gガイド）は、表示させたい局を選んで、**[決定]** を押すと表示できます。 ●**放送設定**「番組表設定」を確認してください。 ・「Gガイド受信確認」で、番組表（Gガイド）の受信スケジュールなどを確認してください。 ・「番組表受信設定」で「BS908」が設定されている必要があります。（2006年 10 月現在） ●お住まいの地域の受信状態に問題がある場合（電波状態が弱いなど）は、番組表（Gガイド）データを取得できないことがあります。ブースターを使用することで改善できる場合もありますので、販売店にご相談ください。	準備編 33 準備編 33 準備編 46 28 準備編 33 －
	番組表（G ガイド）に表示されない放送局がある	●放送局名が正しく設定されていない場合は、番組表（Gガイド）に正しく表示されません。正しい放送局名を表示させてください。 ●**放送設定**「Gガイド地域設定」で設定した地域に登録されていない放送局は、映像が受信できる場合でも、番組表（Gガイド）に放送内容は表示されません。	準備編 46 準備編 33
	番組表（G ガイド）に同じ放送局が2つ表示されている	●現在視聴中の放送局は一番左に追加表示されるため、画面内に同じ放送局が2つ表示される場合があります。どちらを選んでも問題はありません。	29
	番組表（G ガイド）に "予" が表示されない	●G コード®予約や時間指定予約の場合は、予約した番組の放送時間が、番組表の放送時間を含んでいるときのみ表示されます。	29
	録画した番組と番組名が合っていない	●番組表で予約設定後に番組内容が変更されると、変更された番組名で録画されます。 ●番組表で毎週予約設定後に番組内容が変更され、番組追従でも同じ名前の番組名を見つけられなかった場合は、予約時の番組名で録画されます。	－ －
再生	再生ができない。すぐに停止する	●ディスクを正しく入れていますか（裏表が逆になっているなど）。またはディスクが汚れていませんか。 ●本機で使えないディスク、未記録のディスクが入っていませんか。 ●他の DVD レコーダーやパソコンなどで録画した「1回だけ録画可能」の番組は、本機の HDD へダビングできる場合がありますが、著作権保護のため再生できません。 ● RAM EP（8時間）モードで記録した場合、DVD-RAM 再生対応の DVD プレーヤーでも再生できないことがあります。この場合は、EP（6時間）モードで記録してください。	15、17 12 － 102
	再生の映像が乱れたり、正しく再生されない	●天候などにより電波状態の悪い状態で録画した番組を再生していませんか。 ●録画モードの異なる番組や、アスペクト比（映像の横縦比）、解像度[525i（480i)、525p（480p)、750p（720p)、1125i（1080i）など]の異なるつなぎ目では、一瞬映像が乱れたり黒い画面になる場合があります。	－ －

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
再生（つづき）	映像や音声が一瞬止まる	●シーンの切り換わりで、音声や映像が切れたりすることがあります。 ● -R DL(VR) -R DL(V) 2層にまたがって記録されている番組を再生すると、層の変わり目で映像や音声が途切れることがあります。	― 11
	録画した番組が再生ナビ画面に表示されない	● HDD BD-RE(2.1) RAM 他の一覧（写真や音楽）を表示していませんか。「ビデオ」一覧に切り換えてください。	47
	BD ビデオや DVD ビデオを再生できない	●視聴制限や視聴可能年齢が設定されていませんか。**初期設定**「DVD-Videoの視聴制限」や「BD-Videoの視聴可能年齢」を変更してください。	102
	音声言語や字幕言語が切り換えられない	●ディスクに複数の言語が収録されていますか。 ●**再生設定**「音声情報」、「字幕情報」ではなく、ディスクのメニュー画面でのみ切り換えられるディスクもあります。	― 46
	市販ディスクの字幕が出ない	●ディスクに字幕が収録され、**再生設定**「ディスク」メニューの「字幕情報」が「入」になっていますか。	52
	録画した番組の字幕が出ない	●録画モード「DR」で録画した番組の場合、ディスクに字幕が収録され、**再生設定**「ディスク」メニューの「信号切換」の「字幕」が「オン」になっていますか。 ●録画モード「XP」～「EP」、「FR」で録画した番組の場合、録画時に「字幕」を「オン」にして、字幕を記録しましたか。録画時の設定のまま記録されるため、再生時には字幕の入/切を切り換えることはできません。	52 27、41
	アングルを切り換えられない	●ディスクに複数のアングルが収録された場所のみ切り換わります。	―
	BD ビデオや DVD ビデオの視聴制限の暗証番号を忘れた 視聴制限を解除したい	●視聴制限の内容をお買い上げ時の状態に戻してください。BDドライブを選び、[開/閉 ≜] を押してトレイが開いている状態で、本体の [録画 ●] と [再生/1.3 倍速 ▶] を同時に5秒以上押すと戻ります。（本体表示窓に “INIT” が表示）	―
	自動 CM 早送りが働かない	●録画内容により、正しく働かないことがあります。 ●以下の場合は働きません。 ・録画モード「DR」で録画した番組 ・外部入力から録画した番組 ●最大49回働きます。（ HDD :1番組あたり49回/ RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) :ディスク1枚あたり 49 回）それを超えた場合は働きません。	52、64 52、64 ―
	早見再生の速さが変化する 早見再生の再生時間が長い	●録画モード「DR」で録画したの番組の場合、録画した放送の内容によっては部分的に早見再生が働かないときがあります。	50
	続き再生メモリー機能が働かない	●記憶した位置は、以下の場合解除されます。（ HDD を除く） ・ディスクやSDカードを取り出す。 ・ CD SD 電源を切る。	50
	SD カードの MPEG2 動画が再生できない	●SD カードから直接再生できません。MPEG2動画は HDD などにダビングしてから再生してください。	66
	SD カードのハイビジョン動画（AVCHD）が再生できない	●SD カードから直接再生できません。ハイビジョン動画は BD-RE(2.1) にダビングしてから再生してください。	68
	再生した番組の先頭が見られない	●（VIERA Link 対応のテレビと HDMI ケーブルで接続した場合） テレビの電源が「切」のときに、本機のリモコンの [再生 ▶] を押して再生を始めた場合、テレビの電源が自動的に「入」になり、テレビ画面が表示されるまで、再生した番組の先頭部分が見られない場合があります。その場合は、[|◀◀] を押して番組の先頭に戻ってください。	22
編集・整理	番組を消去しても残量が増えない	● BD-R -R(VR) -R (V) -R DL(VR) -R DL(V) 消去しても残量は増えません。 ● -RW(V) 最後に記録した番組を消去したときのみ、残量が増えます。途中の番組を消去しても残量は増えません。	90 90
	編集できない	● HDD 空き容量がないと、編集ができなくなることがあります。不要な番組を消去して空き容量を増やしてください。 ●ファイナライズ済みの BD-R -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) を使っていませんか。	90 94
	フォーマットに時間がかかる フォーマットできない	●ディスクに汚れや傷のある可能性があります。ディスクの信号面をご確認ください。 ●他社製ディスクで動作確認できていないディスクの場合、ディスクのチェックを行いますので、通常よりフォーマットに時間がかかります。 ●本機で使えないディスクを使っていませんか。	15、93 93 10～12

故障かな！？（つづき）

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
編集・整理（つづき）	BDのフォーマットに時間がかかる	●他社製で動作確認ができていないBDの場合、ディスクのチェックを行うため、通常より時間がかかります。	92
	部分消去のイン点やアウト点が設定できない	●イン点とアウト点の間が短い場合や、イン点がアウト点の後ろにある場合は設定できません。	54
	プレイリストが作成できない	●本機ではプレイリストの作成はできません。	－
写真	再生ナビ画面を表示できない	●番組を1倍速でダビング中のときはできません。	－
	編集やフォーマットができない	●カードのプロテクトを解除してください。（カードによっては、プロテクトを設定していても、画面に「書き込み禁止設定オフ」と表示される場合があります。）	93
	カードの内容を読めない	●本機で対応していないフォーマットのカードを入れていませんか。（カードの内容が壊れている場合もあります） 本機は SD 規格に準拠した FAT12、FAT16形式でフォーマットされた SD メモリーカード、および FAT32形式でフォーマットされた SDHC メモリーカードに対応しています。 ●本機で対応していないフォルダ階層や拡張子になっていませんか。 ●本機の電源を入れ直してください。 ●本機では８MB～４GB までの SD カード/SDHCカードが使用できます。	13 123 － 13
	ダビングや消去、プロテクトに時間がかかる	●ファイルやフォルダの数が多い場合、数時間かかることがあります。 ●ダビングや消去を繰り返していると、時間がかかる場合があります。カードやディスクをフォーマットしてください。	－ 93
i.LINK（TS）	接続した機器で映像が映らない	●i.LINK（TS）ダビング中のみ映ります。	70
	i.LINK（TS）ダビングができない	●本機が対応している機器と接続していますか。 ●ダビング対応機器を2台以上接続すると動作しません。 ●接続した機器側で、本機を i.LINK（TS）入力機器として選んでおく必要がある場合があります。 ●接続した機器の電源が「切」になっていませんか。 ●接続した機器側で i.LINK（TS）が動作する設定になっていますか。（「i.LINK機器モード」が接続した機器に合わせて「TSモード1」、あるいは「TSモード2」になっていますか） ●D-VHSビデオデッキにダビングする場合、つめの折れていないD-VHSテープをご使用ください。	－ － － － 105 －
	CATVデジタルセットトップボックスからの予約録画などが動作しない	●本機が対応している機器と接続していますか。 ●セットトップボックス側は正しく設定されていますか。 ●セットトップボックスを2台以上接続すると動作しません。 ●初期設定「i.LINK機器モード」を「TSモード2」に設定してください。 ●初期設定「クイックスタート」を「入」にしてください。 ●セットトップボックスから本機の再生動作はできません。	－ － － 105 101 －
	データ放送が見られない	●i.LINK（TS）入力中はデータ放送は見られません。	－
ブロードバンドレシーバー	携帯電話やパソコンで本機を操作できない	●通信状況（電波の届きにくいところやネットワークの状況）などにより操作できないときがあります。 ●本機が使用中の場合、操作できないことがあります。 ●会員登録や機器登録の内容を確認してください。 ●ルーターの設定（DHCP サーバー機能やセキュリティーなど）を確認してください。詳しくはルーターの説明書をご覧ください。 ●回線業者や対応するプロバイダーがルーターの使用を制限している場合があります。加入している回線業者やプロバイダーにお問い合わせください。 ●自宅にあるパソコンで操作する場合、IP アドレスを正しく入力してください。 ●LAN ケーブルが確実に接続されているか確認してください。 ●接続チェックを行ってください。 （初期設定画面で「ブロードバンドレシーバー」が選ばれている状態で、「○○接続」と表示されれば、操作できます） ●オンエアーダウンロード中は、操作できません。また、お使いの環境により、ダウンロード終了後も一時的に操作できないことがあります。	－ － － － － 96 準備編 14 準備編 45 準備編 38
	機器パスワードを忘れた	●加入しているブロードバンドレシーバー対応サービスで機器登録を削除後、**初期設定**「機器パスワード初期化」を行ってください。そのあと、パスワードを再設定してください。	準備編 45、96、105

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
音楽	Gracenote® データベースで取得したタイトルがおかしい タイトルが全部表示されない	●本機で対応していない文字を使ったタイトルの可能性があります。 ●長いタイトルではありませんか。タイトルが長い場合、曲一覧ではすべて表示できません。その場合は、「曲の内容確認」でタイトルを確認することができます。	– 86
	新しく発売されたCDのタイトルが取得できない	●ネットワークに接続していますか。 内蔵のGracenoteデータベースにタイトルが登録されていない場合は、タイトルを取得できません。新しいCDのタイトルを取得する場合は、ネットワークに接続する必要があります。	準備編 14 81
	HDDに録音しようとした曲が録音できていない	●録音しようとした曲の中に、SCMSなどの著作権保護されている曲がある場合、その曲は録音されません。	–
	前に聞いたのと音の感じが違う	●録音モードをAACに設定してHDDに録音した場合、本機は一度LPCMで録音したあとAACに音楽圧縮します。そのため録音直後と、AACへの音楽圧縮後とでは再生したときの音質が異なります。	80、81
	SDカードに転送できない	●パソコンなどでフォーマットしたSDカードを使用していませんか。本機またはSDオーディオ対応機器でフォーマットしてください。	93
	SDカードの曲が再生できない	●SDカードに、本機で再生できる音楽データが記録されていますか。 本機では「SD オーディオ規格」で記録された音楽データ（AAC）のみ再生できます。	–
	CDのボーナストラックが再生できない	●本機では再生できません。	–
VIERA Link	VIERA Linkが働かない	●本機の電源を「入」にしたときに、本体表示窓に“HDMI”が表示されていますか。HDMIケーブルの接続を確認してください。 ●**初期設定**「VIERA Link 制御」が「入」になっていますか。 ●接続した機器側のVIERA Linkの設定を確認してください。 ●HDMI機器の接続を変更したとき、停電やコンセントの抜き差しをしたとき、ダウンロードを実行したときなどにVIERA Linkが動作しなくなる場合があります。このときは、以下の操作をしてください。 ①HDMI ケーブルで接続したすべての機器の電源を入れた状態で、テレビ（VIERA）の電源を入れ直す ②テレビ（VIERA）の「VIERA Link 制御（HDMI機器制御）」の設定を「しない」に変更し、再度「する」に設定する（詳しくはVIERAの取扱説明書をご覧ください） ③VIERA の入力を、本機を接続した HDMI 入力に切り換えて、本機の画面を表示したあとに、VIERA Linkが動作するか確認する	準備編 10 105 – –
その他	電話機にノイズ（雑音）が入る 電話回線につないでいるときに電話機やファクシミリの呼び出し音がなる	●モジュラー分配器を使用すると、一部の電話機やファクシミリでこの症状が出る場合がありますが、市販の自動転換器（パソコン対応用も含む）または電話回線用ノイズフィルター（雑音防止器）で改善される場合があります。詳しくはご使用の電話機やファクシミリなどのメーカーにご相談ください。	–
	ダウンロードができない	●ダウンロードは、本機の電源を「切」にした状態で行われます。	準備編 38
	ダウンロードを行ったら、受信できなくなった	●ダウンロードの内容によっては、各種設定がお買い上げ時の設定値に戻る場合があります。再度設定をやり直してください。	準備編 26
	本機底面が熱い	●本機の底面の温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機の底面を手で触れると熱く感じる場合がありますので、移動させるときは電源プラグを抜いた状態から3分以上待ってから移動させてください。	–

著作権など

- ●ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- ●この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。
この著作権保護技術の使用には、マクロビジョン社の許可が必要です。また、その使用はマクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されます。この製品を分解したり、改造することも禁じられています。
- ●Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc. の日本国内における登録商標です。
Gガイドは、米Gemstar-TV Guide International, Inc. のライセンスに基づいて生産しております。
米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- ●電子番組表の表示機能にGガイドを採用していますが、当社がGガイドの電子番組表サービスを保証するものではありません。
- ●天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- ●Gコード、G-CODE、およびGコードロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc. およびその関連会社の日本国内における登録商標です。
Gコードシステムは、米Gemstar-TV Guide International, Inc. のライセンスに基づいて生産しております。
- ●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- ●「DTS」および「DTS Digital Surround」はDTS社の商標です。
- ●SDHC ロゴは商標です。
- ●Portions of this product are protected under copyright law and are provided under license by ARIS/SOLANA/4C.
- ●HDMI、HDMI ロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
- ●Microsoft、Windows、Internet Explorerは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ●Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- ●i.LINK と i.LINK ロゴ “i” は商標です。
- ●HDAVI Control™ は商標です。
- ●日本語変換はオムロンソフトウエア（株）のモバイル Wnn を使用しています。“Mobile Wnn”© OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved
- ●本機がテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
- ●この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、[操作一覧] を押し、“その他の機能へ” → “メール／情報” → “ID 表示” → “ソフト情報表示” をご参照ください。
- ●メールや購入記録、データ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不都合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- ●この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
- ●この商品の価格には「私的録画補償金」が含まれております。補償金は、著作権法で権利確保のため権利者に支払われることが定められています。
私的録画補償金のお問い合わせ先
〒107-0052
東京都港区赤坂5丁目4番6号 赤坂三辻ビル2F
社団法人 私的録画補償金管理協会
TEL 03-3560-3107（代）
FAX 03-5570-2560
なお、あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- ●本機は 2006 年 11 月現在のデジタル放送規格の運用条件（著作権保護内容）に基づいて設計されています。
- ●Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

本製品は、AVC Patent Portfolio License 及びVC-1 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
- ●AVC規格及びVC-1規格に準拠する動画（以下、AVC/VC-1 ビデオ）を記録する場合
- ●個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVC/VC-1ビデオを再生する場合
- ●ライセンスをうけた提供者から入手されたAVC/VC-1 ビデオを再生する場合

詳細については米国法人MPEG LA, LLC（http://www.mpegla.com）をご参照下さい。

「故障かな!?」に従ってご確認のあと修理が必要になったときは、裏面の「修理診断カルテ」にご記入のうえ、製品に添付していただきますようお願いいたします。

修理診断カルテ

ご記入日：　　年　　月　　日

修理をご依頼される場合は、円滑な対応をさせていただくために、下記内容をご記入のうえ、製品に添付していただきますようお願いいたします。

HDDは大変デリケートな部品です。細心の注意を払って修理を行いますが、修理過程においてやむを得ず記録内容が失われたり、故障状態によってはHDDの初期化（出荷状態に戻すため、記録内容は全て失われます）や交換が必要な場合があります。
このような場合、記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。

＜商品に関して＞

機種名		製造番号（保証書または本体後面に記載）	
お買い上げ日	年　月　日	保証書添付	□有り　□無し

＜確認事項＞

修理代金の見積り（有償修理時のみ）	□不要　□＿＿＿＿万円以上必要　□必要
修理ご依頼時の添付品	（本体以外の添付品をご記入ください） □電源コード　□リモコン　□ディスク　□その他＿＿＿＿＿＿

設定項目の初期化	修理の際に、初期設定、録画予約などを出荷状態に戻さなければならない場合があります。 あらかじめご了承ください。	
HDDの初期化（録画内容の消去）	修理の際に、HDDを出荷状態に戻さなければならない場合があります。（記録内容は全て失われます） HDDの初期化に同意されますか。 □同意する □同意しない（初期化しないと修理ができない場合があります）	ご署名　　㊞

＜不具合症状について＞

不具合症状	（発生症状をなるべく詳しく、具体的にご記入ください）　例：HDDからDVD-Rへ高速モードでダビング時、途中で止まった。
発生条件	＜発生条件＞ 1. □HDD　□BD・DVD（下欄※に詳細をご記入ください） 2. □録画時　□再生時　□ダビング時（HDD⇄BD・DVD） 　└□本機のチューナーからの録画 　└□外部入力からの録画（ビデオからのダビングや外部チューナーからの録画など） ＜エラー表示＞ □有り 　└□テレビ画面　表示内容：＿＿＿＿ 　└□本体表示窓　表示内容：＿＿＿＿ □無し
発生頻度	□常時　□時々　□＿＿＿＿回に＿＿＿＿回位

＜※BD・DVD ディスクに関して＞ 正確な診断を行うために、できるだけ症状の発生したディスクの添付をお願いします。

発生ディスク		
□BD-RE	メーカー名：	品番：
□BD-R	メーカー名：	品番：
□DVD-RAM	メーカー名：	品番：
□DVD-R	メーカー名：	品番：
□DVD-R DL	メーカー名：	品番：
□DVD-RW	メーカー名：	品番：
□BDビデオ	タイトル：	ディスクNo.：
□DVDビデオ	タイトル：	ディスクNo.：
□その他		

発生箇所	□最初から再生できない	□＿＿分＿＿秒位の部分から症状が発生	□タイトルNo.： チャプターNo.：

＜接続テレビに関して＞

接続テレビ	テレビメーカー名：　　機種名： 接続端子：□ピン端子　□S 端子　□D 端子　□HDMI 端子　その他

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ

✂ きりとり線

用語解説

ア アンテナレベル

アンテナ設置方向の最適値を確認するためのめやすです。表示される数値は、受信している電波の強さではなく、質（信号と雑音の比率）を表します。受信チャンネルや天候、季節、時間帯、受信している地域、アンテナを接続したケーブルの長さなどによって影響を受けます。

カ （株）B-CAS（ビーキャス）

BS デジタル放送の限定受信システム（CAS）を管理するために設立された（株）ビーエス･コンディショナルアクセスシステムズの略称です。B-CAS カードの発行･管理をしています。地上デジタル放送や 110 度 CS デジタル放送も同システムを使用しています。

● ゲートウェイアドレス

インターネットのアクセスで経由すべき機器の IP アドレス。通常はブロードバンドルーターの IP アドレスのことをいいます。（例：192.168.0.1）

サ サブネットマスク

ネットワークを効率的に使うために、ブロードバンドルーターにつなぐ機器の IP アドレスを絞り込むための数字です。（例：255.255.255.0 ）

● サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波（アナログ信号）を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化（デジタル信号化）することです。
1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

● 字幕放送

字幕情報を表示させることができる放送です。放送中に番組からのお知らせを表示する「文字スーパー」という機能もあります。

● 双方向サービス

視聴者が自宅にいながら、クイズ番組に参加したり、買い物をすることができます。電話回線の接続が必要です。

タ ダイナミックレンジ

機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。ダイナミックレンジを圧縮すると、最小音と最大音の音量差を小さくすることで、小音量でもセリフなどを聞き取りやすくできます。

● ダウンミックス

ディスクに収録されたサラウンドの音声を2チャンネルなどに混合することです。5.1チャンネルのDVDビデオをテレビ内蔵のスピーカーで再生するときなどは、ダウンミックスされた音声が出力されています。

● データ放送

お客様が見たい情報を選んで画面に表示させることができる放送です。例えば、お客様のお住まいの地域の天気予報を、表示させることができます。また、テレビ放送やラジオ放送に連動したデータ放送もあります。そのほかに、電話回線を使用して視聴者参加番組、ショッピング、チケット購入などの双方向（インタラクティブ）サービスなどが行われます。

● デコーダー

DVDなどに符号化して記録したデータを解読し、映像や音声の信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

● デジタルハイビジョン

デジタル放送には、デジタル標準テレビ放送（SD）とデジタルハイビジョン放送（HD）があります。ハイビジョンの走査線数は現行テレビ放送の 525 本の倍以上の 1125 本もあるため、細部まできれいに表現され、臨場感豊かな映像になります。

● ドライブ

本機では、ハードディスク（HDD）、ディスク（BD）、SD カード（SD）のことをいいます。データの読み書きを行います。

ハ パン＆スキャン/レターボックス

BDビデオ、DVDビデオの多くは、ワイドテレビ画面（画面の横縦比が16：9）を前提に制作されているため、従来のサイズ（横縦比が4：3）のテレビに映し出そうとすると、16：9の映像が 4：3に収まらなくなります。
4：3のテレビに映し出すには2つの方法があります。

●パン＆スキャン

映像の左右をカットして、画面全体に映し出します。

●レターボックス

画面の上下に黒い帯を入れて、4：3の画面で16：9の映像を映し出します。

● ファイナライズ

番組を記録したDVD-Rなどを再生対応機器で再生できるように処理することです。
ファイナライズすると記録や編集はできなくなります。

● フィルム/ビデオ素材

一般的に、DVD ソフトの映像情報にはフィルム素材とビデオ素材があります。本機は、DVD ソフトに記録された映像の素材を判別し、それぞれに最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。

●フィルム素材
フィルムのイメージが 24 コマ/秒または 30 コマ/秒で記録されているもの。（映画の映像などで使われています。）

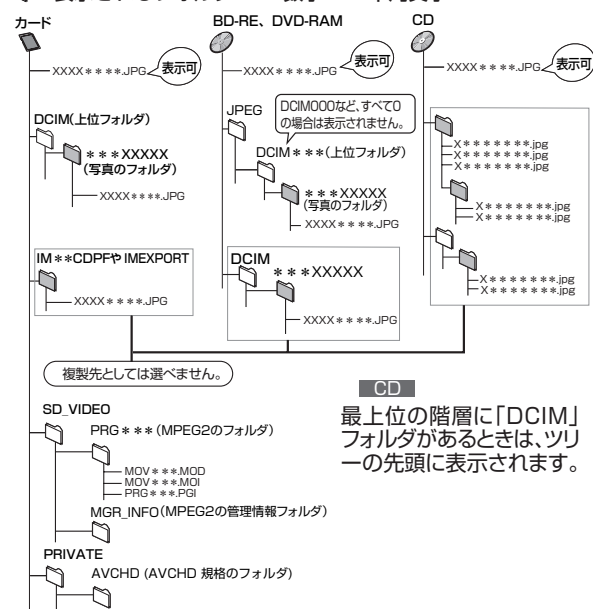
●ビデオ素材
映像情報が 30 フレーム/秒、60 フィールド/秒で記録されているもの。（テレビドラマやテレビアニメの映像などで使われています。）

● フォーマット

記録前の DVD-RAM などを録画機器で録画できるように処理することです。初期化ともいいます。
フォーマットすると、それまでに記録していた内容はすべて消去されます。

● フォルダ

ハードディスクや SD カードなどで、データをまとめて保管するための場所のことです。本機では、写真（JPEG）や MPEG2 などの保管場所を表します。

本機で表示されるフォルダ構造例
：表示されるフォルダ　＊：数字　x：半角文字

●フォルダ名やファイル名を本機以外で入力した場合は、正しく表示されなかったり、再生や編集ができなくなることがあります。

● プライマリ DNS/セカンダリ DNS

インターネット上で名前と IP アドレスを対応させる電話帳のような機能を持ったサーバーです。本機はこのサーバーの IP アドレスを2つまで登録することができます。

用語解説（つづき）

● ブラウザ
ネットワーク上のページを表示するためのソフトウェアです。

● フレーム/フィールド
フレームとは、テレビの1枚の画面のことです。1フレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面からなっています。

フレーム

＝

フィールド

＋

フィールド

- フレームスチルのときは、2枚のフィールドの間でぶれを生じることがありますが、画質は良くなります。
- フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ぶれは生じません。

● プログレッシブ/インターレース
従来の映像信号（NTSC）は525i（480i）（i：インターレース＝飛び越し走査）といわれるのに対し、その525i（480i）信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を525p（480p）（p：プログレッシブ＝順次走査）といいます。プログレッシブでは、BDやDVD ソフト本来の高精細映像を再現できます。また、本機のD端子やHDMI映像・音声出力端子はハイビジョン映像出力［750p（720p）、1125i（1080i）、1125p（1080p）］にも対応しています。
プログレッシブ映像、ハイビジョン映像を楽しむには、それぞれ対応テレビが必要です。

● ブロードバンド
ご家庭でいつでもインターネットを楽しめる、ADSL などのインターネット接続環境です。電話モデムを使用するのに比べて、高速なアクセスが可能です。

● プロバイダー
ケーブルや電話回線に接続した機器をインターネットに接続するサービスをしている会社の総称です。

マ マルチビュー放送
1チャンネルで主番組、副番組の複数映像が送られる放送のことです。例えば、野球放送の場合、主番組は通常の野球放送、副番組ではそれぞれのチームをメインにした野球放送が行われます。

ヤ 有料放送
チャンネル単位で購入する場合と、番組単位で購入する場合（ペイ・パー・ビュー）があり、それぞれ放送事業者との契約が必要です。ペイ・パー・ビューでは、テレビ画面上で購入操作を行います。
ペイ・パー・ビューをご覧になるためには電話回線の接続が必要です。

A AAC（Advanced Audio Coding）
（エーエーシー／アドバンスド オーディオ コーディング）
衛星デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式です。「アドバンスド・オーディオ・コーディング」の略で、CD並みの音質データを約 1/12 まで圧縮できます。また、5.1チャンネルのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

● ADSL
（エーディーエスエル）
(Asymmetric Digital Subscriber Line)
（アシンメトリック デジタル サブスクライバー ライン）
電話回線を使ったブロードバンド接続方式の一種です。回線業者、プロバイダーとの契約が必要です。

● AVCHD
（エーブイシーエッチディー）
高精細なハイビジョン映像を8cmDVD記録用ディスクやメモリーカード上に撮影記録できるように開発された新しいビデオカメラ記録フォーマット（規格）の名称です。

B BD-J
BD ビデオには Java アプリケーションを含むものがあり、そのアプリケーションは BD-J と呼ばれます。通常のビデオの操作に加えて、様々なインタラクティブな機能を楽しむことができます。

● Bitstream（ビットストリーム）
圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。
AV アンプなどに搭載されたデコーダーによって、5.1チャンネルなどのサラウンド音声信号に戻されます。

C CPRM
（シーピーアールエム）
(Content Protection for Recordable Media)
（コンテント プロテクション フォー レコーダブル メディア）
デジタル放送の「1回だけ録画可能」な番組に対する著作権保護技術のことです。「1回だけ録画可能」な番組は、CPRM に対応した機器とディスクにのみ記録できます。

D D 映像端子
コンポーネント（色差）ビデオ信号と制御信号を1つにまとめた端子で、デジタル放送や DVD プレーヤーなどに対応しています。色信号の干渉を避けるために、映像信号を輝度、赤系、青系の3つの信号に分け、それぞれの専用回路で信号処理し、画面に映すときに合成しますので、より自然に近い映像がお楽しみいただけます。

● DHCP
（ディーエイチシーピー）
(Dynamic Host Configuration Protocol)
（ダイナミック ホスト コンフィギュレーション プロトコル）
サーバーやブロードバンドルーターが、IP アドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みのことです。

● Dolby Digital（ドルビーデジタル）
ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ（2チャンネル）はもちろん、サラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

● Dolby Digital Plus（ドルビーデジタルプラス）
ドルビーデジタルを基に高ビットレート化することで、さらなる高音質、多チャンネルを実現しています。BD 規格では最大 7.1ch まで対応しています。

● Dolby TrueHD（ドルビートゥルーエッチディー）
DVD オーディオで採用されている MLP の機能拡張版でスタジオマスターに忠実な再生を実現した高品位な音声方式です。BD 規格では最大 7.1ch まで対応しています。
※本機では Dolby Digital の音声として出力されます。

● DPOF（Digital Print Order Format）
（ディーポフ／デジタル プリント オーダー フォーマット）
デジタルカメラなどで撮影した静止画を、写真店や家庭用プリンターでプリントする枚数などの設定を標準化した規格です。

● DTS（Digital Theater Systems）
（ディーティーエス／デジタル シアター システムズ）
映画館で多く採用されているサラウンドシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く、リアルな音響効果が得られます。

● DTS - HD
（ディーティーエス エッチディー）
映画館で採用されている DTS をさらに高音質/高機能化した音声方式で、下位互換性により従来の AV アンプでも DTS として再生できます。BD 規格では最大 7.1ch まで対応しています。
※本機では DTS の音声として出力されます。

E EPG（Electronic Program Guide）
（イーピージー／エレクトロニック プログラム ガイド）
テレビやパソコン、携帯電話の画面上に番組表を表示するシステムのことです。テレビ電波やインターネットを利用してデータを送信します。本機はテレビ電波を利用した方式に対応しており、番組表（G ガイド）を使って予約録画などができます。

H HDD（ハードディスクドライブ）
パソコンなどで使われている大容量データ記憶装置のひとつです。表面に磁気体を塗った円盤（ディスク）を回転させ、磁気ヘッドを近づけて大量のデータの読み書きを高速で行います。

● HDMI
（エイチディーエムアイ）
(High-Definition Multimedia Interface)
（ハイ デフィニション マルチメディア インターフェイス）
HDMI とは、デジタル機器向けの次世代インターフェイスです。従来の接続と違い、1本のケーブルで非圧縮のデジタル音声・映像信号を伝送することができます。

I **i.LINK**（アイ.リンク）
i.LINK 端子を持つ機器間で映像や音声などのデータ転送や、接続した機器の操作ができるシリアル転送方式のインターフェースです。i.LINK は IEEE1394 の呼称で、IEEE（米国電子電気技術者協会）によって標準化された国際規格です。

IP アドレス（アイピー）
インターネットなどのネットワークに接続されたコンピューターを識別する番号のことです。ご家庭では、ブロードバンドルーターなどの DHCP 機能で自動的に割り当てられるのが一般的です。（例：192.168.0.87）

Ir システム（アイアール）
セットトップボックスなどから予約録画などの信号を録画機器のリモコン受信部に送ることで、連動操作をする機能です。当社製CATV 用セットトップボックスなどの Ir システムがBD/ DVD レコーダーに対応している場合、Ir システムを使って本機を操作できます。セットトップボックスなどの説明書をご覧ください。

J **JPEG（Joint Photographic Experts Group）**（ジェイペグ ジョイント フォトグラフィック エキスパーツ グループ）
カラー静止画を圧縮、展開する規格の１つです。
デジタルカメラなどで保存形式としてJPEG を選ぶと、元のデータ容量の1/10〜1/100に圧縮されますが、圧縮率の割に画質の低下が少ないのが特長です。

LAN（Local Area Network）（ラン ローカル エリア ネットワーク）
社内や学校内、家庭内など、一定範囲内のネットワークのことです。

L **LPCM （リニア PCM）**（エルピーシーエム ピーシーエム）
CD などで使われている、圧縮せずにデジタル信号に置き換えられた音声信号です。

M **MAC アドレス**（マック）
ネットワークに接続されている機器を識別するためのアドレスで、イーサーネットアドレスやハードウェアアドレスなどと呼ばれることもあります。

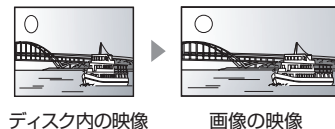
MPEG2（Moving Picture Experts Group）（エムペグ ムービング ピクチャー エキスパーツ グループ）
カラー動画を効率良く圧縮、展開する規格の１つです。
MPEG2 は DVD やデジタル放送などに使われる圧縮方式で、本機では番組を MPEG2 で録画します。

P **PCM （Pulse Code Modulation）**（ピーシーエム パルス コード モジュレーション）
アナログ音声をデジタル音声に変換する方式の１つです。「パルス・コード・モジュレーション：パルス符号変調」の略で、手軽にデジタル音声が楽しめます。

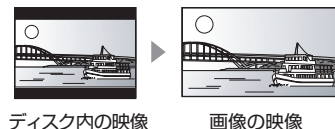
S **S 映像出力**
映像信号を C（色信号）と Y（輝度信号）に分離してテレビに伝えます。本機は自動的にワイドテレビの画面設定を切り換えるS1/S2 規格に対応していますので、テレビのS 映像入力端子の種類に合わせて信号が出力できます。

●**S1 映像信号**
映像の横縦比が4：3に圧縮されたワイドソフトを自動的に16：9 のサイズに戻して映します。

ディスク内の映像

画像の映像

●**S2 映像信号**
S1の機能に加え、レターボックス（上下に黒帯が入っている映像）のソフトを自動的にワイド画面いっぱいに映し出します。

ディスク内の映像

画像の映像

V **VBR （Variable Bit Rate）**（ブイビーアール ヴァリアブル ビット レート）
映像の情報量や複雑さに合わせて、圧縮率を変化させる記録方式です。

1 **1125i（1080i）**
デジタルハイビジョン映像の1つで、1/60 秒ごとに1125 本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース（飛び越し走査）方式です。走査線数は現行テレビ放送の 525 本の倍以上の 1125 本もあるため、細部まできれいに表現され、臨場感豊かな映像になります。

1125p（1080p）
デジタルハイビジョン映像の1つで、1/60 秒ごとに1125 本の走査線を同時に流すプログレッシブ（順次走査）方式です。インターレース方式のように交互に流さないので、ちらつきが少なくなります。

5 **525i（480i）**
1/60 秒ごとに 525 本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース（飛び越し走査）方式です。

525p（480p）
1/60 秒ごとに 525 本の走査線を同時に流すプログレッシブ（順次走査）方式です。インターレース方式のように交互に流さないので、ちらつきが少なくなります。

7 **750p（720p）**
デジタルハイビジョン映像の1つで、1/60 秒ごとに750 本の走査線を同時に流すプログレッシブ(順次走査）方式です。インターレース方式のように交互に流さないので、ちらつきが少なくなります。

リモコンのボタンに割り当てられた放送局（2006 年 10月現在）
●地上アナログ放送（➜ 準備編 54）
●地上デジタル放送（➜ 準備編 56）

●BS デジタル放送

番号	チャンネル	放送局名
1	101	NHK BS1
2	102	NHK BS2
3	103	NHK ハイビジョン
4	141	BS 日テレ
5	151	BS 朝日
6	161	BS-i
7	171	BS ジャパン
8	181	BS フジ
9	191	WOWOW
10	200	スター・チャンネル
11	700	NHK データ 1
12	701	NHK データ 2

●CS 1（スカパー!110 ）

番号	チャンネル	放送局名
1	001	スカパー！110 メイト
2	990	生活スタイル TV
3	025	ＢＢＣ ＪＡＰＡＮ
4	991	ＳＨＯＰ ＆ＴＶ5
5	055	ep055 チャンネル
6	027	
7		
8		
9	091	ActOnTV
10	888	スターチャンネルＨＶ
11		
12	092	Bloomberg

●CS 2（スカパー!110 ）

番号	チャンネル	放送局名
1	100	スカパー！110 プロモ
2	110	ワンテンポータル
3	123	CS 映画
4	147	ベルーナお買物テレビ
5	250	アクティブ！スポーツ
6	160	C-TBS ウェルカム
7	177	ショップチャンネル
8	258	フジテレビ 739
9	194	AQ ステーション
10	101	宝塚プロモチャンネル
11	290	宝塚スカイ・ステージ
12	232	スター・クラシック

●放送局名やチャンネル番号は、実際の表示と異なる場合があります。

アイコン一覧

●本機はアイコン（機能表示のシンボルマーク）によって、表示画面の情報をお知らせします。
●放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンを表示しない場合があります。

番組内容画面

アイコン	内容
テレビ	テレビ放送（映像＋音声）の番組
データ	データ放送の番組
+d テレビ	番組内容に関連したデータ放送を行っている番組
+d ラジオ	ラジオ放送番組で、番組内容に関連したデータ放送を行っている番組
信号	映像や音声、データのいずれかを信号切り換えできる番組
モノラル	モノラル音声の番組
ステレオ	ステレオ放送の番組
サラウンド	5.1ch などのサラウンド放送の番組
デジタル XCOPY	著作権が保護されているため「録画禁止」の番組
デジタル 1COPY	「1回だけ録画可能」な番組（➜34） （録画後、ダビングできません）
アナログ XCOPY	アナログの著作権が保護されているためアナログでの「録画禁止」の番組
アナログ X出力	アナログ（映像端子、S映像端子、D端子）出力しない番組（音声も出力されません）
ラジオ	ラジオ放送の番組
d テレビ	番組とは別のデータ放送を行っている番組
d ラジオ	ラジオ放送で、番組とは別のデータ放送を行っている番組
16:9 1125i	番組の映像信号情報 上：画面の横縦比（16:9、4:3） 下：信号方式 （デジタルハイビジョン放送－ 1125i、750p） （デジタル標準テレビ放送－ 525p、525i）
主+副	二重音声信号で、「主＋副」の音声の番組
有料	有料のデータを含むペイ・パー・ビュー番組
字幕	番組の中に字幕（日本語/英語）の情報が含まれている番組
20 才～	視聴年齢制限がある番組 （表示される年齢は 4 ～20 才まであります）

再生ナビ画面

アイコン	内容
×	HDD にダビング中の番組やデータが壊れているなど、再生できない番組
🔒	番組や写真に書き込み禁止（プロテクト）を設定
●	録画中の番組
⊠	本機で録画した「1回だけ録画可能」な番組（➜34）
♪	再生中の曲
NEW	新しく録画してまだ見ていない番組
	録画禁止信号により録画できなかった番組（デジタル放送など）
まとめ	2つ以上の番組がまとめられた、まとめ番組
 	プリント枚数（DPOF）が設定された写真（➜76）
	AACへの音楽圧縮が終了していないアルバム

おまかせダビング・詳細ダビング画面

アイコン	内容
▶▶◎	DVD-R（ビデオ方式）、DVD-R DL（ビデオ方式）、DVD-RW（ビデオ方式）に高速でダビングできる番組
!	静止画を含むもの （静止画部分はダビングされません）
DR	録画モード「DR」で録画された番組 （DR モードの番組）
⊠	本機で録画した「1回だけ録画可能」な番組 （➜34）
➡	「1回だけ録画可能」なため「移動」されるもの
まとめ	2つ以上の番組がまとめられた、まとめ番組

予約一覧画面

可　全編の録画が可能な番組

変更可　予約登録後に放送時間が変更になった番組で、全編の録画が可能な番組

予約時間が重なっている番組

HDDがいっぱいで録画が中断された番組

予約録画が実行されなかった番組

番組購入できずに予約録画に失敗したペイ・パー・ビュー番組

HDD や BD-RE の残量が不足していて録画できない番組

毎日・毎週予約していた番組が終了したときに表示します。予約を登録し直すことをお勧めします。

毎日
月~金

毎日・毎週予約のときに表示されます。

毎日・毎週予約のときに、表示された日付（最大1ヵ月先）まで録画予約されます。（他の番組が録画や消去された場合など、ディスクの残量によって、日付が変更される場合があります）

引っ越しなどをして、お住まいの地域が変更になった場合に、予約登録したチャンネルが見つからなかった番組

時間変更追従を実行中（時間確認中）

G コード®予約または時間指定予約（➜42、43）で予約した番組

番組表（G ガイド）を使って予約した番組（➜40）

番組表（G ガイド）を使って予約したペイ・パー・ビュー番組

録画禁止信号により録画が中断された番組（デジタル放送など）

予約録画中に停止されたなど一部が実行されなかった番組

追加購入できずに予約録画に失敗したペイ・パー・ビュー番組

予約の実行が「切」になっている番組

毎日更新
毎日・毎週予約のときに、自動更新（➜39）をする場合に表示されます。（前回録画した内容に上書きして録画します）

お知らせ　番組表（G ガイド）を使って毎週予約した番組で、予約した番組と同じ名前の番組が見つけられずに予約を実行した場合に表示

録画中の番組

その他の画面

視聴可能年齢の設定より高い年齢制限の番組
暗証番号を入力すると視聴可（➜100）

メール一覧画面で、お客様がまだ読まれていないメール（未読メール）

番組表（G ガイド）を使って予約された番組

一番組限度額の設定より高い金額の番組
暗証番号を入力すると視聴可（➜100）

メール一覧画面で、お客様がすでに読まれたメール（既読メール）

仕様

待機時消費電力：		
クイックスタート「切」時	電源切時※1	約 3.2 W
	時計表示点灯時	約 3.9 W
	時計表示消灯時	約 0.6 W
		約 0.3 W アッテネーターを「オン」に設定した場合
クイックスタート「入」時	電源切時※1	約 15.6 W
	時計表示点灯時	約 15.8 W
	時計表示消灯時	約 14.9 W
電源		AC 100V 50/60 Hz
消費電力		約 56 W

項目	仕様
本体外形寸法	430 mm×331.6 mm（突起部を含まず）×85 mm 341 mm（突起部を含む） （幅×奥行×高さ）
本体質量	約 5.8 kg
許容周囲温度	＋5 ℃～ 40 ℃
許容相対湿度	10 %～ 80 % RH（結露なきこと）
記録可能なディスク	（以下、Blu-ray Disc Rewritable FormatはBD-RE、Blu-ray Disc Recordable FormatはBD-Rと略す） ●BD-RE： 1-2X SPEED（Ver.2.1 準拠） ●BD-R： 1-2X SPEED（Ver.1.1 準拠） ●DVD-RAM： 2X SPEED（Ver.2.0 準拠） 2-3X SPEED（Ver.2.1 準拠） 2-5X SPEED（Ver.2.2 準拠） ●DVD-R： 1X SPEED（Ver.2.0 準拠） 1-4X SPEED（Ver.2.0 準拠） 1-8X SPEED（Ver.2.0 準拠） 1-16X SPEED（Ver.2.1 準拠） ●DVD-R（DL）： 2X SPEED（Ver.3.0 準拠） 2-4X SPEED（Ver.3.0 準拠） ●DVD-RW： 1X SPEED（Ver.1.1 準拠） 1-2X SPEED（Ver.1.1 準拠） 2-4X SPEED（Ver.1.2 準拠） 2-6X SPEED（Ver.1.2 準拠）
記録方式	●BD-RE： Blu-ray Disc Rewritable Format 準拠 ●BD-R： Blu-ray Disc Recordable Format 準拠 ●DVD-RAM： DVDビデオレコーディング規格準拠 ●DVD-R： DVDビデオ規格準拠、 DVDビデオレコーディング規格準拠 ●DVD-R DL（片面2層）： DVDビデオ規格準拠、 DVDビデオレコーディング規格準拠 ●DVD-RW： DVDビデオ規格準拠 DVDビデオレコーディング規格準拠
再生可能なディスク	●BD-RE SL：1X SPEED（Ver.1.0 準拠） （SL：片面1層）23GB※1、25GB ※1 23GBシールドタイプカートリッジも対応 1-2X SPEED（Ver.2.1 準拠）25GB ●BD-RE DL：1X SPEED（Ver.1.0 準拠）50GB （DL：片面2層）1-2X SPEED（Ver.2.1 準拠）50GB ●BD-R SL：1-2X SPEED（Ver.1.1 準拠）25GB （SL：片面1層） ●BD-R DL：1-2X SPEED（Ver.1.1 準拠）50GB （DL：片面2層） ●BD-Video ●DVD-RAM※2 ●DVD-R※2 ●DVD-R DL（片面 2 層）※2 ●DVD-RW※2 ●+RW：ファイナライズ済のみ ●+R：ファイナライズ済のみ ●+R DL（片面2層）：ファイナライズ済のみ ●DVD-Video ●CD-Audio（CD-DA） ●CD-R/RW（CD-DA、JPEG フォーマット記録のディスク） ※2 AVCHD規格対応（DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW はファイナライズが必要です）
リージョンコード	BD：Region A DVD：#2
内蔵HDD 容量	500 GB
時計	クォーツ制御　24 時間表示　デジタル表示
プログラム数	1ヵ月　32 プログラム

テレビジョン方式

項目	仕様
映像方式	NTSC 方式　525 本　60 フィールド デジタルハイビジョン：地上デジタル放送方式（日本）、衛星デジタル放送方式（日本）
アンテナ受信入力	**地上アナログ入力** 90 MHz ～770 MHz 75 Ω （VHF：1 ～12 CH UHF：13 ～62 CH CATV：C13 ～C63 CH） **地上デジタル入力** 90 MHz ～770 MHz 75 Ω （VHF：1 ～12 CH UHF：13 ～62 CH CATV：C13 ～C63 CH）※2 **BS・110 度 CS デジタル-IF 入力** 1032 MHz ～2071 MHz（IF 入力周波数）75 Ω 電源供給（右旋円偏波時：DC15 V、最大 4 W/左旋円偏波時：DC11 V、最大 3 W）

映像

項目	仕様
記録圧縮方式	MPEG 2（Hybrid VBR）
映像入力	入力端子：2 系統（ピンジャック） 入力レベル：1.0 Vp-p（75 Ω）
S 映像入力	入力端子：2 系統 Y 入力レベル：1.0 Vp-p（75 Ω） C 入力レベル：0.286 Vp-p（75 Ω）
映像出力	出力端子：1 系統（ピンジャック） 出力レベル：1.0 Vp-p（75 Ω）
S 映像出力	出力端子：1 系統 Y 出力レベル：1.0 Vp-p（75 Ω） C 出力レベル：0.286 Vp-p（75 Ω）
D 端子映像出力 D1/D2/D3/D4 端子	出力端子：1 系統 [525i(480i)/525p(480p)/1125i(1080i)/750p(720p)] Y 出力レベル：1.0 Vp-p（75 Ω） CB/PB 出力レベル：0.7 Vp-p（75 Ω） CR/PR 出力レベル：0.7 Vp-p（75 Ω）
HDMI 映像・音声出力	出力端子：1 系統（19 ピン type A 端子） HDMI Ver.1.2a（EDID Ver.1.3） [525p（480p）/1125i（1080i）/750p（720p）/1125p（1080p）]

音声

項目	仕様
記録・再生圧縮方式	Dolby Digital：2 ch 記録 リニアPCM（XPモードのみ切り換え可）：2 ch 記録 MPEG2 AAC（DR モード・デジタル放送記録時）
アナログ入力	入力端子：2 系統（ピンジャック） 基準入力：309 mVrms 入力レベル FS：2 Vrms（1 kHz、0 dB） 入力インピーダンス：47 kΩ
アナログ出力	出力端子：2 ch 出力 ：2 系統（ピンジャック） （D 端子用音声出力×1を含む） 5.1 ch 出力 ：1 系統（ピンジャック） 基準出力：309 mVrms 出力レベル FS：2 Vrms（1 kHz、0 dB） 出力インピーダンス：1 kΩ （負荷インピーダンス：10 kΩ）
チャンネル数	記録：2チャンネル、再生：5.1チャンネル （HDMI出力は最大7.1チャンネル）
デジタル出力	光デジタル音声出力端子：1系統 （PCM、Dolby Digital、DTS、MPEG2 AAC対応） 同軸デジタル音声出力端子：1系統 （PCM、Dolby Digital、DTS、MPEG2 AAC対応）

その他の端子

DV 入力／ TS 入出力端子	4ピン：1系統（IEEE1394 準拠） DV入力 対応ストリーム：DVCR 転送レート：S100 対応 TS 入出力 対応ストリーム：MPEG2-TS 転送レート：S400 対応 出力は、i.LINK（TS）ダビング動作時のみ
SDメモリーカードスロット	1系統
LAN 端子	1系統（10BASE-T/100BASE-TX ）
電話回線（モジュラー）端子	1系統 [V.22bis（2400 bps、着呼機能なし）]

カード機能

スロット	SD メモリーカード
対応カード	SD メモリーカード※3、※4、※5

静止画（JPEG）

対応フォーマット	FAT12、FAT16、FAT32※6
画像ファイル形式	●JPEGベースライン方式 [DCF（Design rule for Camera File system）準拠] ●DPOF 対応
画素数	34 × 34 ～ 5120 × 3840 サブサンプリング　4:2:2、4:2:0
解凍時間※7	約 2 秒（600 万画素、JPEG）

動画（MPEG2）

ファイル形式	SD VIDEO 規格準拠 SD（SD VIDEO 規格）からHDD/DVD-RAM/DVD-R（ビデオレコーディング規格）/DVD-R DL（ビデオレコーディング規格）/DVD-RW（ビデオレコーディング規格）への変換転送後に再生可能

音楽

再生可能なメディア	●CD-Audio（CD-DA） ●CD-R/CD-RW（CD-DA） ●SD メモリーカード※3、※4、※5	
記録可能なメディア	SD メモリーカード※3、※4、※5	
記録方式	HDD SD カード	：LPCM、AAC ：AAC
記録モード	LPCM AAC（XP） AAC（SP） AAC（LP）	：CD音質（HDD 記録時のみ） ：約 128 kbps ：約 96 kbps ：約 64 kbps
記録曲数	HDD SD カード	：最大 40000 曲 ：最大 999 曲

動画（H.264）

ファイル形式	AVCHD 規格準拠 SD（AVCHD 規格）からBD-REへの変換転送後に再生可能

※ 1 VTR の省エネ法に定める計算式による待機時消費電力値を示す。
※ 2 ワンセグ放送は受信できません。
※ 3 miniSD カードを含む（miniSD アダプター装着時）
※ 4 microSD カードを含む（microSD アダプター装着時）
※ 5 SDHC 対応カードを含む（Class 非対応）
※ 6 ロングファイル名非対応
※ 7 解凍時間は使用環境（ファイル数・圧縮率など）によって多少長くなることがあります。

この仕様は、性能向上のため変更することがあります

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報
このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

●音楽認識関連はGracenote®により提供されます。Gracenoteは、音楽認識関連配信の業界標準です。詳細は、次のWebサイトをご覧ください：
www.gracenote.com
GracenoteからのCDおよび音楽関連データ：
Copyright ©2000-2006 Gracenote.
Gracenote Software：Copyright 2000-2006 Gracenote.
この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の1つまたは複数を実践している可能性があります：♯5,987,525、♯6,061,680、♯6,154,773、♯6,161,132、♯6,230,192、♯6,230,207、♯6,240,459、♯6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。
一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許（♯6,304,523）用にOpen Globe. Inc.から提供されました。Gracenote および CDDB は Gracenote の登録商標です。Gracenote ロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴは Gracenote の商標です。
Gracenote サービスの使用については、次の Web ページをご覧ください：
www.gracenote.com/corporate

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。
この製品は米国カリフォルニア州、エメリービル市のGracenote（“Gracenote”）からの技術とデータが含まれています。この製品はGracenoteの技術（“Gracenote Embedded Software”）により、ディスク識別を可能とし、また名前、アーティスト、トラック、タイトルなどを含む音楽に関する情報（“Gracenote Data”）を得ることも可能です。この技術はGracenote Database（“Gracenote Database”）に実装されています。

・Gracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Software を商用ではなく、個人の使用のみに使うことに同意すること。
・標準エンドユーザー機能およびこの製品の機能によってのみ、Gracenote Data にアクセスすることに同意すること。
・第三者に、Gracenote Embedded Software または Gracenote Dataの譲渡、コピー、転送をしないことに同意すること。
・この文章中で明白に許可されたこと以外での Gracenote Data、Gracenote Database や Gracenote Embedded Software の使用あるいは応用をしないことに同意すること。
・これらの制約に違反した場合、あなたの Gracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Software を使用する非独占的ライセンスの契約を解除します。解除された場合、Gracenote Data、Gracenote Databaseの すべての使用をやめることに同意すること。
・Gracenote は Gracenote Data、Gracenote Databaseや Gracenote Embedded Softwareの所有権を含むすべての権利を保有しています。
・Gracenote はこの同意のもとで、Gracenote の名において、直接あなたに対する権利を執行することができます。

Gracenote Embedded Software や Gracenote Data の各項目はあなたに現状のままで使用許可を与えます。Gracenote は、すべての Gracenote Dataの正確さに関する、明示あるいは黙示、真実の表明あるいは保証は、一切致しません。Gracenote は Gracenote が明らかに問題であると判断した際、また更新が必要な際には、データカテゴリーを変更したり、データを消去することができます。
Gracenote Embedded Software が、エラーフリーであるとか、Gracenote Embedded Softwareの機能が断絶しないものであるという保証は致しません。
Gracenoteは新しく拡張されたあるいは追加されるいかなるデータタイプも提供する義務はありません。あるいはまた、将来Gracenoteが提供するかもしれないカテゴリーについても、あなたに提供する義務はありません。

Gracenote は、商品性に関する黙示の保証、特定目的への適合性および権利侵害の不存在を含むすべての明示または黙示の保証をしません。Gracenote は、Gracenote Component またはいかなる Gracenote Server の利用により生じた結果について保証しません。Gracenote はいかなる場合でも結果的もしくは付随的損害または逸失利益もしくは逸失収入に対して責任を負いません。

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

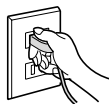
⚠ 警告

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

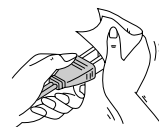
（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

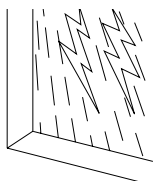
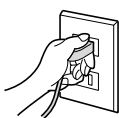
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

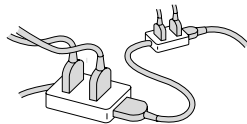
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

接触禁止

感電の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

メモリーカードは乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

異常があったときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- 落下などで外装ケースが破損したとき
- 煙や異臭、異音が出たとき

そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

- 販売店にご相談ください。

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

本機のイラスト（姿図）は、イメージイラストであり、ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますが御了承ください。

⚠ 警告

電池は誤った使いかたをしない

- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕と⊖を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ⊕と⊖を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない
- 乾電池の代用として充電式電池を使わない

- 取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。
- 電池には安全のために被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

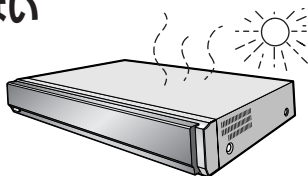
電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする

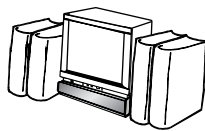
- 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

⚠ 注意

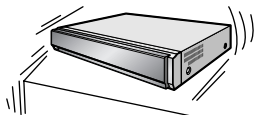
異常に温度が高くなるところに置かない

外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、外装ケースが変形したり、火災の原因になることがあります。
- 後面の内部冷却用ファンや側面の通風孔をふさがないでください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。
たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。

不安定な場所に設置しない

- 高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置、工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。
- 設置・工事は販売店にご相談ください。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

電池の液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。
- ディスクは、保護のため取り出しておいてください。

ディスクトレイに指をはさまないように注意する

指に注意

けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書 （別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このBD/DVDレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき

「故障かな!?」(➔110～119)に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源コードを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**

  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**

  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。

  下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。
- **修理料金のしくみ**

  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

  出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容			
製品名	BD/DVDレコーダー	お買い上げ日	年　月　日
品　番	DMR-BW200	故障の状況	できるだけ具体的に

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電 話　フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX　フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区

拠点	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	(0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	(0138)48-6631

東北地区

拠点	所在地	電話番号
青森	青森市大字浜田字豊田364	(017)775-0326
秋田	秋田市東通り2丁目1-7	(018)831-7833
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	(019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	(023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	(024)991-9308

首都圏地区

拠点	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	(027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	(048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	(025)286-0171

中部地区

拠点	所在地	電話番号
石川	金沢市横川3丁目20	(076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	(076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	(0776)25-5001
長野	松本市寿北7丁目3-11	(0263)86-9209
静岡	静岡市葵区千代田7丁目7-5	(054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	(052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	(058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	(0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	(059)255-1380

近畿地区

拠点	所在地	電話番号
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	(075)646-2123
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	(078)272-6645

中国地区

拠点	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	(086)242-6236
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	(082)295-5011
山口	山口市小郡下郷220-1	(083)973-2720

四国地区

拠点	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	(088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	(089)905-7544

九州地区

拠点	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	(0997)53-5101

沖縄地区

拠点	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。 0906

さくいん

英数字　ページ

ページ

か　行　ページ

ページ

た　行　ページ

ページ

ページ

ページ

ページ

ページ

本機の使用中、何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

愛情点検

長年ご使用のBD/DVDレコーダーの点検を!

こんな症状はありませんか	● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 映像や音声が出ないことがある ● 正常に動作しないことがある ● 商品に破損した部分がある ● その他の異常や故障がある

このような症状のときは使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です。	お買い上げ日	年　月　日	販売店名	☎（　　）　－
	品番	DMR-BW200		
	B-CASカード番号	B-CASカード番号を記入してください。 お問い合わせのときに必要な場合があります。		

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ

〒571 − 8504 大阪府門真市松生町 1 番 15 号

RQT8803-3S
H1006FJ3067